

第46回 市政世論調査

(令和元年度)



G20新潟農業大臣会合（令和元年5月11日・12日）の様子

新 潟 市

< 目 次 >

I 調査概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の項目	3
3. 調査の設計	3
4. 集計・分析にあたって	3
5. 回収結果	4
6. 区（行政区）の範囲	4
7. 回答者の特性	6
8. 回答者の特性（地区別集計）	7
II 調査結果	9
1. 市政情報の入手方法について	11
（1）市政情報の入手状況	11
（2）市政情報の入手先	13
（3）「市報にいがた」の入手方法	33
（4）リニューアルした「市報にいがた」の読みやすさ	36
（5）市政情報以外の必要な情報の入手先	38
2. 新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）の文化事業について	53
（1）「りゅーとぴあ」が効果をあげていると思う活動	53
（2）「りゅーとぴあ」が今後も積極的に進めていくべきと思う活動	56
（3）「りゅーとぴあ」の次世代への継承	58
3. 食の安心・安全について	60
（1）「食の安全」への関心	60
（2）「食の安全」について関心があること	62
（3）「食の安全」の知識に関する自己評価	64
（4）食品選択等の判断	66
（5）新潟市の食の安心・安全への取り組み	68
4. 社会活動への関わりについて	70
（1）参加したことがある社会活動	70
（2）参加しなかった、できなかった理由	74
（3）今後、参加・継続したい社会活動	79

(4) 社会活動に参加したきっかけ	83
(5) 社会活動に期待したいこと	87
(6) 社会活動に参加するうえで、大切な条件	91
(7) 地域コミュニティ活性化を担う人材育成のために力を入れるべきこと	96
5. 市政全般と区政について	100
(1) 新潟市として良くなっているもの	100
(2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの	108
(3) 区として良くなっているもの	116
(4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの	124
6. 市の取り組みについて	132
(1) 取り組みへの感想	132
(2) 取り組みへの満足度	154
(3) 新潟市の住みやすさ	176
Ⅲ 調査票様式	179

I 調 査 概 要

1. 調査の目的

この調査は、市民生活の現状、市民の市政に対する要望、意識、関心度などを把握し、今後の市政運営の基礎資料を得る目的で実施する。

2. 調査の項目

- | | | |
|---------------------------------|-----|----|
| (1) 市政情報の入手方法について | 本質問 | 5問 |
| (2) 新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）の文化事業について | 本質問 | 3問 |
| (3) 食の安心・安全について | 本質問 | 5問 |
| (4) 社会活動への関わりについて | 本質問 | 7問 |
| (5) 市政全般と区政について | 本質問 | 1問 |
| (6) 市の取り組みについて | 本質問 | 2問 |
| (7) 対象者属性 | 本質問 | 5問 |

3. 調査の設計

- (1) 調査地域：新潟市全域
- (2) 調査対象：令和元年6月末現在の住民基本台帳に登録されている18歳以上の市民
- (3) 標本数：4,000人
- (4) 抽出方法：層化二段系統抽出法（電子計算機マスターファイルからの等間隔抽出）
- (5) 調査方法：郵送法（調査票の配付、回収とも）
- (6) 調査期間：令和元年7月12日～7月29日

4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

5. 回収結果

(1) 区（行政区）について

新潟市は平成19年4月の政令指定都市移行にともない8つの区（行政区）を設置している。

今回の調査では、対象者の居住地を8つの「区（行政区）」（次頁区分図参照）に分け、集計・分析を行った。

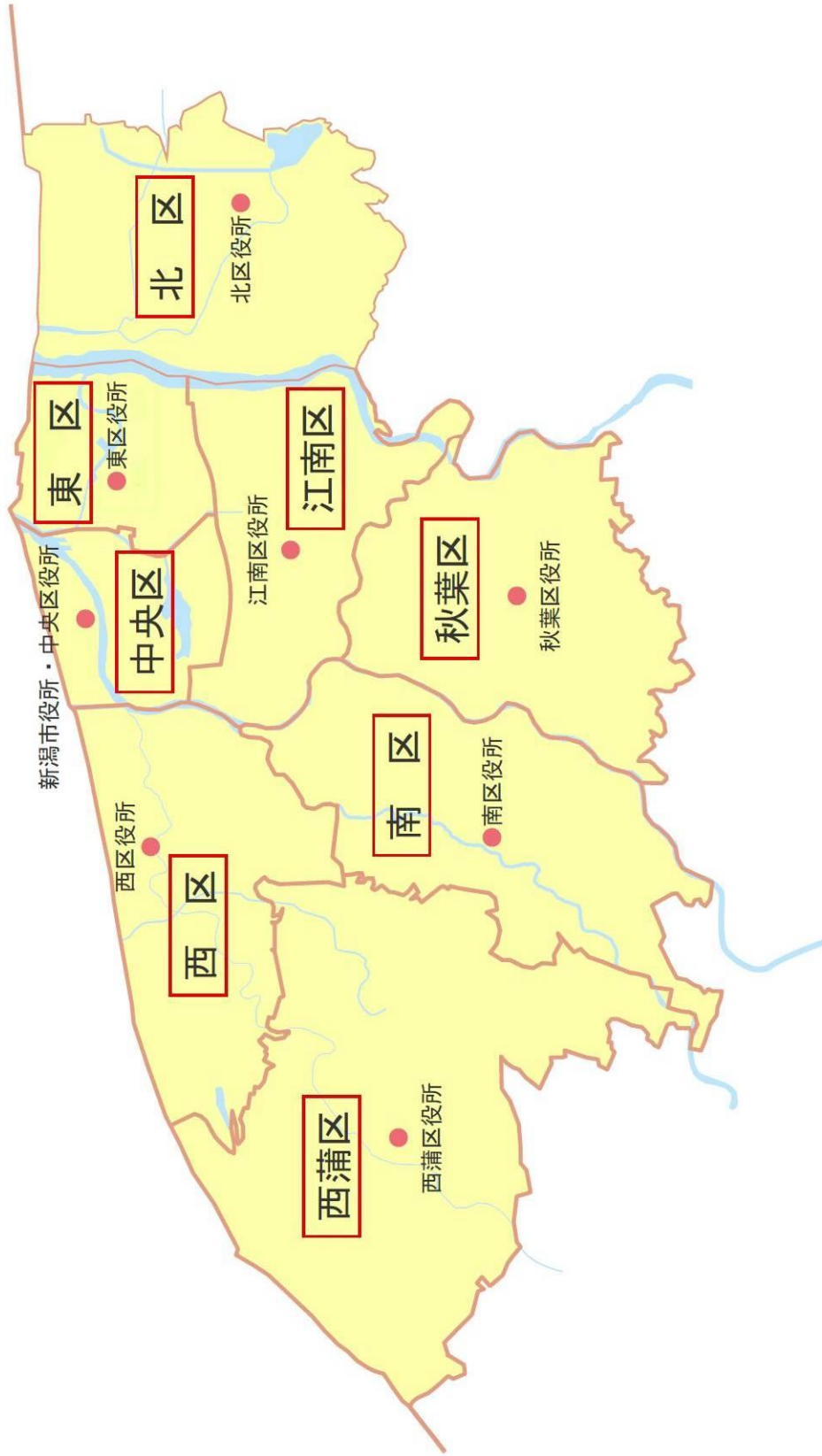
(2) 回収結果

	母集団 (人)	母集団 構成比	標本数 (人)	有効 回収数	有効 回収率
市全体	668,366	100.0%	4,000	2,022	50.6%
北区	62,575	9.4%	374	180	48.1%
東区	115,725	17.3%	693	334	48.2%
中央区	148,813	22.3%	890	470	52.8%
江南区	57,361	8.6%	343	171	49.9%
秋葉区	64,977	9.7%	389	196	50.4%
南区	38,137	5.7%	229	109	47.6%
西区	131,867	19.7%	789	378	47.9%
西蒲区	48,911	7.3%	293	143	48.8%
区名無回答				41	

6. 区（行政区）の範囲

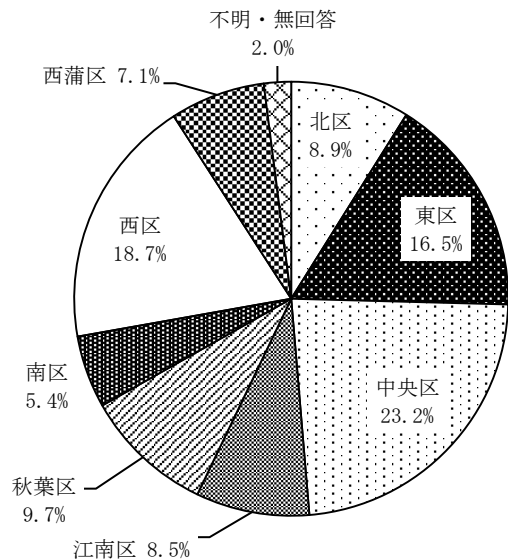
次頁区分図参照。

<区分图>

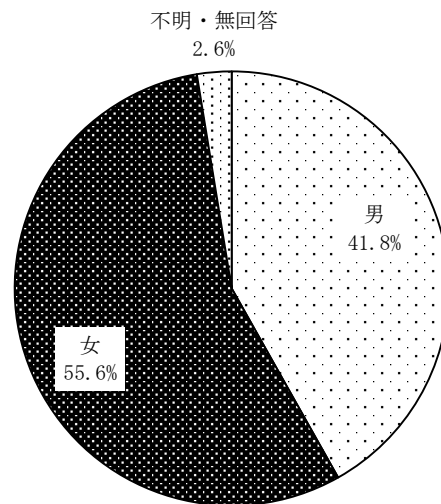


7. 回答者の特性

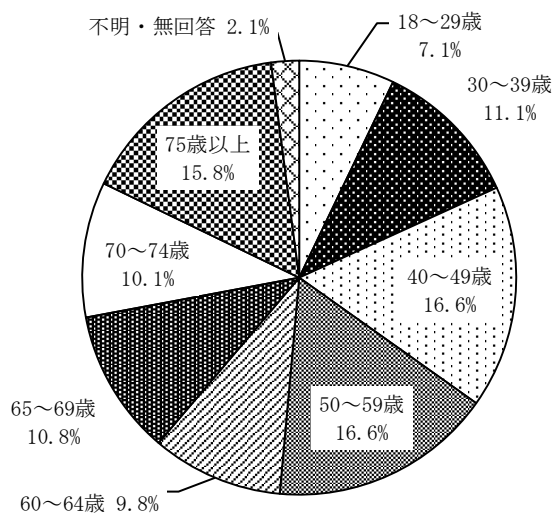
◆地区別



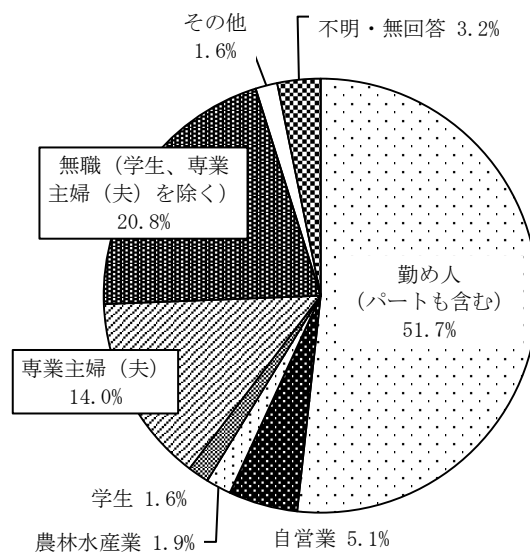
◆性別



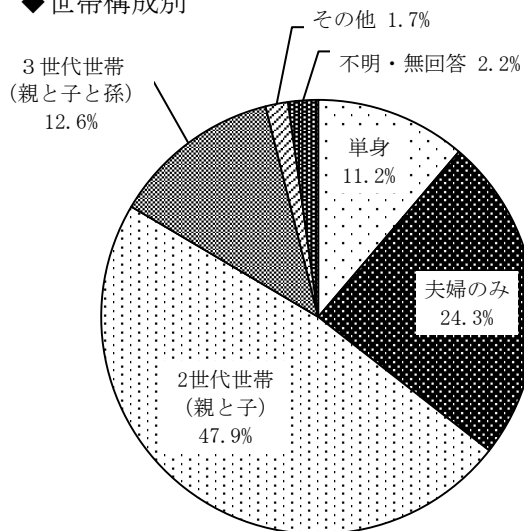
◆年齢別



◆職業別

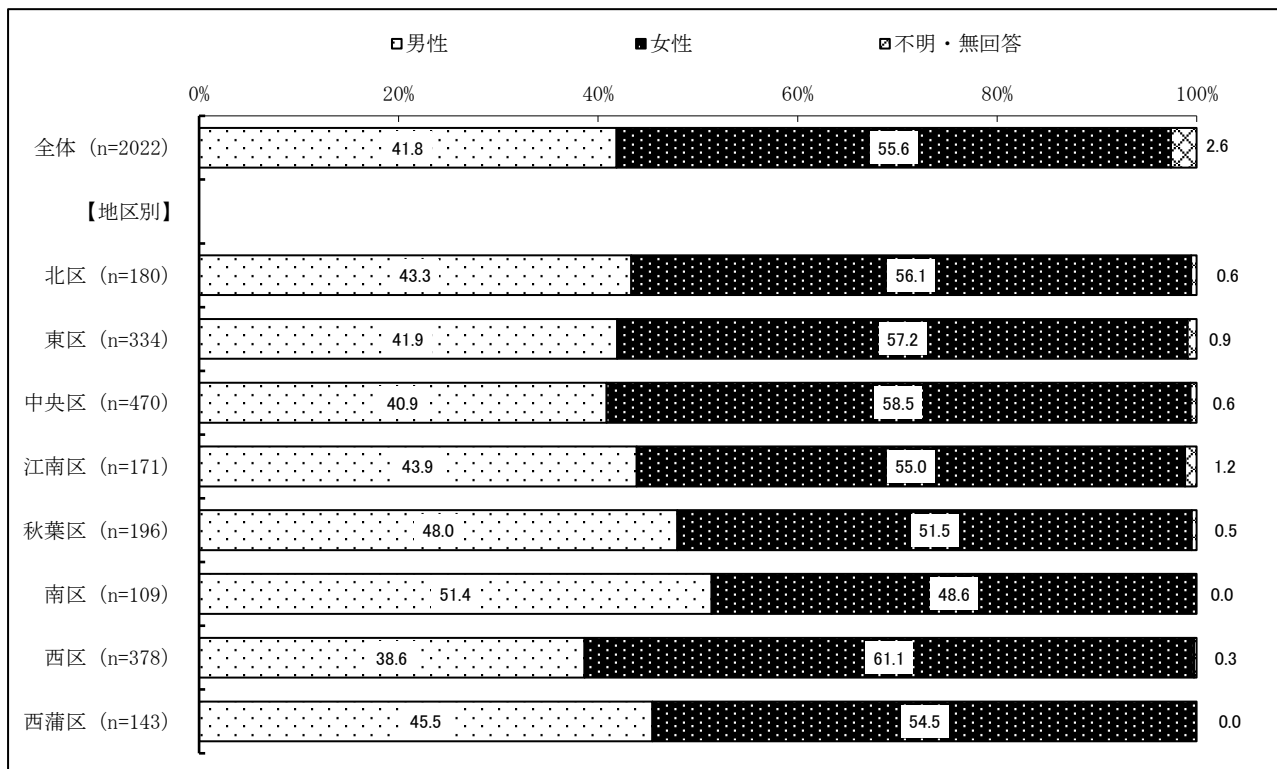


◆世帯構成別

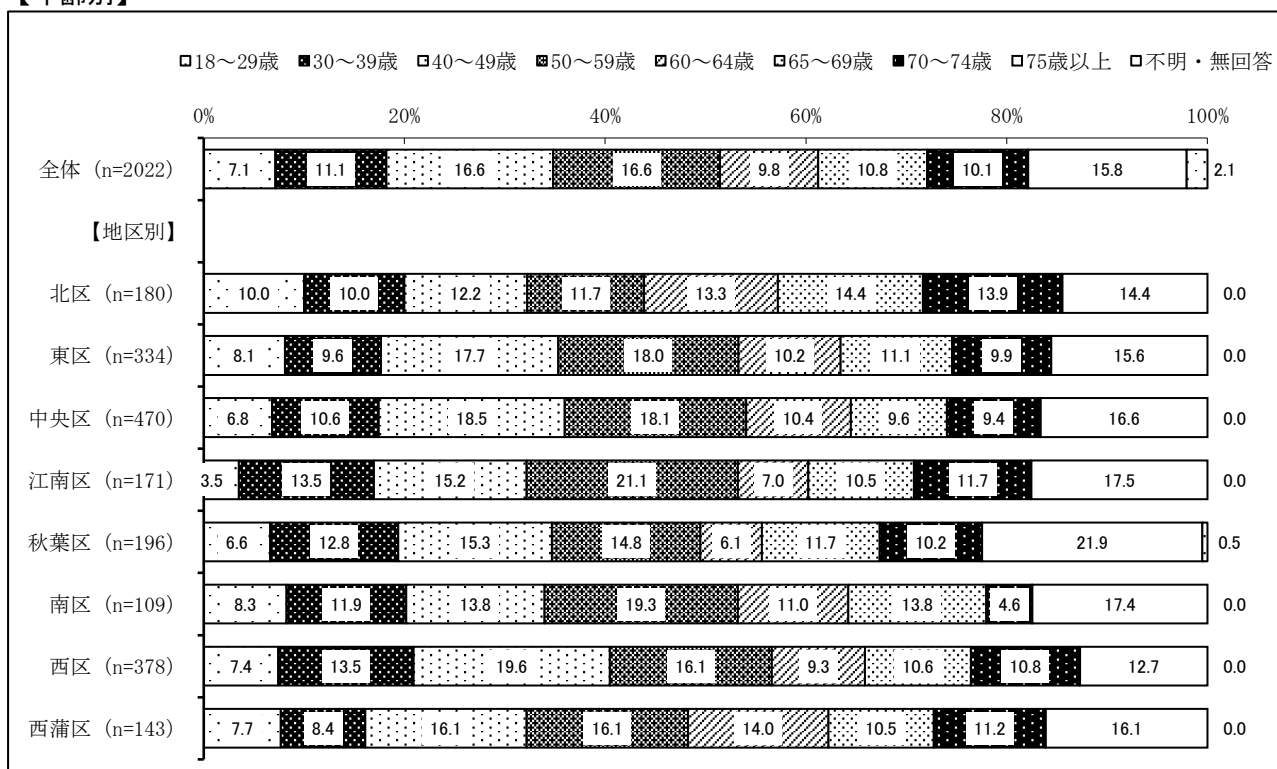


8. 回答者の特性（地区別集計）

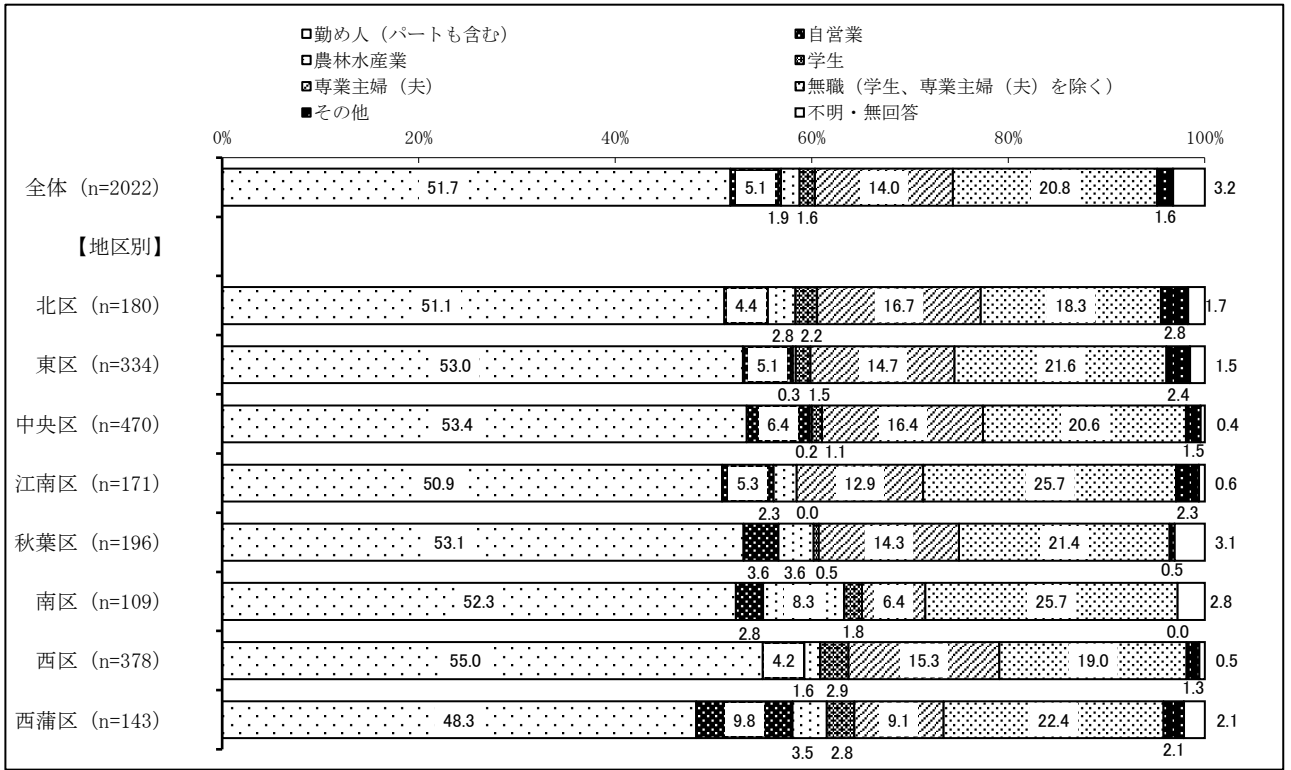
【性別】



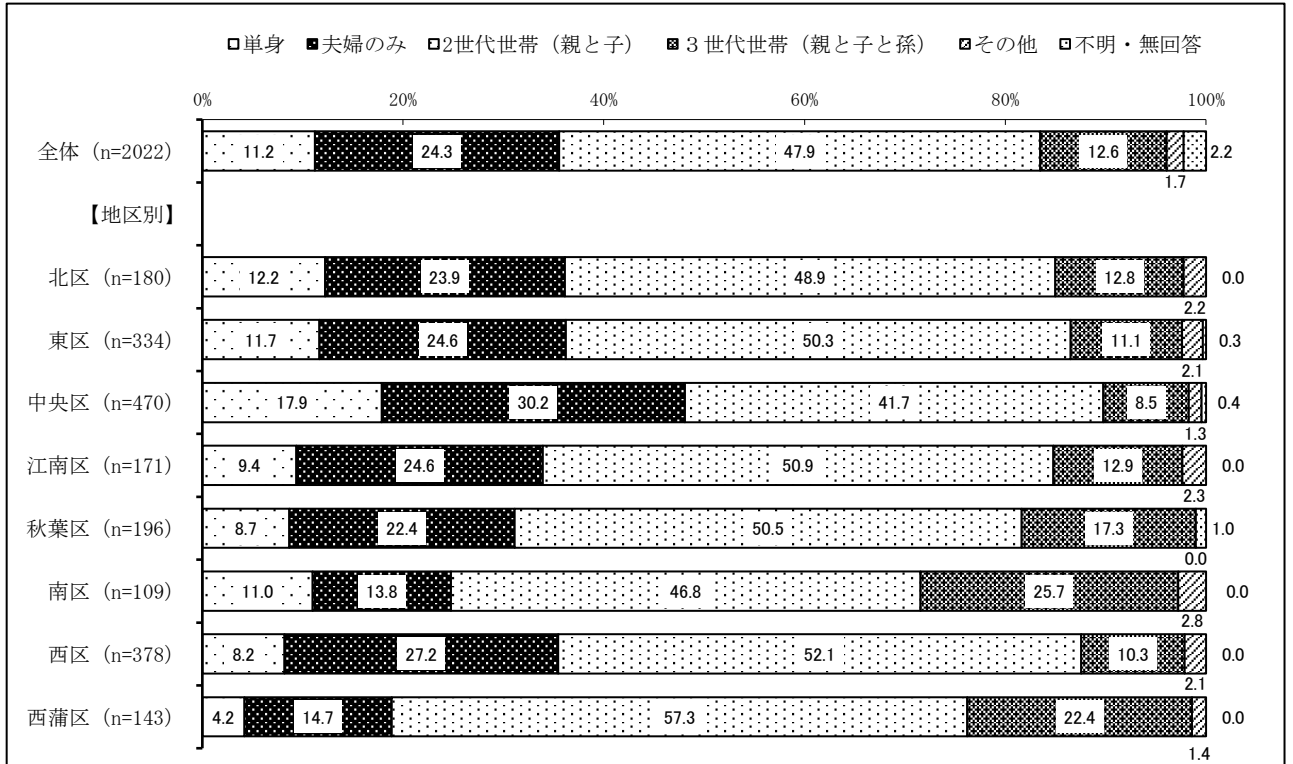
【年齢別】



【職業別】



【世帯構成別】

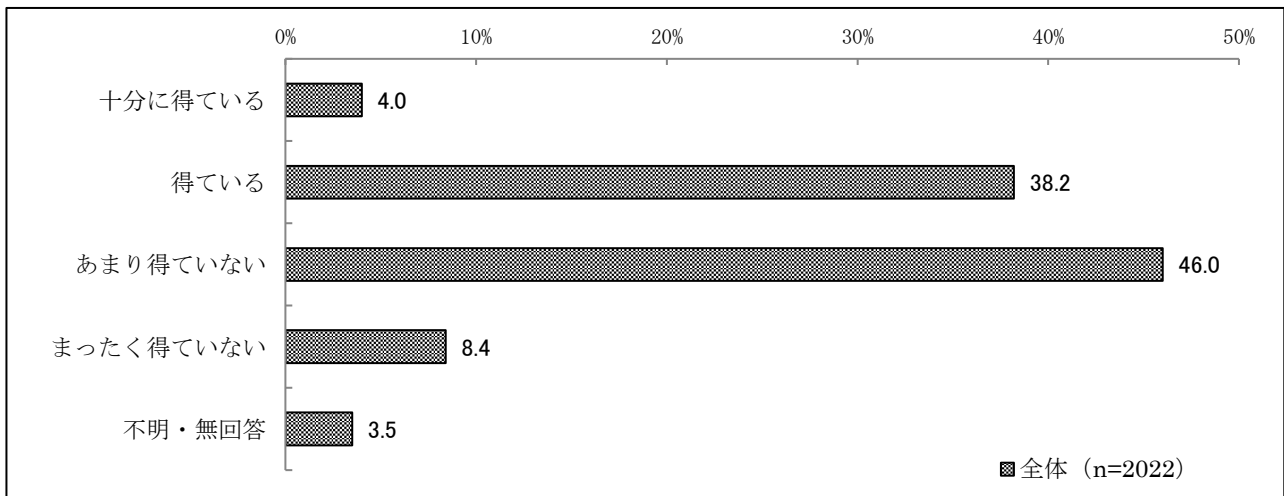


II 調查結果

1. 市政情報の入手方法について

(1) 市政情報の入手状況

問1 あなたは、新潟市の市政や暮らし、イベントなどに関する市政情報を十分に得ていますか。
(○は1つだけ)



— 『得ていない』(54.4%)が『得ている』(42.1%)を上回る —

【全体結果】

新潟市の市政情報について、「十分に得ている」(4.0%)は1割に満たなかった。「十分に得ている」と「得ている」(38.2%)を合わせた『得ている』と答えた割合は約4割(42.1%)。「あまり得ていない」(46.0%)と「まったく得ていない」(8.4%)を合わせた『得ていない』と答えた割合は5割を超えた(54.4%)。

【属性別結果】(図1-1参照)

① 地区別

『得ている』の割合は、秋葉区(46.4%)で最も高く、南区(35.8%)で最も低い。どの区でも『得ていない』が『得ている』を上回った。

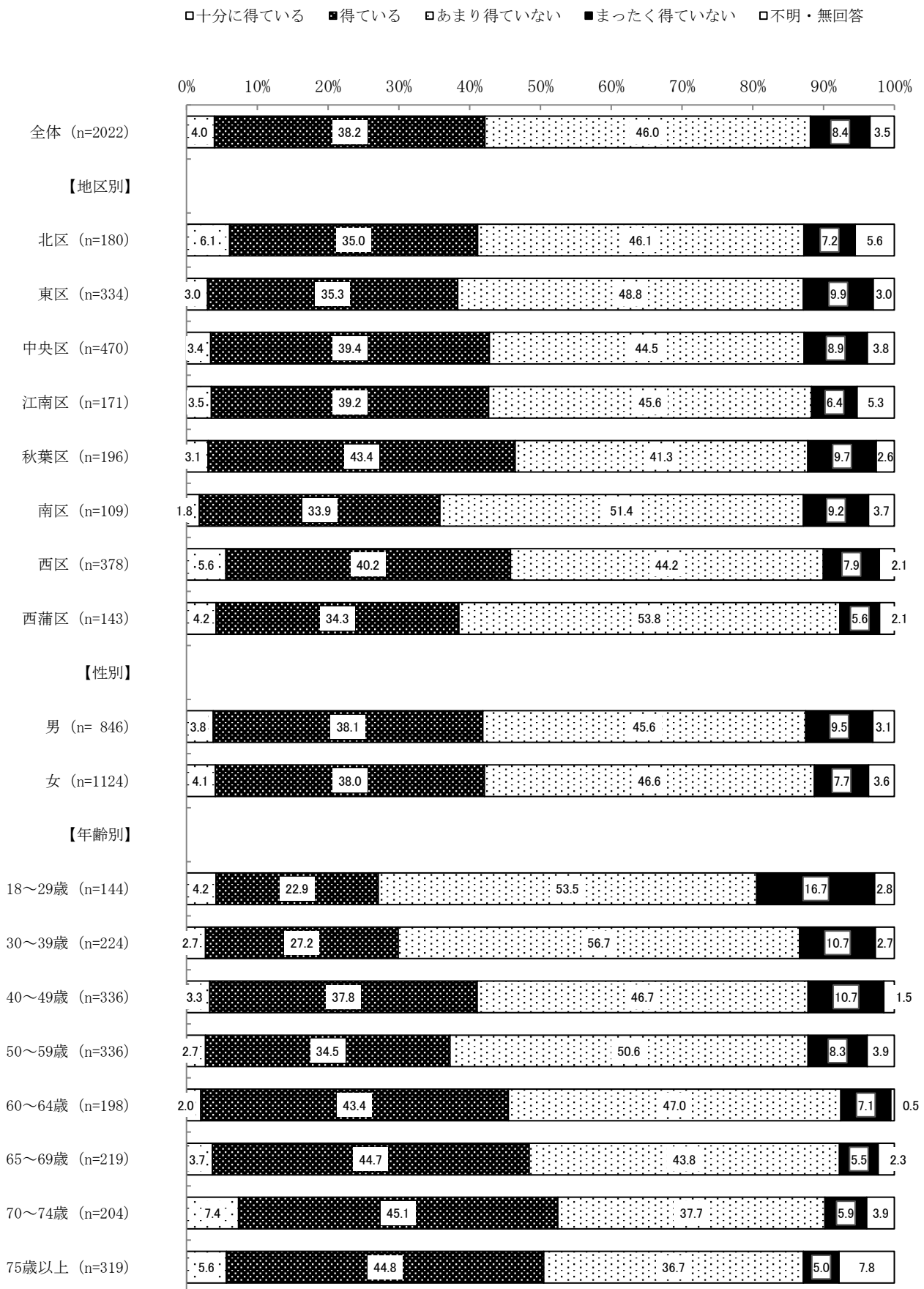
② 性別

『得ている』の割合は、男性(41.8%)と女性(42.1%)で、ほとんど差がない。

③ 年齢別

『得ている』の割合は、70~74歳(52.5%)で最も高かった。75歳以上(50.5%)でも高く5割を超えた。18~29歳(27.1%)が最も低かった。30~39歳(29.9%)でも低く3割を下回った。

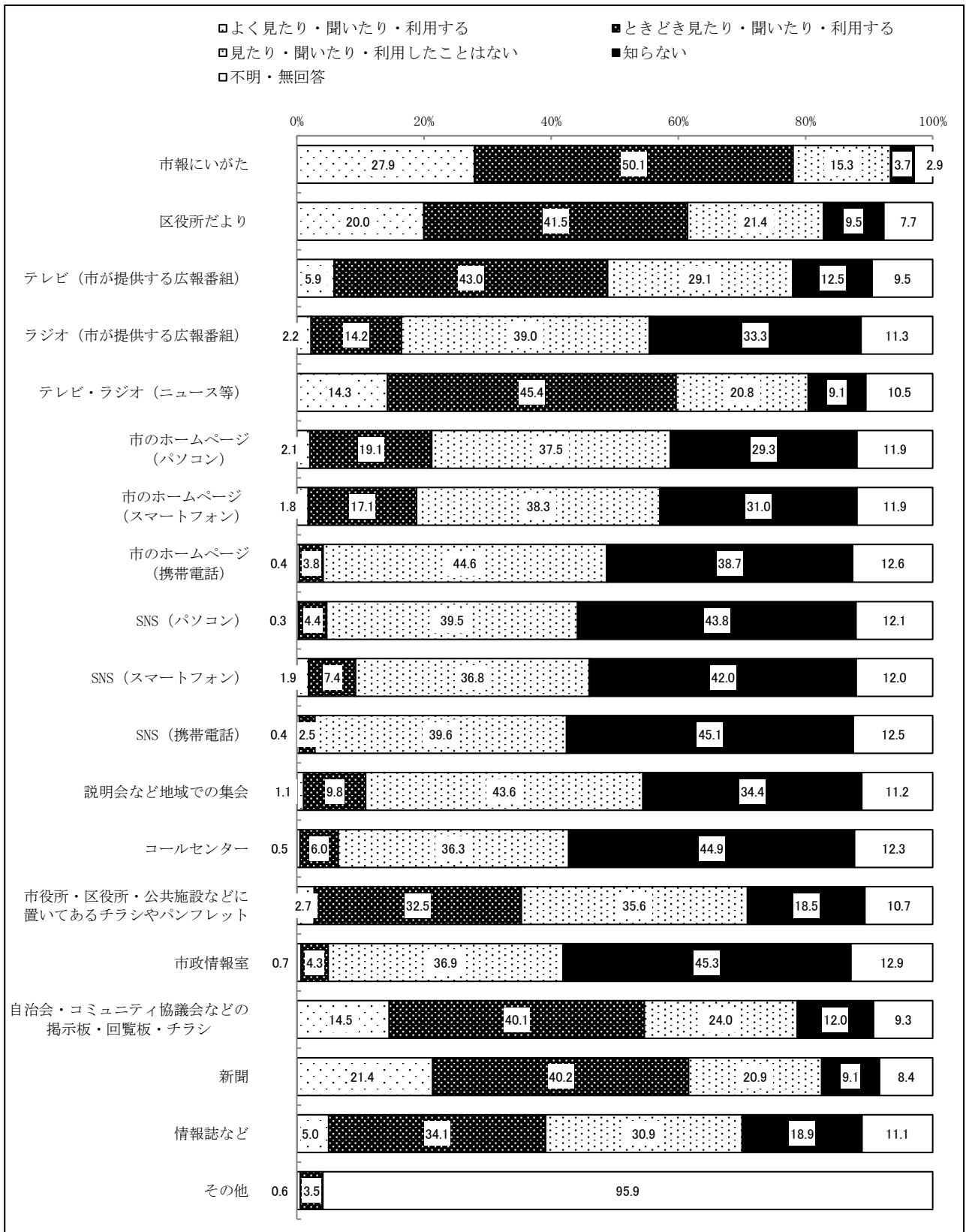
図 1-1 市政情報の入手状況（地区別/性別/年齢別）



(2) 市政情報の入手先

(問1で「1」「2」「3」(十分に得ている、得ている、あまり得ていない)と答えた方のみ。)

問2 あなたは、新潟市が発信する市政情報を何から入手していますか。それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。



— 約 8 割が「市報にいがた」から情報を入手している —

【全体結果】

「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、「市報にいがた」(78.1%)で最も高く、約 8 割となった。次いで「新聞」(61.6%)、「区役所だより」(61.4%)、「テレビ・ラジオ (ニュース等)」(59.7%)、「自治会・コミュニティ協議会などの掲示板・回覧板・チラシ」(54.7%)、「テレビ (市が提供する広報番組)」(48.9%)、「情報誌など」(39.1%)の順に続く。

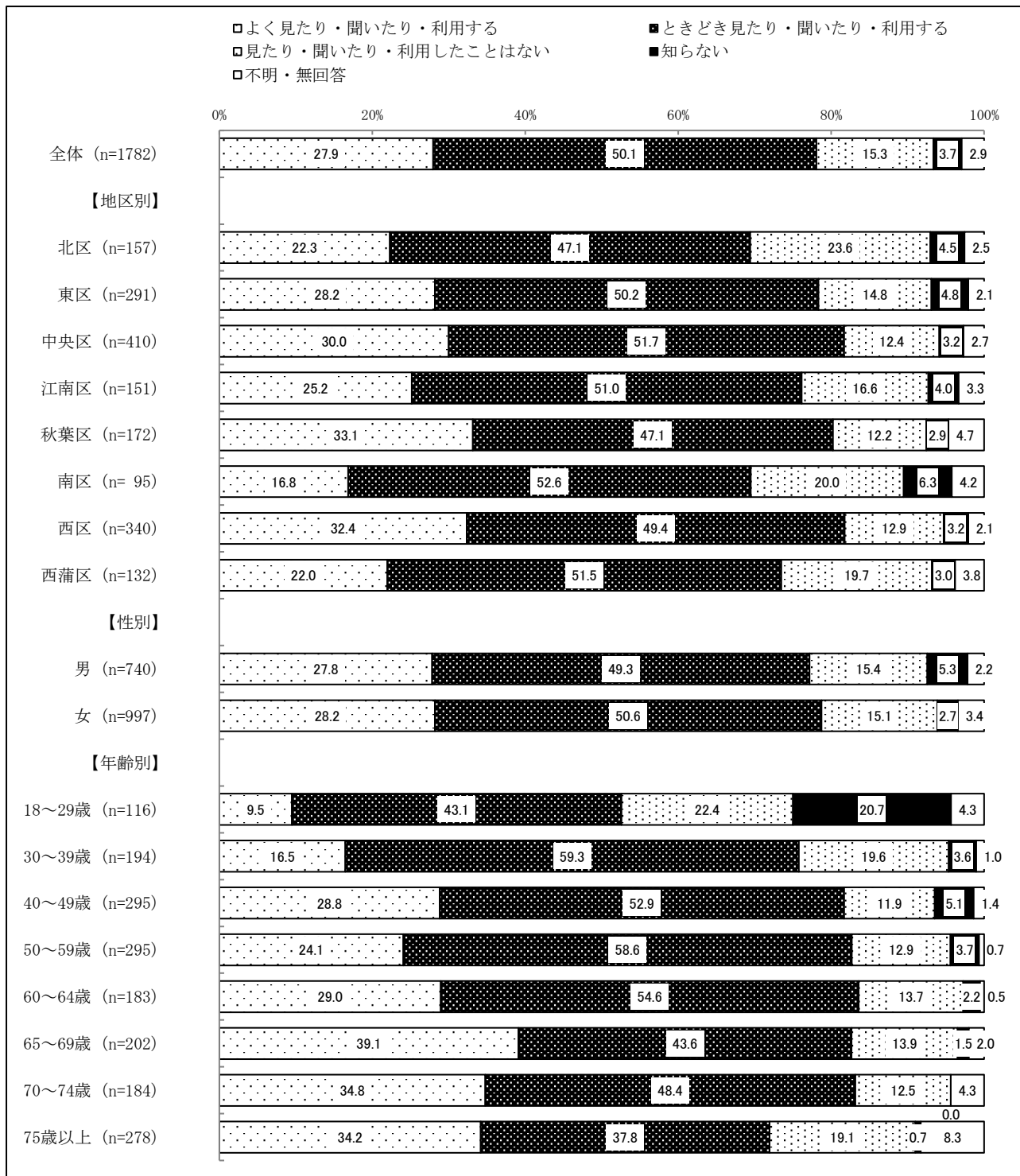
「見たり・聞いたり・利用したことはない」と答えた割合は、「市のホームページ(携帯電話)」(44.6%)で最も高く、以下、「説明会など地域での集会」(43.6%)、「SNS (携帯電話)」(39.6%)、「SNS (パソコン)」(39.5%)、「ラジオ (市が提供する広報番組)」(39.0%)の順に割合が高い。

「知らない」と答えた割合は、「市政情報室」(45.3%)、「SNS (携帯電話)」(45.1%)、「コールセンター」(44.9%)、「SNS (パソコン)」(43.8%)、「SNS (スマートフォン)」(42.0%)の順に高かった。

【属性別結果】

次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

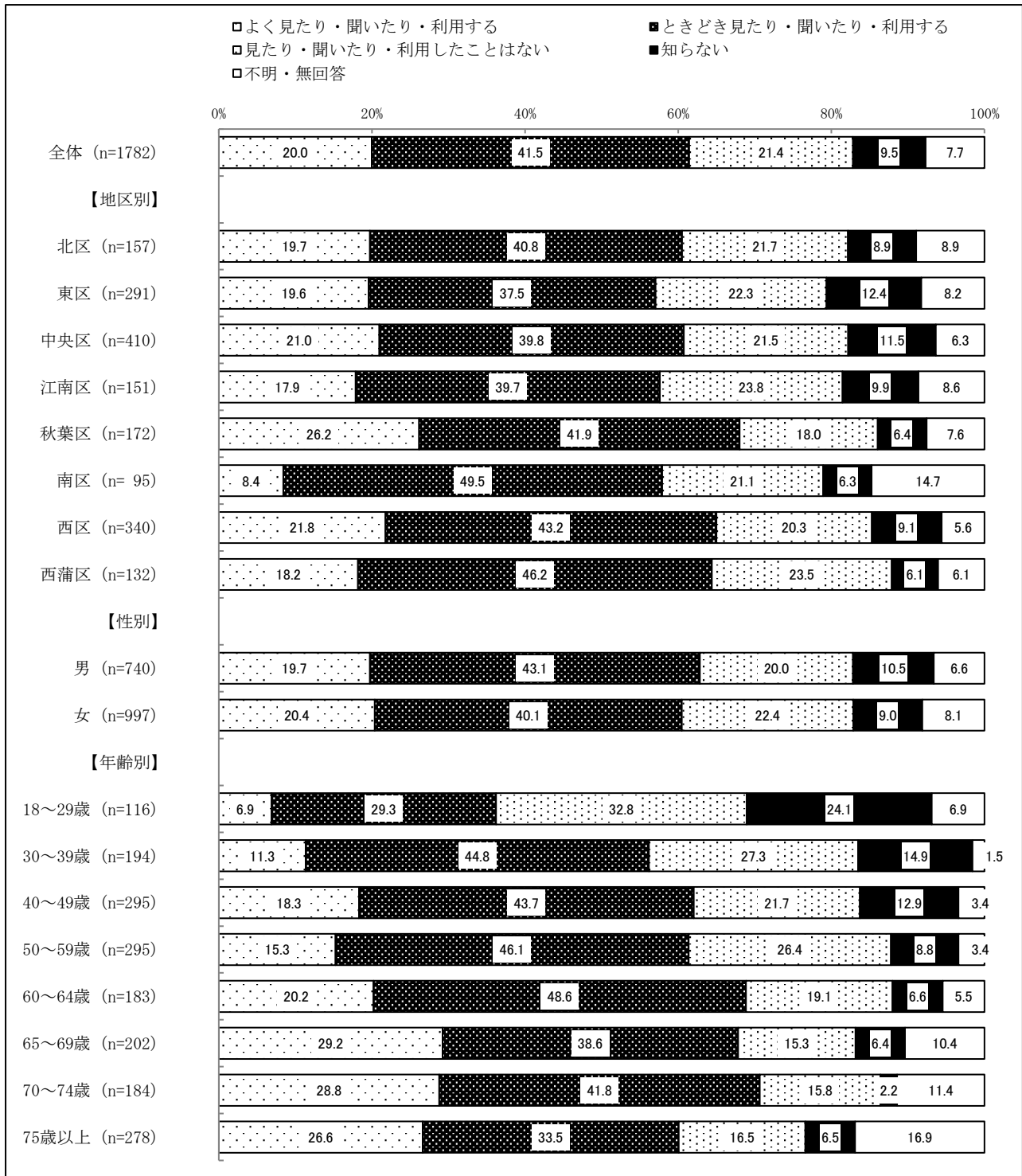
①市報にいがた



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では西区 (81.8%)、中央区 (81.7%)、秋葉区 (80.2%) でやや高い。性別では、男性 (77.2%) と比べて女性 (78.7%) で割合がやや高い。年齢別では、60～64歳 (83.6%) で最も高い。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では、北区 (28.0%)、南区 (26.3%)、西蒲区 (22.7%) でやや高い。年齢別では18～29歳 (43.1%) で最も高い。

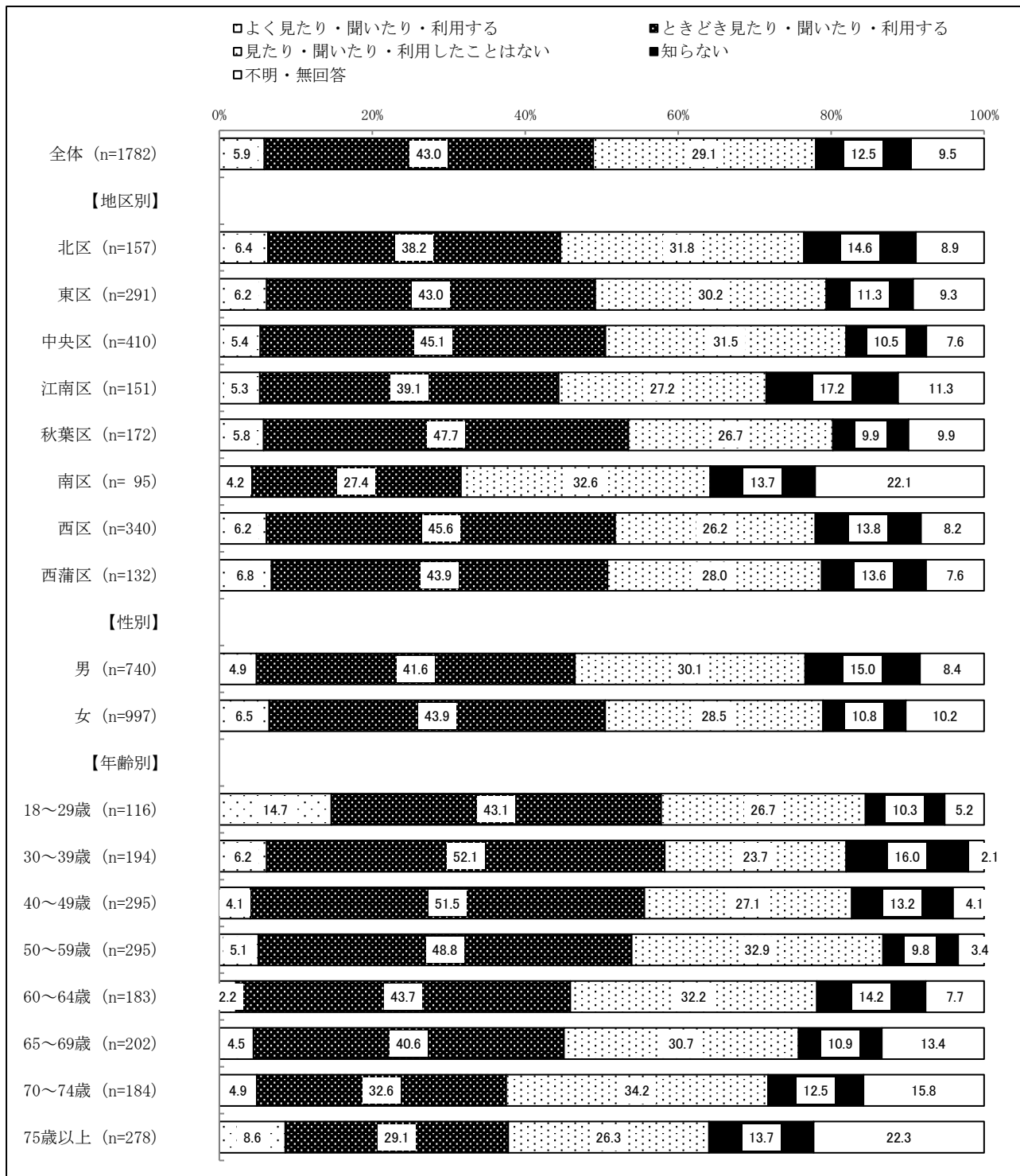
②区役所だより



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では秋葉区 (68.0%)、西区 (65.0%)、西蒲区 (64.4%) でやや高い。性別では、女性 (60.5%) と比べて男性 (62.8%) で割合がやや高い。年齢別では、70～74歳 (70.7%) で最も高い。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では、東区 (34.7%)、江南区 (33.8%)、中央区 (32.9%) でやや高い。年齢別では18～29歳 (56.9%) で最も高い。

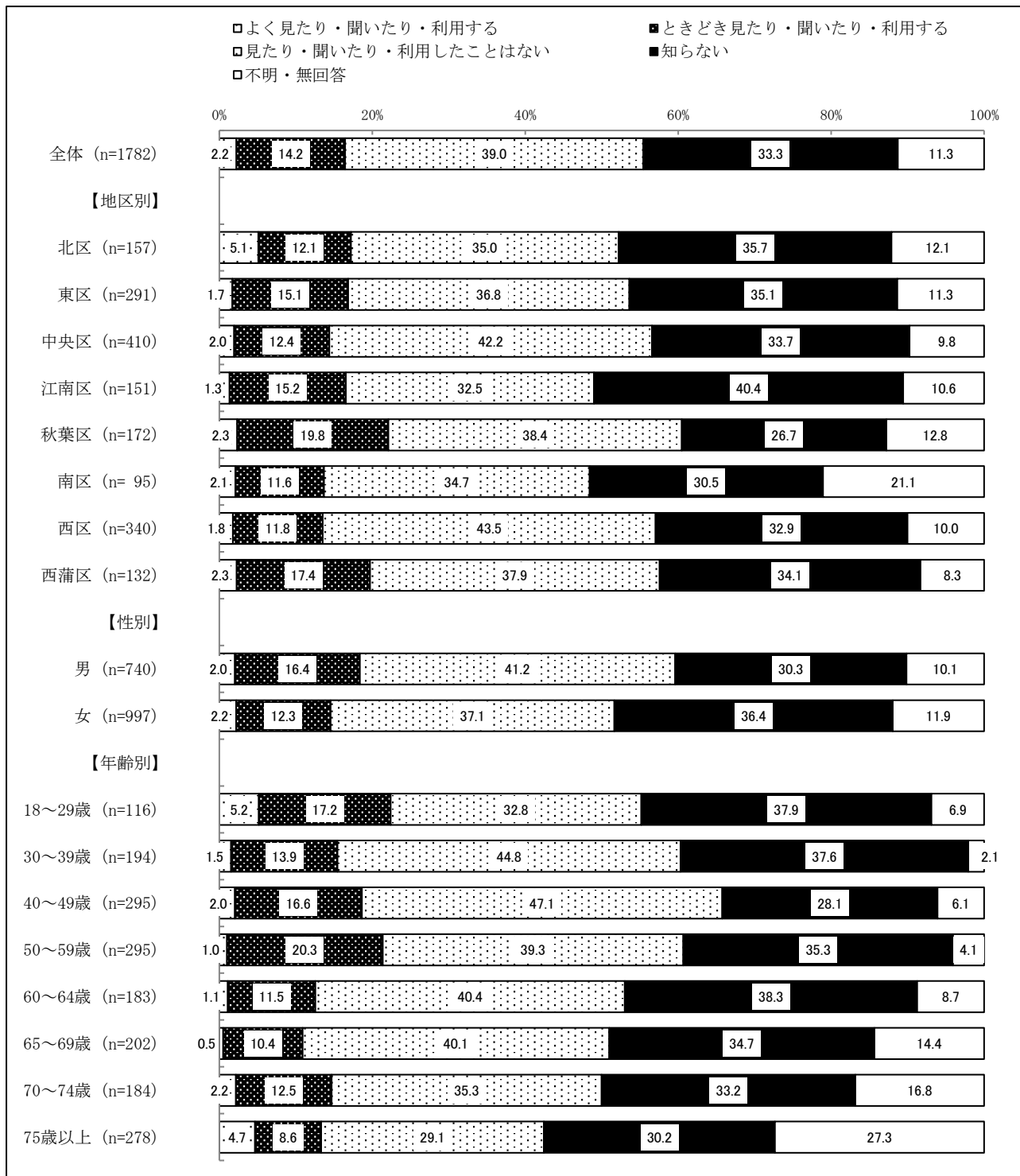
③テレビ（市が提供する広報番組）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（53.5%）で最も高い。性別では、男性（46.5%）と比べて女性（50.5%）で割合がやや高い。年齢別では、30～39歳（58.2%）で最も高い。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では、北区（46.5%）、南区（46.3%）、江南区（44.4%）で高い。年齢別では70～74歳（46.7%）で最も高い。

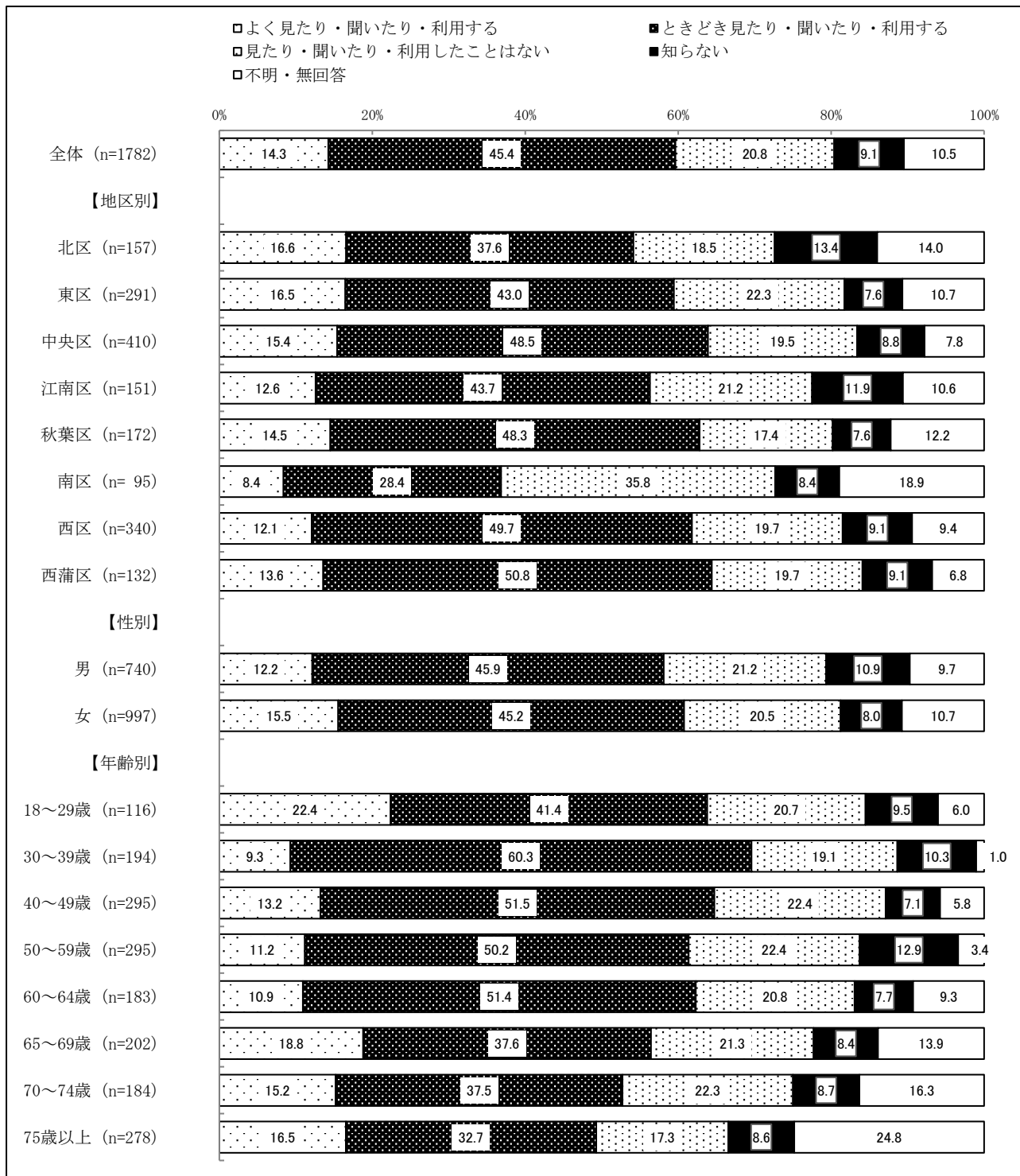
④ラジオ（市が提供する広報番組）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（22.1%）、西蒲区（19.7%）でやや高い。性別では、女性（14.5%）と比べて男性（18.4%）で割合がやや高い。年齢別では、18～29歳（22.4%）で最も高い。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では、西区（76.5%）、中央区（75.9%）でやや高い。年齢別では30～39歳（82.5%）で最も高い。

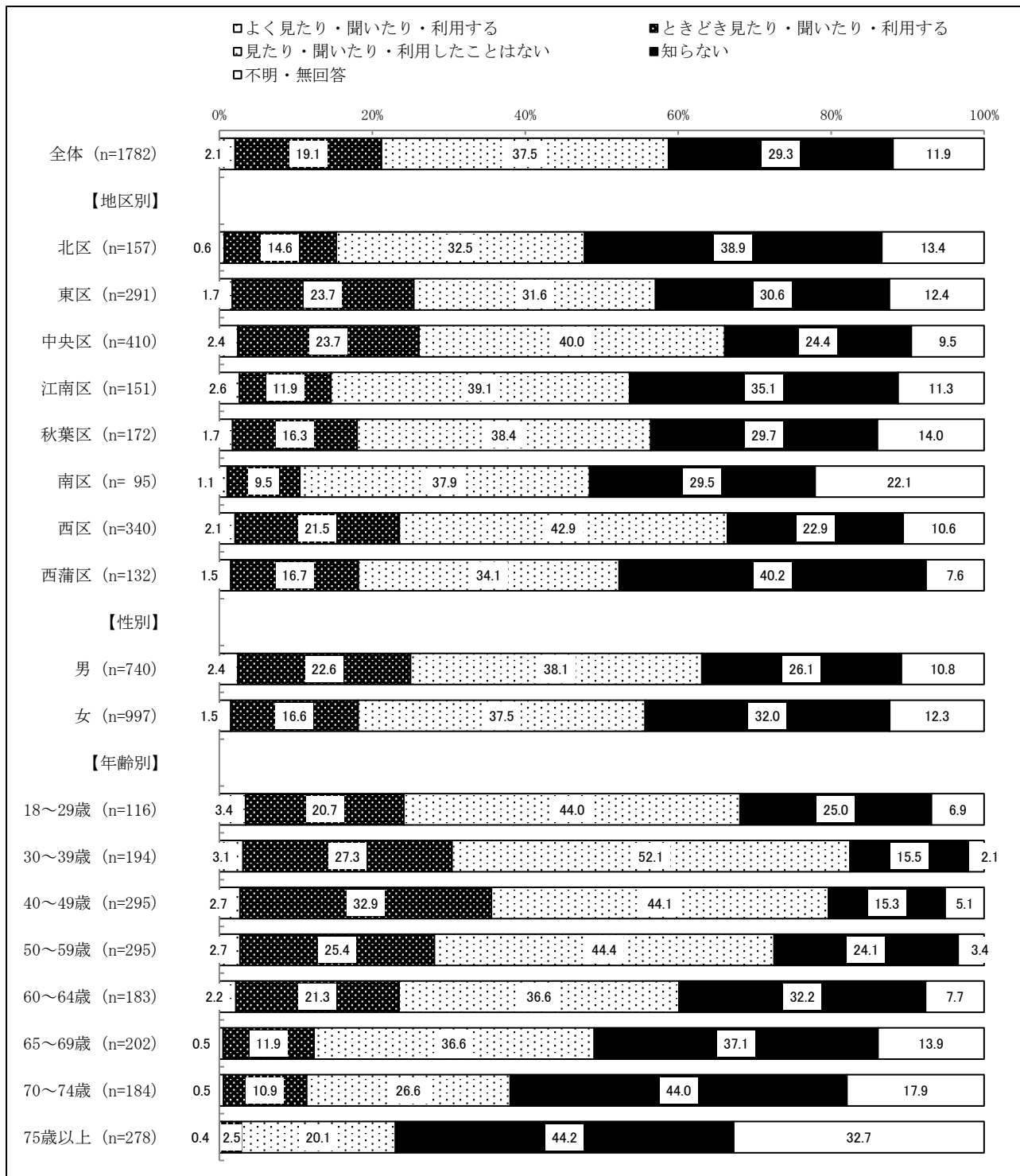
⑤テレビ・ラジオ（ニュース等）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（64.4%）、中央区（63.9%）、秋葉区（62.8%）、西区（61.8%）でやや高い。性別では、男性（58.1%）と比べて女性（60.8%）で割合がやや高い。年齢別では、30～39歳（69.6%）で最も高い。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では、南区（44.2%）で高い。年齢別では50～59歳（35.3%）で最も高い。

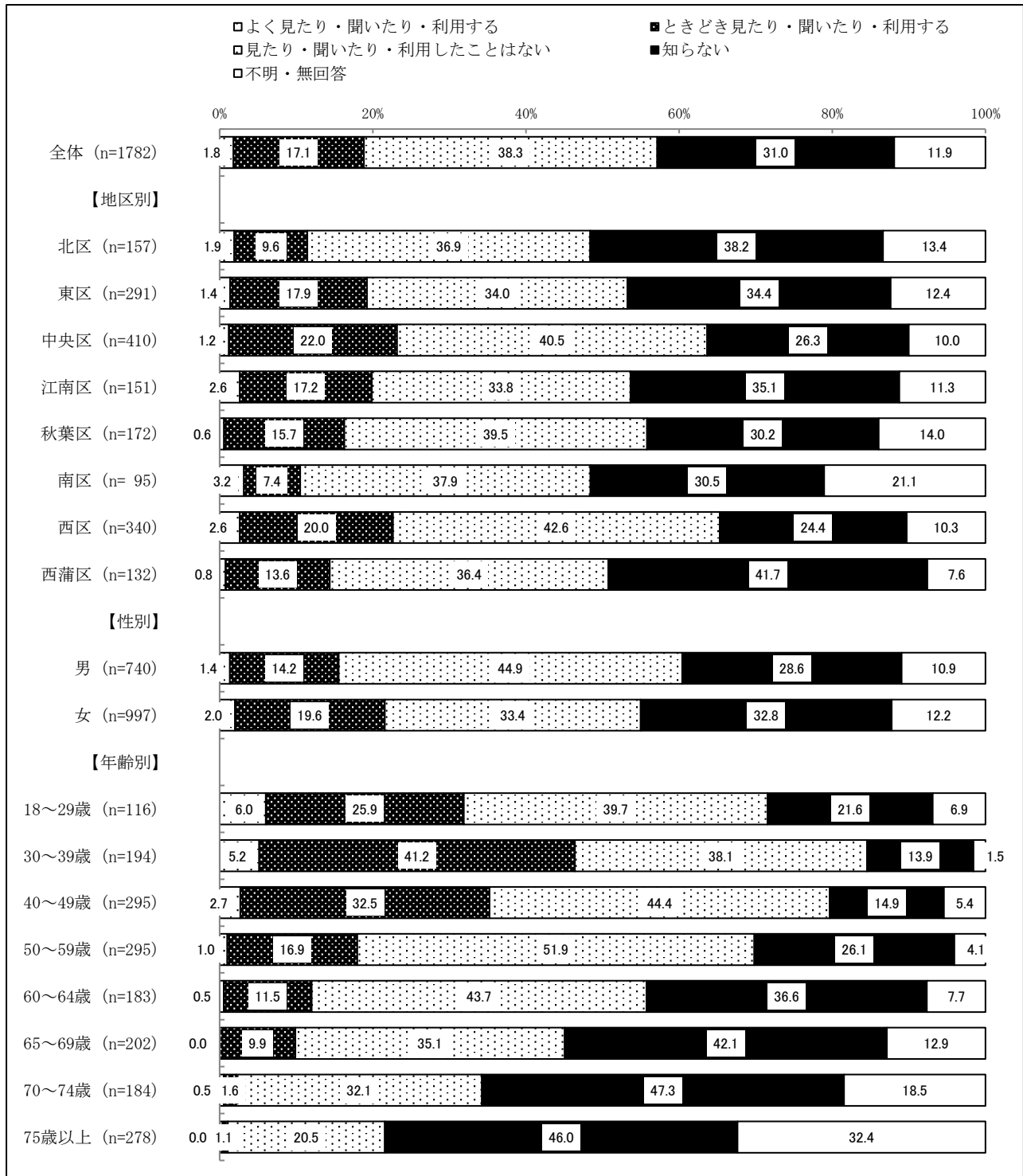
⑥市のホームページ（パソコン）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では中央区（26.1%）、東区（25.4%）、西区（23.5%）で高い。性別では、女性（18.2%）と比べて男性（25.0%）で割合が高い。年齢別では、40～49歳（35.6%）で最も高い。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では、江南区と西蒲区（いずれも74.2%）でやや高い。年齢別では65～69歳（73.8%）で最も高い。

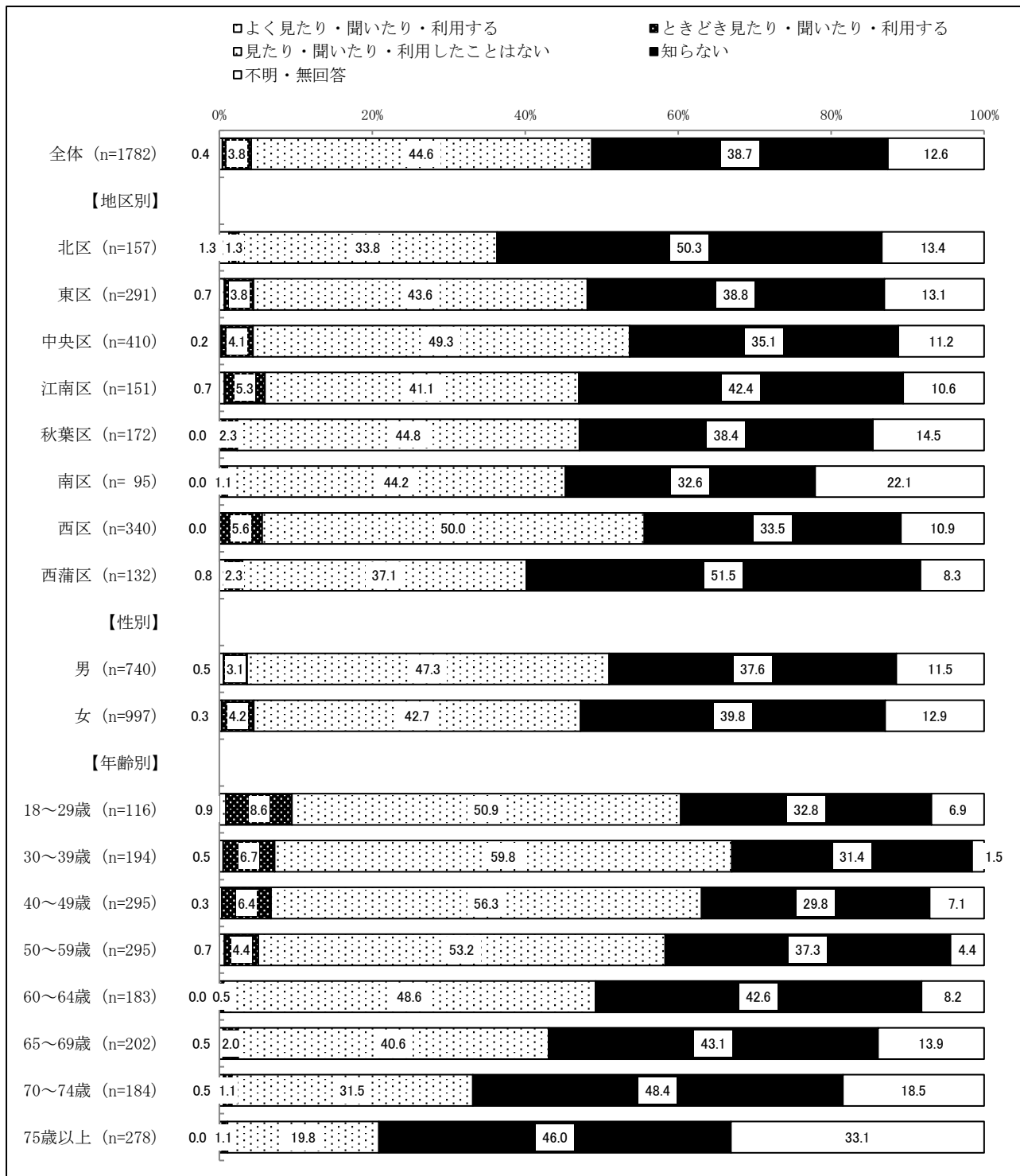
⑦市のホームページ（スマートフォン）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では、中央区（23.2%）、西区（22.6%）でやや高い。性別では、男性（15.5%）と比べて女性（21.6%）で割合がやや高い。年齢別では、30～39歳（46.4%）で最も高い。49歳以下では3割を超えた。

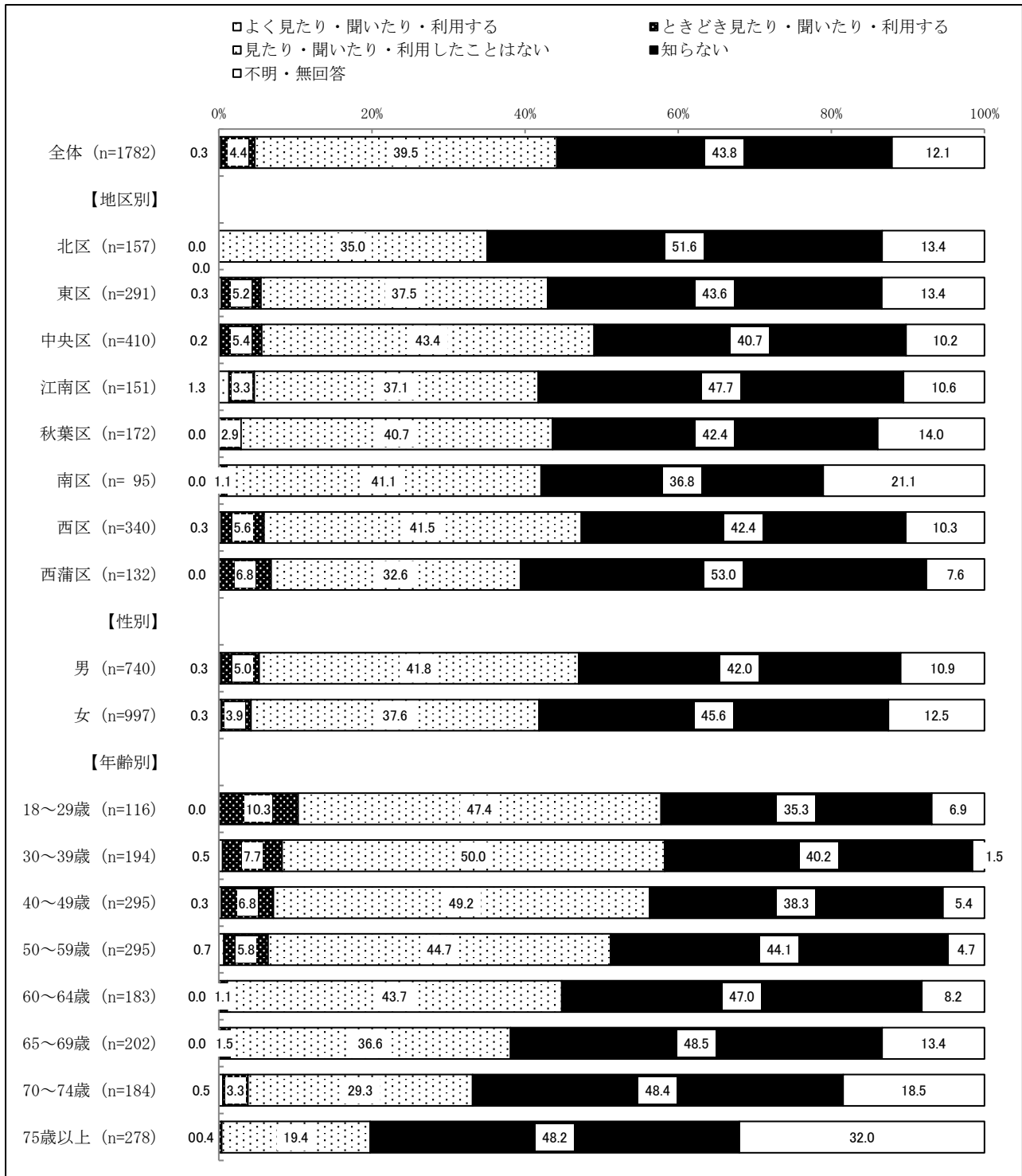
「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（78.0%）、北区（75.2%）で高い。年齢別では60～64歳（80.3%）で最も高い。

⑧市のホームページ（携帯電話）



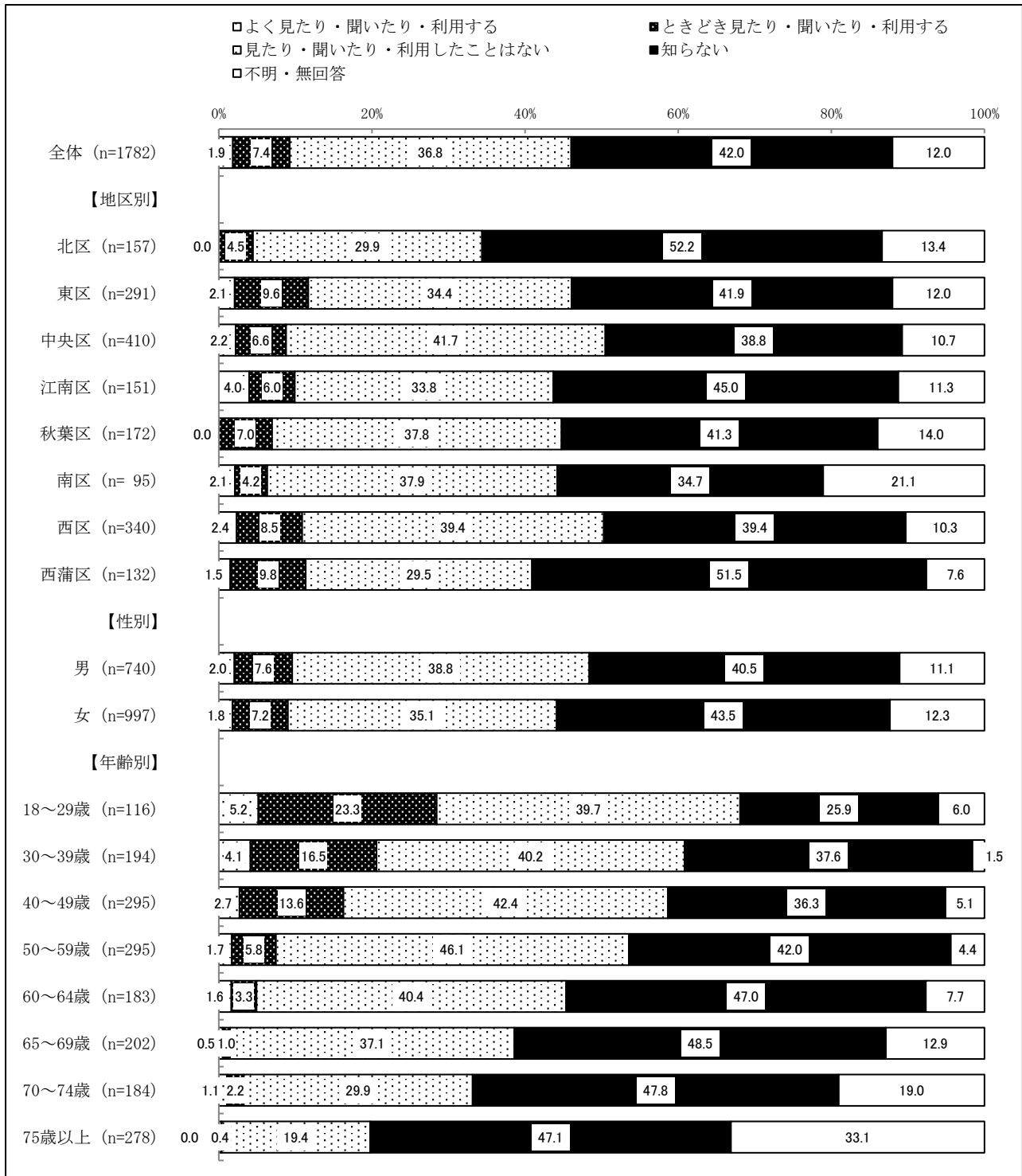
「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別、性別、年齢別のいずれでも、1割に満たない。

⑨SNS（パソコン）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、18～29歳（10.3%）のみ1割を超えたが、他の属性では、1割に満たない。

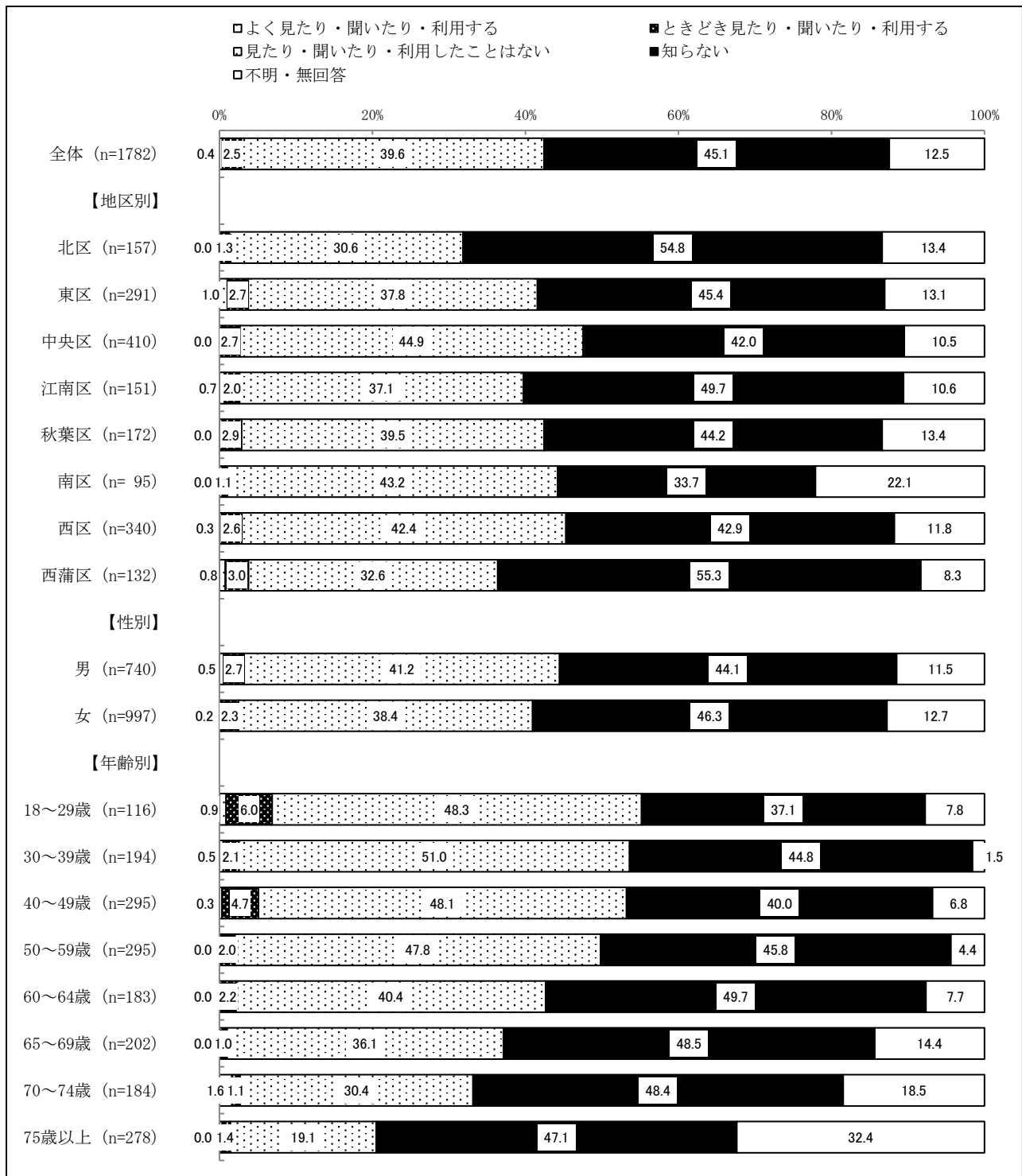
⑩SNS（スマートフォン）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では東区（11.7%）、西蒲区（11.4%）、西区（10.9%）でやや高い。性別では、女性（9.0%）と比べて男性（9.6%）で割合がやや高い。年齢別では、18～29歳（28.4%）で最も高く、若年層ほど高い傾向がみられる。

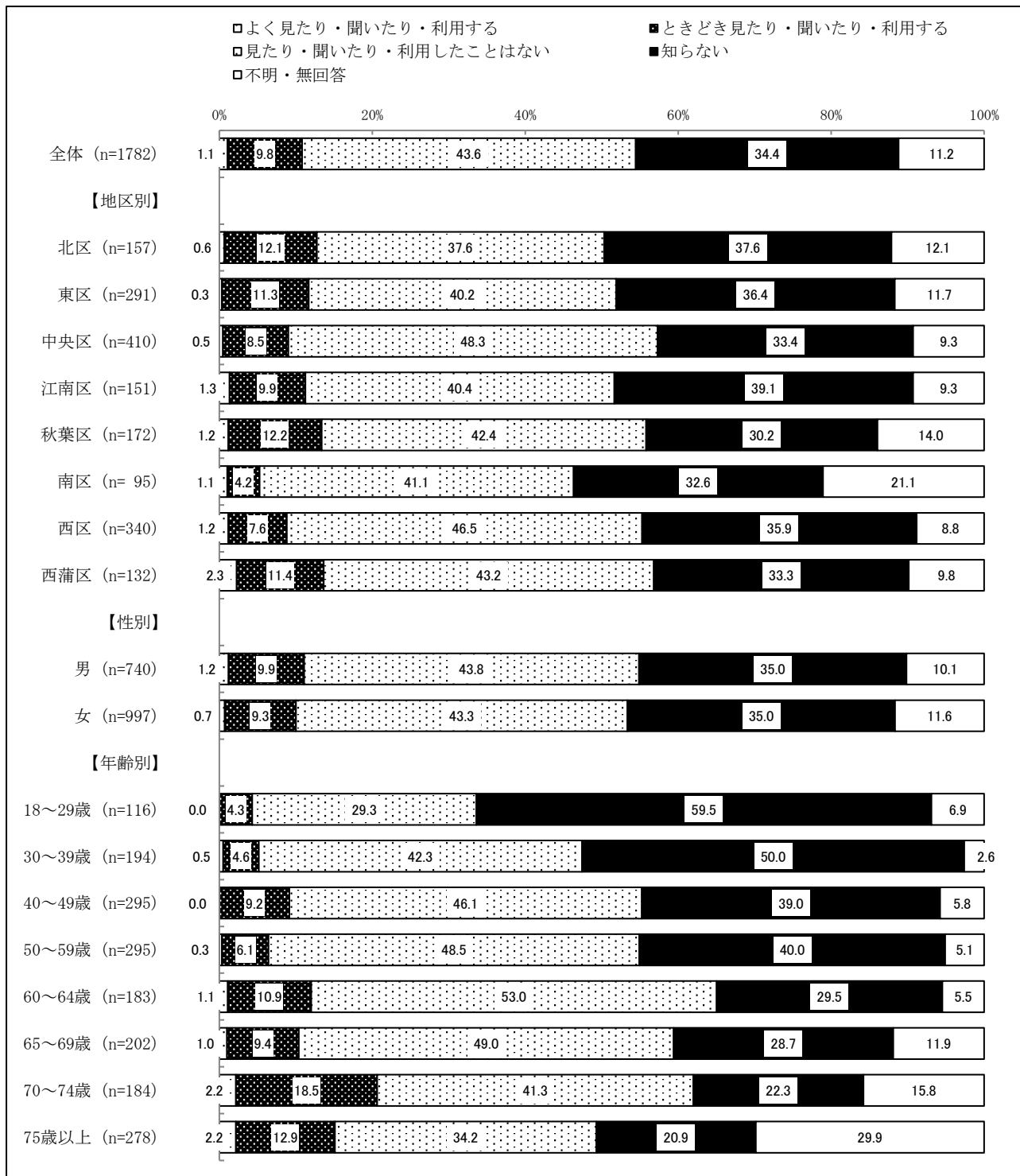
「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では、北区（82.2%）、西蒲区（81.1%）でやや高い。年齢別では50～59歳（88.1%）で最も高い。

⑪SNS（携帯電話）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別、性別、年齢別のいずれでも、1割に満たない。

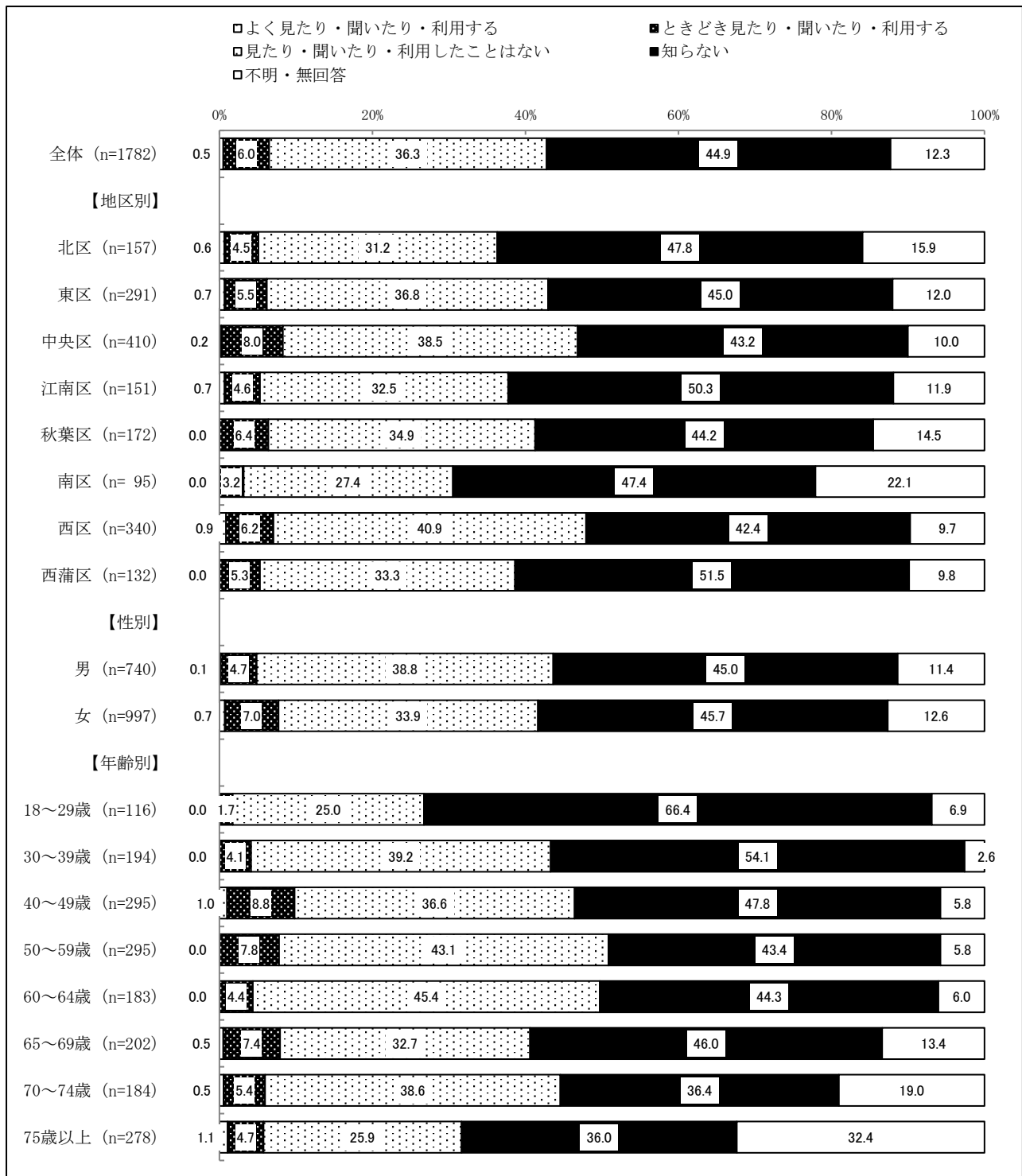
⑫説明会など地域での集会



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では西蒲区 (13.6%)、秋葉区 (13.4%)、北区 (12.7%) でやや高い。性別では、女性 (10.0%) と比べて男性 (11.1%) で割合がやや高い。年齢別では、70～74歳 (20.7%) で最も高い。

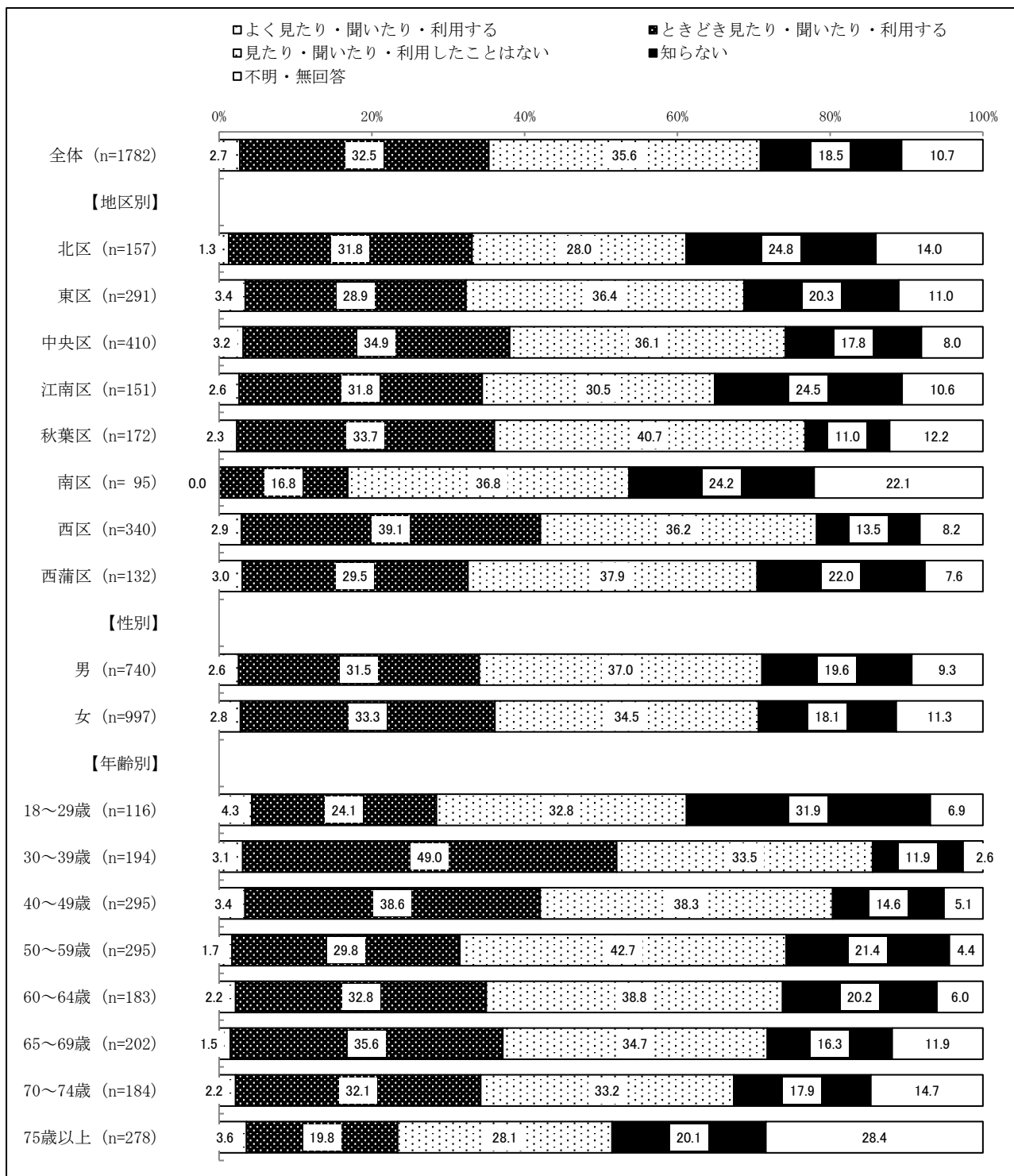
「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では、西区 (82.4%)、中央区 (81.7%) でやや高い。年齢別では30～39歳 (92.3%) で最も高い。

⑬コールセンター



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別、性別、年齢別のいずれでも、1割に満たない。

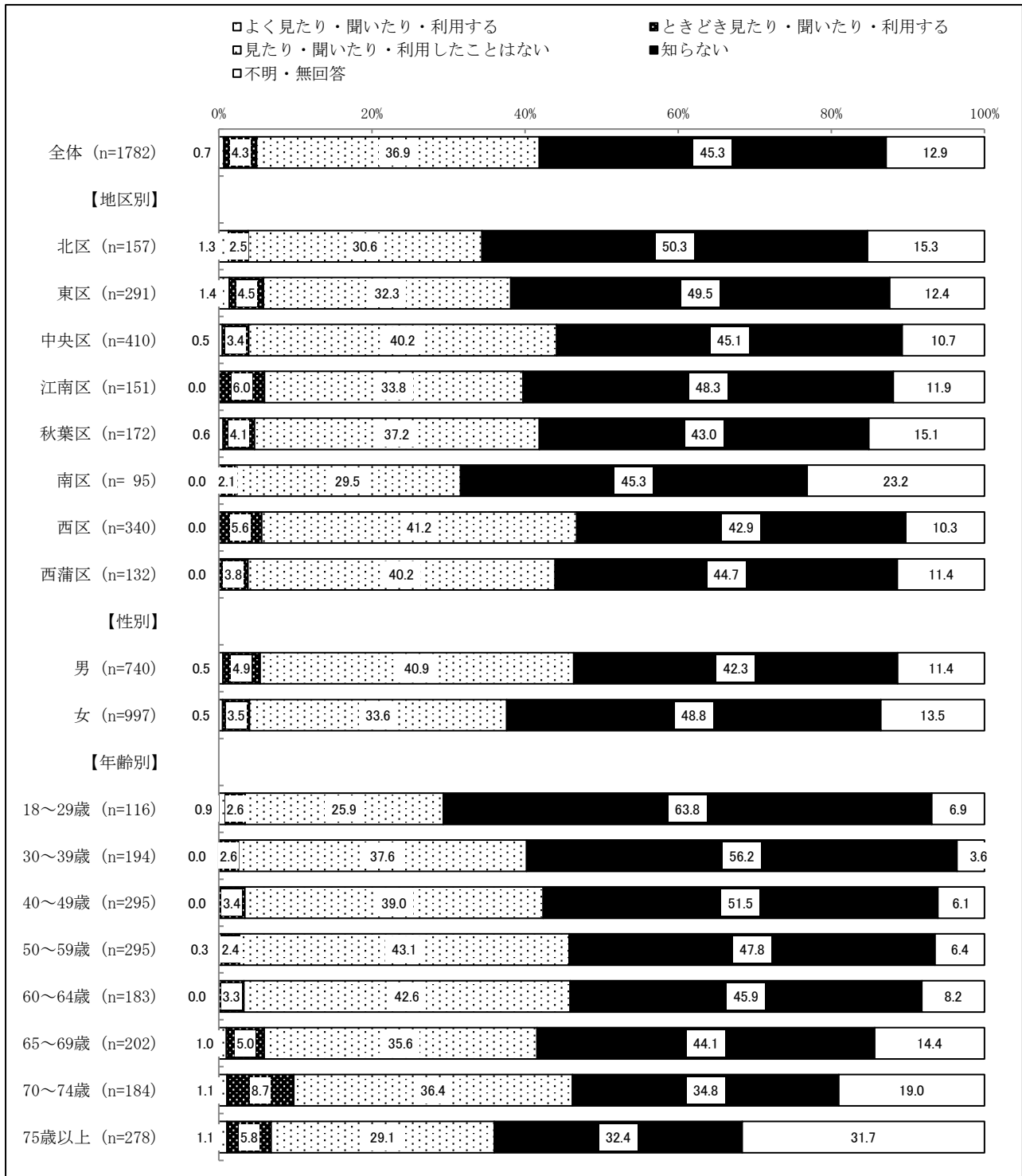
⑭市役所・区役所・公共施設などに置いてあるチラシやパンフレット



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では西区 (42.1%)、中央区 (38.0%)、秋葉区 (36.0%) でやや高い。性別では、男性 (34.1%) と比べて女性 (36.1%) で割合がやや高い。年齢別では、30～39歳 (52.1%) で最も高い。

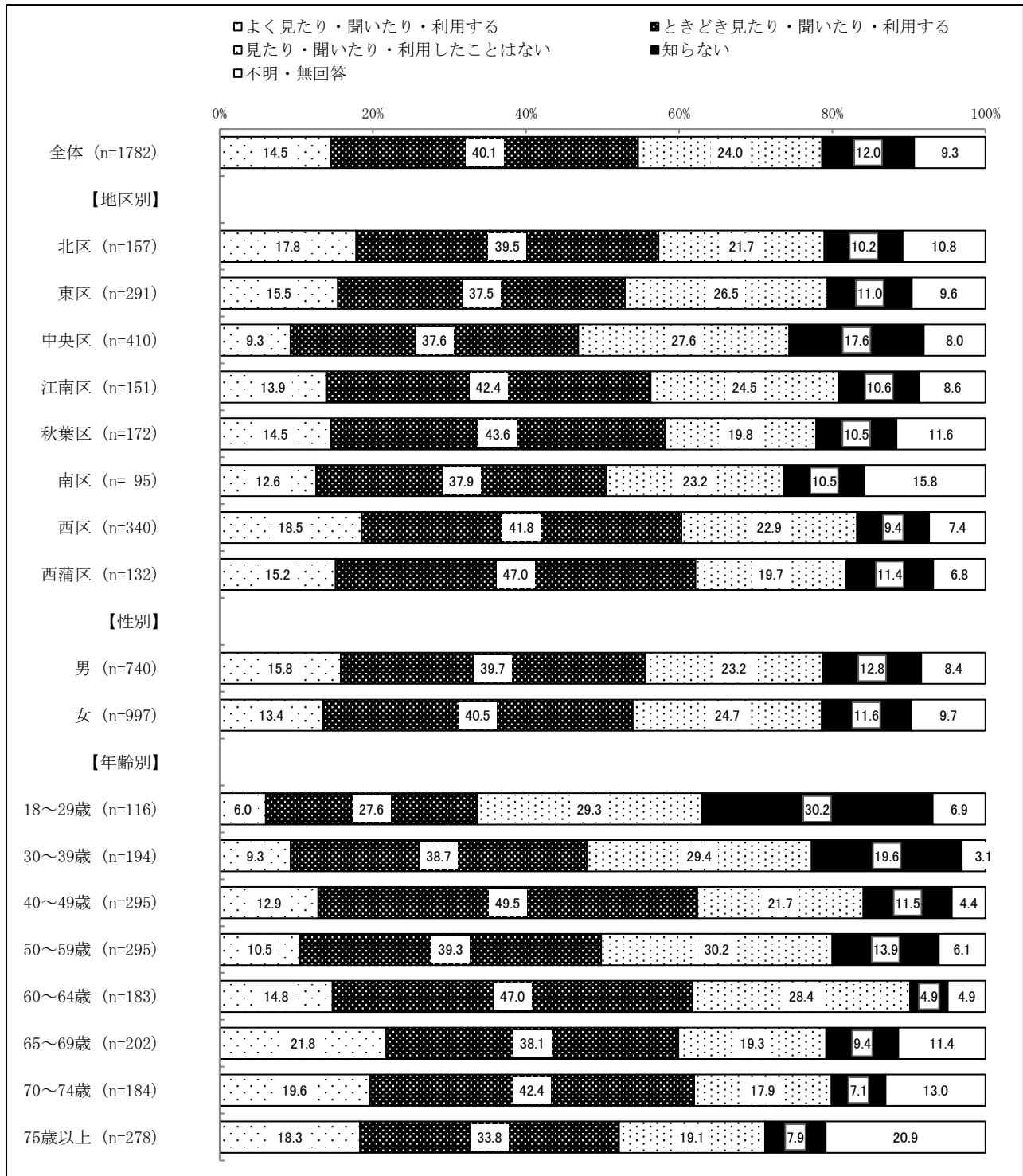
「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では、南区 (61.1%)、西蒲区 (59.8%) でやや高い。年齢別では18～29歳 (64.7%) で最も高い。

⑮ 市政情報室



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別、性別、年齢別のいずれでも、1割に満たない。

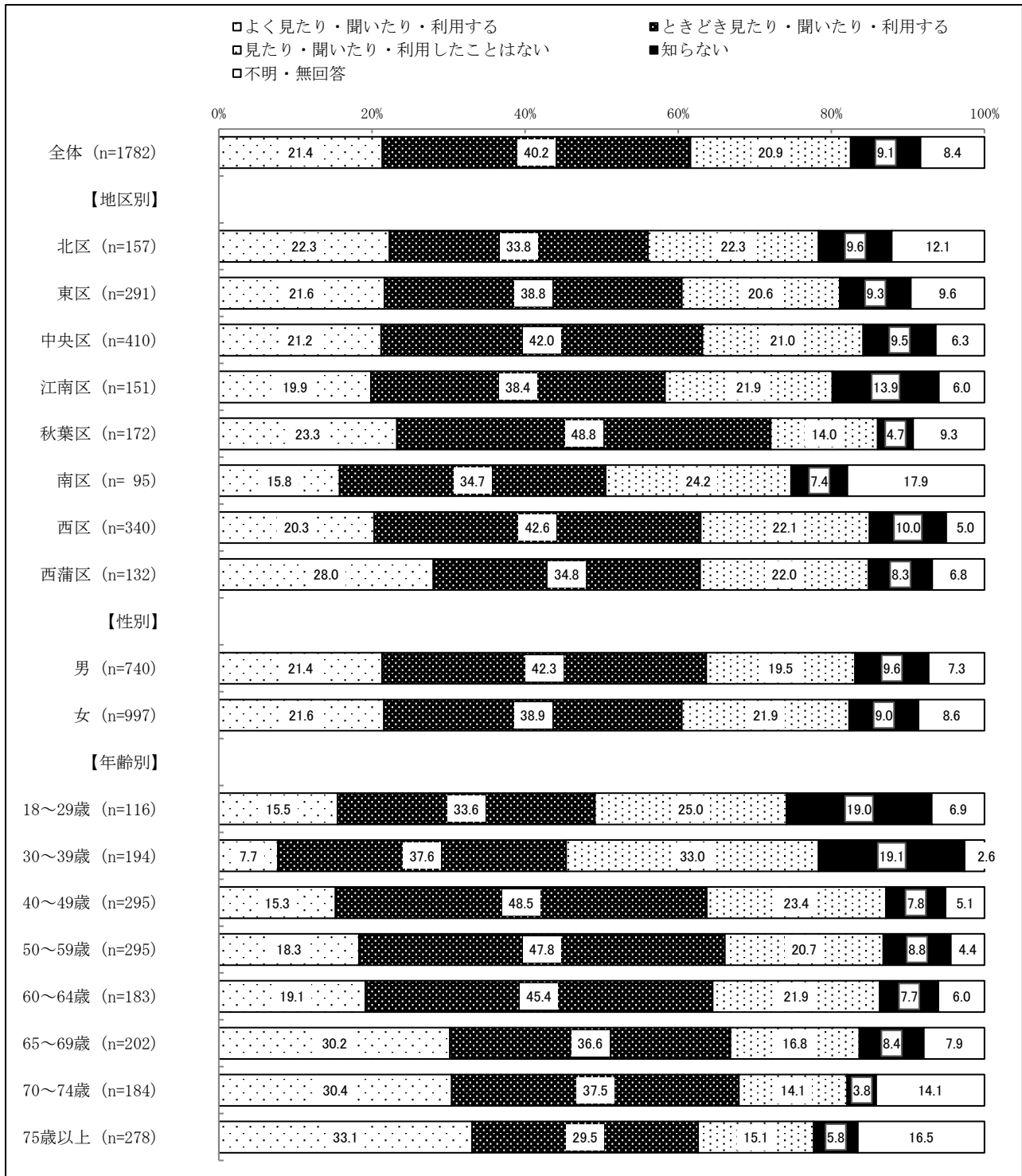
⑩自治会・コミュニティ協議会などの掲示板・回覧板・チラシ



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では西蒲区(62.1%)、西区(60.3%)でやや高い。性別では、女性(54.0%)と比べて男性(55.5%)で割合がやや高い。年齢別では、40～49歳(62.4%)で最も高い。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では、中央区(45.1%)で高い。年齢別では18～29歳(59.5%)で最も高い。

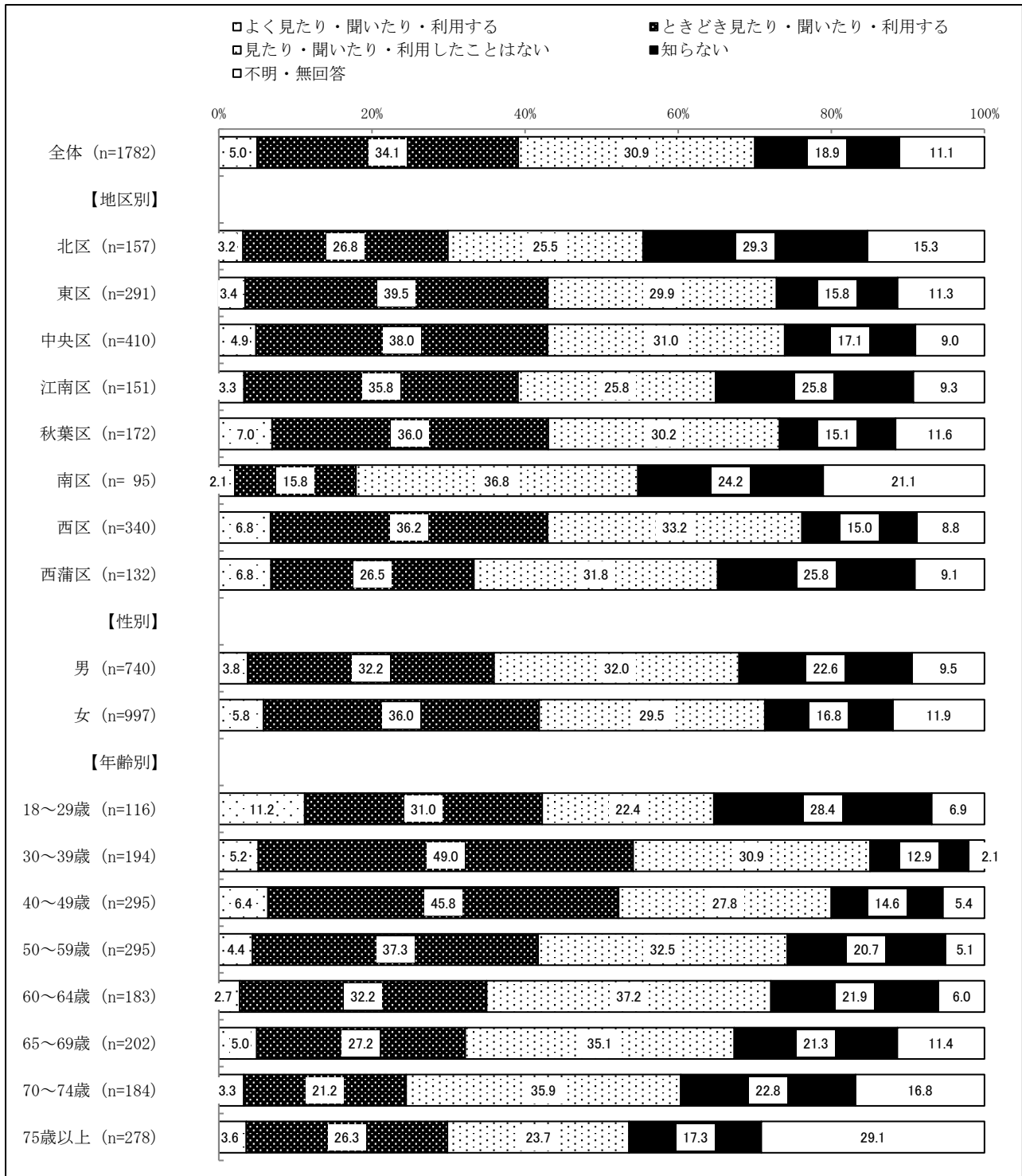
⑰新聞



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（72.1%）で最も高い。性別では、女性（60.5%）と比べて男性（63.6%）で割合がやや高い。年齢別では、70～74歳（67.9%）で最も高い。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では、江南区（35.8%）で最も高い。年齢別では30～39歳（52.1%）で最も高い。

⑱情報誌など

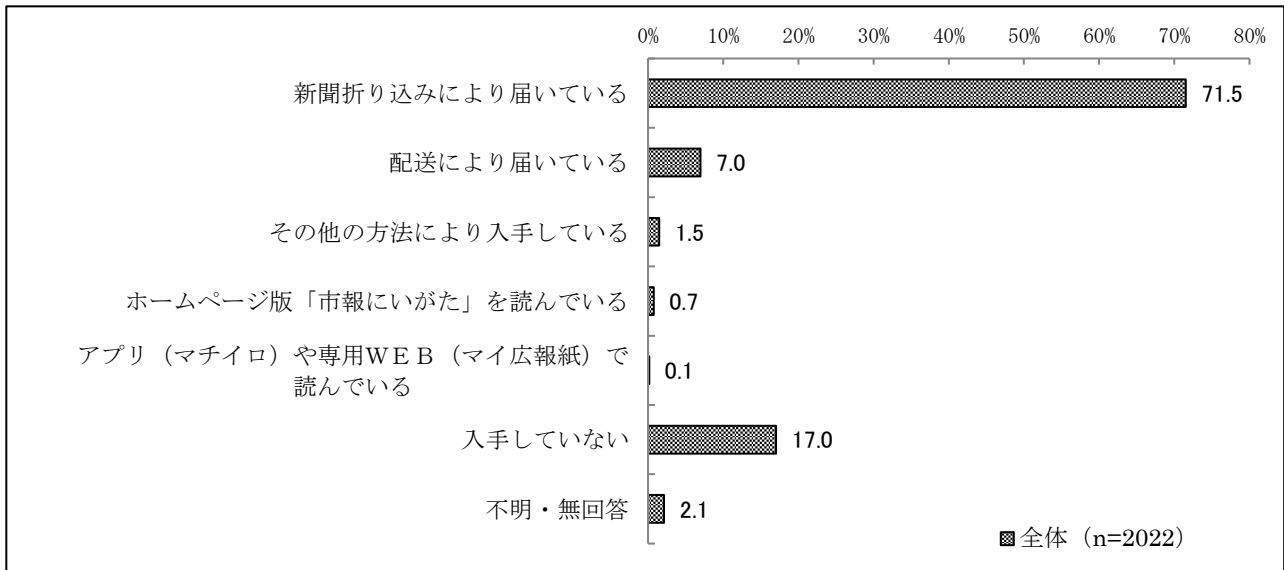


「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では東区（43.0%）、秋葉区（43.0%）、中央区（42.9%）、西区（42.9%）でやや高い。性別では、男性（35.9%）と比べて女性（41.8%）で割合が高い。年齢別では、30～39歳（54.1%）で最も高い。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では、南区（61.1%）、西蒲区（57.6%）、北区（54.8%）で高い。年齢別では60～64歳（59.0%）で最も高い。

(3) 「市報にいがた」の入手方法

問3 新潟市では、市の広報紙「市報にいがた」を新聞折り込みにより市内の各世帯に配布するとともに、新聞未購読世帯には、お申込みにより個別に配送しています。あなたはどの方法で「市報にいがた」を入手していますか。(〇は1つだけ)



— 「新聞折り込み」が7割強と圧倒的 —

【全体結果】

「新聞折り込みにより届いている」(71.5%)が7割強で割合が最も高い。「ホームページ版「市報にいがた」を読んでいる」(0.7%)、「アプリ(マチイロ)や専用WEB(マイ広報紙)で読んでいる」(0.1%)は、1%未満となった。

【属性別結果】(図1-2参照)

① 地区別

「新聞折り込みにより届いている」は、西蒲区(81.1%)、秋葉区(78.1%)で他の区と比べて高い。「配送により届いている」は西区(9.8%)、中央区(8.7%)でやや高い。「入手していない」は、江南区(20.5%)と中央区(20.4%)でやや高く、2割を超えた。

② 性別

男女差はあまりみられない。

③ 年齢別

「新聞折り込みにより届いている」は、年齢が高いほど割合も高くなり、逆に「入手していない」は年齢が低いほど割合が高くなる傾向がみられる。

30～39歳は「新聞折り込みにより届いている」の割合が最も低いが、逆に「配送により届いている」割合は、最も高い。

図 1-2 「市報にいがた」の入手方法（地区別/性別/年齢別） 1/2

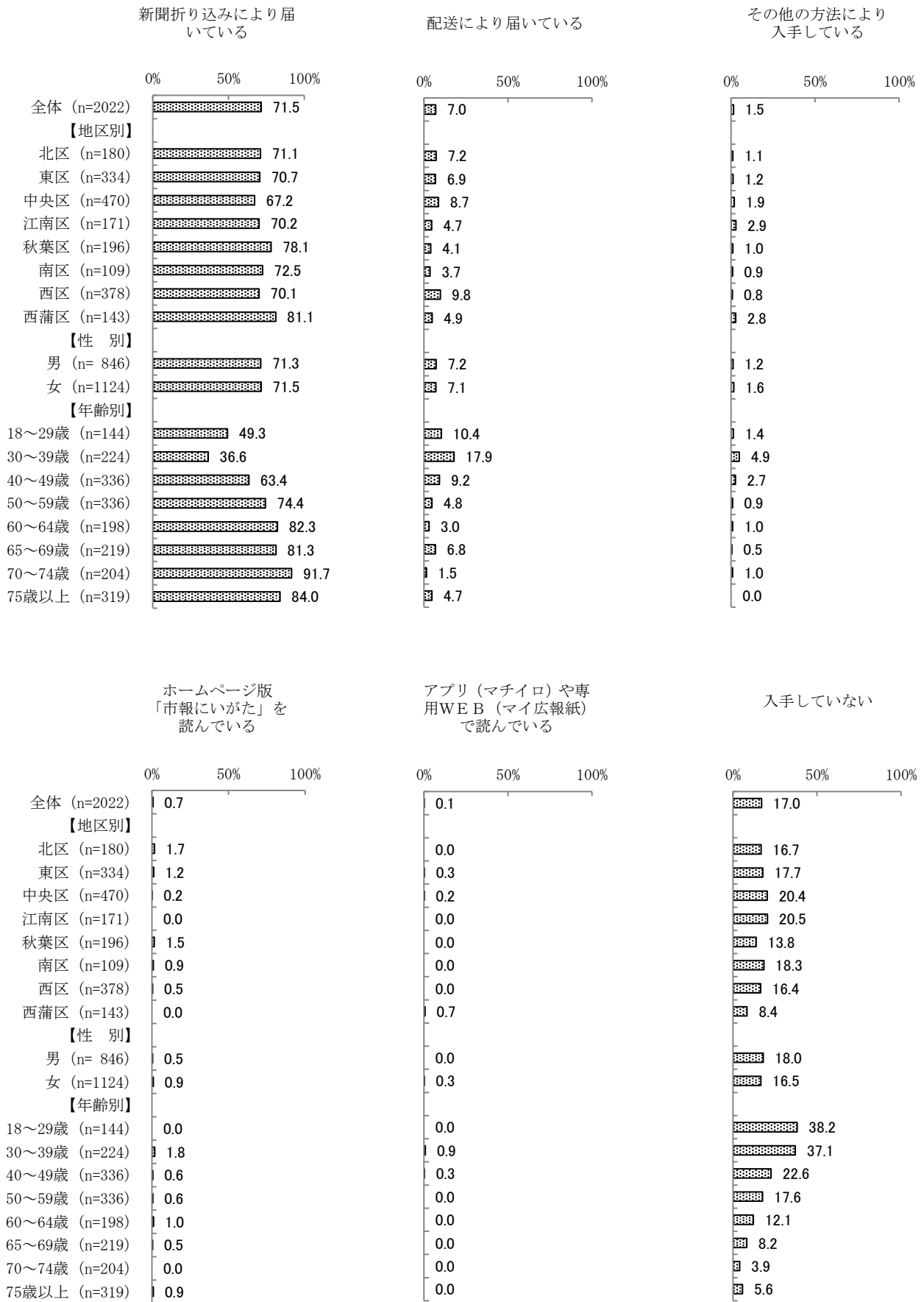
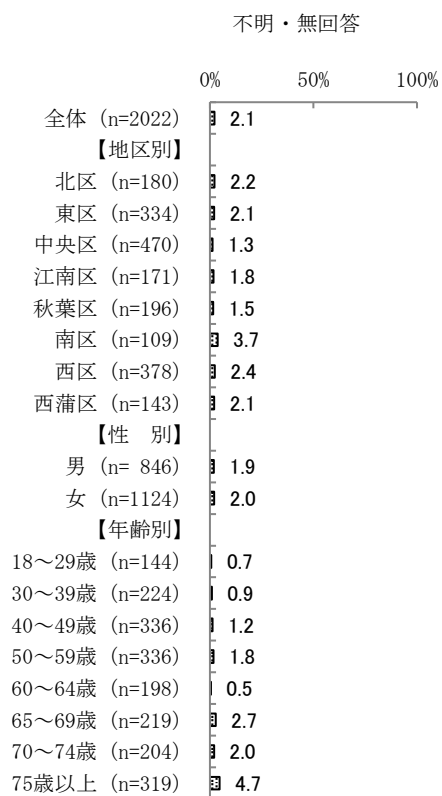
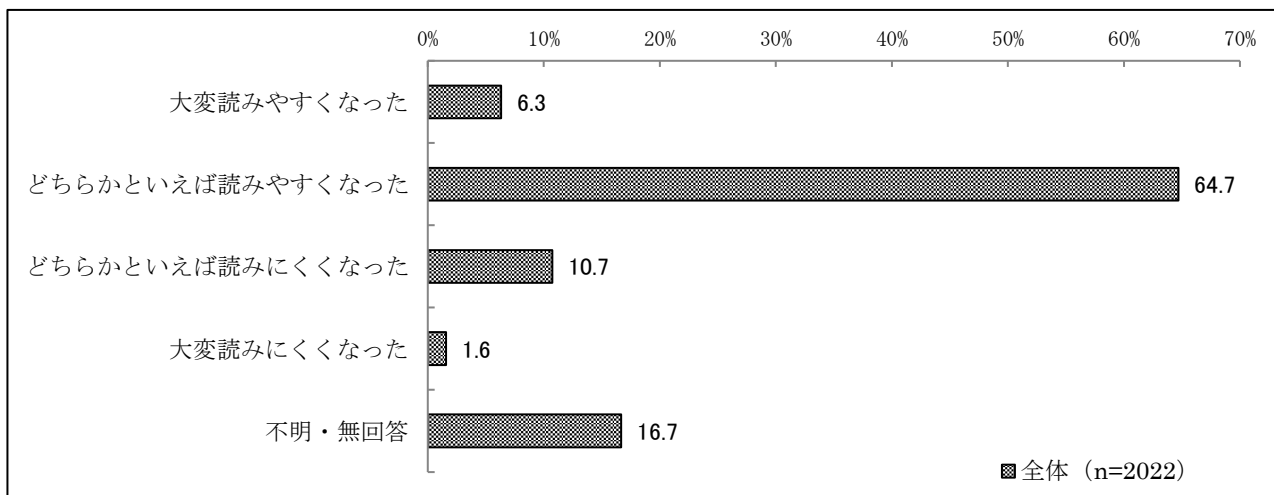


図 1-2 「市報にいがた」の入手方法（地区別/性別/年齢別） 2/2



(4) リニューアルした「市報にいがた」の読みやすさ

問4 新潟市では平成30年7月より「市報にいがた」をリニューアルしました。リニューアル後のデザイン・内容は読みやすくなったか教えてください。(○は1つだけ)



— 『読みやすくなった』が7割を超す —

【全体結果】

リニューアルした「市報にいがた」について、「大変読みやすくなった」(6.3%)と、「どちらかといえば読みやすくなった」(64.7%)を合わせた『読みやすくなった』(71.0%)は、7割を超えた。

「どちらかといえば読みにくくなった」(10.7%)と、「大変読みにくくなった」(1.6%)を合わせた『読みにくくなった』(12.3%)は、約1割に留まった。

【属性別結果】(図1-3参照)

① 地区別

『読みやすくなった』の割合は、南区(78.0%)で最も高く、中央区(67.7%)で最も低い。

『読みにくくなった』の割合は、北区(16.1%)で最も高く、南区(7.3%)で最も低い。

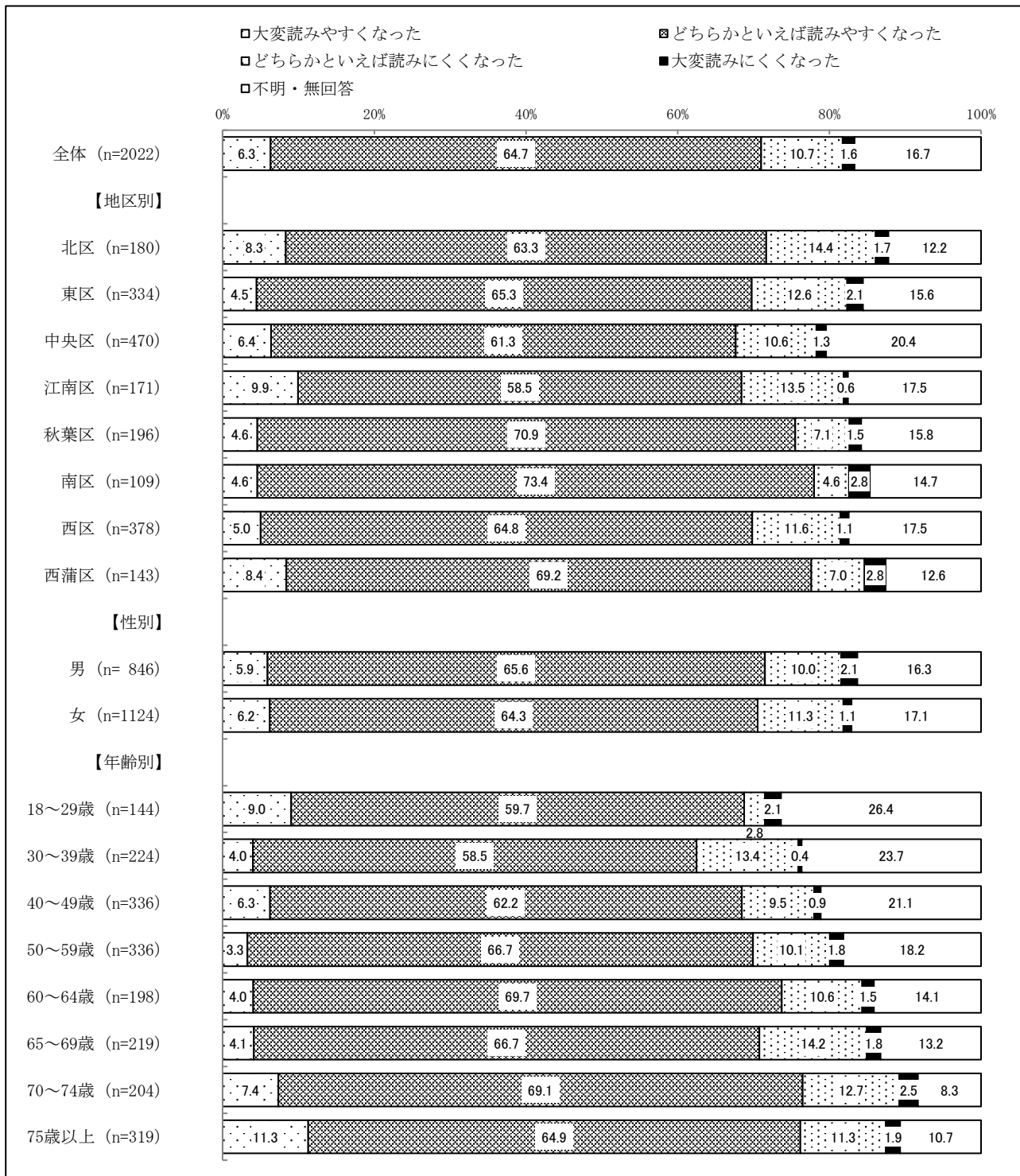
② 性別

男性差は、ほとんどみられない。

③ 年齢別

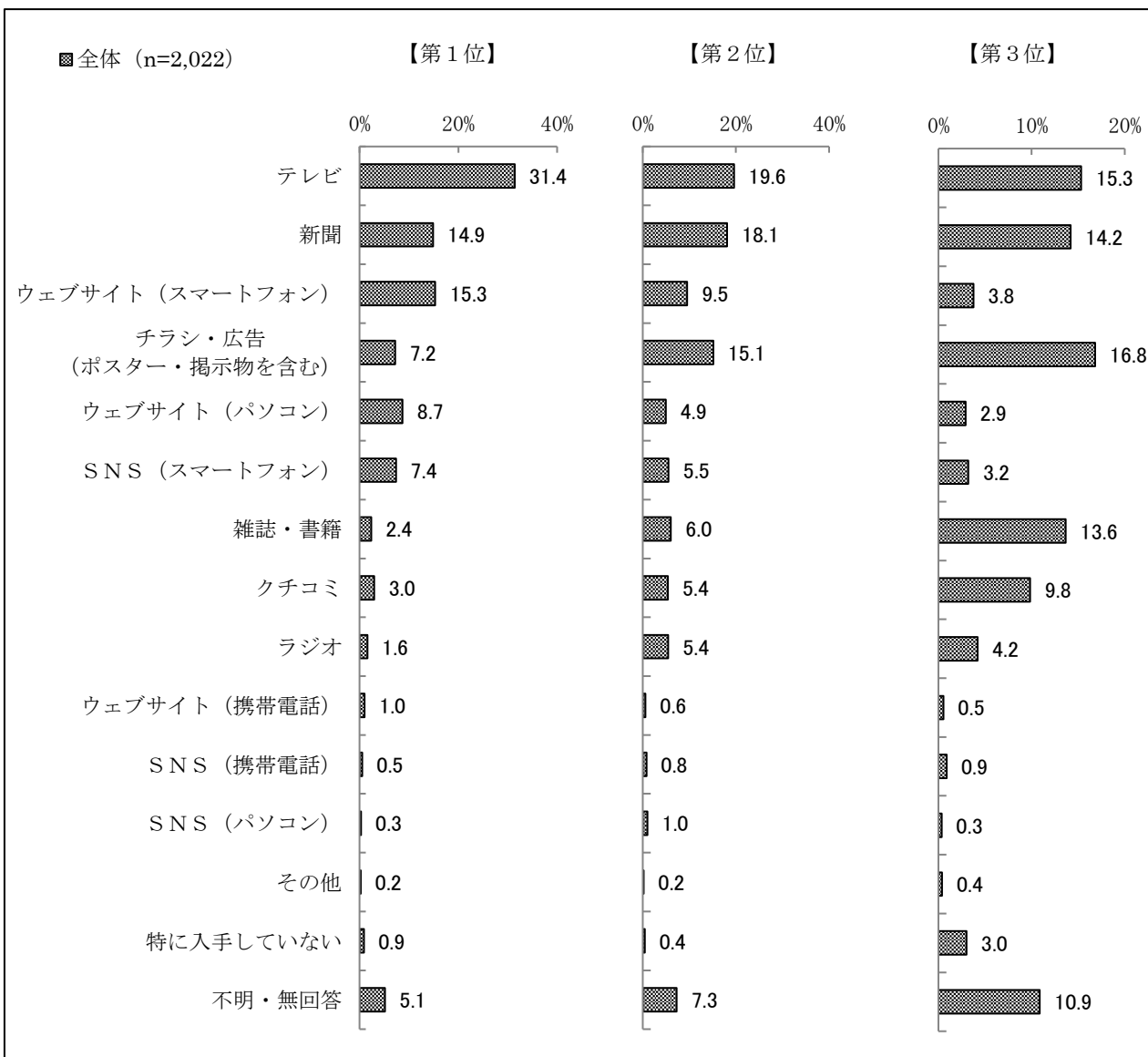
『読みやすくなった』の割合は、70~74歳(76.5%)で最も高かった。75歳以上(76.2%)でも高く4人に3人以上の割合となった。30~39歳(62.5%)が最も低かった。『読みにくくなった』の割合は、65~69歳(16.0%)で最も高かった。

図 1-3 リニューアルした「市報にいがた」の読みやすさ（地区別/性別/年齢別）



(5) 市政情報以外の必要な情報の入手先

問5 あなたは、生活や趣味・娯楽などに必要な情報（市政情報以外）を何から入手していますか。
利用の多い順に1位から3位まで番号でお答えください。



— 市政情報以外の必要な情報の入手先は「テレビ」が約3割 —

【全体結果】

【第1位】の割合は、「テレビ」(31.4%)で最も高い。次いで「ウェブサイト(スマートフォン)」(15.3%)、「新聞」(14.9%)の順に続く。

【第2位】の割合は、「テレビ」(19.6%)で最も高い。次いで「新聞」(18.1%)、「チラシ・広告(ポスター・掲示物を含む)」(15.1%)の順に続く。

【第3位】の割合は、「チラシ・広告(ポスター・掲示物を含む)」(16.8%)で最も高い。次いで「テレビ」(15.3%)、「新聞」(14.2%)の順に続く。

【属性別結果】

図 1-5 参照。

【第1位回答】に3ポイント、【第2位回答】に2ポイント、【第3位回答】に1ポイントを与え、平均得点を算出した結果を次ページに掲載した。(図1-4参照)

算出例を以下に掲載した。

※1：平均得点（ポイント）の算出式 $(【第1位回答】 \times 3 + 【第2位回答】 \times 2 + 【第3位回答】 \times 1) \div n \text{ 数}$
※2：平均得点の算出例（全体結果、「テレビ」の場合） $(635 \times 3 + 396 \times 2 + 310 \times 1) \div 2,022 = 1.49 \Rightarrow \underline{\text{平均得点} = 1.49 \text{ ポイント}}$

【平均得点（ポイント）】をみると、「テレビ」が1.49ポイントで最も高い。

以下、「新聞」が0.95ポイント、「ウェブサイト（スマートフォン）」が0.69ポイント、「チラシ・広告（ポスター・掲示物を含む）」が0.69ポイントで続いている。

【属性別結果】（表1-1参照）

① 地区別

全区とも、第1位は「テレビ」、第2位は「新聞」となった。

第3位は、東区、中央区、西区では、「ウェブサイト（スマートフォン）」、他の区では、「チラシ・広告（ポスター・掲示物を含む）」となった。

② 性別

男女ともに、第1位は「テレビ」、第2位は「新聞」となった。

第3位以降は、男性は「ウェブサイト（スマートフォン）」、「ウェブサイト（パソコン）」、「チラシ・広告（ポスター・掲示物を含む）」となり、女性は、「チラシ・広告（ポスター・掲示物を含む）」、「ウェブサイト（スマートフォン）」、「SNS（スマートフォン）」となった。

③ 年齢別

若年層と高齢層とで、順位に大きな違いがみられた。

40～49歳を境に、若年層では「ウェブサイト（スマートフォン）」や「SNS（スマートフォン）」といったインターネット系の入手先の順位が高く、「新聞」の順位が低い。50歳以上では、「テレビ」が第1位、新聞が第2位となり、インターネット系の入手先の順位はそれほど高くない。70歳以上では、インターネット系の入手先は第5位までに入っていない。

図 1-4 市政情報以外の必要な情報の入手先<平均得点（ポイント）>（全体）

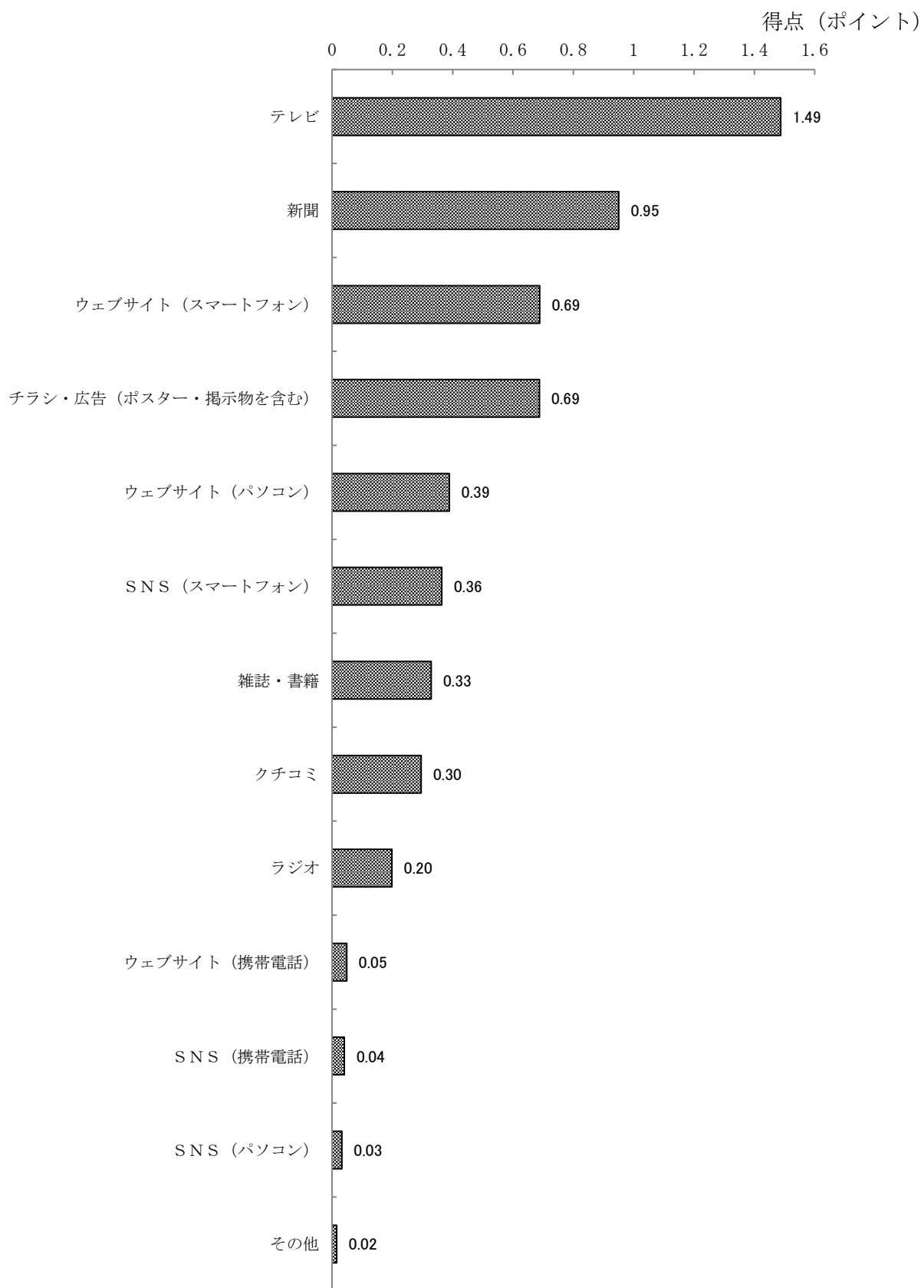


表 1-1 市政情報以外の必要な情報の入手先

<地区別の上位5つ>

	北区	東区	中央区	江南区
1位	テレビ 1.56ポイント	テレビ 1.59ポイント	テレビ 1.33ポイント	テレビ 1.47ポイント
2位	新聞 0.94ポイント	新聞 0.88ポイント	新聞 0.91ポイント	新聞 1.08ポイント
3位	チラシ・広告 (ポスター・掲示物を含む) 0.77ポイント	ウェブサイト (スマートフォン) 0.76ポイント	ウェブサイト (スマートフォン) 0.77ポイント	チラシ・広告 (ポスター・掲示物を含む) 0.81ポイント
4位	ウェブサイト (スマートフォン) 0.56ポイント	チラシ・広告 (ポスター・掲示物を含む) 0.67ポイント	チラシ・広告 (ポスター・掲示物を含む) 0.65ポイント	ウェブサイト (スマートフォン) 0.70ポイント
5位	ウェブサイト (パソコン) 0.39ポイント	SNS (スマートフォン) 0.41ポイント	ウェブサイト (パソコン) 0.48ポイント	雑誌・書籍 0.39ポイント

	秋葉区	南区	西区	西蒲区
1位	テレビ 1.48ポイント	テレビ 1.66ポイント	テレビ 1.46ポイント	テレビ 1.57ポイント
2位	新聞 1.01ポイント	新聞 1.01ポイント	新聞 0.90ポイント	新聞 1.10ポイント
3位	チラシ・広告 (ポスター・掲示物を含む) 0.70ポイント	チラシ・広告 (ポスター・掲示物を含む) 0.67ポイント	ウェブサイト (スマートフォン) 0.81ポイント	チラシ・広告 (ポスター・掲示物を含む) 0.59ポイント
4位	ウェブサイト (スマートフォン) 0.52ポイント	ウェブサイト (スマートフォン) 0.60ポイント	チラシ・広告 (ポスター・掲示物を含む) 0.65ポイント	ウェブサイト (スマートフォン) 0.50ポイント
5位	雑誌・書籍 0.43ポイント	ウェブサイト(パソコン) SNS(スマートフォン) 同ポイント 0.35ポイント	SNS(スマートフォン) 0.44ポイント	クチコミ 0.37ポイント

<性別、年齢別平均得点の上位5つ>

	男 性	女 性	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳
1位	テレビ 1.49 ポイント	テレビ 1.49 ポイント	SNS (スマートフォン) 1.51 ポイント	ウェブサイト (スマートフォン) 1.66 ポイント	テレビ ウェブサイト (スマートフォン)
2位	新聞 1.01 ポイント	新聞 0.91 ポイント	ウェブサイト (スマートフォン) 1.34 ポイント	テレビ 1.13 ポイント	同ポイント 1.29 ポイント
3位	ウェブサイト (スマートフォン) 0.66 ポイント	チラシ・広告 (ポスター・掲示物を含む) 0.76 ポイント	テレビ 1.34 ポイント	SNS (スマートフォン) 0.87 ポイント	SNS (スマートフォン) 0.59 ポイント
4位	ウェブサイト (パソコン) 0.63 ポイント	ウェブサイト (スマートフォン) 0.72 ポイント	ウェブサイト (パソコン) 0.33 ポイント	ウェブサイト (パソコン) 0.46 ポイント	ウェブサイト (パソコン) 0.57 ポイント
5位	チラシ・広告 (ポスター・掲示物を含む) 0.58 ポイント	SNS (スマートフォン) 0.43 ポイント	雑誌・書籍 0.28 ポイント	チラシ・広告 (ポスター・掲示物を含む) 0.45 ポイント	チラシ・広告 (ポスター・掲示物を含む) 0.55 ポイント

	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳以上	75 歳以上
1位	テレビ 1.54 ポイント	テレビ 1.68 ポイント	テレビ 1.48 ポイント	新聞 1.75 ポイント	テレビ 1.70 ポイント
2位	新聞 0.82 ポイント	新聞 1.39 ポイント	新聞 1.37 ポイント	テレビ 1.69 ポイント	新聞 1.43 ポイント
3位	ウェブサイト (スマートフォン) 0.69 ポイント	チラシ・広告 (ポスター・掲示物を含む) 0.78 ポイント	チラシ・広告 (ポスター・掲示物を含む) 0.86 ポイント	チラシ・広告 (ポスター・掲示物を含む) 0.87 ポイント	チラシ・広告 (ポスター・掲示物を含む) 0.96 ポイント
4位	ウェブサイト (パソコン) 0.63 ポイント	ウェブサイト (パソコン) 0.47 ポイント	雑誌・書籍 0.35 ポイント	クチコミ 0.36 ポイント	クチコミ 0.39 ポイント
5位	チラシ・広告 (ポスター・掲示物を含む) 0.58 ポイント	ウェブサイト (スマートフォン) 0.40 ポイント	ウェブサイト (パソコン) 0.33 ポイント	ラジオ 0.30 ポイント	ラジオ 0.22 ポイント

図 1-5-1 市政情報以外の必要な情報の入手先 第 1 位（地区別/性別/年齢別） 2/3

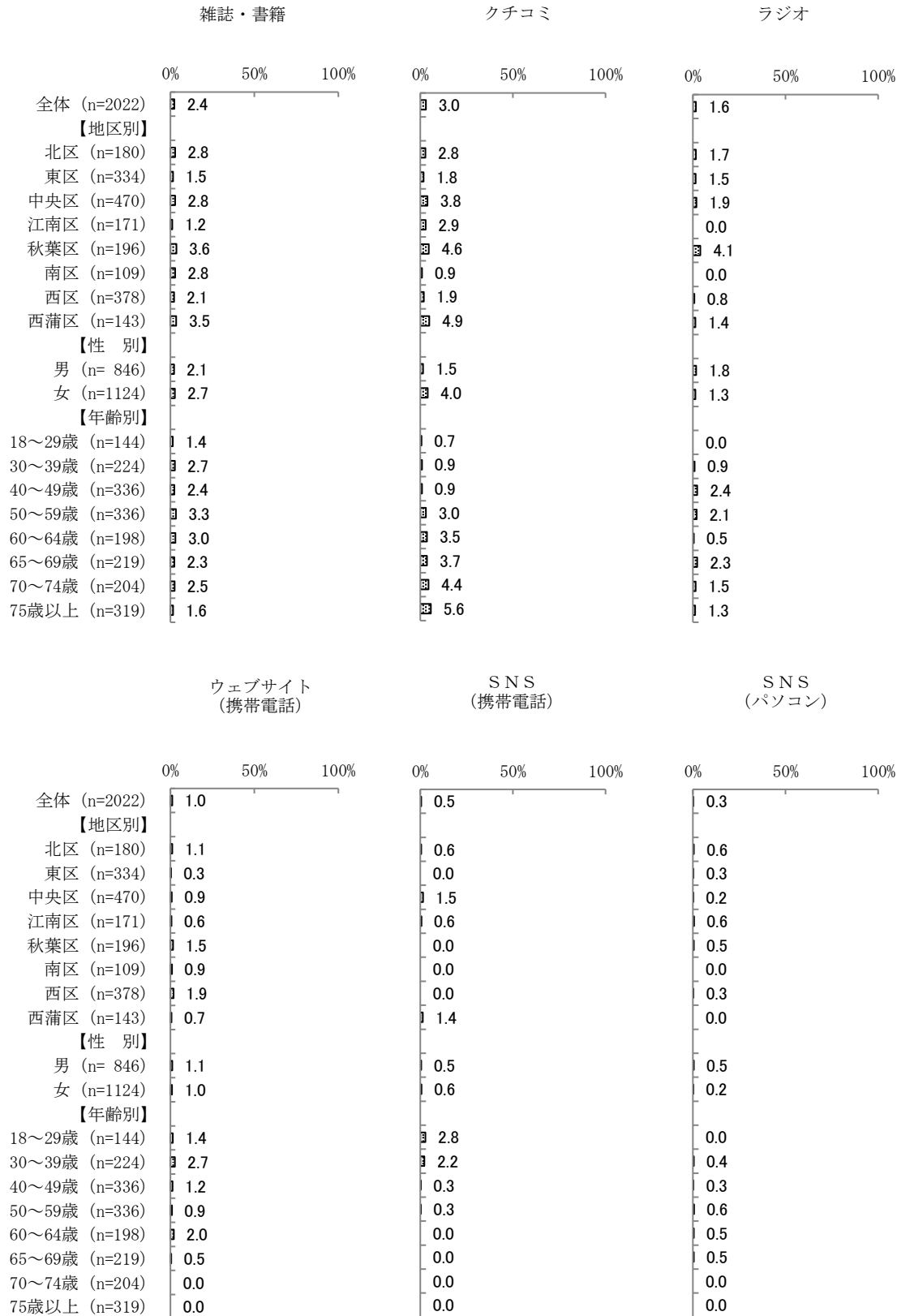


図 1-5-1 市政情報以外の必要な情報の入手先 第 1 位（地区別/性別/年齢別） 3/3

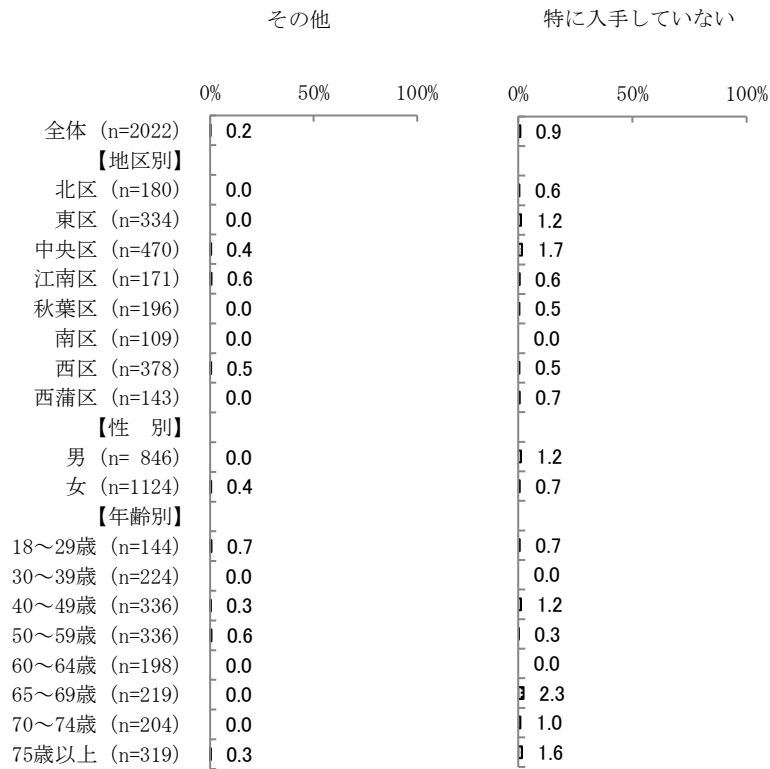


図 1-5-2 市政情報以外の必要な情報の入手先 第 2 位（地区別/性別/年齢別） 1/3

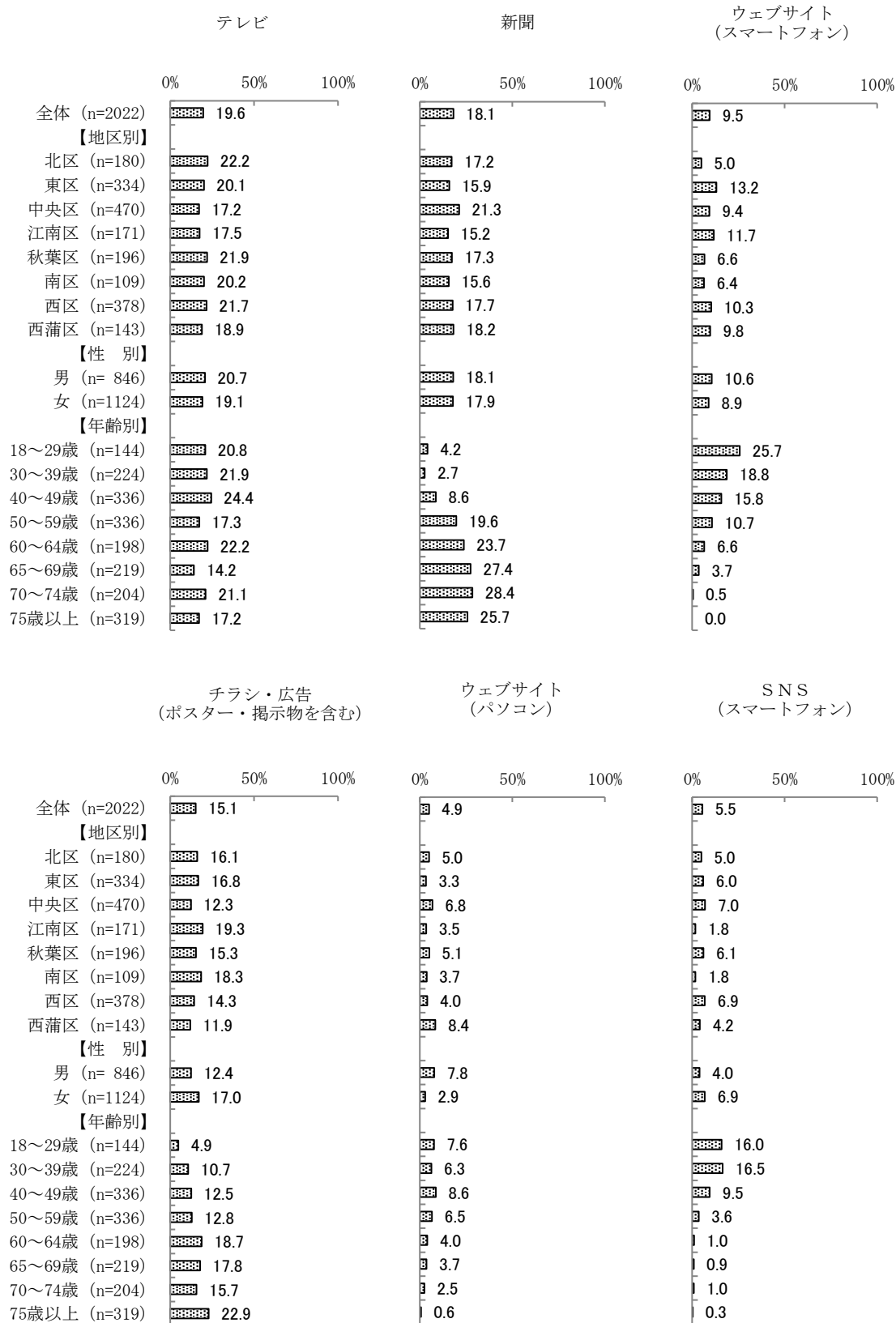


図 1-5-2 市政情報以外の必要な情報の入手先 第 2 位（地区別/性別/年齢別） 2/3

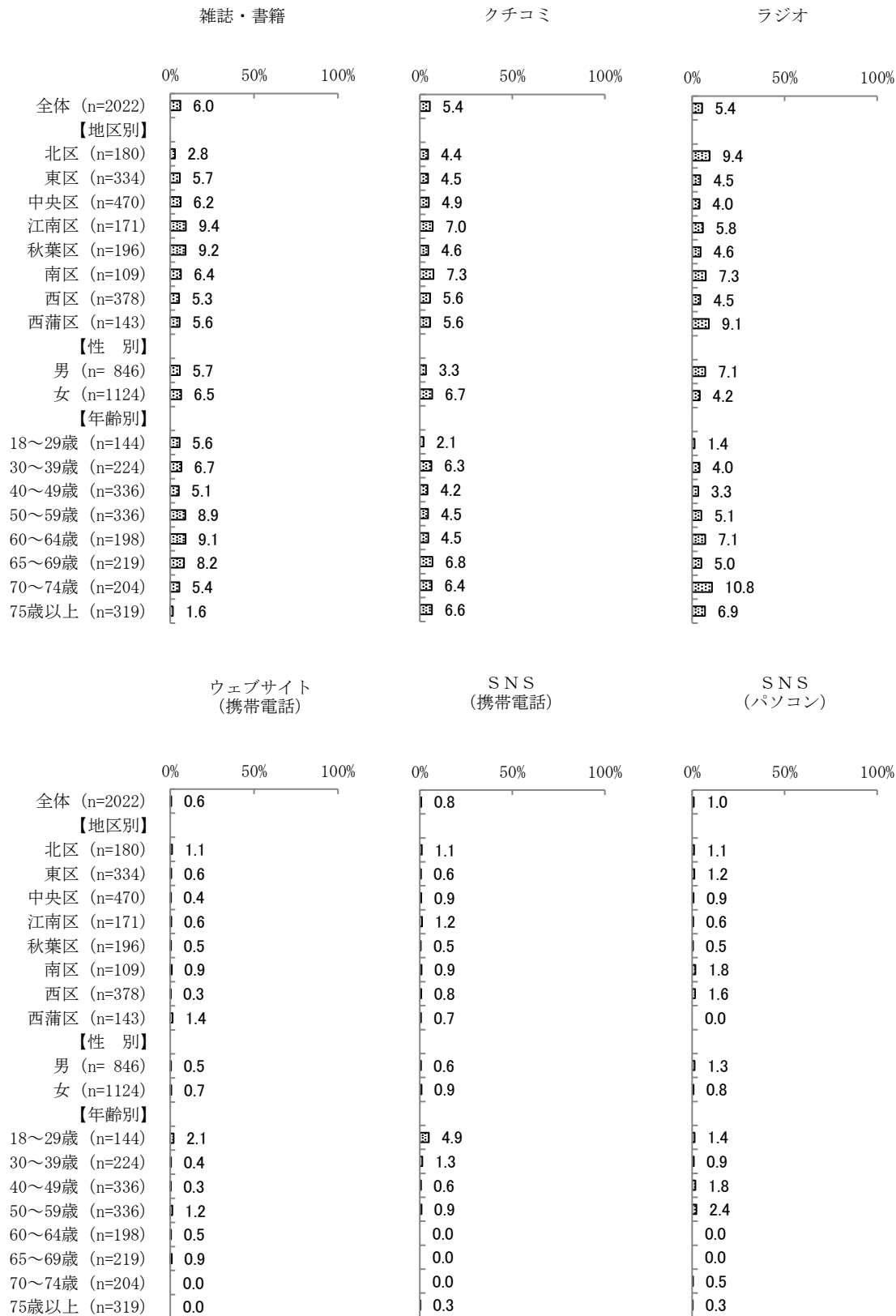


図 1-5-2 市政情報以外の必要な情報の入手先 第 2 位（地区別/性別/年齢別） 3/3

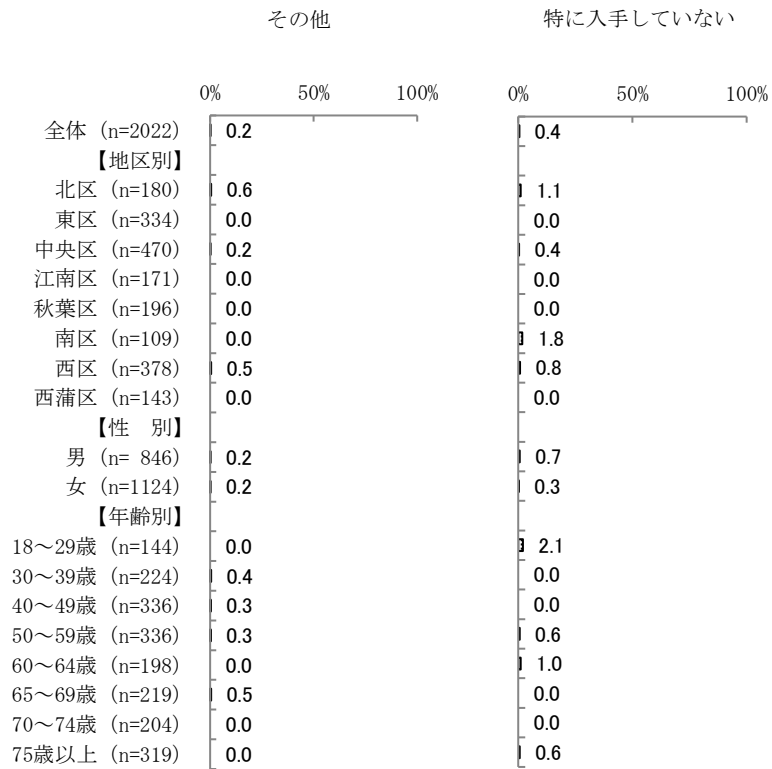


図 1-5-3 市政情報以外の必要な情報の入手先 第 3 位（地区別/性別/年齢別） 1/3

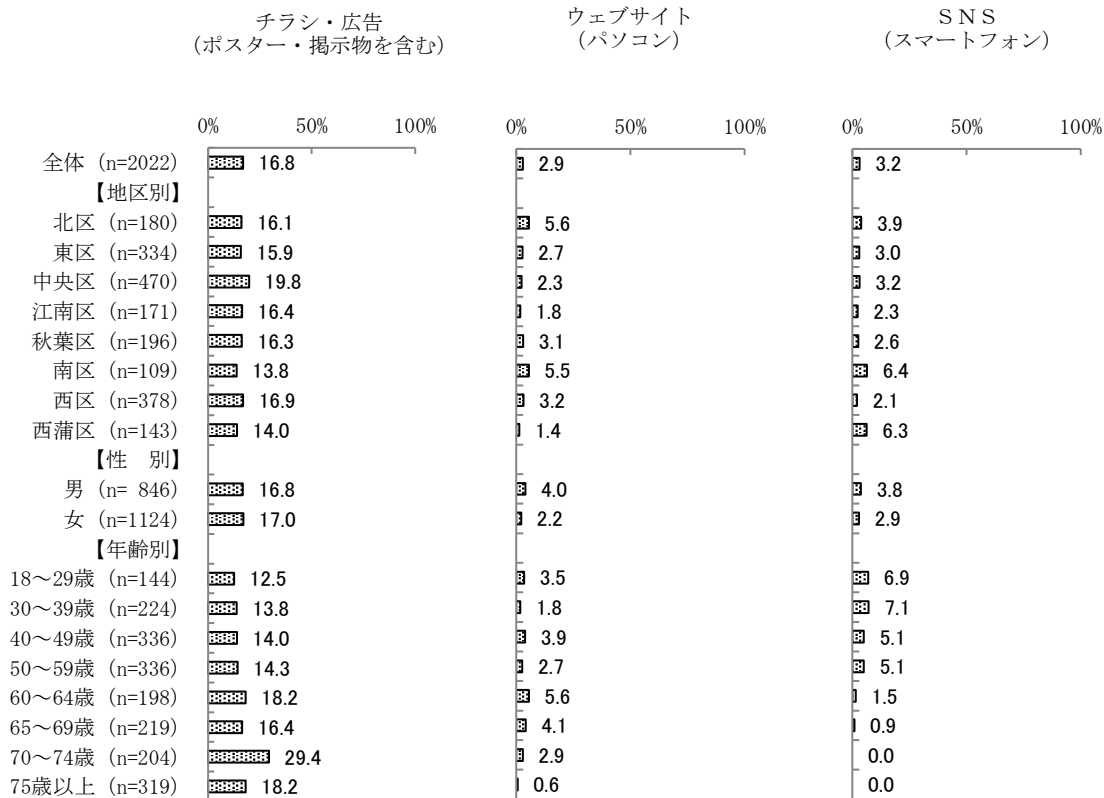
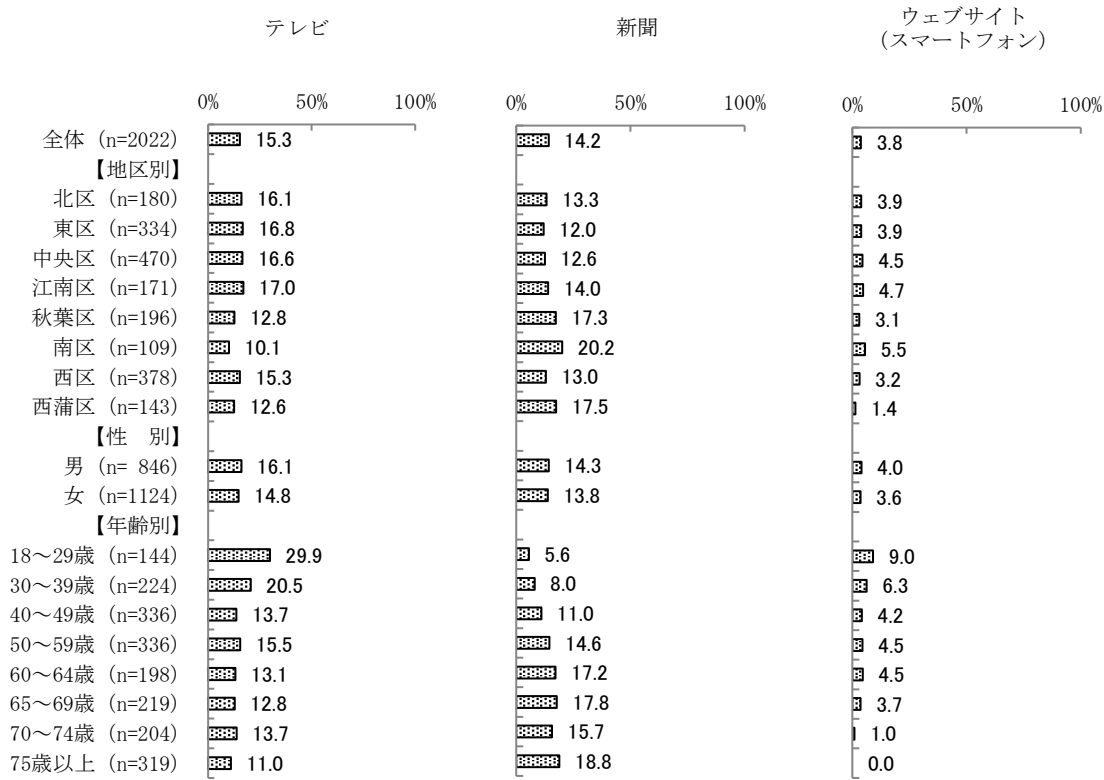


図 1-5-3 市政情報以外の必要な情報の入手先 第 3 位（地区別/性別/年齢別） 2/3

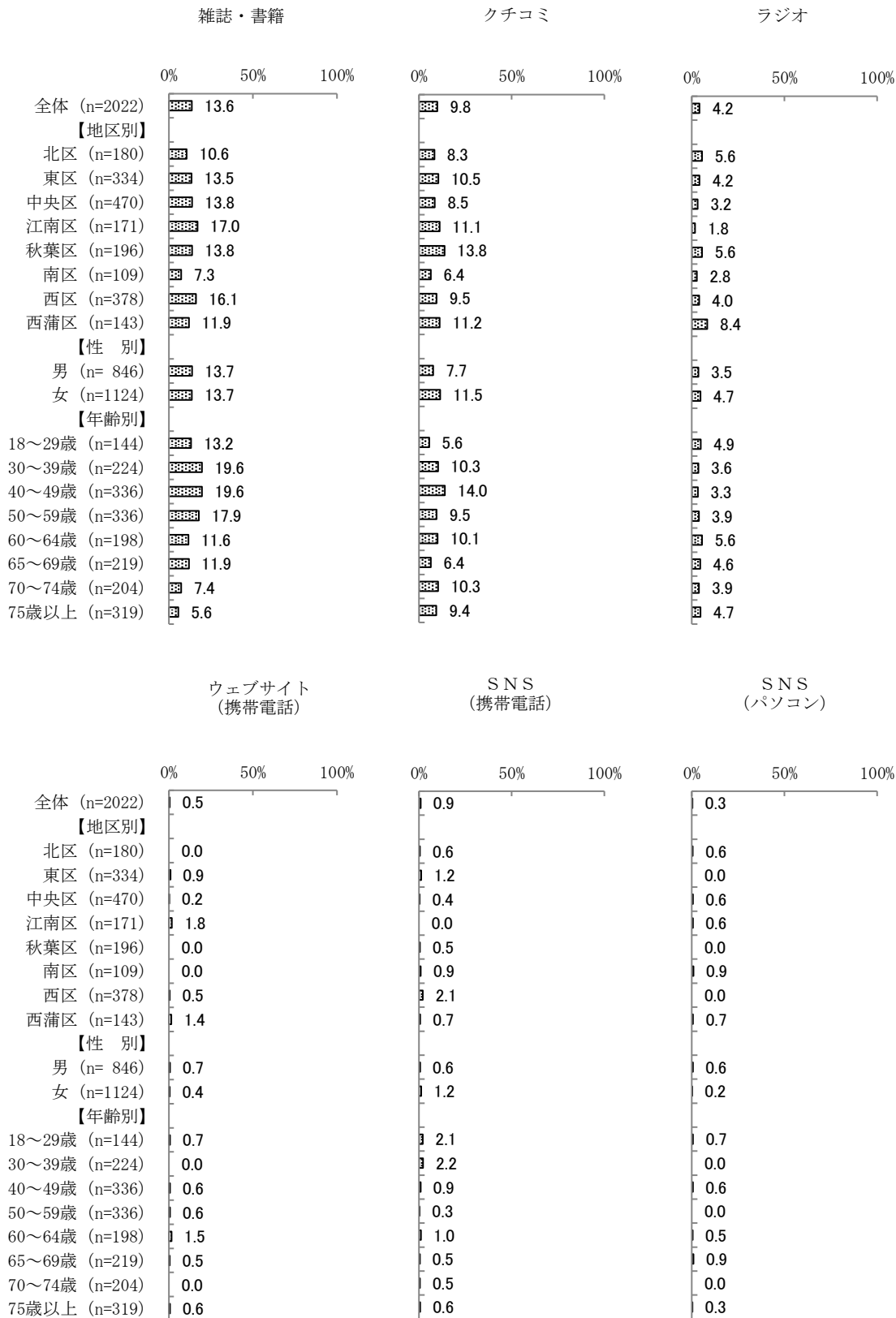
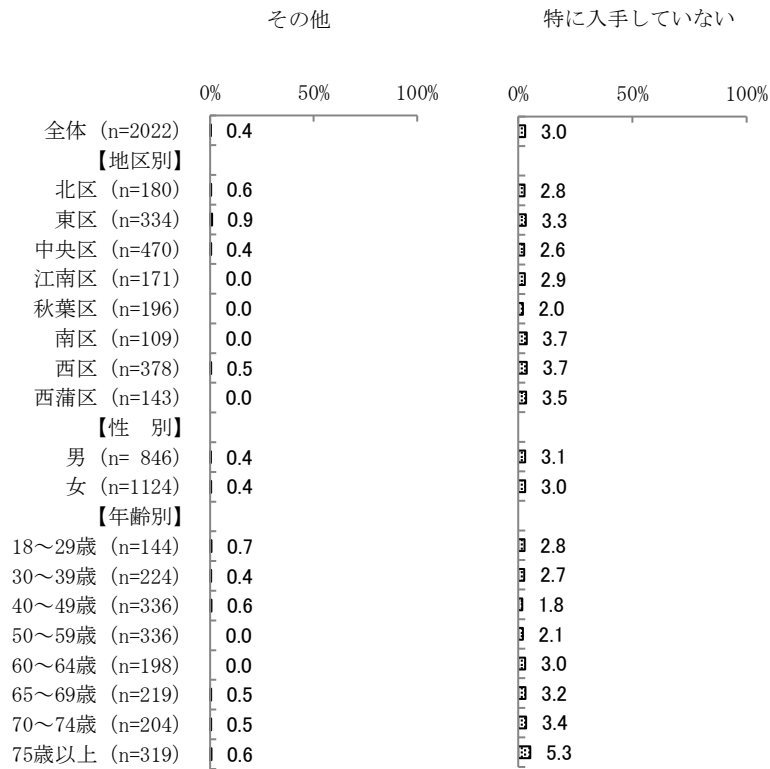


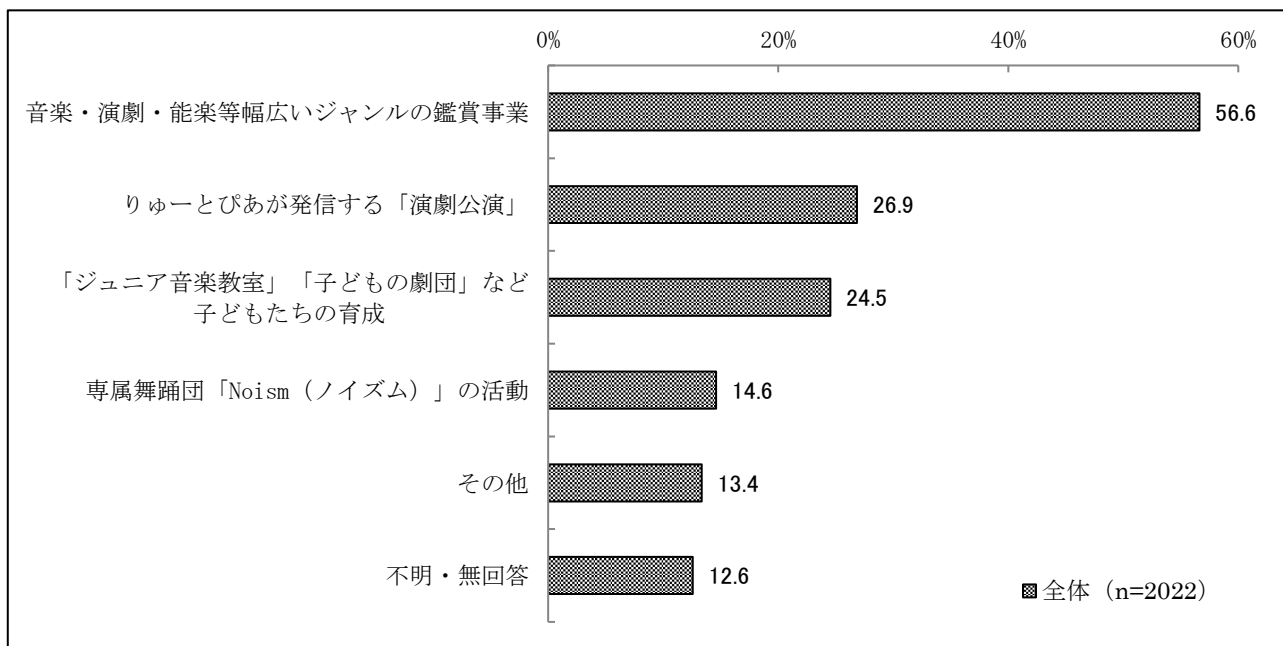
図 1-5-3 市政情報以外の必要な情報の入手先 第 3 位（地区別/性別/年齢別） 3/3



2. 新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）の文化事業について

（1）「りゅーとぴあ」が効果をあげていると思う活動

問6 新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）の活動により、新潟市民が文化に触れる機会が増え、豊かな市民文化の形成に効果をあげていると思う活動は何ですか。（〇はいくつでも）



— 「音楽・演劇・能楽等幅広いジャンルの鑑賞事業」が5割以上 —

【全体結果】

「音楽・演劇・能楽等幅広いジャンルの鑑賞事業」（56.6%）が5割を超え、割合が最も高い。次に続く「りゅーとぴあが発信する「演劇公演」（26.9%）の倍以上の割合で、突出している。「ジュニア音楽教室」「子どもの劇団」など子どもたちの育成」（24.5%）が2割半ば、「専属舞踊団「Noism（ノイズム）」の活動」（14.6%）が1割半ばとなった。

【属性別結果】（図2-1参照）

① 地区別

「音楽・演劇・能楽等幅広いジャンルの鑑賞事業」は、全ての区で割合が最も高く、西区（61.1%）では6割を超えた。「りゅーとぴあが発信する「演劇公演」は、西蒲区（32.2%）、西区（29.4%）で割合がやや高い。「ジュニア音楽教室」「子どもの劇団」など子どもたちの育成」は、西区（26.5%）、東区（26.3%）、北区（26.1%）で、割合がやや高かった。「専属舞踊団「Noism（ノイズム）」の活動」は、南区（7.3%）で割合が最も低く1割に満たなかった。

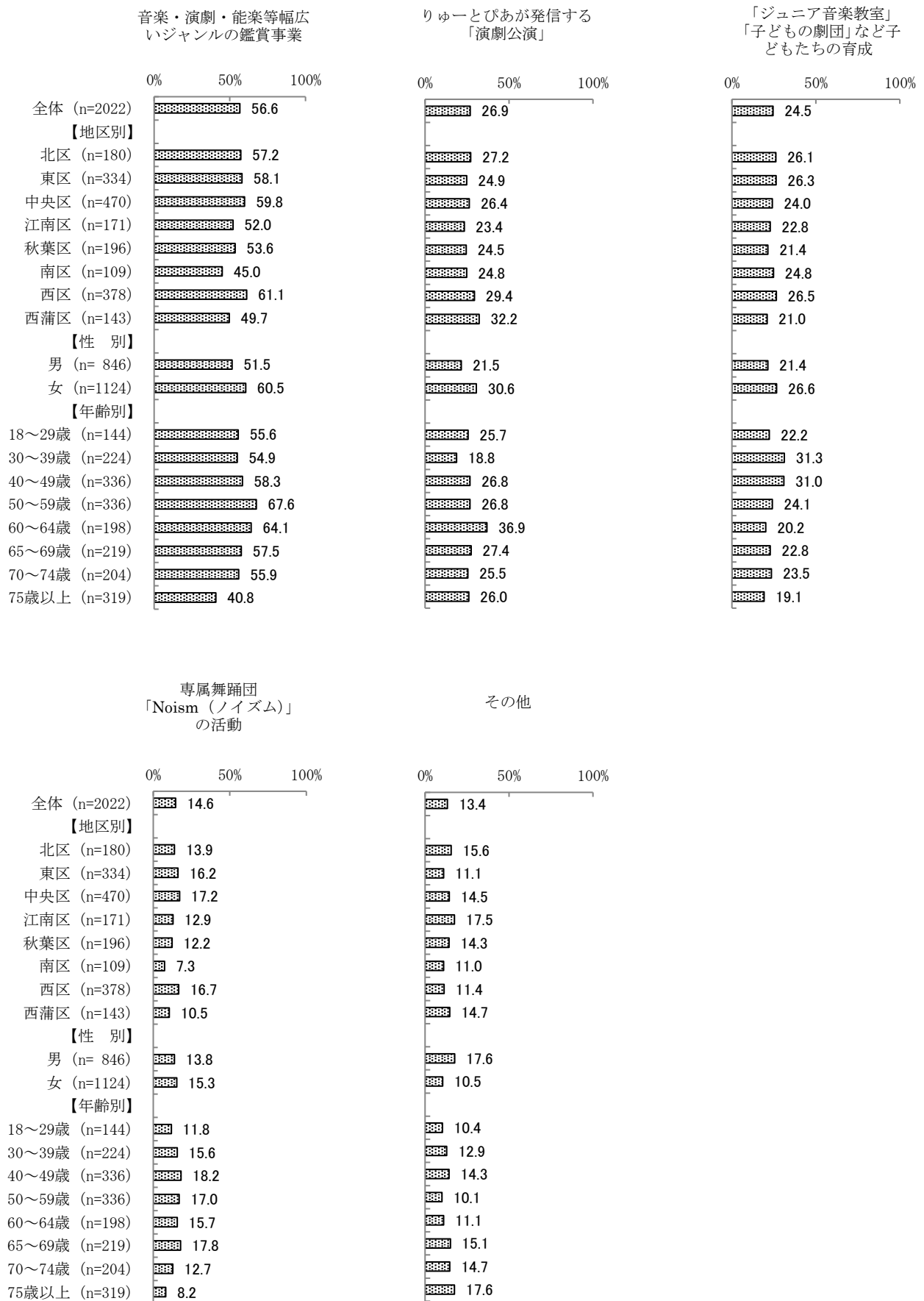
② 性別

「その他」以外、いずれの項目も、男性と比較して女性の割合が高い。

③ 年齢別

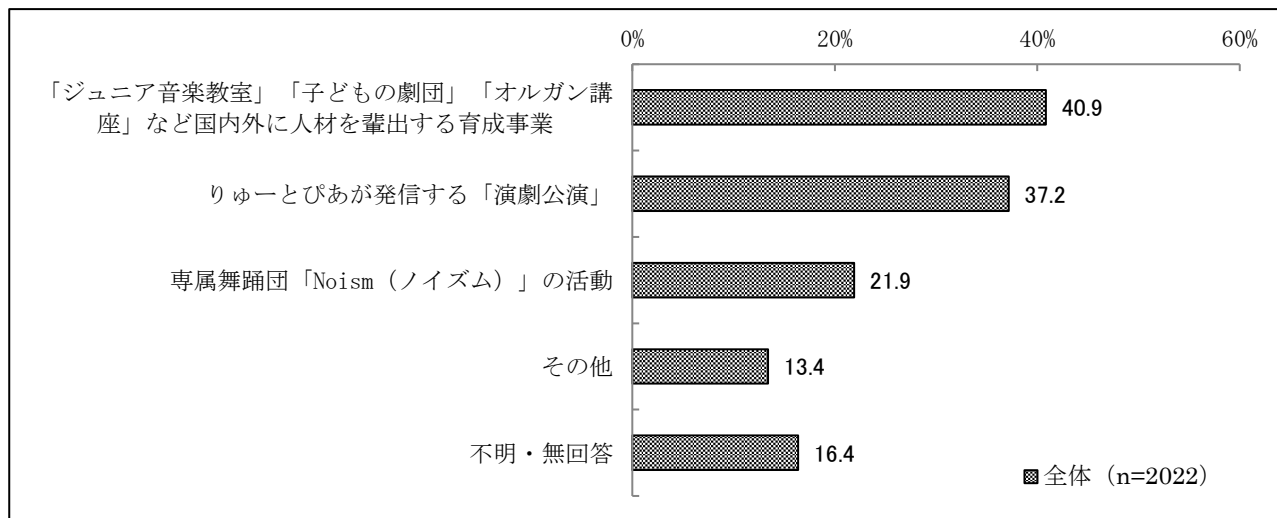
「音楽・演劇・能楽等幅広いジャンルの鑑賞事業」は、50～59歳（67.6%）、60～64歳（64.1%）で割合が高く、6割を超えた。「りゅーとぴあが発信する「演劇公演」」は、60～64歳（36.9%）で割合が最も高い。「ジュニア音楽教室」「子どもの劇団」など子どもたちの育成」は、30～39歳（31.3%）、40～49歳（31.0%）で割合が高く、3割を超えた。「専属舞踊団「Noism（ノイズム）」の活動」は、75歳以上（8.2%）で割合が最も低く1割に満たなかった。

図 2-1 「りゅーとびあ」が効果をあげていると思う活動（地区別/性別/年齢別）



(2)「りゅーとぴあ」が今後も積極的に進めていくべきと思う活動

問7 りゅーとぴあが全国や世界に発信している活動のうち、今後も積極的に進めていくべきと思う活動は何ですか。(〇はいくつでも)



— 「国内外に人材を輩出する育成事業」が4割以上 —

【全体結果】

「ジュニア音楽教室」「子どもの劇団」「オルガン講座」など国内外に人材を輩出する育成事業(40.9%)の割合が最も高く4割を超えた。次に「りゅーとぴあが発信する「演劇公演」(37.2%)が高い。「専属舞踊団「Noism (ノイズム)」の活動」は約2割となった。

【属性別結果】(図2-2参照)

① 地区別

「ジュニア音楽教室」「子どもの劇団」「オルガン講座」など国内外に人材を輩出する育成事業」は、西蒲区以外の区で割合が最も高かった。北区(43.9%)、中央区(43.2%)、西区(42.9%)で割合がやや高かった。「りゅーとぴあが発信する「演劇公演」」は、西蒲区(44.1%)では割合が最も高く、4割を超えた。また、北区(42.2%)でも4割を超えた。

「専属舞踊団「Noism (ノイズム)」の活動」は、西区(26.7%)で割合が最も高かった。

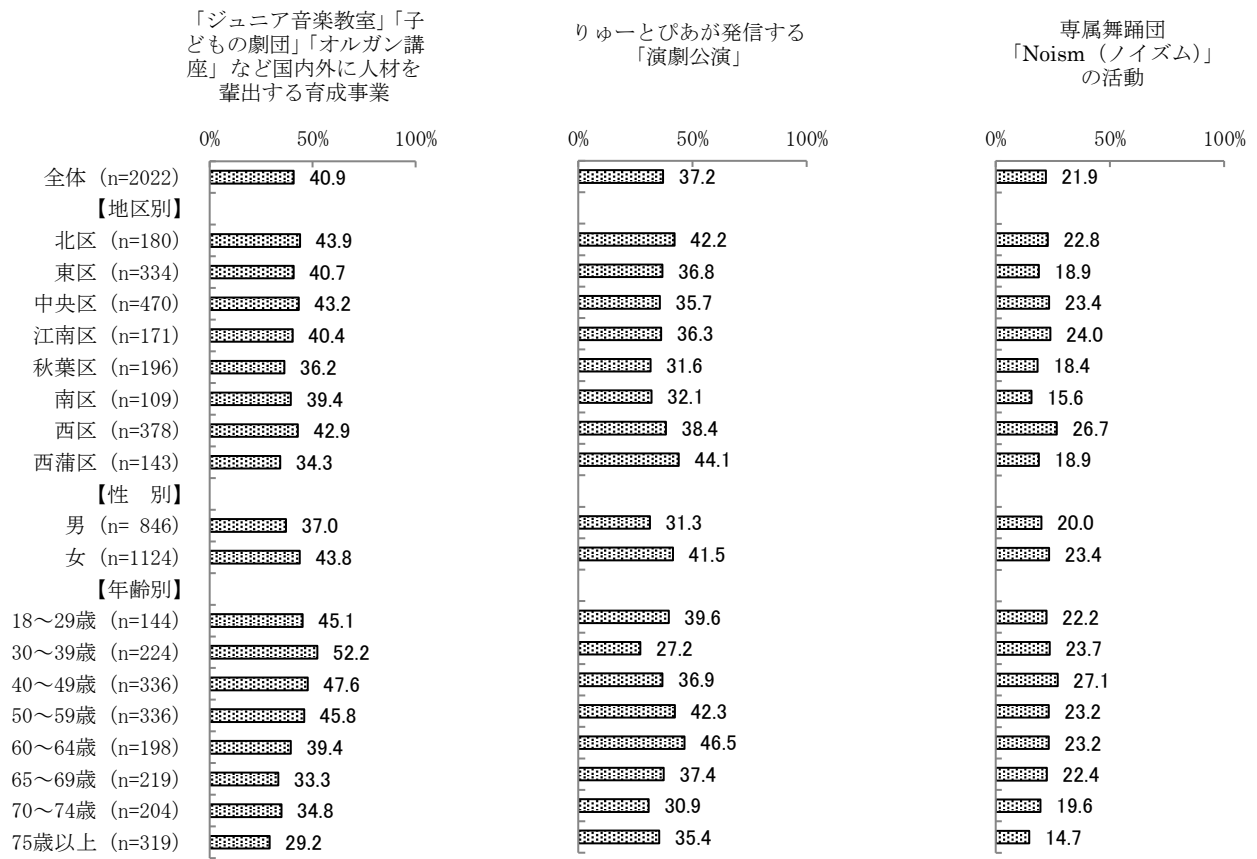
② 性別

「その他」以外、いずれの項目も、男性と比較して女性の割合が高い。

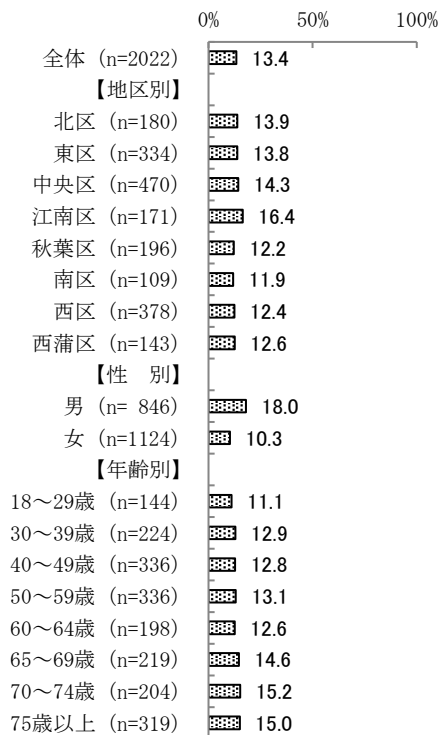
③ 年齢別

「ジュニア音楽教室」「子どもの劇団」「オルガン講座」など国内外に人材を輩出する育成事業」は、30～39歳(52.2%)で割合が最も高く、5割を超えた。「りゅーとぴあが発信する「演劇公演」」は、60～64歳(46.5%)、50～59歳(42.3%)で割合が高く4割を超えた。「専属舞踊団「Noism (ノイズム)」の活動」は、75歳以上(14.7%)で割合が最も低く1割半ばとなった。

図 2-2 「りゅーとびあ」が今後も積極的に進めていくべきと思う活動（地区別/性別/年齢別）

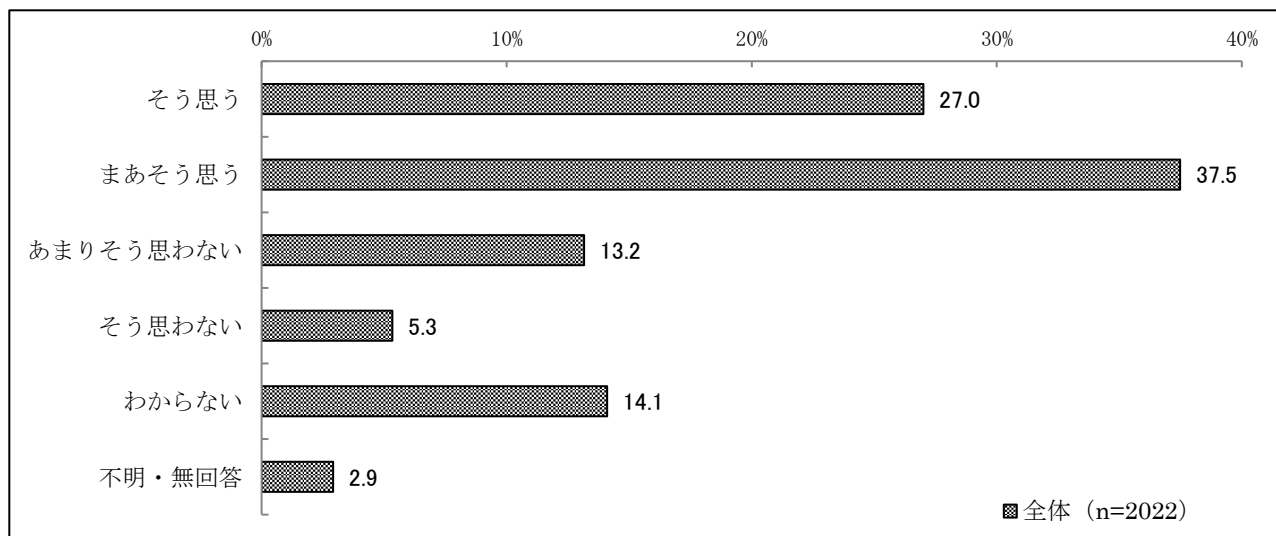


その他



(3)「リゅーとぴあ」の次世代への継承

問8 リゅーとぴあは、次世代に伝えたい新潟になくてはならないものだと思いますか。
(○は1つだけ)



— 『そう思う (なくてはならないと思う)』が6割強 —

【全体結果】

「そう思う」(27.0%)、「まあそう思う」(37.5%)を合わせた『そう思う』(64.5%)は、6割強となった。「あまりそう思わない」(13.2%)、「そう思わない」(5.3%)を合わせた『そう思わない』(18.5%)は、2割に満たなかった。

【属性別結果】(図2-3参照)

① 地区別

『そう思う』の割合は、西区(72.8%)で最も高く、唯一7割を超えた。江南区(57.3%)で最も低い。

『そう思わない』の割合は、江南区(22.2)で最も高く、西区(12.7%)で最も低い。

② 性別

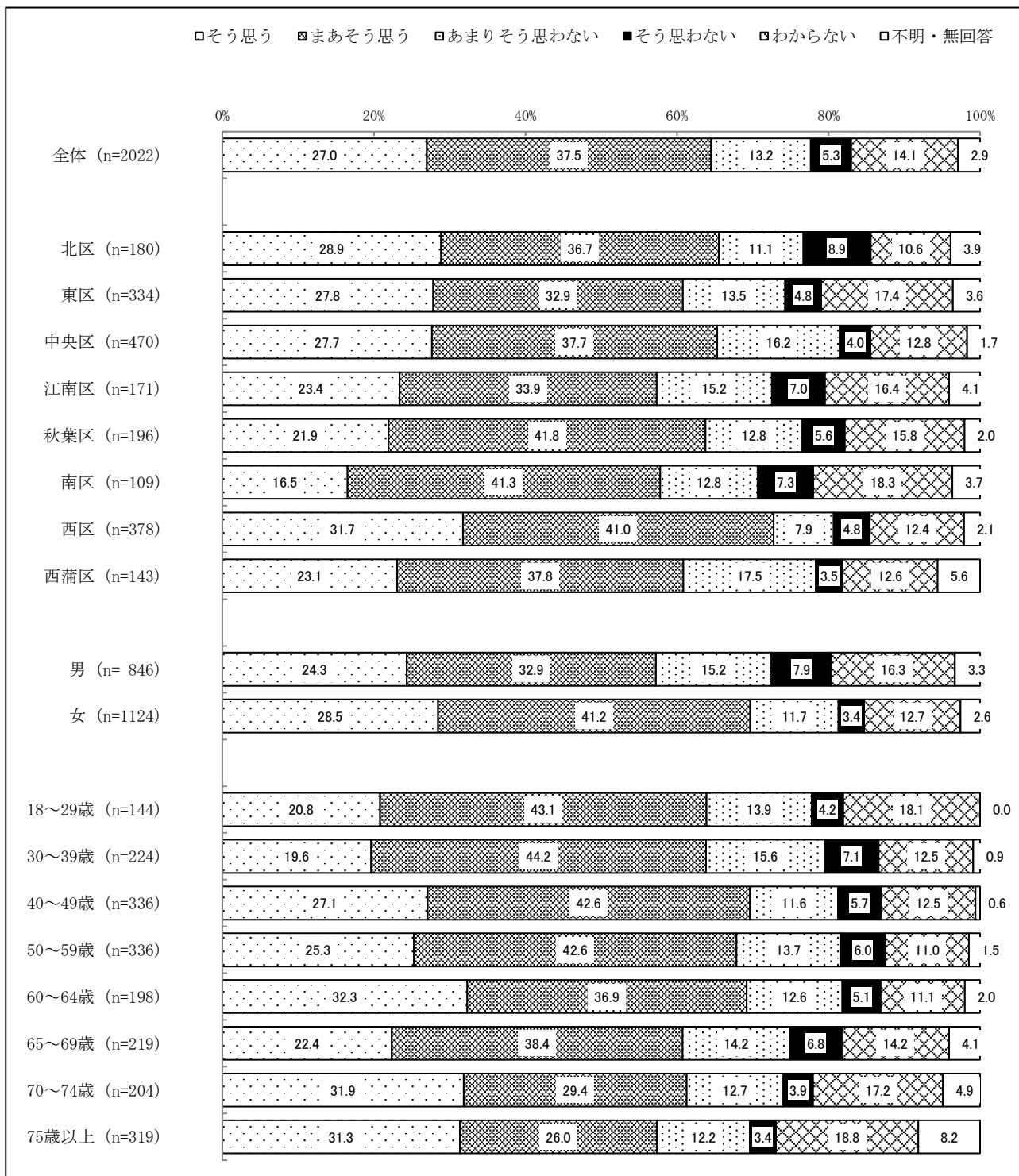
『そう思う』の割合は、男性(57.2%)と比較して女性(69.7%)の割合が高い。

③ 年齢別

『そう思う』の割合は、40～49歳(69.6%)で最も高く、75歳以上(57.4%)で最も低かった。

『そう思わない』の割合は、30～39歳(22.8%)で最も高かった。

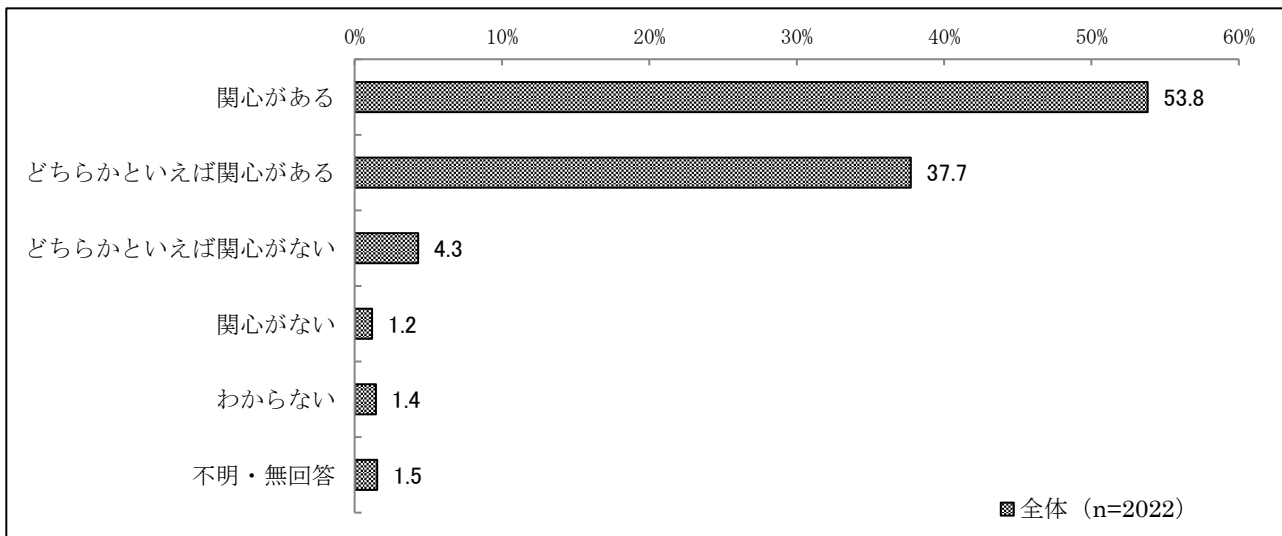
図 2-3 「りゅーとぴあ」の次世代への継承（地区別/性別/年齢別）



3. 食の安心・安全について

(1) 「食の安全」への関心

問9 あなたは、食の安全に関心がありますか。
(○は1つだけ)



— 『関心がある』が約9割 —

【全体結果】

「関心がある」(53.8%)で5割を超えた。「どちらかといえば関心がある」(37.7%)を合わせた『関心がある』(91.5%)は、9割を超えた。「どちらかといえば関心がない」(4.3%)、「関心がない」(1.2%)を合わせた『関心がない』(5.5%)は、1割に満たなかった。

【属性別結果】(図3-1参照)

① 地区別

いずれの区も、『関心がある』は、9割前後の割合となった。

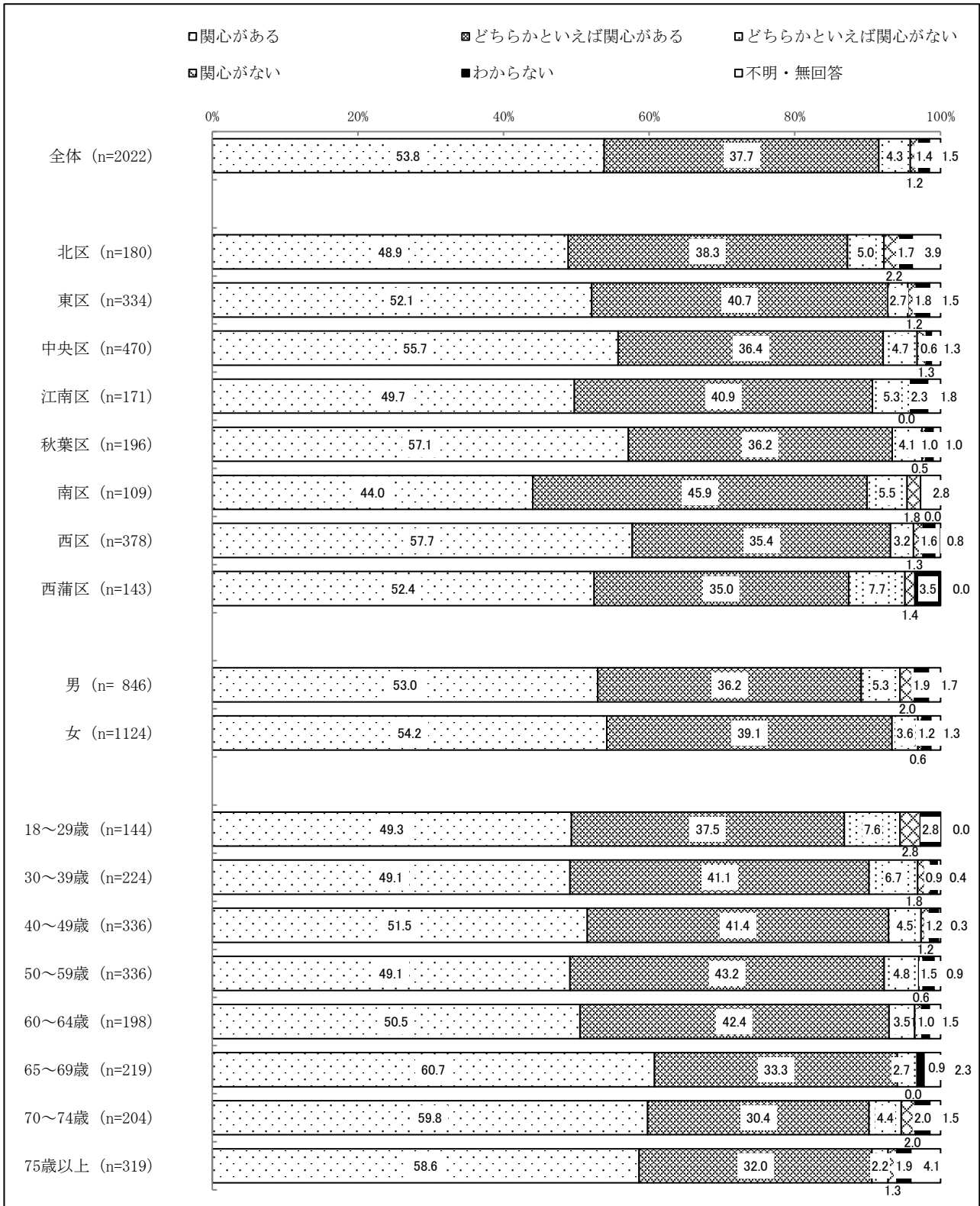
② 性別

『関心がある』の割合は、男性(89.1%)と比較して、女性(93.3%)で割合が高い。

③ 年齢別

『関心がある』の割合は、18~29歳(86.8%)で最も低く、唯一9割に満たなかった。

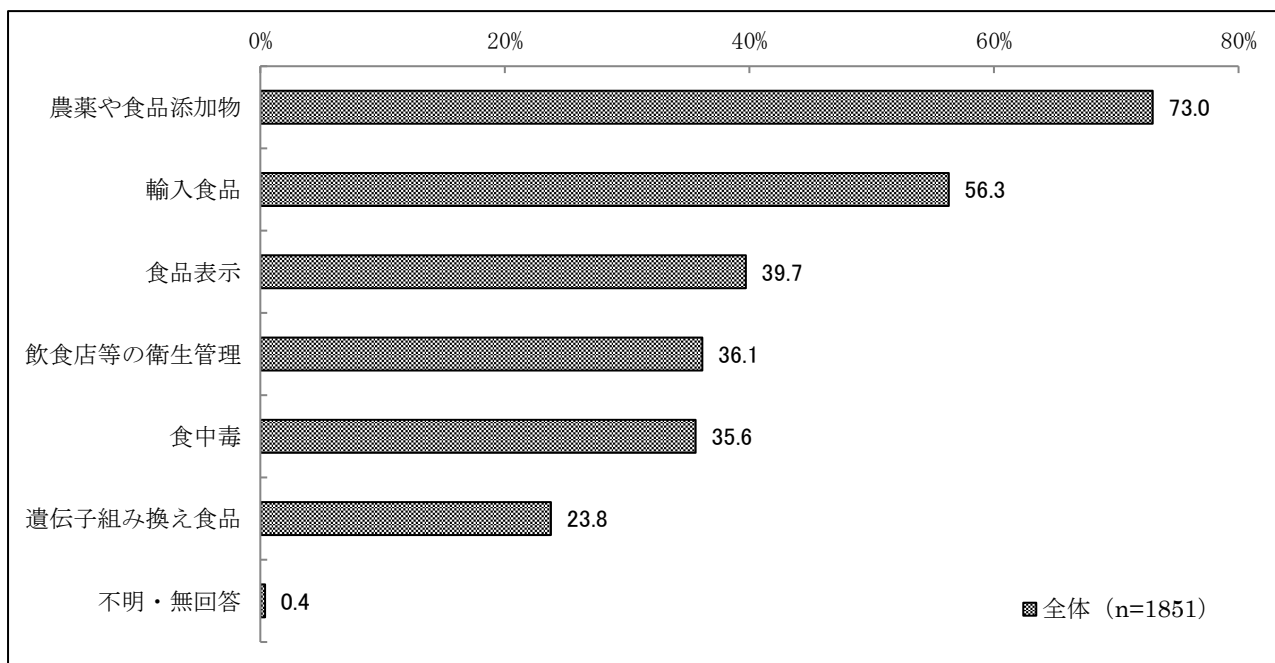
図 3-1 「食の安全」への関心（地区別/性別/年齢別）



(2) 「食の安全」について関心があること

(問9で「1」「2」(関心がある、どちらかといえば関心がある)と答えた方のみ)

問10 どのようなことに関心がありますか。(〇は3つまで)



— 「農薬や食品添加物」が7割以上 —

【全体結果】

「農薬や食品添加物」(73.0%)が7割を超え、割合が最も高い。次いで「輸入食品」(56.3%)、「食品表示」(39.7%)、「飲食店等の衛生管理」(36.1%)、「食中毒」(35.6%)の順となった。

【属性別結果】(図3-2参照)

① 地区別

「農薬や食品添加物」は、全ての区で割合が最も高く、中央区(76.9%)で最も高い。「輸入食品」は、南区(65.3%)、西蒲区(64.0%)で割合がやや高い。

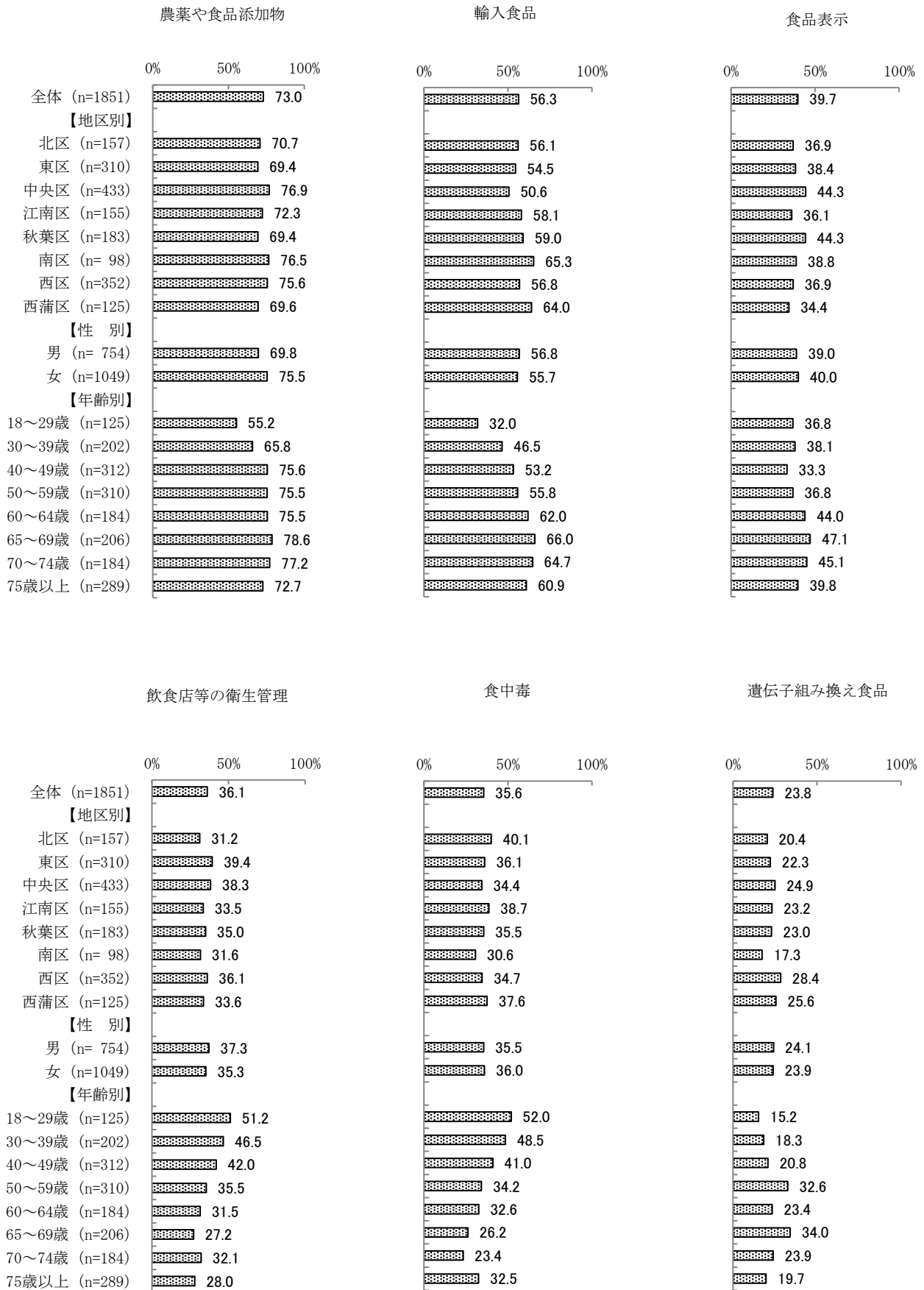
② 性別

「農薬や食品添加物」は、男性(69.8%)と比較して、女性(75.5%)で割合が高い。他の項目では男女での差は小さい。

③ 年齢別

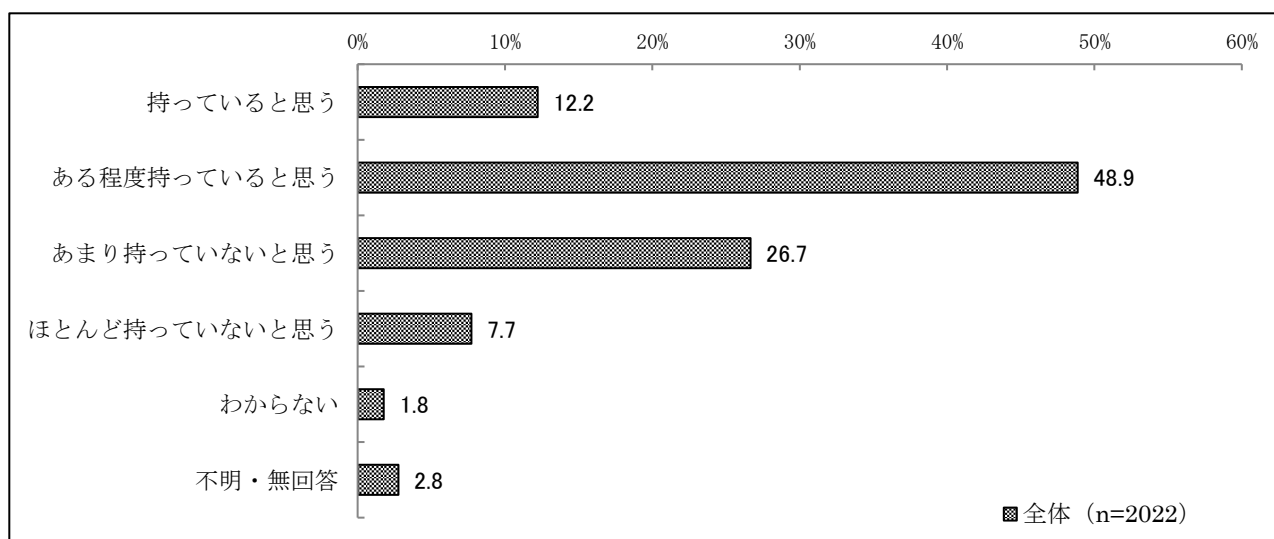
「農薬や食品添加物」「輸入食品」は、若年層ほど割合が低い。逆に「飲食店等の衛生管理」「食中毒」は若年層ほど割合が高い。

図 3-2 「食の安全」について関心があること（地区別/性別/年齢別）



(3) 「食の安全」の知識に関する自己評価

問11 あなたは、食の安全に関してどの程度知識を持っていると思いますか。
(○は1つだけ)



— 知識を『持っていると思う』が6割強 —

【全体結果】

「持っていると思う」(12.2%)、「ある程度持っていると思う」(48.9%)を合わせた『持っている』(61.1%)は、6割を超えた。「あまり持っていないと思う」(26.7%)、「ほとんど持っていないと思う」(7.7%)を合わせた『持っていない』(34.4%)は、3割半ばとなった。

【属性別結果】(図3-3参照)

① 地区別

『持っている』の割合は、西区(64.3%)で最も高く、南区(54.1%)で最も低い。

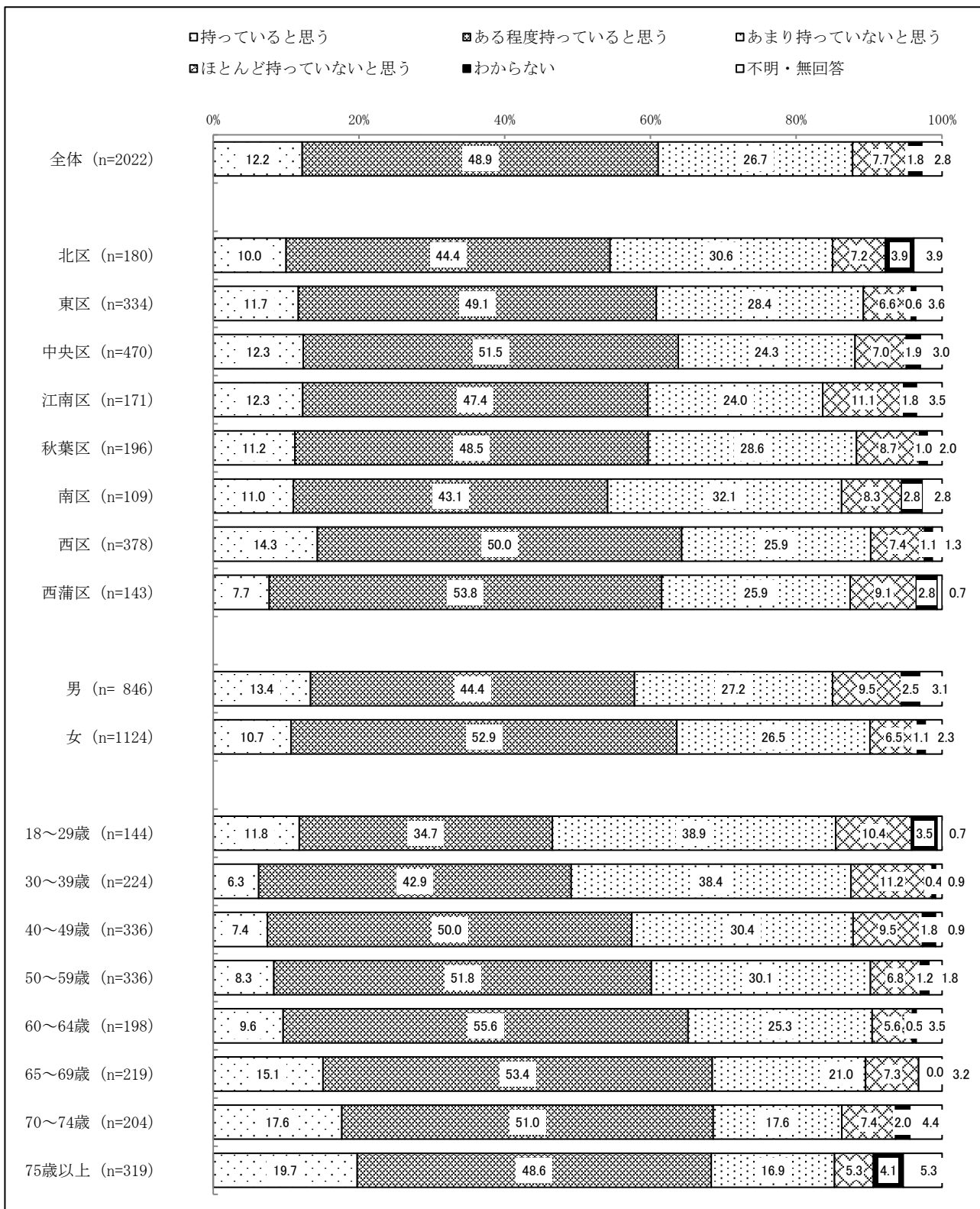
② 性別

『持っている』の割合は、男性(57.8%)と比較して、女性(63.6%)で割合が高い。

③ 年齢別

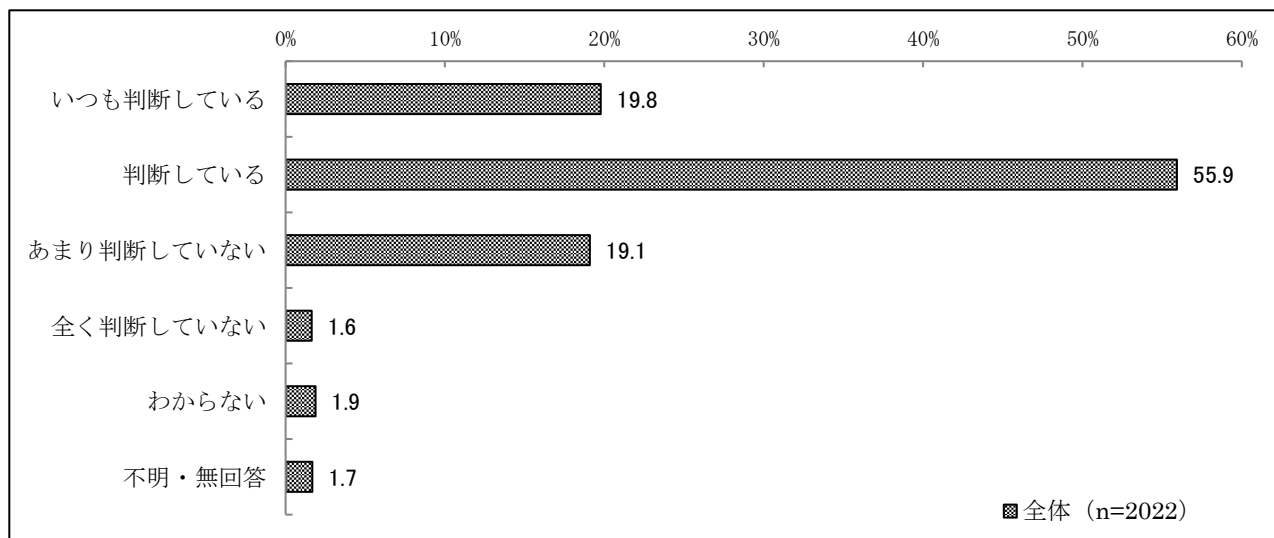
『持っている』の割合は、18～29歳(46.5%)で最も低い。年齢が高いほど割合が高くなる傾向がみられる。

図 3-3 「食の安全」の知識に関する自己評価（地区別/性別/年齢別）



(4) 食品選択等の判断

問12 あなたは、安全な食生活を送るために、自ら食品選択等の判断をしていますか。
(○は1つだけ)



— 『判断している』が7割半ば —

【全体結果】

「いつも判断している」(19.8%)、「判断している」(55.9%)を合わせた『判断している』(75.7%)は、7割半ばとなった。「あまり判断していない」(19.1%)、「全く判断していない」(1.6%)を合わせた『判断していない』(20.7%)は、約2割となった。

【属性別結果】(図3-4参照)

① 地区別

『判断している』の割合は、西区(80.4%)で最も高く、南区(68.8%)で最も低い。

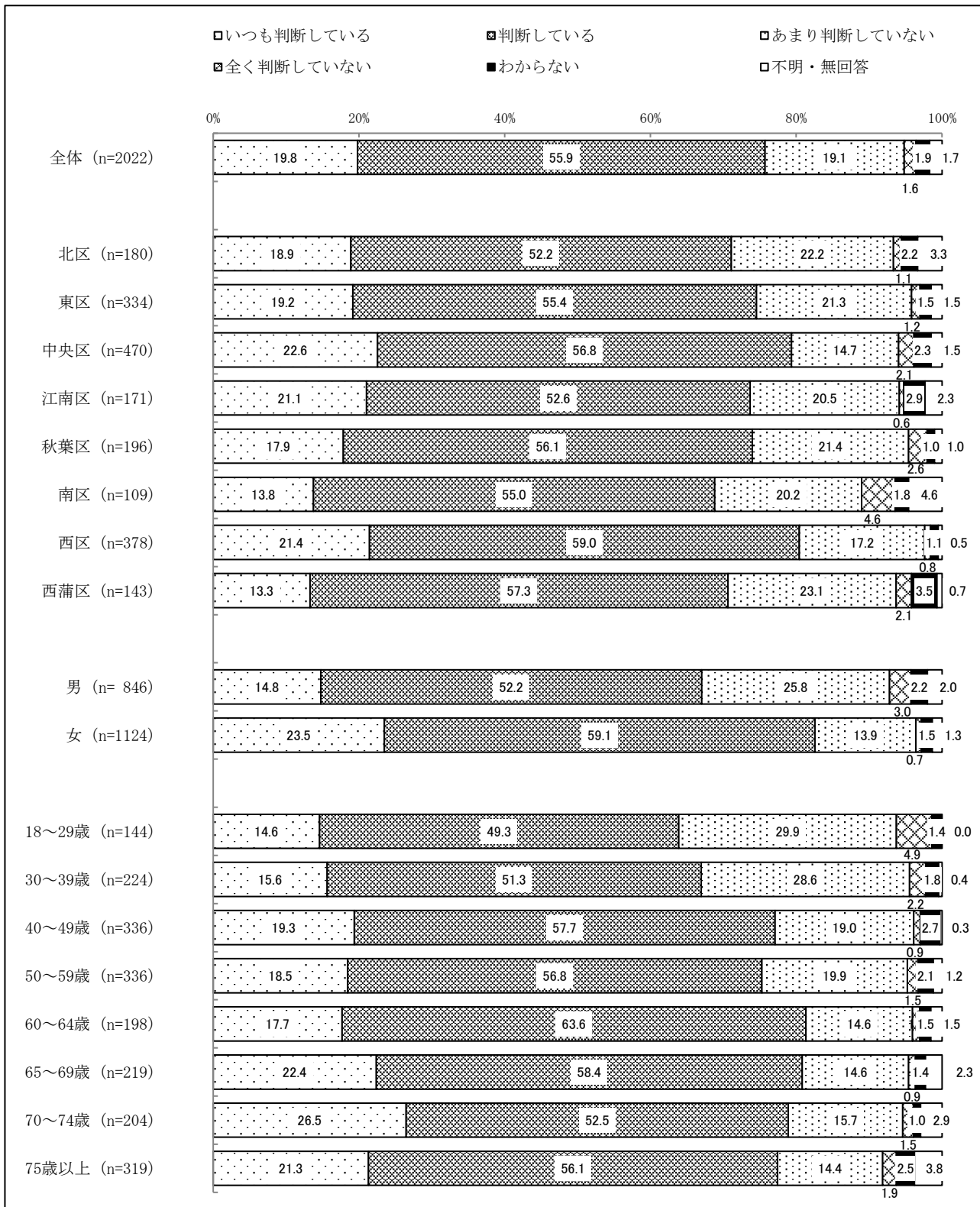
② 性別

『判断している』の割合は、男性(67.0%)と比較して、女性(82.6%)で割合が高い。

③ 年齢別

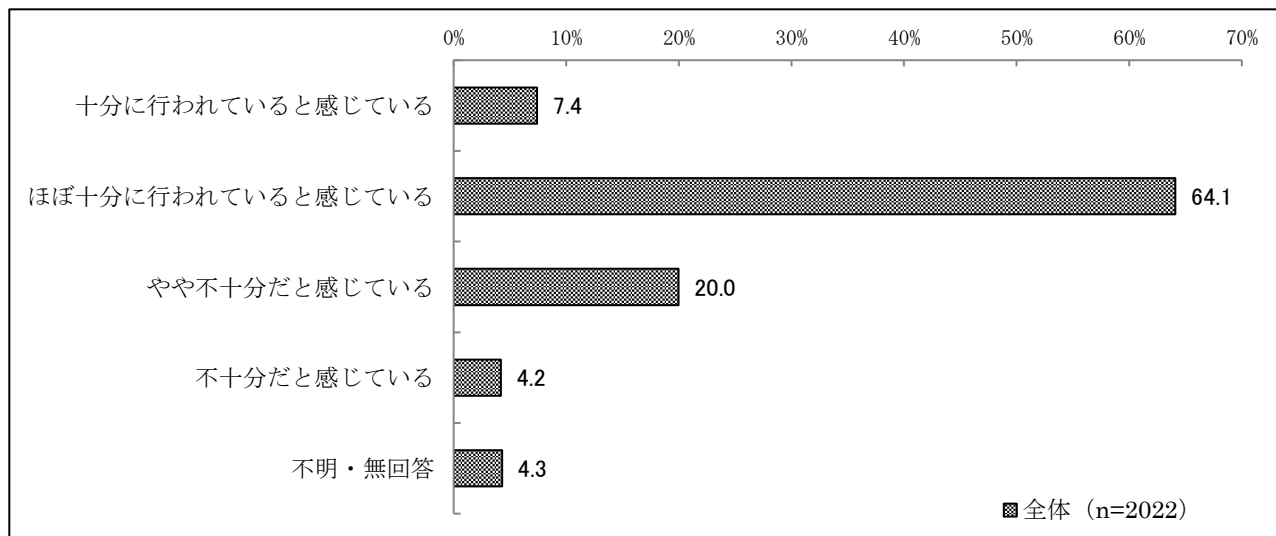
『判断している』の割合は、60~64歳(81.3%)で最も高く、18~29歳(63.9%)で最も低い。

図 3-4 食品選択等の判断（地区別/性別/年齢別）



（５）新潟市の食の安心・安全への取り組み

問 1 3 新潟市では、「食の安全基本方針」に基づき、下記のような取組を重点的に行っているところですが、あなたは、新潟市における食の安心・安全の確保に対する取り組みが、十分に行われていると感じていますか。一番近いものをお選びください。（○は1つだけ）



— 『行われていると感じている』が7割を超す —

【全体結果】

「十分に行われていると感じている」(7.4%)、「ほぼ十分に行われていると感じている」(64.1%)を合わせた『行われていると感じている』(71.5%)は、7割を超えた。「やや不十分だと感じている」(20.0%)、「不十分だと感じている」(4.2%)を合わせた『不十分だと感じている』(24.2%)は、2割強となった。

【属性別結果】(図 3-5 参照)

① 地区別

『行われていると感じている』の割合は、西蒲区(76.9%)、北区(76.7%)でやや高く、南区(64.2%)で最も低い。

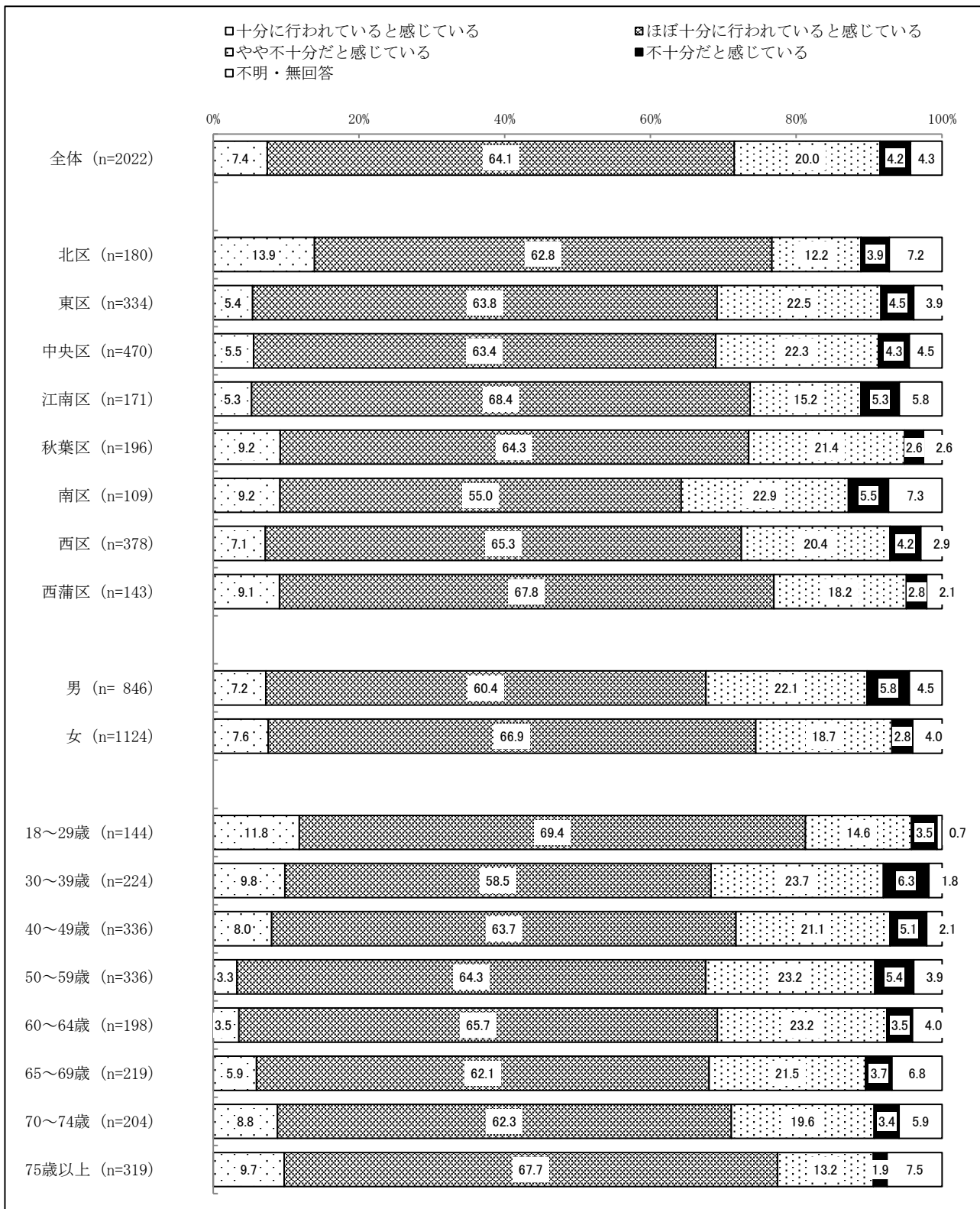
② 性別

『行われていると感じている』の割合は、男性(67.6%)と比較して、女性(74.5%)で割合が高い。

③ 年齢別

『行われていると感じている』の割合は、18～29歳(81.3%)で最も高く、唯一8割を超えた。50～59歳(67.6%)で最も低い。

図 3-5 新潟市の食の安心・安全への取り組み（地区別/性別/年齢別）

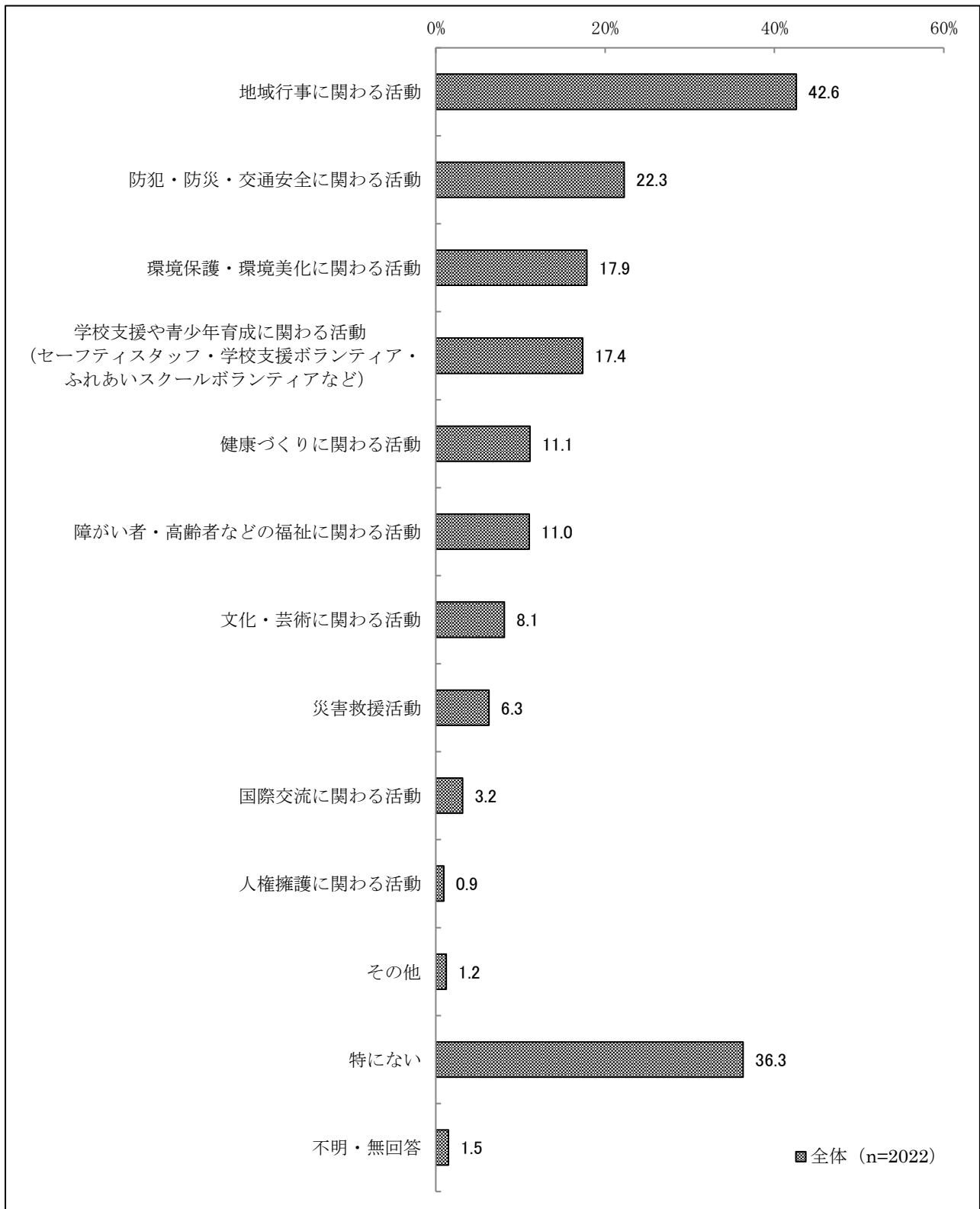


4. 社会活動への関わりについて

(1) 参加したことがある社会活動

問14 次の中で、あなたがこれまでに参加したことがある社会活動はありますか。

(○はいくつでも)



— 「地域行事に関わる活動」が4割以上 —

【全体結果】

「地域行事に関わる活動」(42.6%)が4割を超え、割合が最も高い。次に続く「防犯・防災・交通安全に関わる活動」(22.3%)の倍近くの割合で、突出している。「環境保護・環境美化に関わる活動」(17.9%)、「学校支援や青少年育成に関わる活動(セーフティスタッフ・学校支援ボランティア・ふれあいスクールボランティアなど)」(17.4%)で、2割弱となった。

「特にない」(36.3%)は、3割半ばとなった。

【属性別結果】(図4-1参照)

① 地区別

「地域行事に関わる活動」は、全ての区で割合が最も高い。南区(64.2%)で最も高く、唯一6割を超えた。「防犯・防災・交通安全に関わる活動」も南区(35.8%)で最も高く、唯一3割を超えた。「環境保護・環境美化に関わる活動」は、西蒲区(24.5%)で最も高い。「特にない」は東区(40.7%)、中央区(40.0%)で高い。

② 性別

「地域社会に関わる活動」(男性46.8%、女性39.7%)、「防犯・防災・交通安全に関わる活動」(男性27.1%、女性18.6%)、「環境保護・環境美化に関わる活動」(男性24.1%、女性13.4%)は、女性と比較して、男性で割合が高く、差がみられた。

③ 年齢別

「特にない」は、18～29歳(52.1%)、30～39歳(50.0%)で割合が高く5割以上となった。18～29歳、30～39歳は、「特にない」を除く各項目の割合が、他の年代と比較して低い傾向にある。

図 4-1 参加したことがある社会活動（地区別/性別/年齢別） 1/2

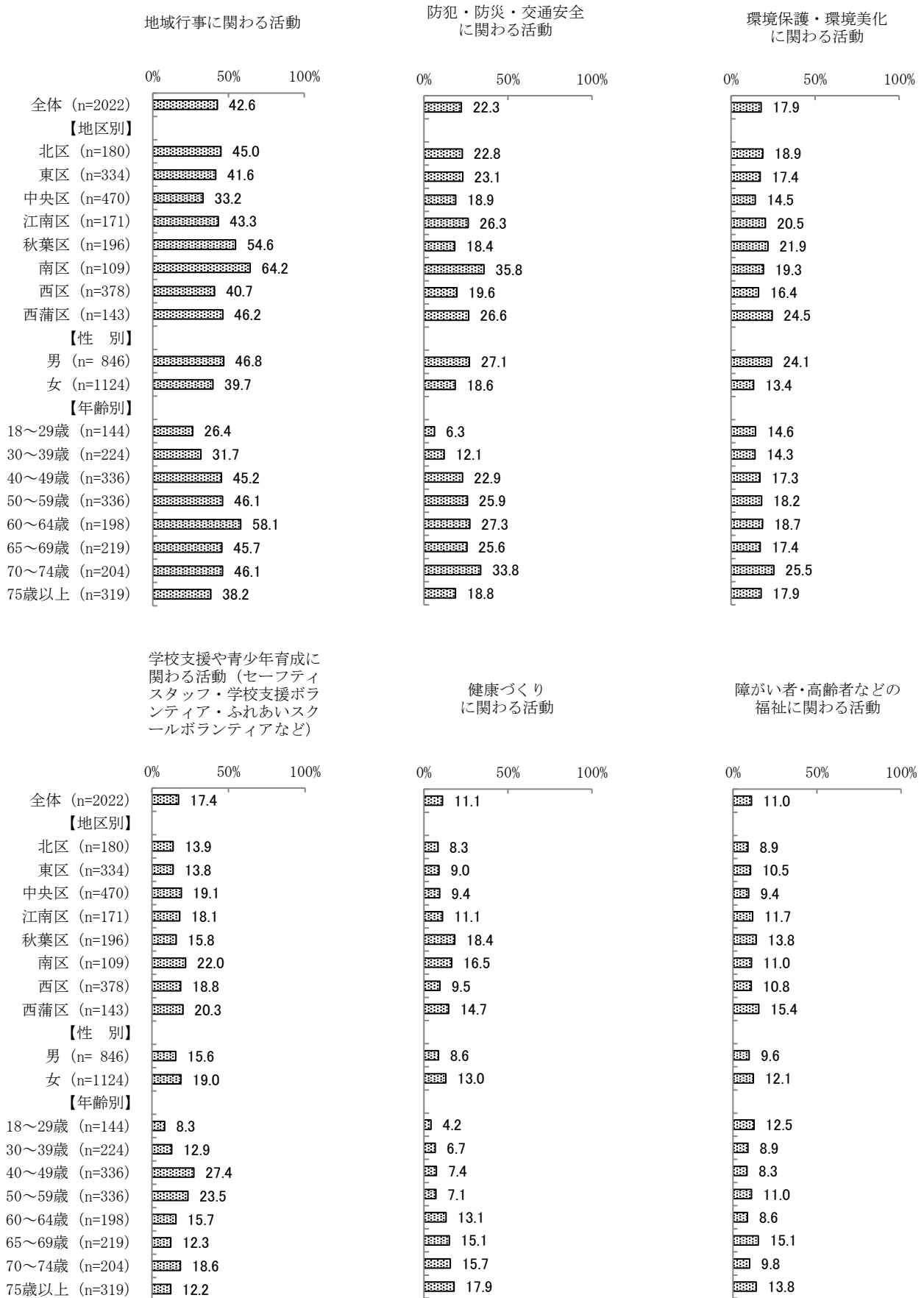
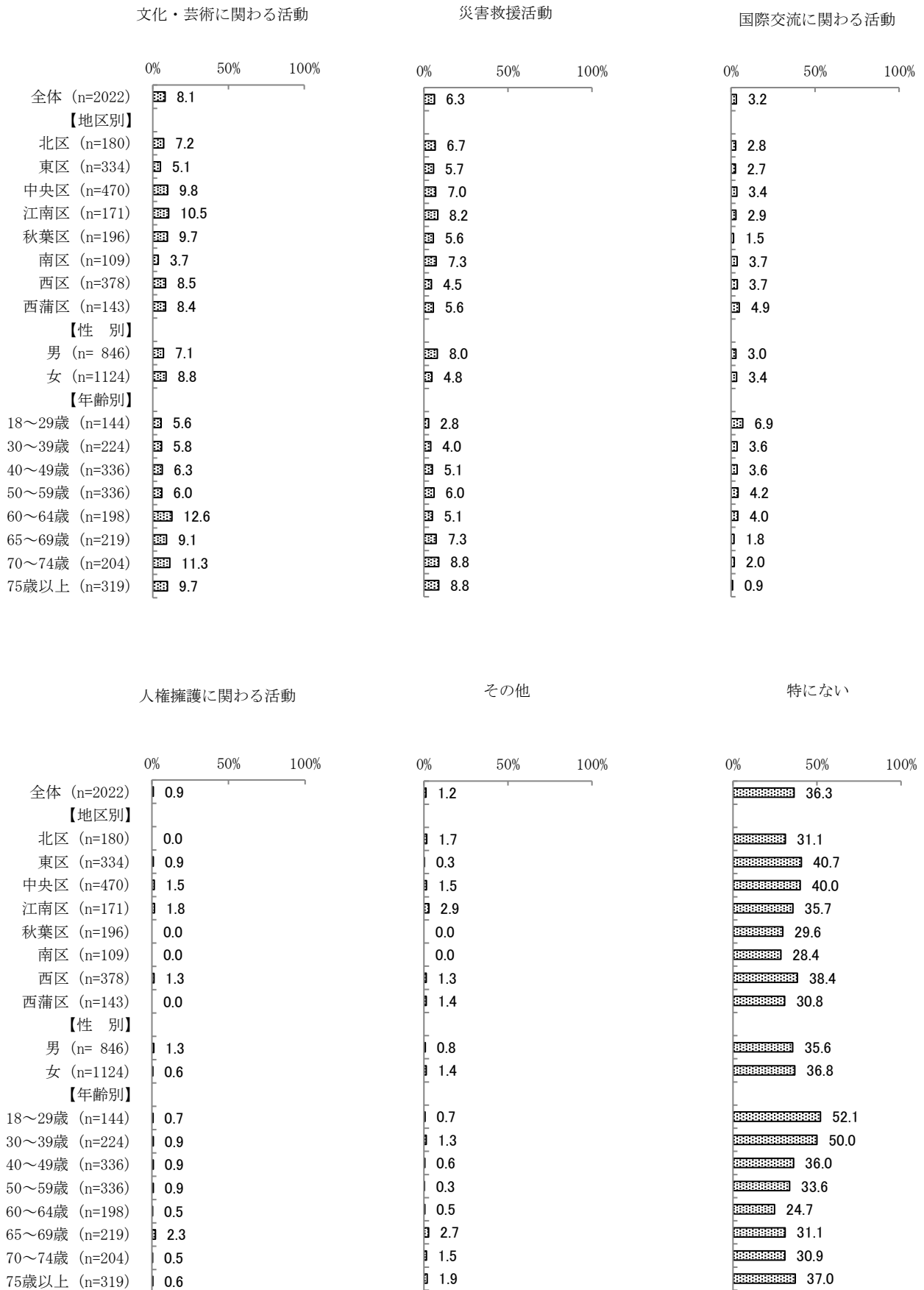


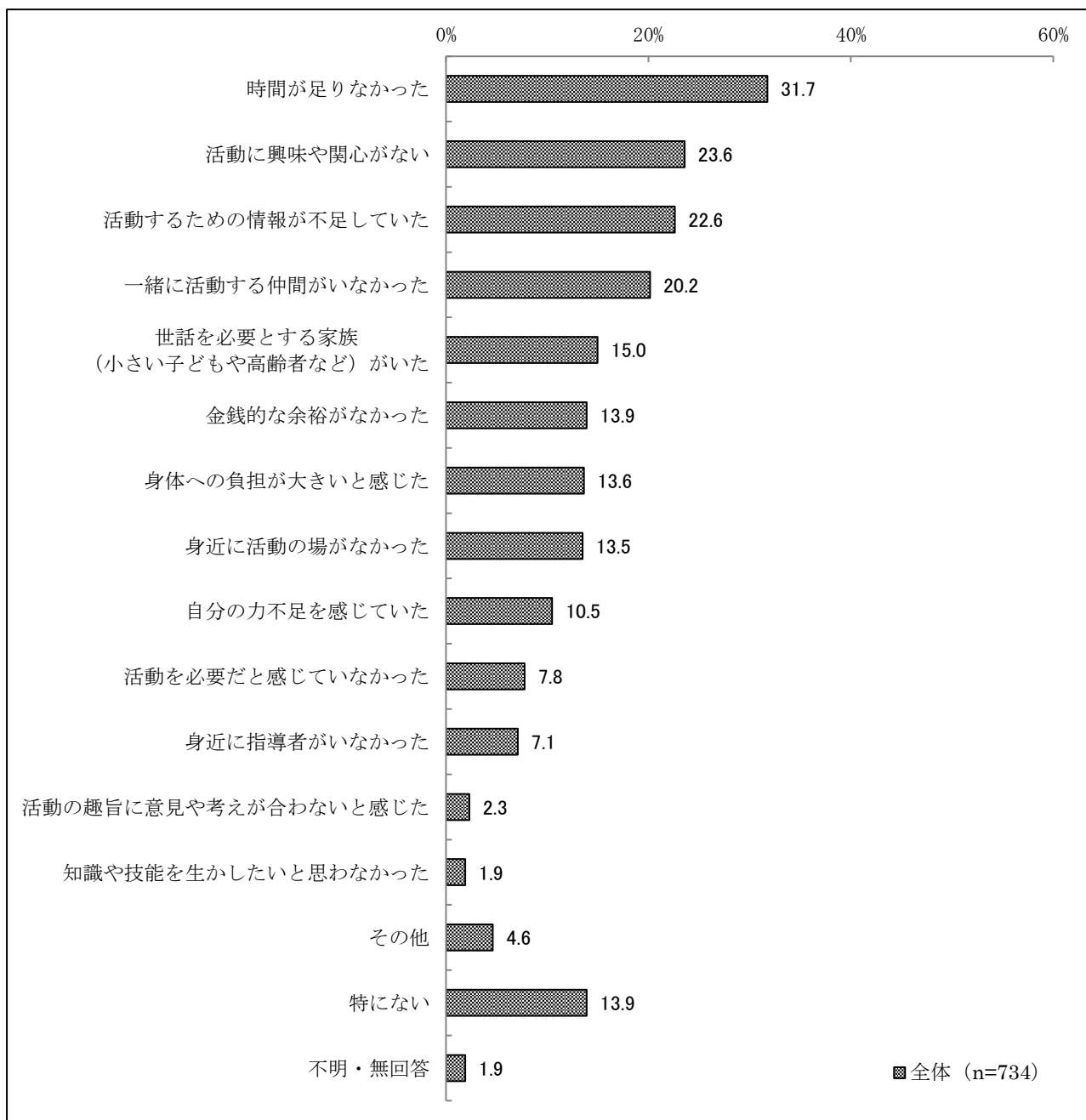
図 4-1 参加したことがある社会活動（地区別/性別/年齢別） 2/2



(2) 参加しなかった、できなかった理由

(問14で「12」(特にない)と答えた方のみ)

問15 参加しなかった、できなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)



— 「時間が足りなかった」が3割以上 —

【全体結果】

「時間が足りなかった」(31.7%)が3割を超え、割合が最も高い。次いで「活動に興味や関心がない」(23.6%)、「活動するための情報が不足していた」(22.6%)、「一緒に活動する仲間がいなかった」(20.2%)、「世話を必要とする家族(小さい子どもや高齢者など)がいた」(15.0%)の順に続く。

「特にない」(13.9%)も1割を超えた。

【属性別結果】（図 4-2 参照）

① 地区別

東区、南区、西蒲区を除く区で、「時間が足りなかった」の割合が最も高く、秋葉区（39.7%）の割合が最も高い。

東区は、「活動に興味や関心がない」（27.2%）が、「時間が足りなかった」（26.5%）よりも高く、割合が最も高い結果となった。

南区は、「一緒に活動する仲間がいなかった」（38.7%）の割合が最も高く、他の区と比べても高い。また、「自分の力不足を感じていた」（25.8%）の割合も他の区と比べて高い。

西蒲区は、「時間が足りなかった」「活動に興味や関心がない」（各 27.3%）の割合が最も高い。

西区は、「活動するための情報が不足していた」（30.3%）、「身近に活動の場がなかった」（20.0%）が、他の区と比べて高い。

② 性別

「活動に興味や関心がない」（男性 27.9%、女性 20.8%）、「特にない」（男性 17.9%、女性 10.9%）は、女性と比較して、男性で割合が高く、「世話を必要とする家族（小さい子どもや高齢者など）がいた」（男性 8.3%、女性 20.3%）、「身体への負担が大きいと感じた」（男性 10.3%、女性 16.4%）は、男性と比較して、女性で割合が高く、差がみられた。

③ 年齢別

「特にない」は、60～64 歳（8.2%）で割合が低く、唯一 1 割未満となった。

「身体への負担が大きいと感じた」は、年齢が高いほど割合が高くなる傾向が見られる。

図 4-2 参加しなかった、できなかった理由（地区別/性別/年齢別） 1/3

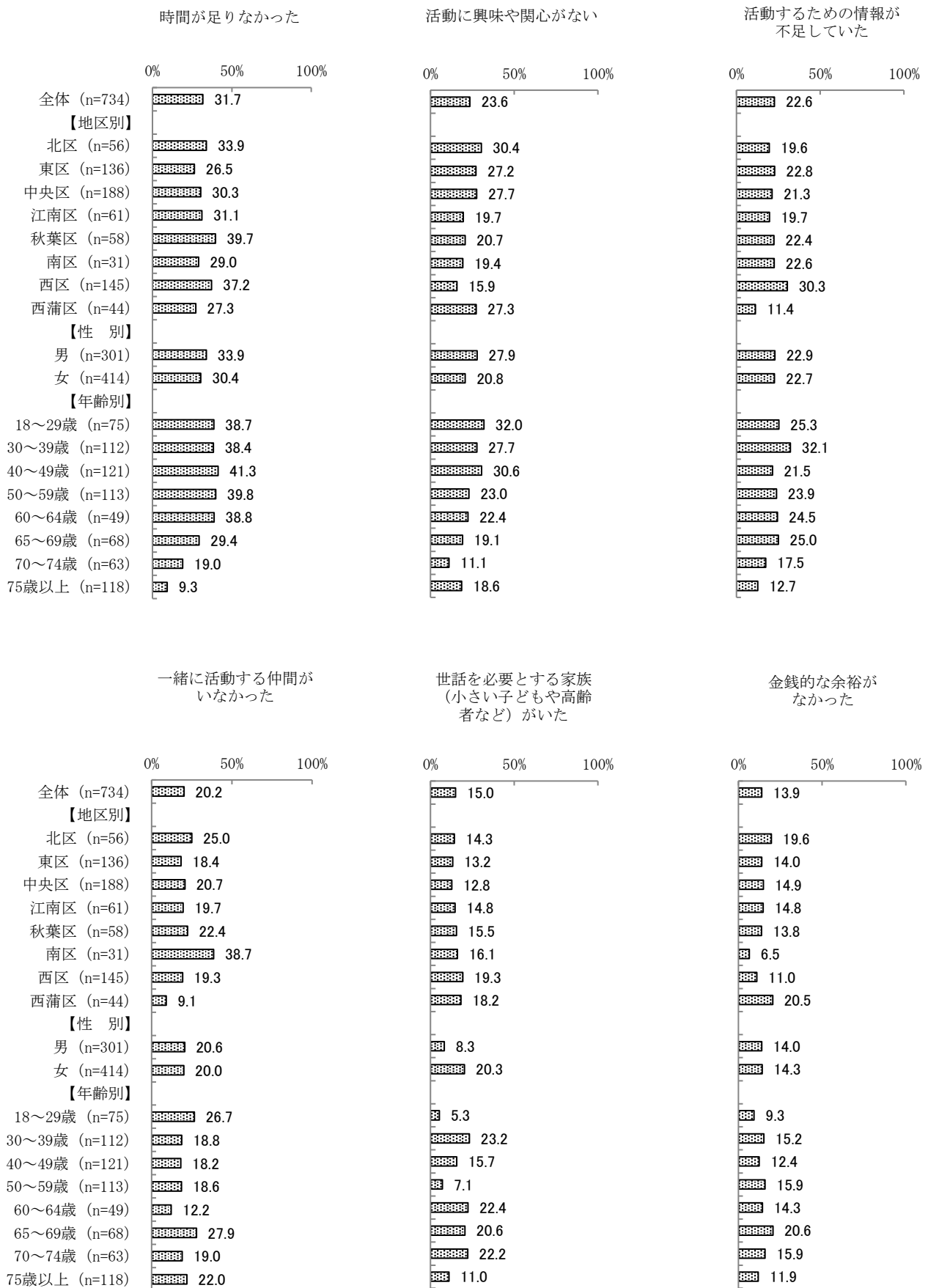


図 4-2 参加しなかった、できなかった理由（地区別/性別/年齢別） 2/3

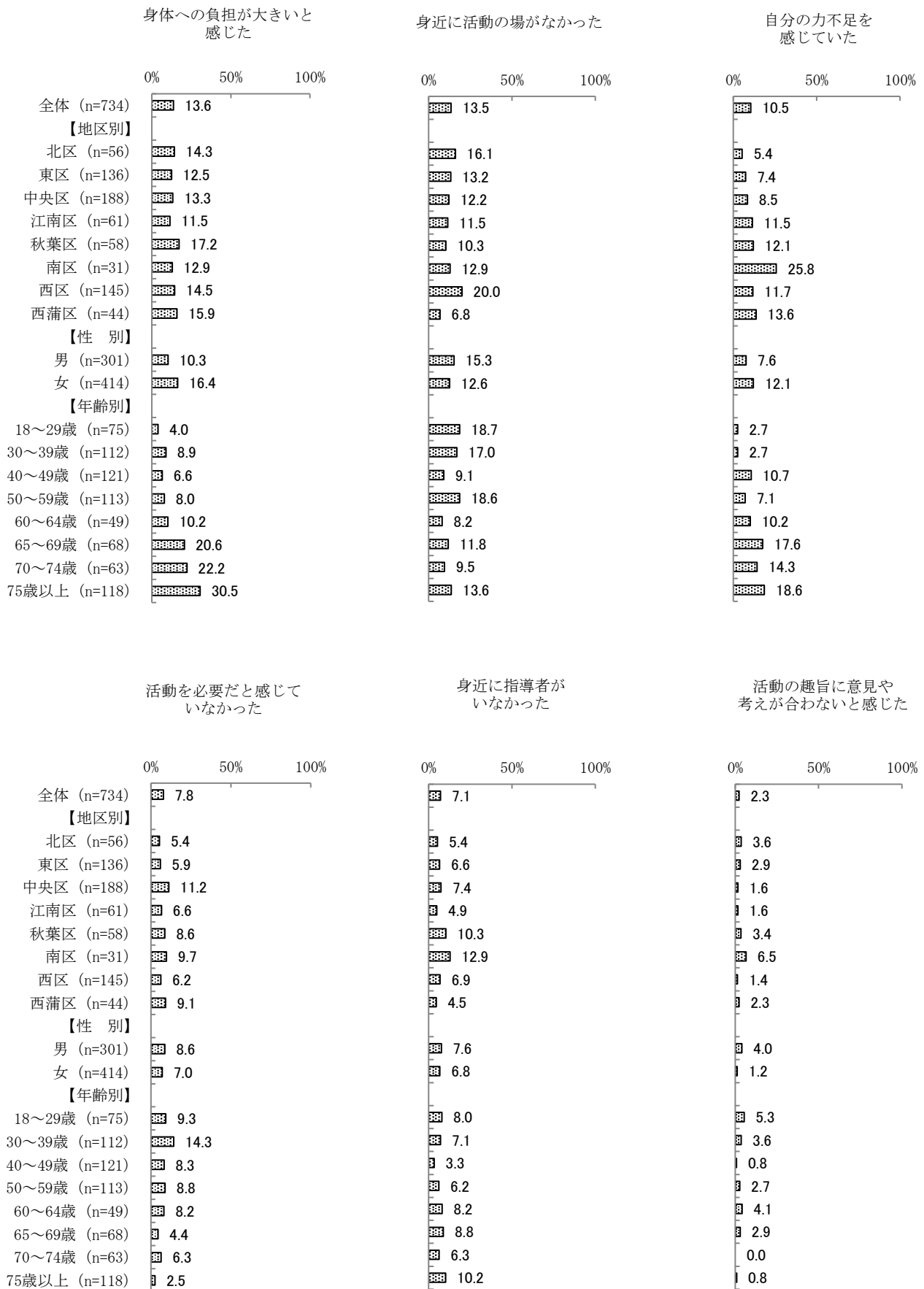
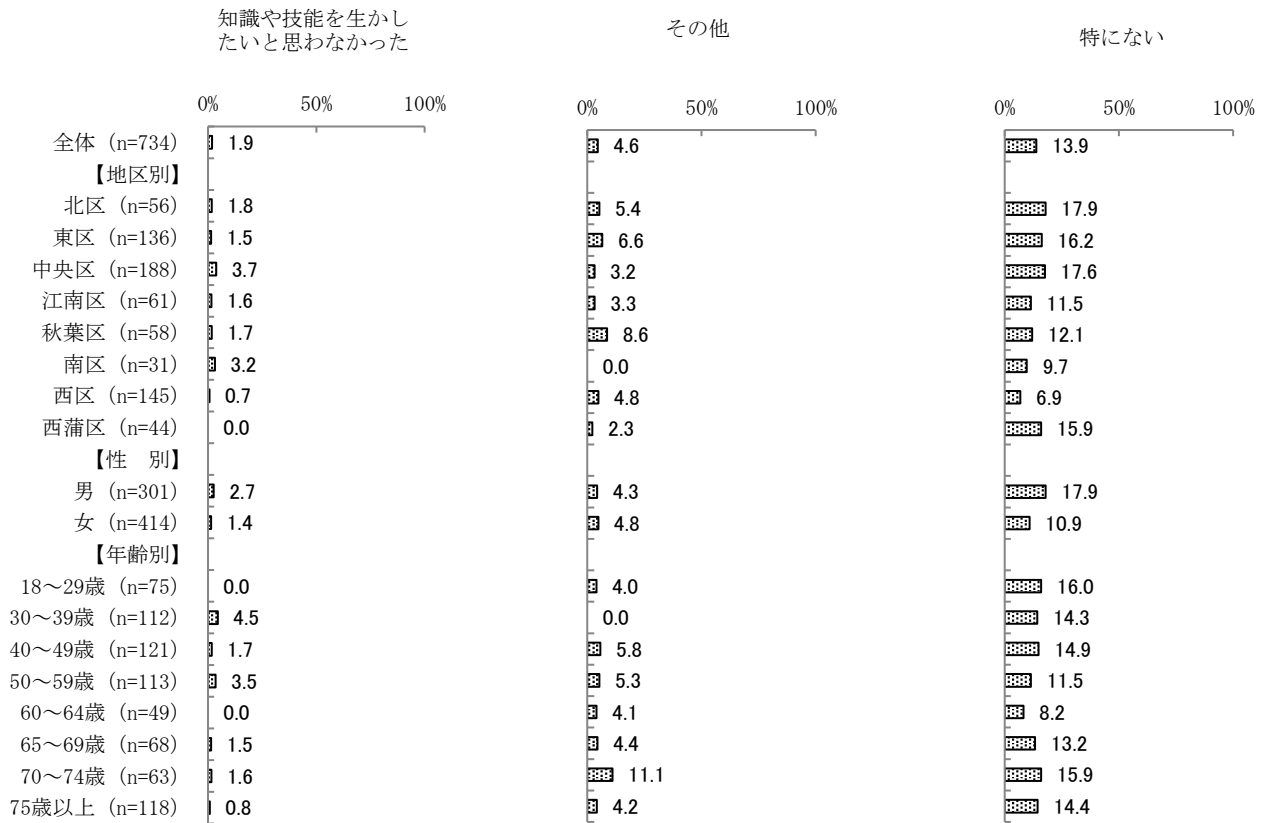
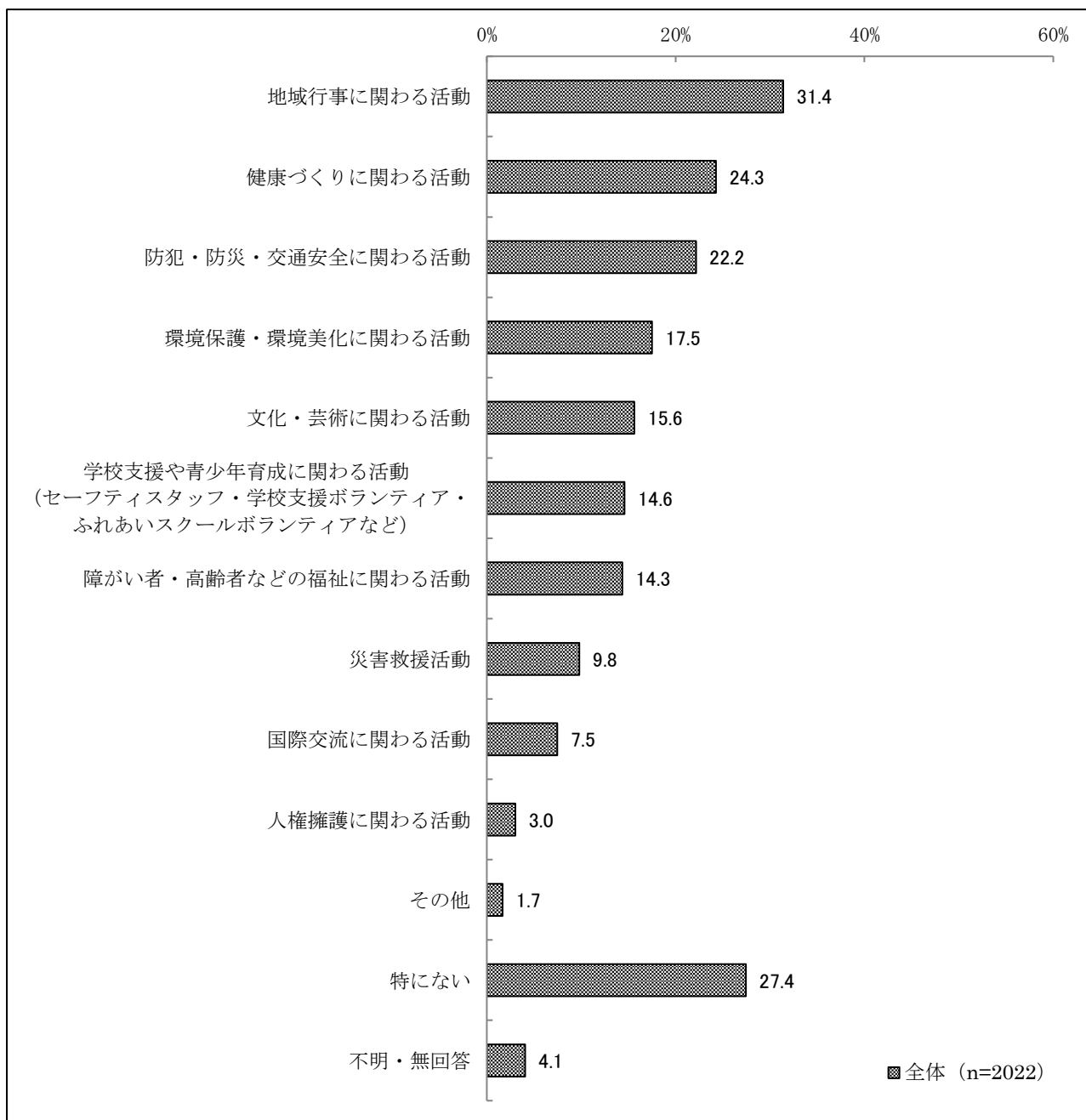


図 4-2 参加しなかった、できなかった理由（地区別/性別/年齢別） 3/3



(3) 今後、参加・継続したい社会活動

問16 あなたが今後、参加したい、または継続したい社会活動はありますか。
(〇はいくつでも)



— 「地域行事に関わる活動」が3割以上 —

【全体結果】

「地域行事に関わる活動」(31.4%)が3割を超え、割合が最も高い。次いで、「健康づくりに関わる活動」(24.3%)、「防犯・防災・交通安全に関わる活動」(22.2%)、「環境保護・環境美化に関わる活動」(17.5%)、「文化・芸術に関わる活動」(15.6%)の順に続く。

「特にない」(27.4%)は、3割弱となった。

【属性別結果】（図 4-3 参照）

① 地区別

「地域行事に関わる活動」は、中央区以外の区で割合が最も高い。特に南区（47.7%）、西蒲区（43.4%）で高く、4割を超えた。中央区では、「健康づくりに関わる活動」（25.5%）の割合が最も高い。

「特にない」は、江南区（33.3%）の割合が最も高い。

② 性別

「地域行事に関わる活動」（男性 36.1%、女性 27.9%）、「防犯・防災・交通安全に関わる活動」（男性 28.0%、女性 17.8%）、「環境保護・環境美化に関わる活動」（男性 21.5%、女性 14.7%）は、女性と比較して、男性で割合が高く差がみられた。

③ 年齢別

「地域行事に関わる活動」、「健康づくりに関わる活動」は、60～64歳（各 42.4%、30.3%）で割合が最も高い。「学校支援や青少年育成に関わる活動（セーフティスタッフ・学校支援ボランティア・ふれあいスクールボランティアなど）」は40～49歳（24.4%）で割合が最も高い。「特にない」は、75歳以上（37.6%）、30～39歳（31.3%）、18～29歳（30.6%）で高く、3割を超えた。

図 4-3 今後、参加・継続したい社会活動（地区別/性別/年齢別） 1/2

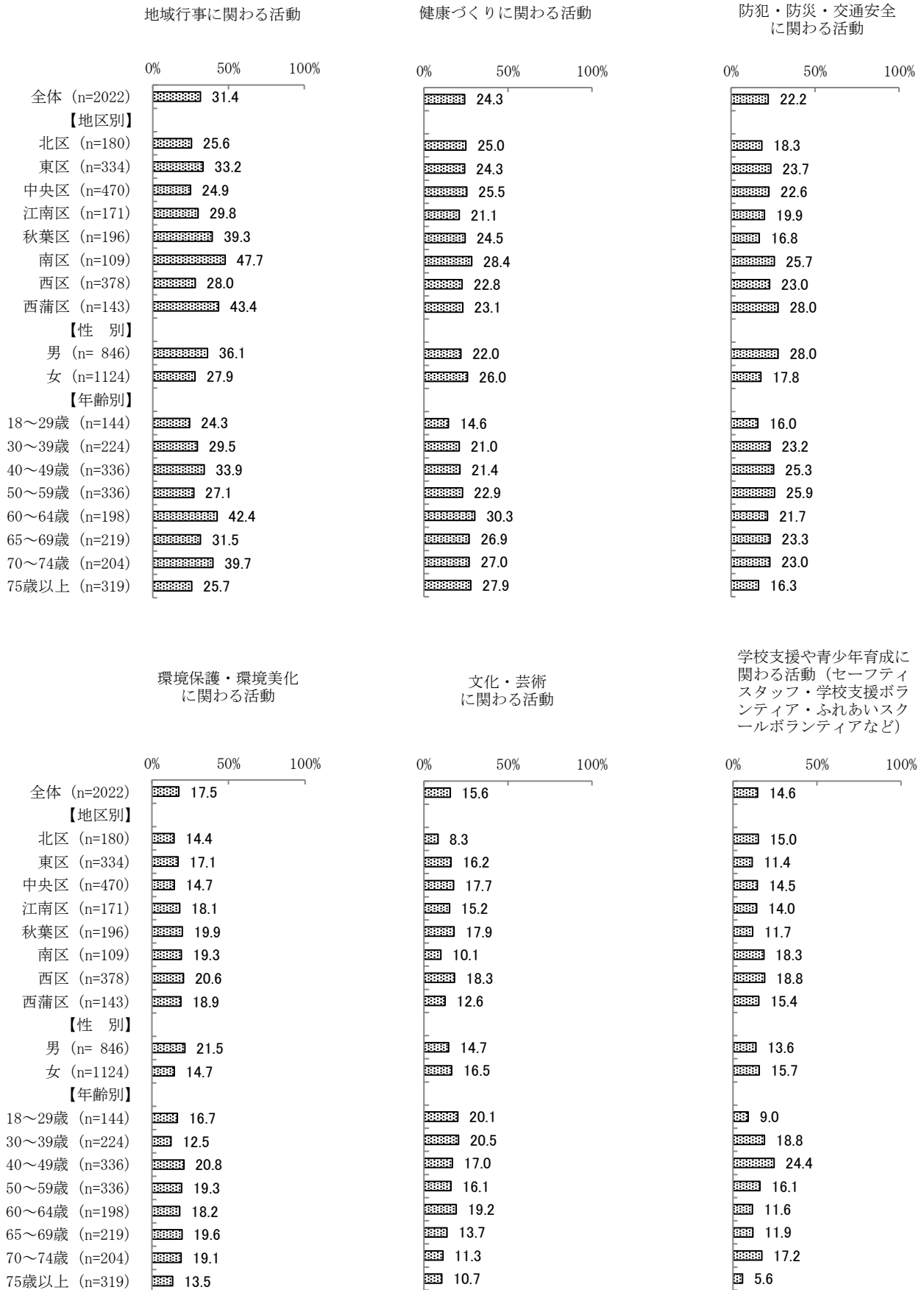
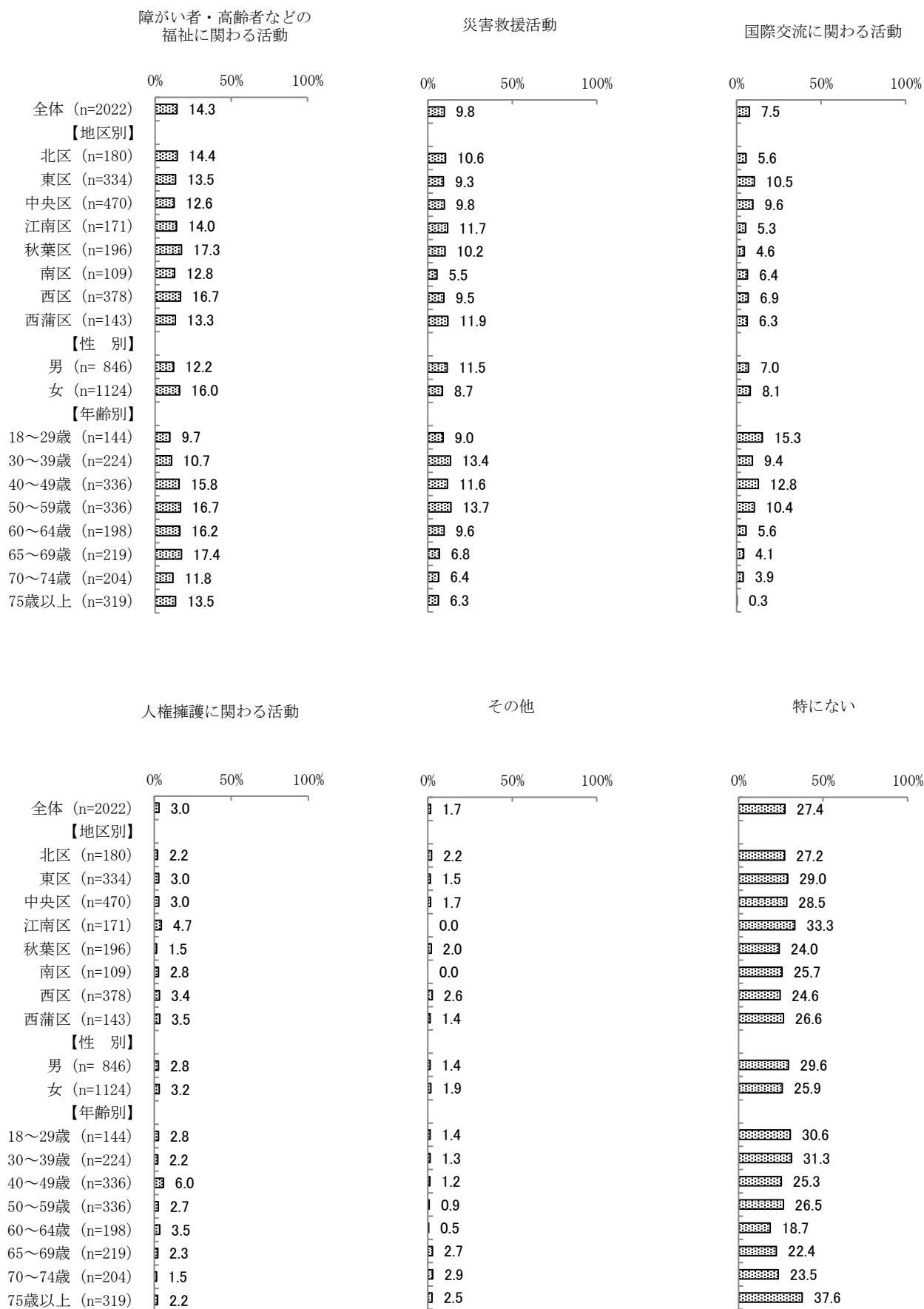


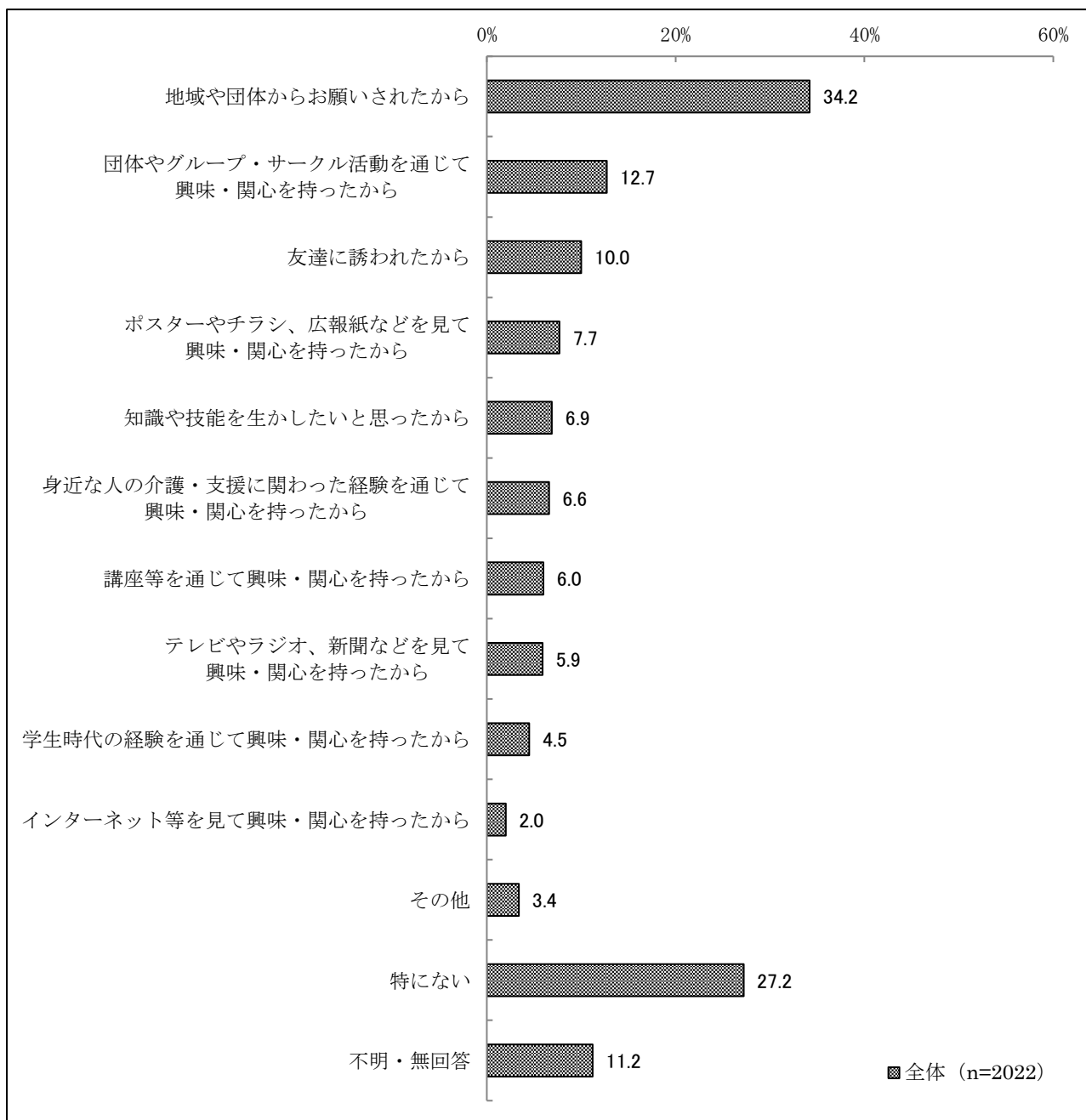
図 4-3 今後、参加・継続したい社会活動（地区別/性別/年齢別） 2/2



(4) 社会活動に参加したきっかけ

問17 あなたが、社会活動に参加したきっかけは何ですか。

(○はいくつでも)



— 「地域や団体からお願いされた」が3割以上 —

【全体結果】

「地域や団体からお願いされたから」(34.2%)が3割を超え、割合が最も高い。次に続く「団体やグループ・サークル活動を通じて興味・関心を持ったから」(12.7%)の3倍近くの割合で、突出している。「友達に誘われたから」(10.0%)が1割。他のきっかけは、1割に満たなかった。

「特にない」(27.2%)は、3割弱となった。

【属性別結果】（図 4-4 参照）

① 地区別

「地域や団体からお願いされたから」は、すべての区で割合が最も高い。区別では南区（46.8%）で最も高い。「団体やグループ・サークル活動を通じて興味・関心を持ったから」、「友達に誘われたから」は、西蒲区（各 17.5%、16.1%）で最も高い。

「特にない」は、東区（30.2%）で割合が最も高い。

② 性別

「地域や団体からお願いされたから」は、女性（30.1%）と比較して、男性（40.4%）で割合が高く差がみられた。

「特にない」も、女性（25.2%）と比較して、男性（30.3%）で割合が高く差がみられた。

③ 年齢別

「地域や団体からお願いされたから」は、60～64 歳（47.0%）、50～59 歳（42.3%）で割合が高い。

「団体やグループ・サークル活動を通じて興味・関心を持ったから」は、75 歳以上（18.8%）、70～74 歳（18.6%）で割合が高い。年齢が高いほど割合が高くなる傾向がみられる。

「特にない」は、18～29 歳（44.4%）、30～39 歳（40.6%）で高く、4 割を超えた。

図 4-4 社会活動に参加したきっかけ（地区別/性別/年齢別） 1/2

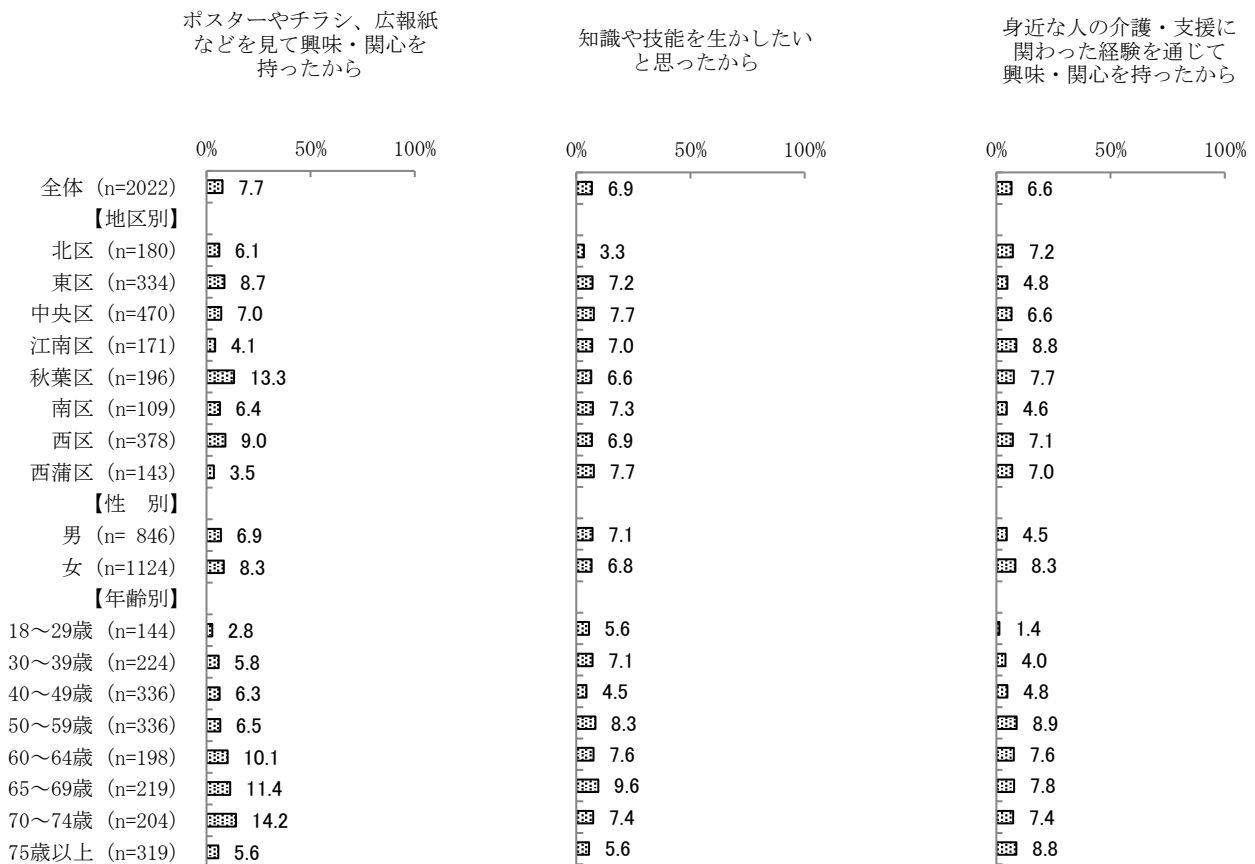
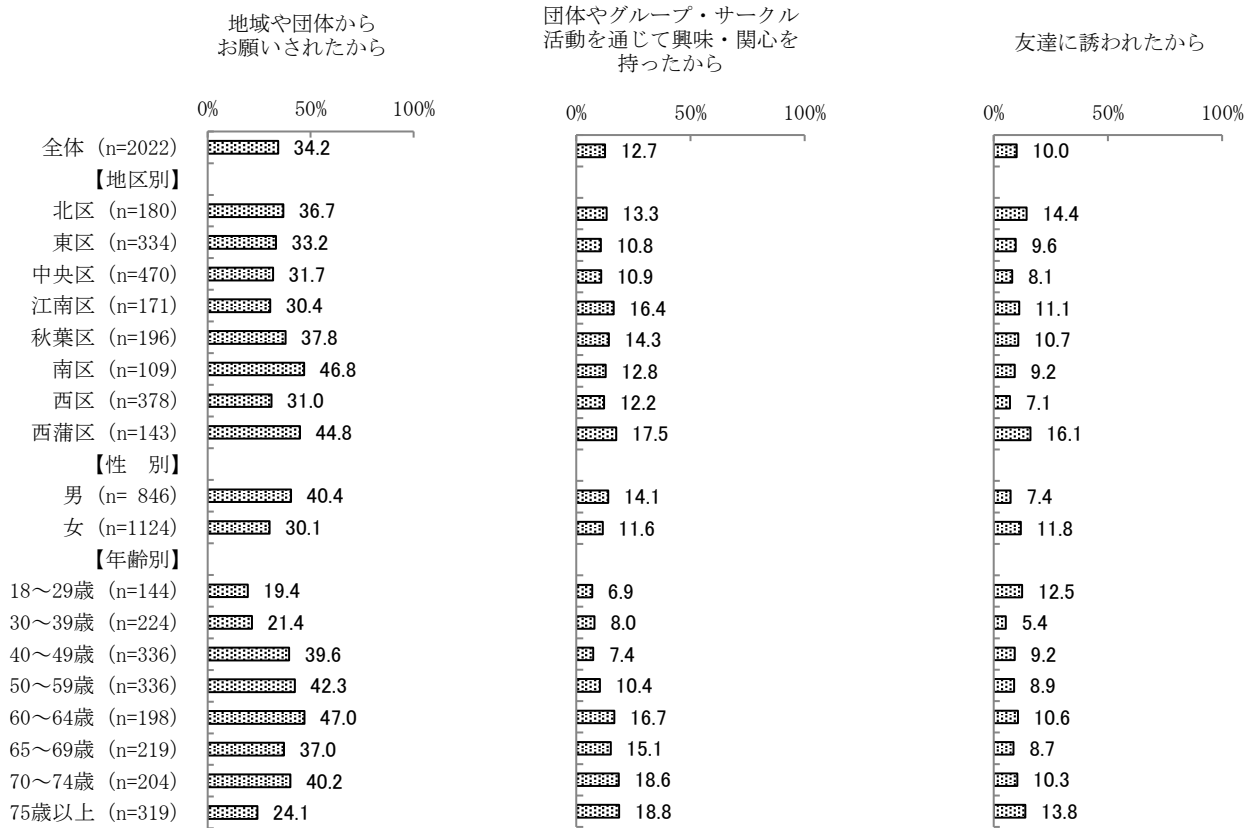
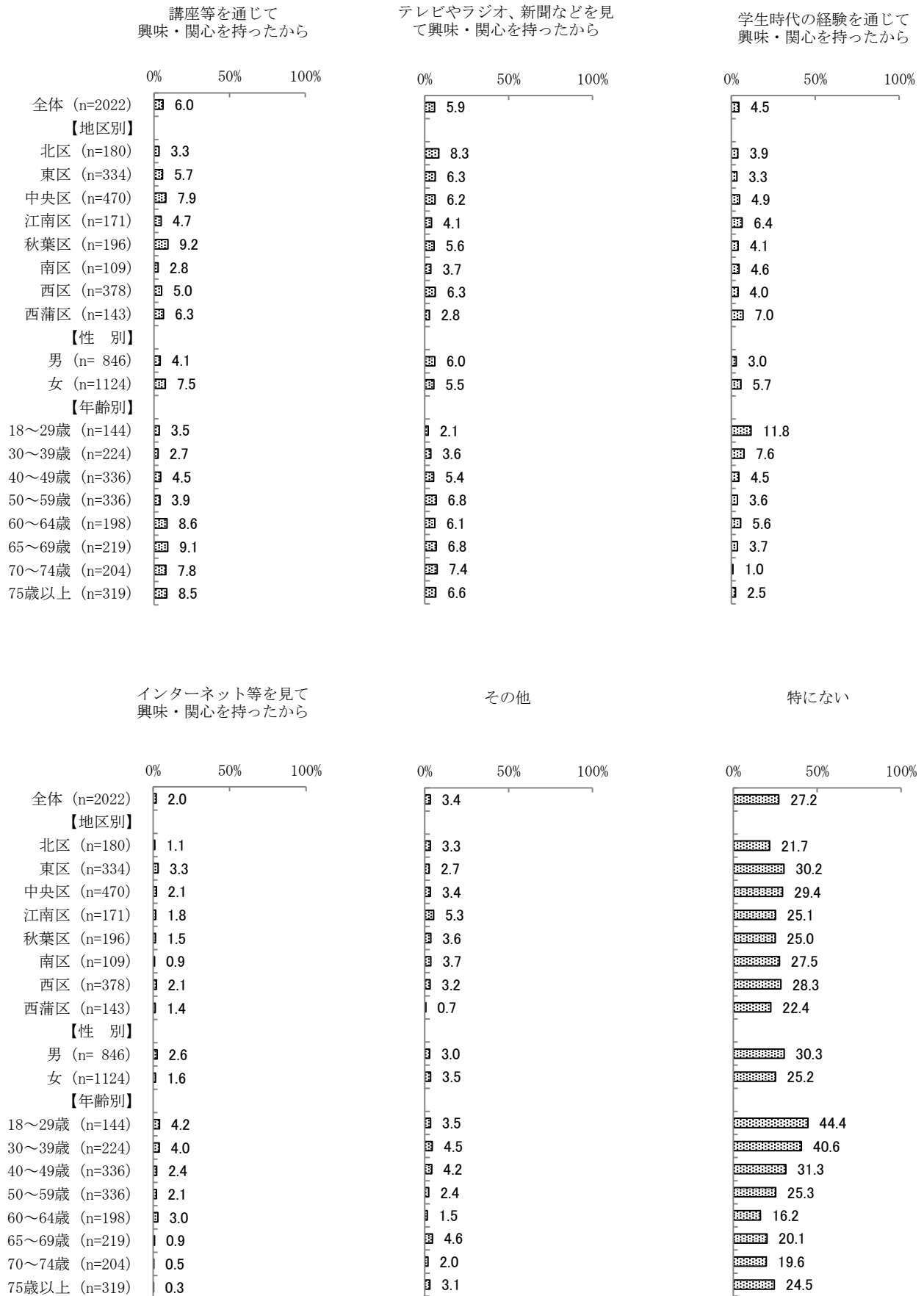


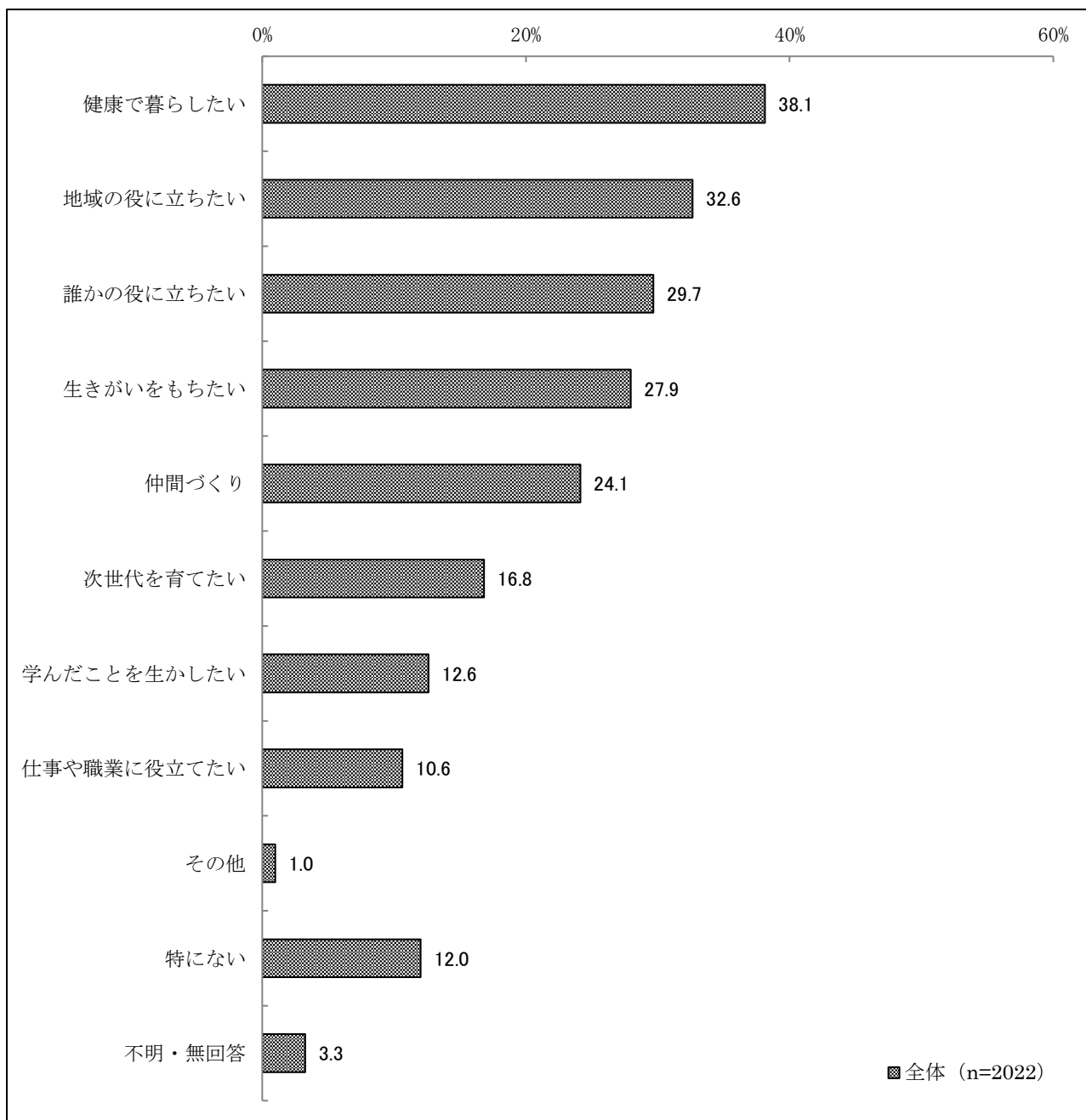
図 4-4 社会活動に参加したきっかけ（地区別/性別/年齢別） 2/2



(5) 社会活動に期待したいこと

問18 あなたが、社会活動に期待したいことは何ですか。

(○はいくつでも)



— 「健康で暮らしたい」「地域の役に立ちたい」が3割以上 —

【全体結果】

「健康で暮らしたい」(38.1%)の割合が、最も高い。次いで「地域の役に立ちたい」(32.6%)、「誰かの役に立ちたい」(29.7%)、「生きがいをもちたい」(27.9%)、「仲間づくり」(24.1%)、「次世代を育てたい」(16.8%)の順に続く。

【属性別結果】（図 4-5 参照）

① 地区別

「地域の役に立ちたい」は、秋葉区（41.3%）と南区（40.4%）で高く、秋葉区と南区では、「健康で暮らしたい」よりも高い。他の区では「健康で暮らしたい」が最も高い。

中央区では、「誰かの役に立ちたい」（34.5%）が、他の区と比べて高く、「地域の役に立ちたい」（30.9%）よりも割合が高い。中央区では、「仲間づくり」（18.7%）が、他の区と比べて低い。

② 性別

「健康で暮らしたい」（男性 31.2%、女性 42.6%）、「誰かの役に立ちたい」（男性 25.1%、女性 33.4%）は、男性と比較して女性で割合が高く、「地域の役に立ちたい」（男性 41.7%、女性 26.0%）、「次世代を育てたい」（男性 20.2%、女性 14.3%）は、女性と比較して男性で割合が高く、差がみられた。

③ 年齢別

「健康で暮らしたい」「生きがいを持ちたい」は、年齢が高いほど割合も高くなる。「健康で暮らしたい」は、若年層と高齢層の差が特に大きい。逆に「誰かの役に立ちたい」「仕事や職業に役立てたい」は、年齢が低いほど、割合が高くなる。

図 4-5 社会活動に期待したいこと（地区別/性別/年齢別） 1/2

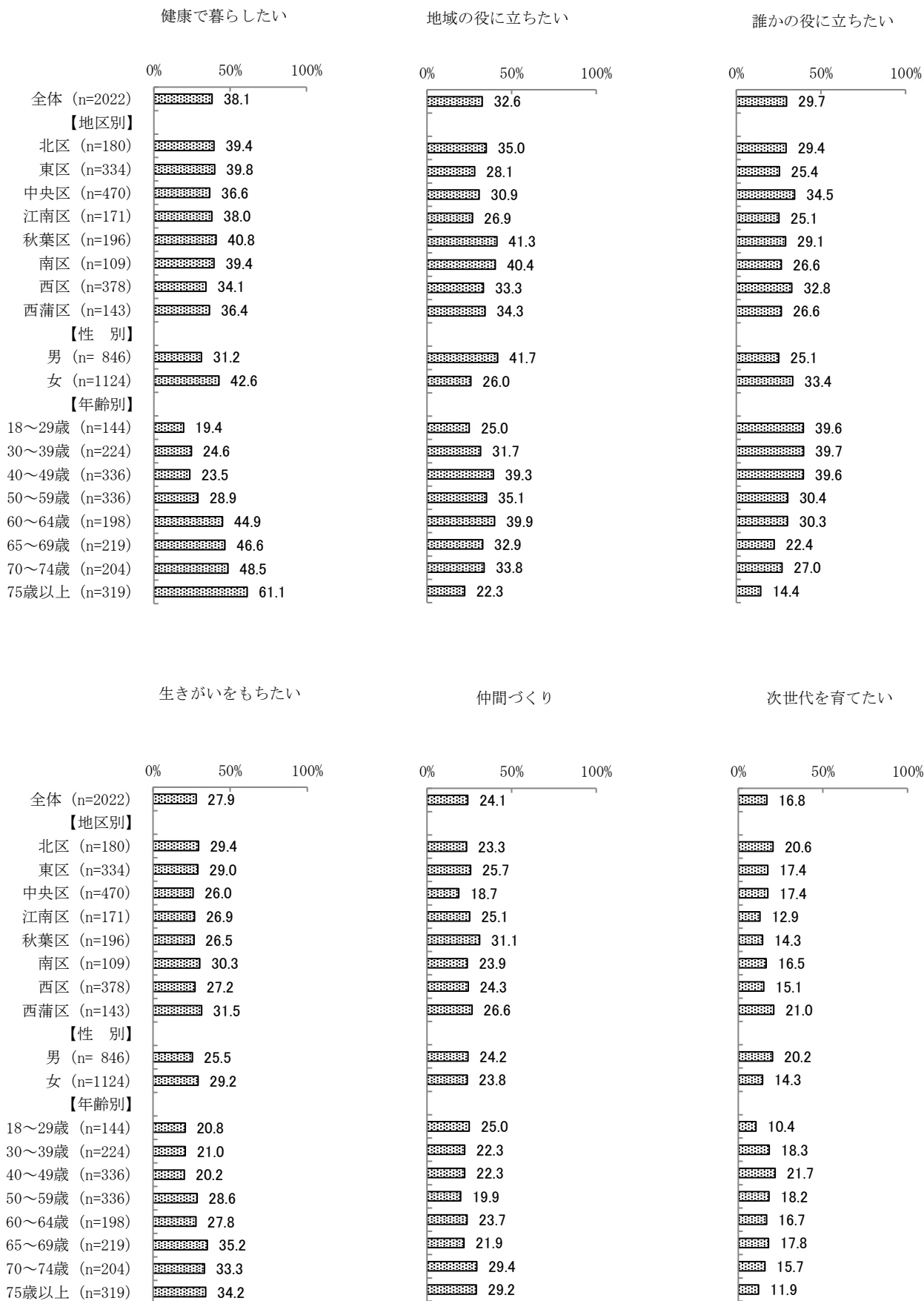
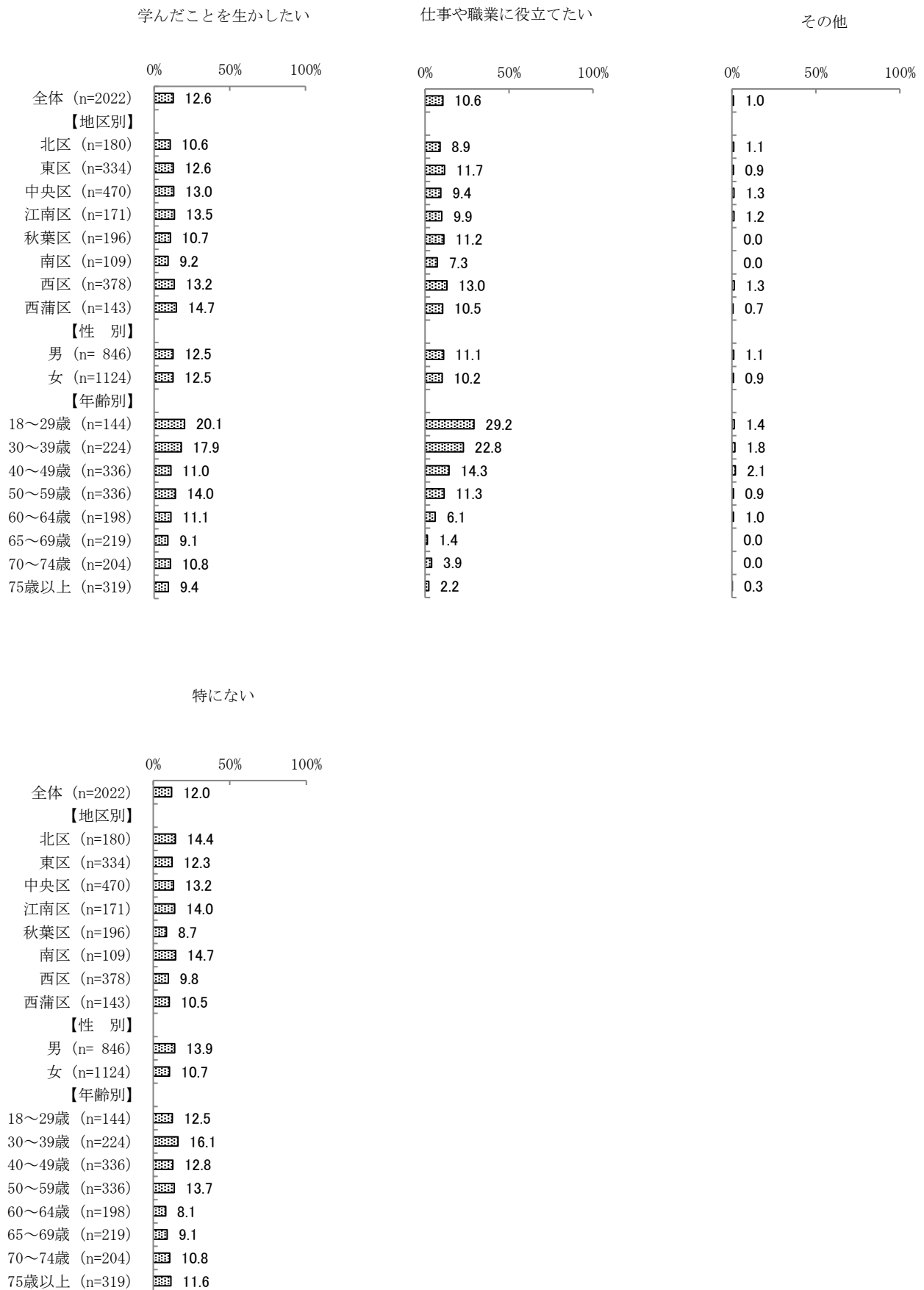


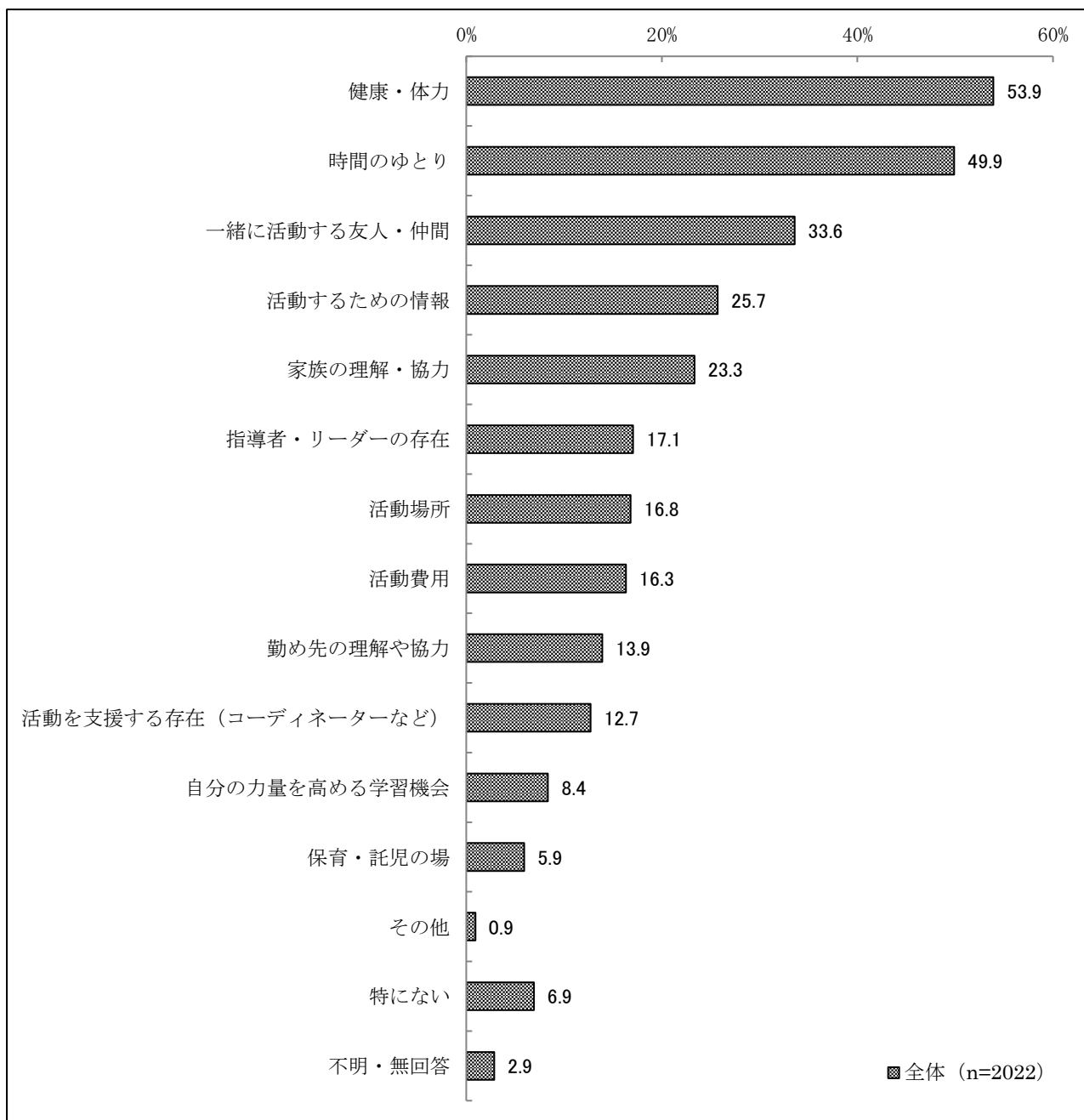
図 4-5 社会活動に期待したいこと（地区別/性別/年齢別） 2/2



(6) 社会活動に参加するうえで、大切な条件

問19 あなたが社会活動に参加するうえで、大切だと思う条件は何ですか。

(〇はいくつでも)



— 「健康と体力」「時間のゆとり」が約5割 —

【全体結果】

「健康・体力」(53.9%)が5割を超え、割合が最も高い。次いで「時間のゆとり」(49.9%)、「一緒に活動する友人・仲間」(33.6%)、「活動するための情報」(25.7%)、「家族の理解・協力」(23.3%)、「指導者・リーダーの存在」(17.1%)、「活動場所」(16.8%)、「活動費用」(16.3%)の順に続く。

【属性別結果】（図 4-6 参照）

① 地区別

中央区と南区では、「時間のゆとり」（中央区 51.5%、南区 52.3%）の割合が最も高い。西区では、「時間のゆとり」と「健康・体力」（いずれも 53.2%）が同じ割合となった。他の区では、「健康・体力」の割合が最も高い。

順位に違いはあるが、どの区も、「健康・体力」「時間のゆとり」が上位 2 位、「一緒に活動する友人・仲間」が 3 位となっている。

② 性別

「健康・体力」（男性 49.9%、女性 56.6%）、「家族の理解・協力」（男性 20.4%、女性 25.7%）は、男性と比較して、女性で割合が高く差がみられた。

③ 年齢別

「健康・体力」は、70～74 歳（71.6%）で割合が最も高い。年齢が高いほど、割合が高くなる傾向が見られる。

「時間のゆとり」は、40～49 歳（64.9%）で割合が最も高い。65 歳以上で他の年代と比較して割合が低くなる。

「保育・託児の場」は、30～39 歳で（23.7%）で最も高く、18～29 歳（13.9%）、40～49 歳（10.7%）でも高く、1 割を超えた。

図 4-6 社会活動に参加するうえで、大切な条件 1/3

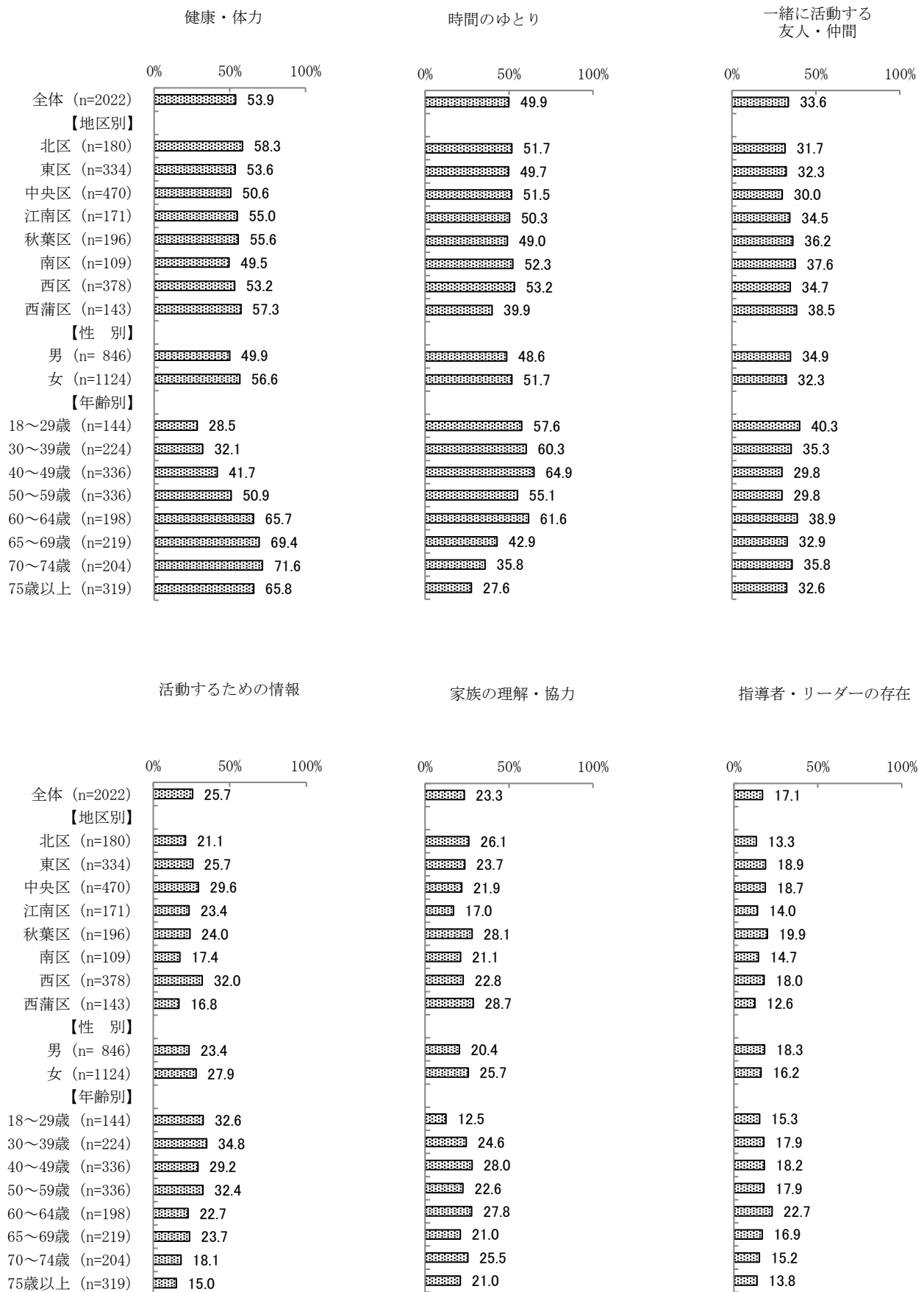


図 4-6 社会活動に参加するうえで、大切な条件 2/3

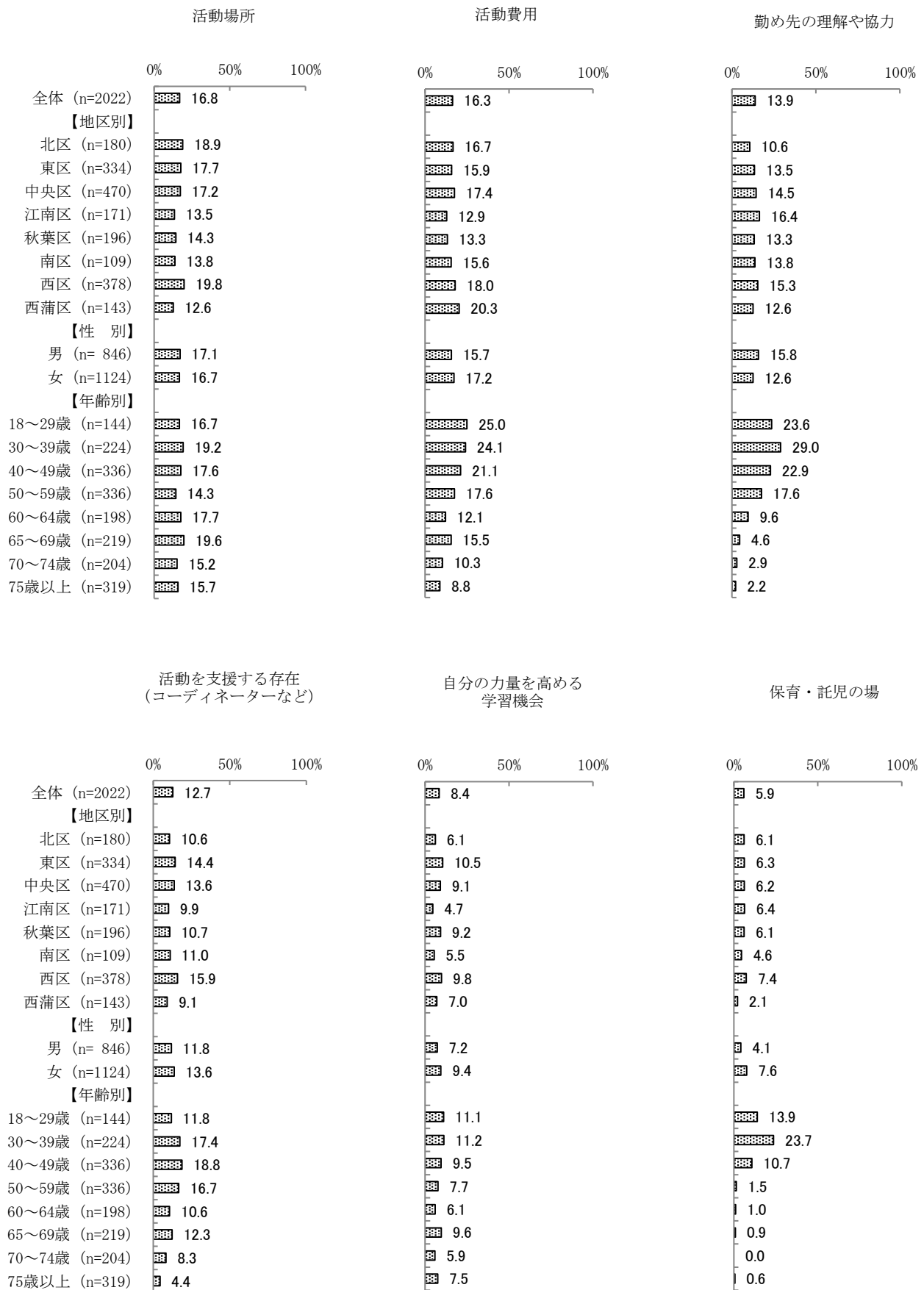
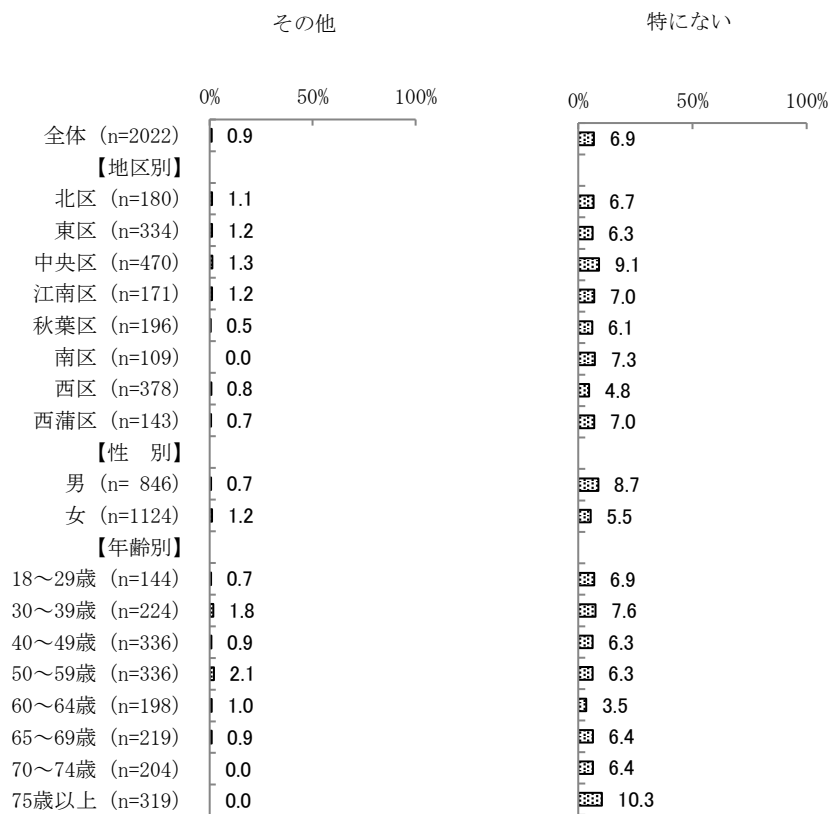
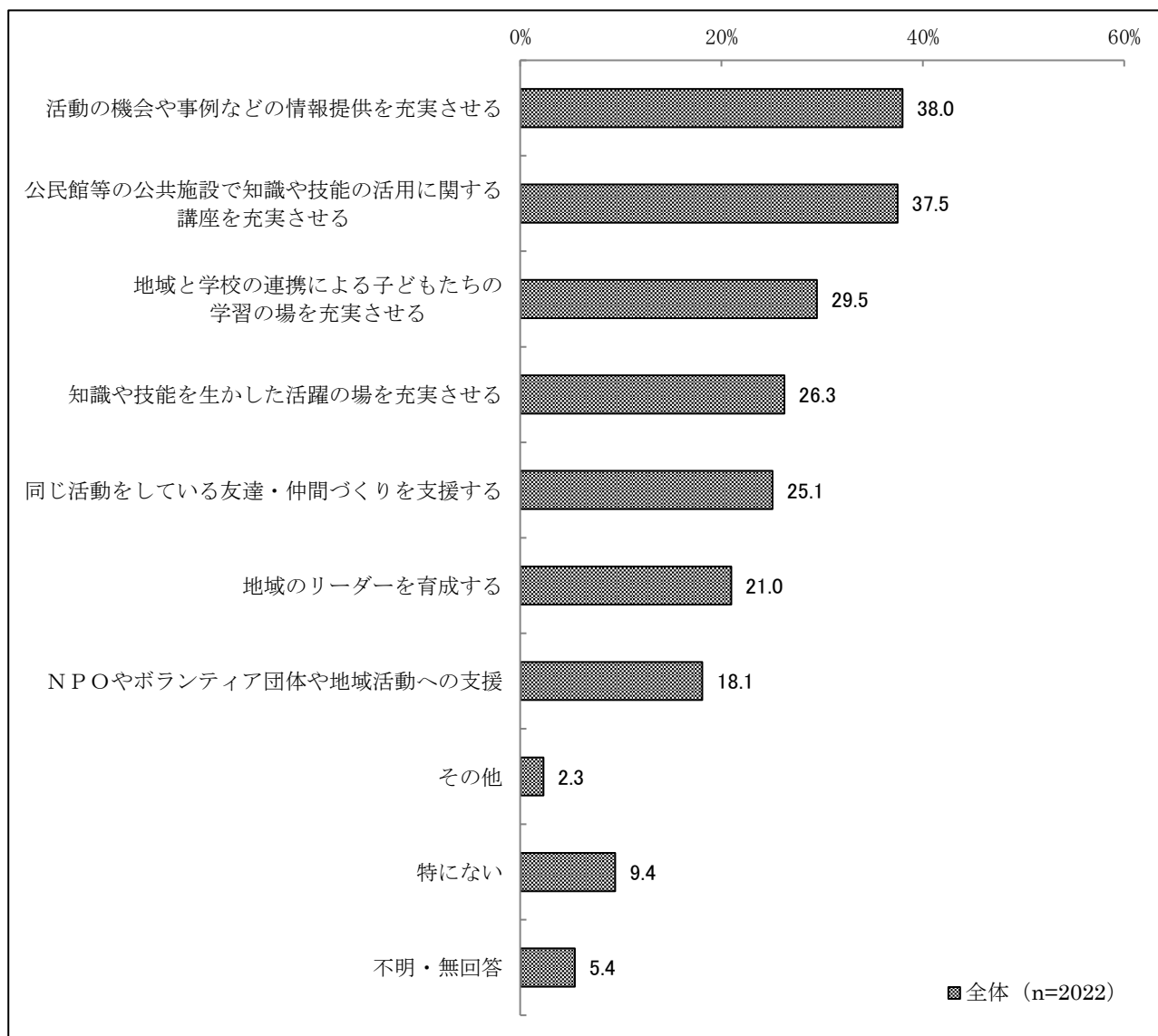


図 4-6 社会活動に参加するうえで、大切な条件 3/3



(7) 地域コミュニティ活性化を担う人材育成のために力を入れるべきこと

問20 市は、市民一人ひとりが学習成果を生かす循環型生涯学習を推進しています。誰もが生涯を通じて学び育つことができ、学びの成果を生かした地域づくりを通じて、地域コミュニティの活性化を担う人材を育成したいと考えています。次代を担う人材を育てるために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)



— 「活動機会や事例の情報提供の充実」および、「知識や技能の活用に関する講座の充実」が約4割 —

【全体結果】

「活動の機会や事例などの情報提供を充実にする」(38.0%)、「公民館等の公共施設で知識や技能の活用に関する講座を充実にする」(37.5%)が4割近くとなり、割合が高い。次いで「地域と学校の連携による子どもたちの学習の場を充実にする」(29.5%)、「知識や技能を生かした活躍の場を充実にする」(26.3%)、「同じ活動をしている友達・仲間づくりを支援する」(25.1%)、「地域のリーダーを育成する」(21.0%)、「NPOやボランティア団体や地域活動への支援」(18.1%)の順に続く。

【属性別結果】（図 4-7 参照）

① 地区別

「活動の機会や事例などの情報提供を充実させる」は、西区（42.9%）、中央区（39.1%）で割合がやや高い。「公民館等の公共施設で知識や技能の活用に関する講座を充実させる」は、秋葉区（40.3%）、西区（40.2%）でやや高い。「地域と学校の連携による子どもたちの学習の場を充実させる」は、南区（31.2%）、西区（31.0%）でやや高い。「知識や技能を生かした活躍の場を充実させる」は東区（32.3%）で高い。

② 性別

「同じ活動をしている友達・仲間づくりを支援する」（男性 28.0%、女性 22.7%）、「地域のリーダーを育成する」（男性 24.5%、女性 17.9%）は、女性と比較して男性で、「公民館等の公共施設で知識や技能の活用に関する講座を充実させる」は男性（31.7%）と比較して女性（42.3%）で割合が高く差がみられた。

③ 年齢別

18～29 歳（40.3%）、40～49 歳（41.4%）、50～59 歳（42.3%）では、「活動の機会や事例などの情報提供を充実させる」の割合が最も高い。

30～39 歳（47.3%）では、「地域と学校の連携による子どもたちの学習の場を充実させる」の割合が最も高い。

60 歳以上（60～64 歳 41.9%、65～69 歳 47.5%、70～74 歳 42.2%、75 歳以上 34.8%）では、「公民館等の公共施設で知識や技能の活用に関する講座を充実させる」の割合が最も高い。

図 4-7 地域コミュニティ活性化を担う人材育成のために力を入れるべきこと
(地区別/性別/年齢別) 1/2

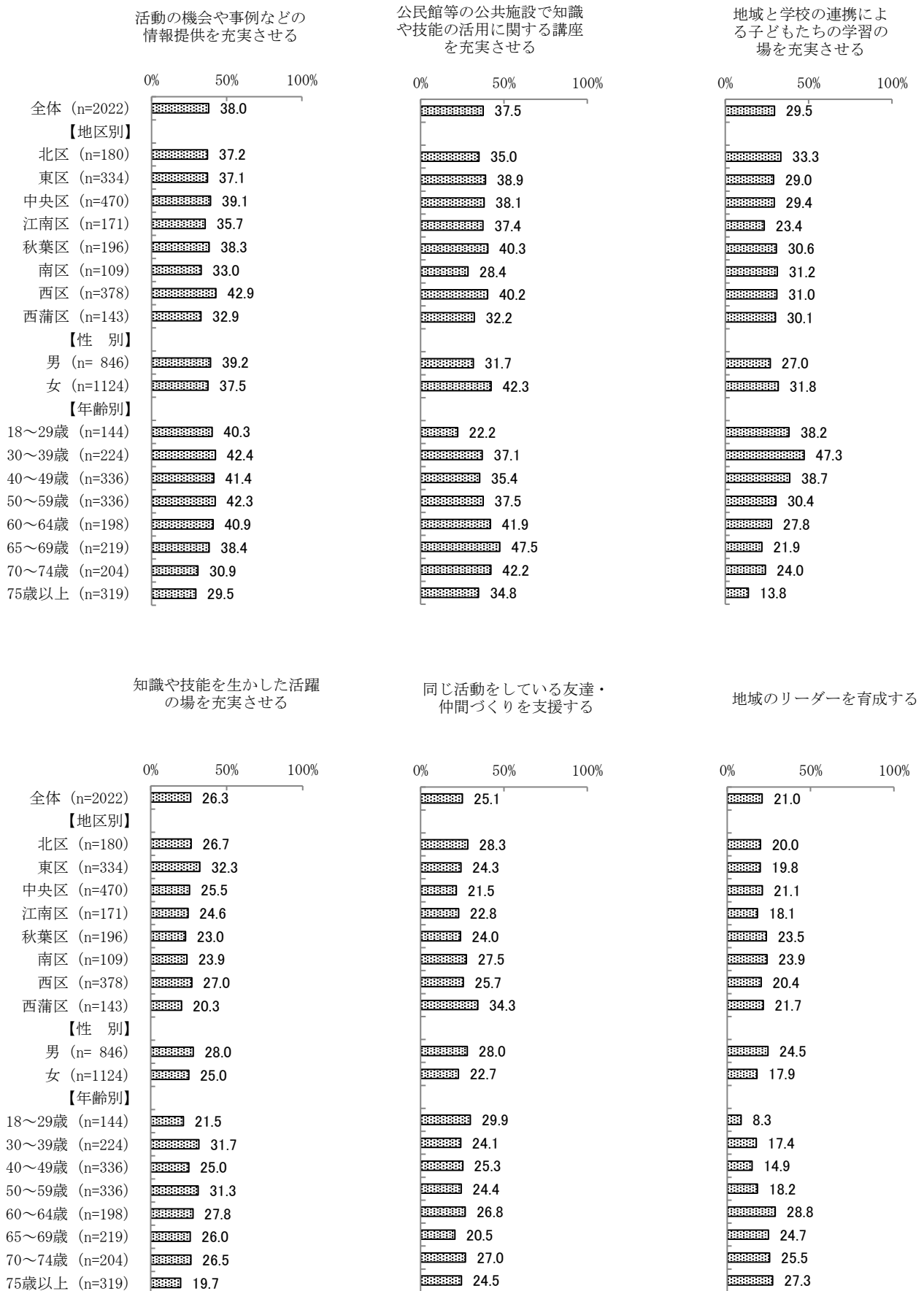
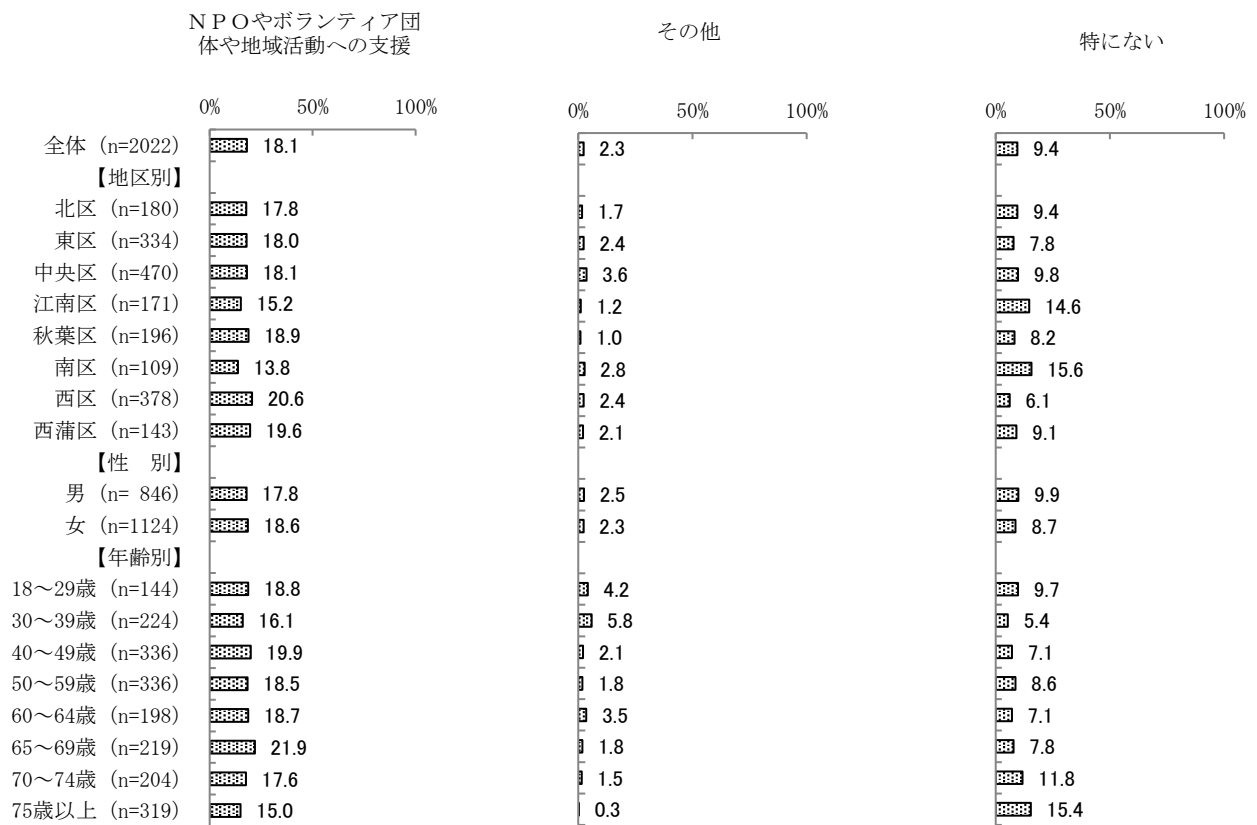


図 4-7 地域コミュニティ活性化を担う人材育成のために力を入れるべきこと
(地区別/性別/年齢別) 2/2

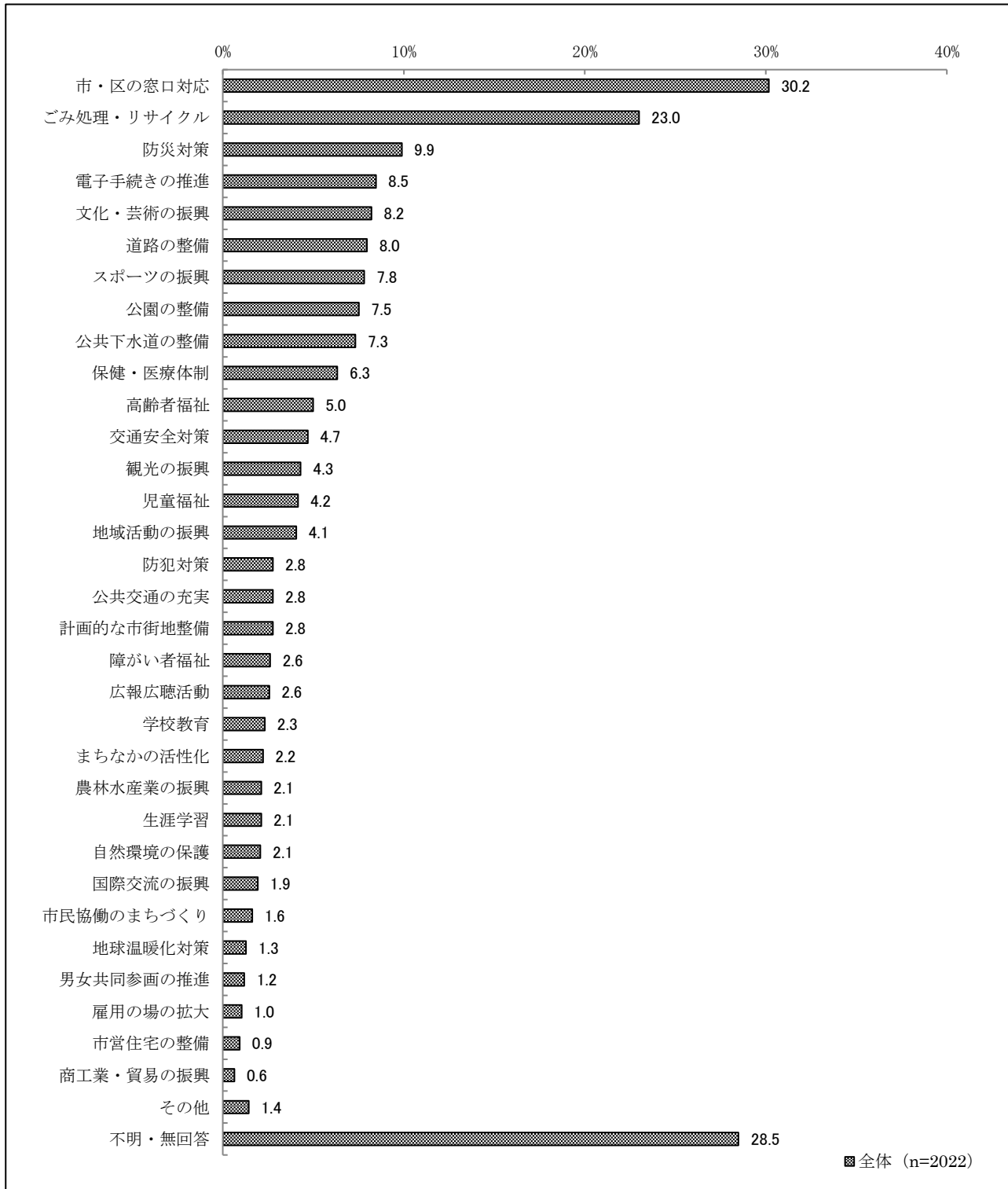


5. 市政全般と区政について

(1) 新潟市として良くなっているもの

問2 1 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

①「新潟市として良くなっているもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に番号（1～33）をご記入ください。



【全体結果】

新潟市として良くなっているものは、「市・区の窓口対応」(30.2%)の割合が最も高く、約3割となった。次いで、「ごみ処理・リサイクル」(23.0%)が2割強となった。次に「防災対策」(9.9%)が続くが、以下は1割未満となった。

【属性別結果】(図5-1参照)

① 地区別

「市・区の窓口対応」については、東区(36.5%)で割合が最も高く、次いで、西区(33.9%)、中央区(32.6%)で3割を超えている。割合が最も低いのは南区(16.5%)で、1割台となった。

② 性別

性別での大きな差はみられない。

③ 年齢別

「市・区の窓口対応」、「ごみ処理・リサイクル」は、60～64歳(各37.4%、30.3%)で割合が最も高い。

「市・区の窓口対応」は、18～29歳(20.8%)で割合が最も低く、「ごみ処理・リサイクル」は、30～39歳(15.2%)で割合が最も低い。この2つの項目は若年層で割合が低い。

18～29歳では、「道路の整備」(16.7%)、「交通安全対策」(10.4%)の割合が高く、他の年代と差がみられた。

図 5-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

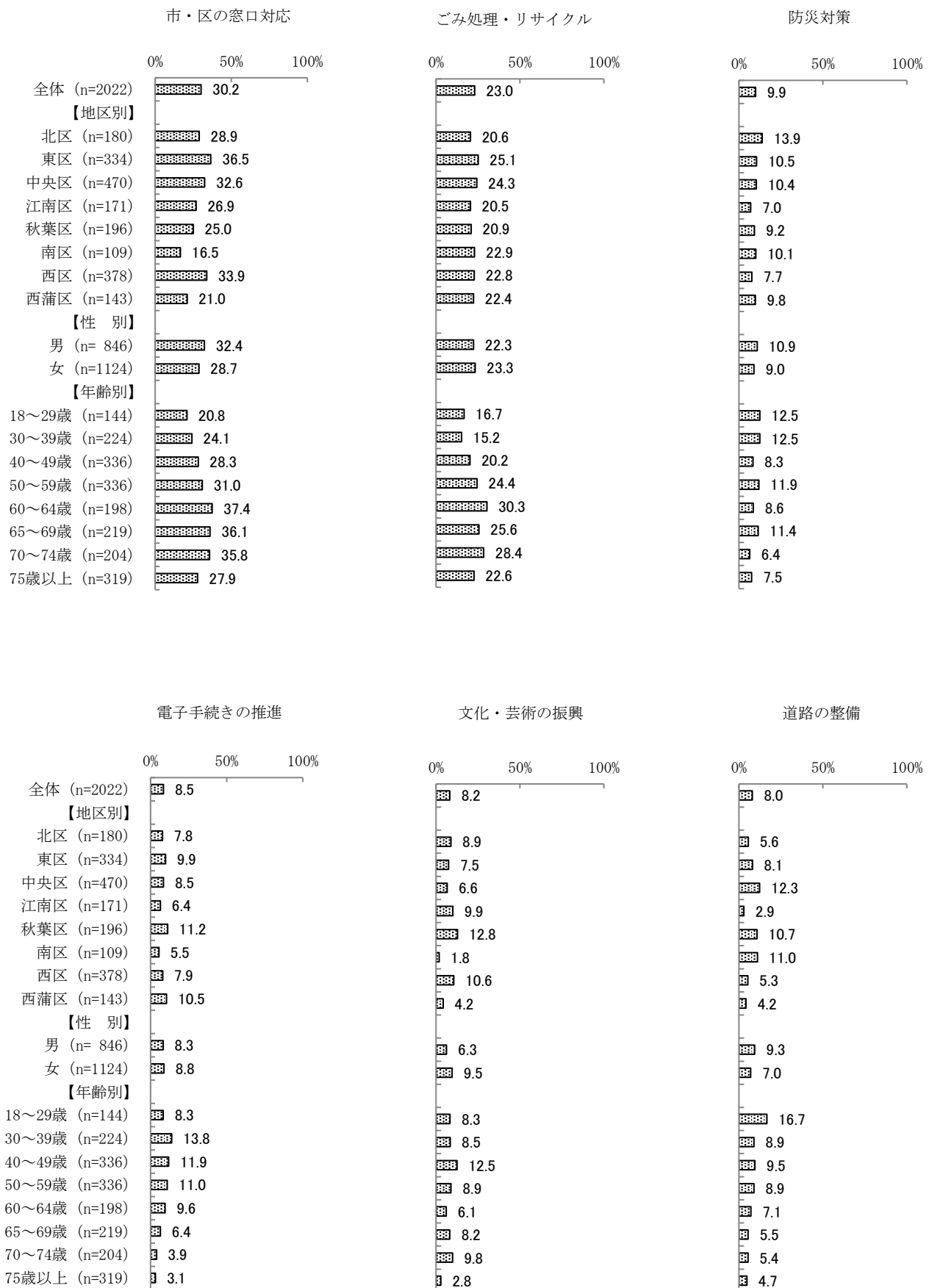


図 5-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

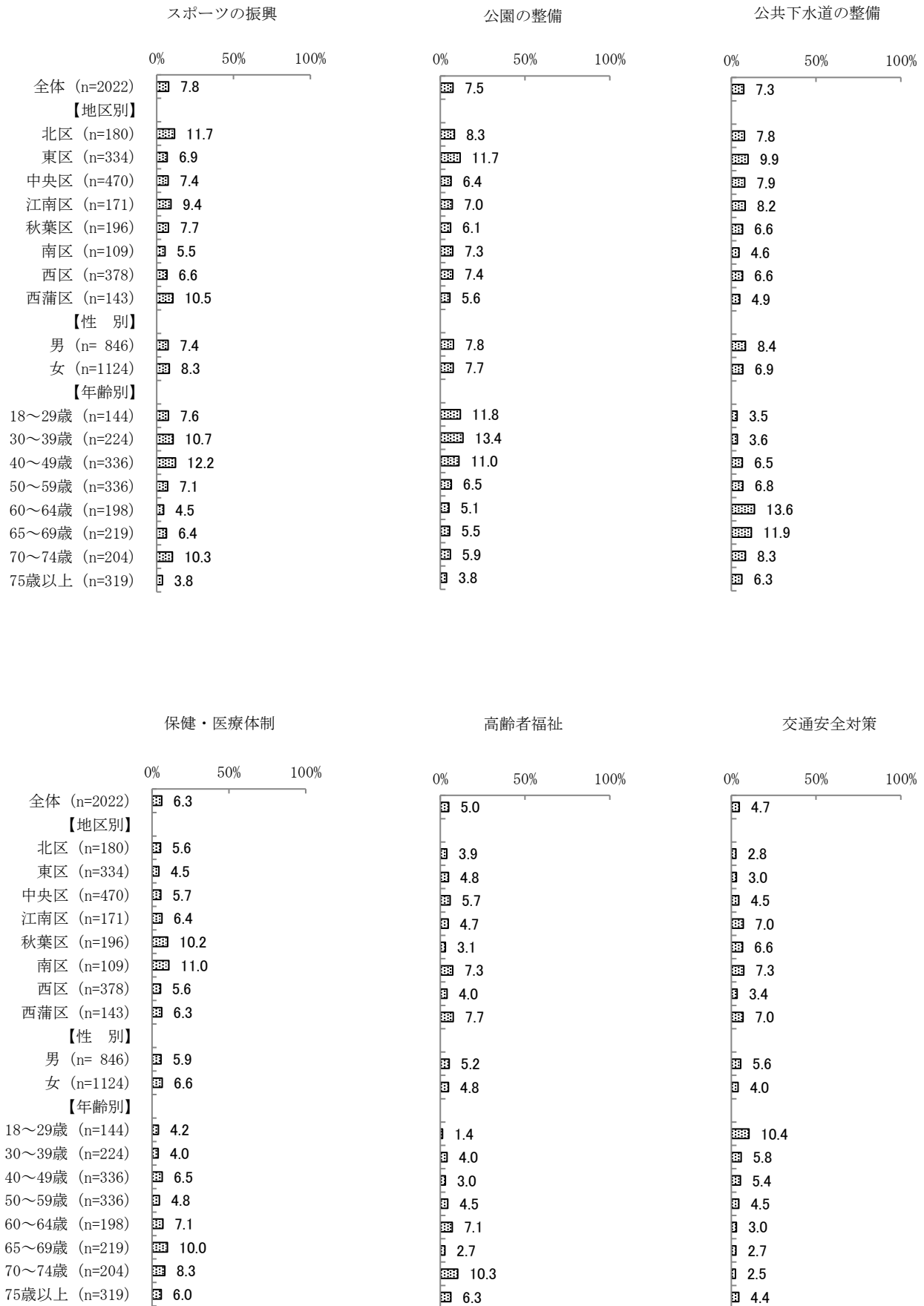


図 5-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

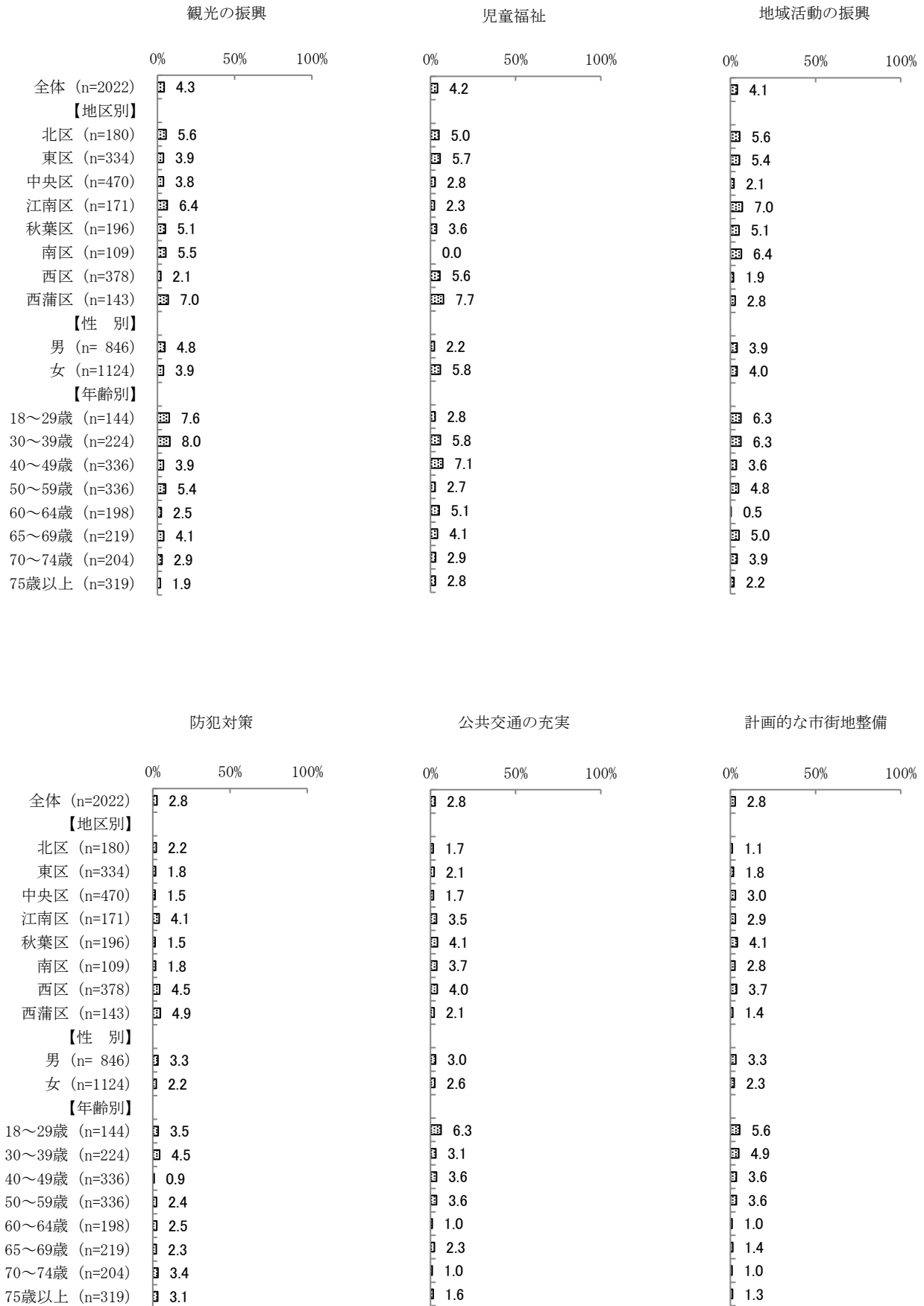


図 5-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

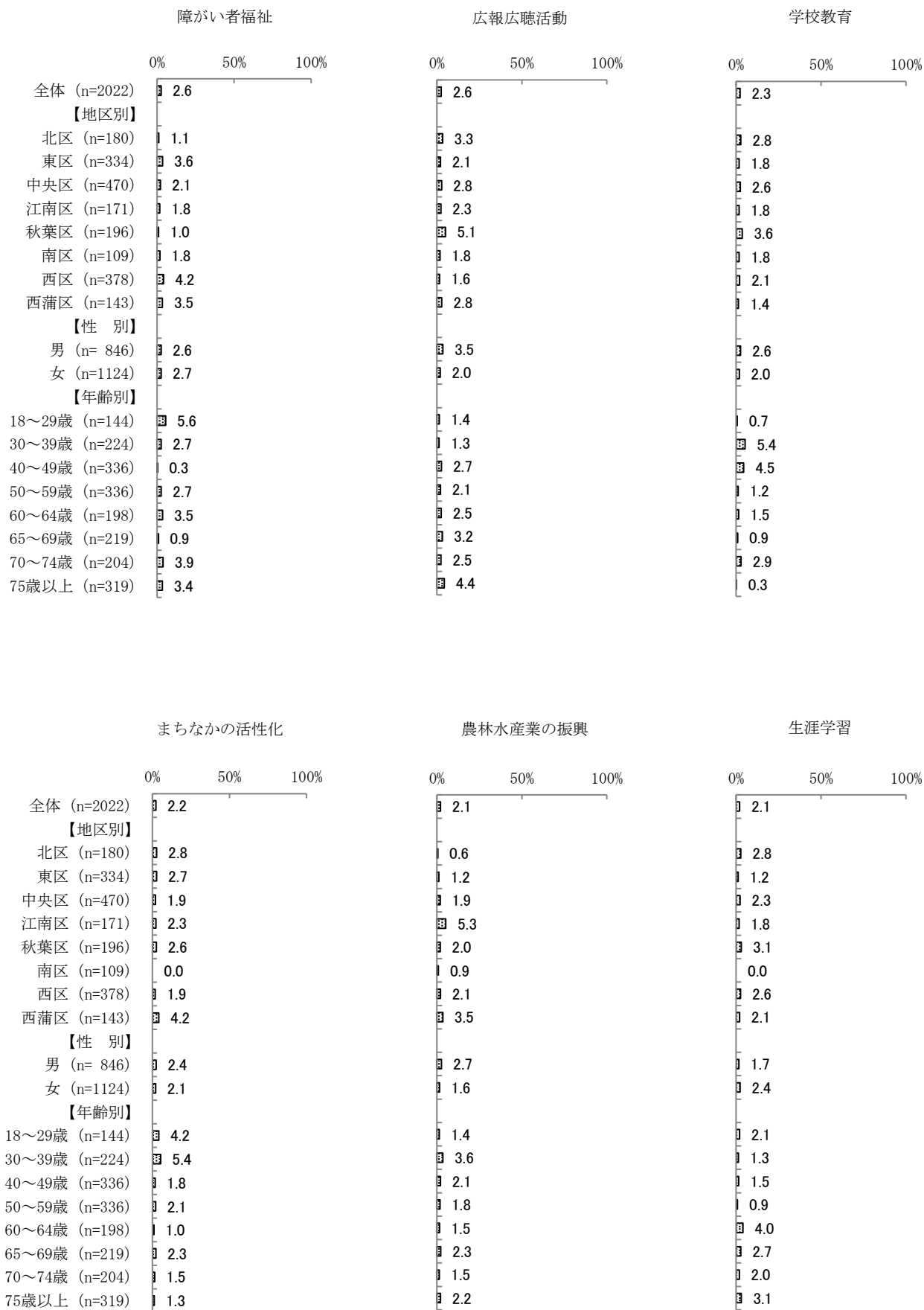


図 5-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

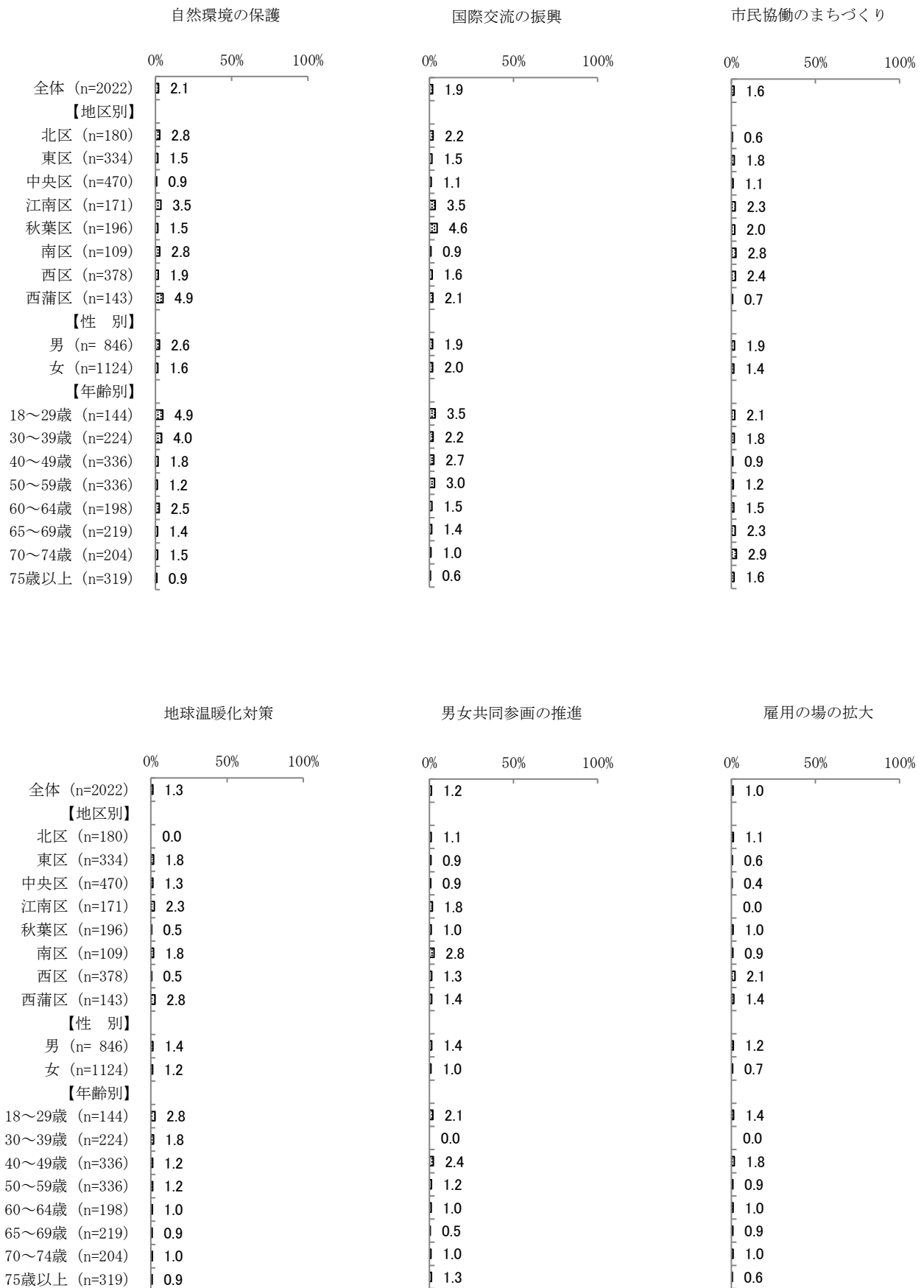
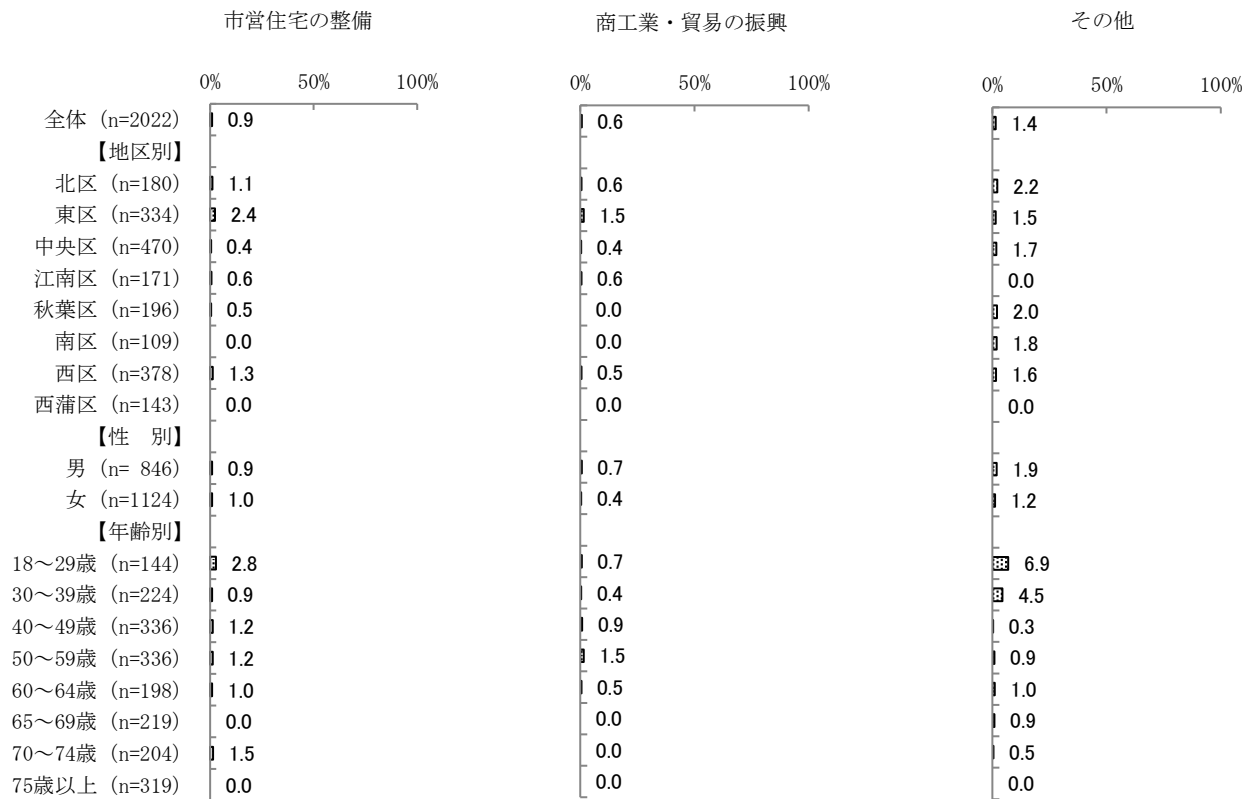


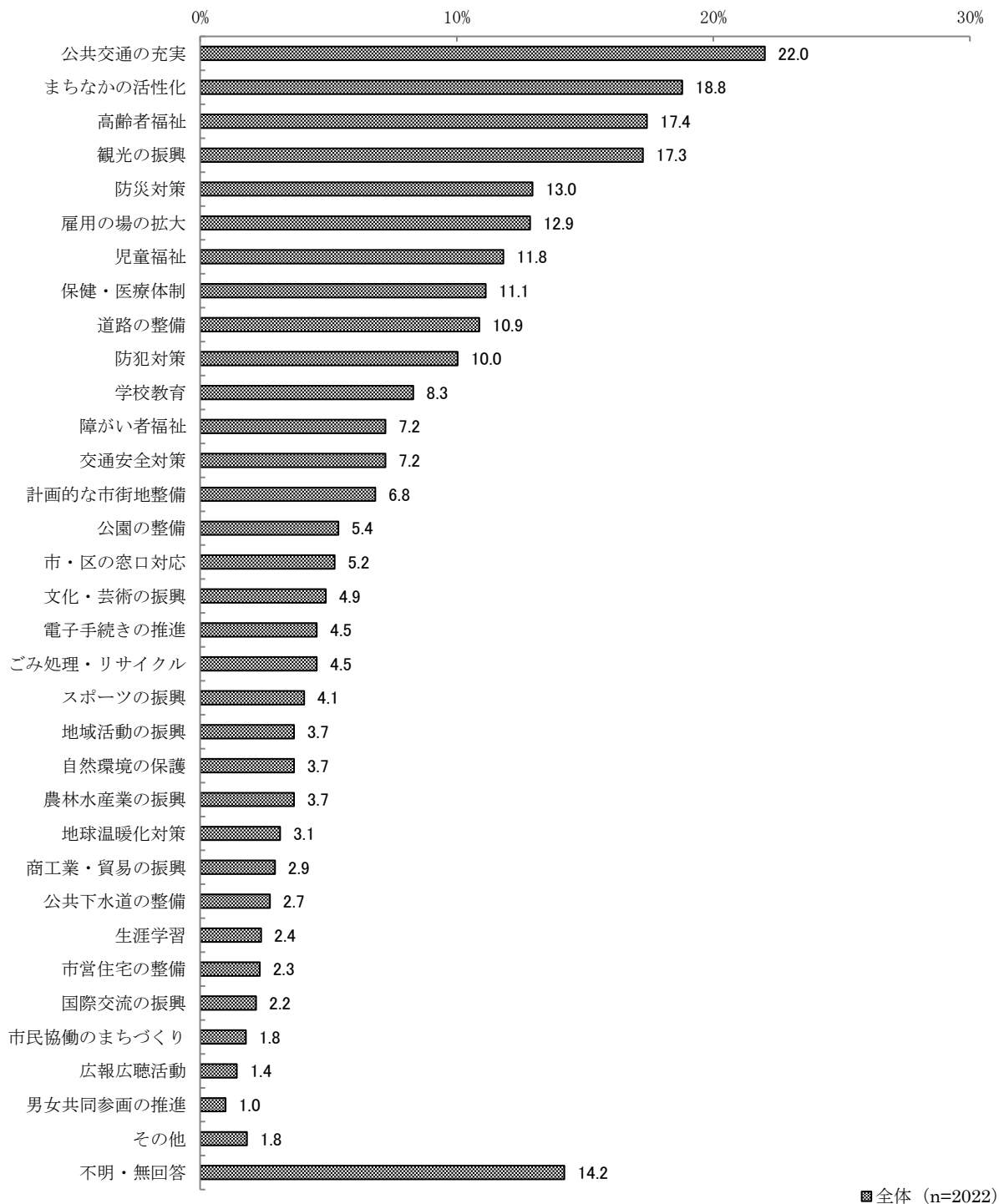
図 5-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



(2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの

問2 1 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

②「新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に番号(1~33)をご記入ください。



— 約2割が「公共交通の充実」「まちなかの活性化」を要望 —

【全体結果】

新潟市として今後もっと力を入れてほしいものは、「公共交通の充実」（22.0％）が最も高く2割を超えた。次いで「まちなかの活性化」（18.8％）、「高齢者福祉」（17.4％）、「観光の振興」（17.3％）の順に続く。

【属性別結果】（図5-2参照）

① 地区別

全体結果で割合が最も高かった「公共交通の充実」は、東区（25.4％）、中央区（25.7％）、南区（25.7％）、西区（24.3％）で割合が高く、約4人に1人の割合となった。

「まちなかの活性化」は、中央区（23.8％）で割合が最も高い。逆に南区（6.4％）で割合が最も低く、他の区と比べて差がみられた。

北区では、「雇用の場の拡大」（17.2％）、秋葉区では「まちなかの活性化」（18.4％）、西蒲区では「高齢者福祉」（16.1％）の割合が最も高くなっている（北区、秋葉区、西蒲区を除く他の区では「公共交通の充実」が最も高い）。

南区では「農林水産業の振興」（13.8％）が高く、他の区と比べて差がみられた。

② 性別

「高齢者福祉」は、男性（14.5％）と比べて女性（19.3％）で割合がやや高い。

③ 年齢別

「公共交通の充実」は、60～64歳（30.3％）で、割合が最も高く3割を超えた。「まちなかの活性化」は、70～74歳（25.5％）で割合が最も高い。

「観光の振興」は、50代以下で割合が高く2割を超えている。特に40～49歳（22.9％）では、割合が最も高い項目となっている。

30～39歳では、「児童福祉」（29.0％）、18～29歳では、「防犯対策」（18.1％）と答えた割合が最も高い。

図 5-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

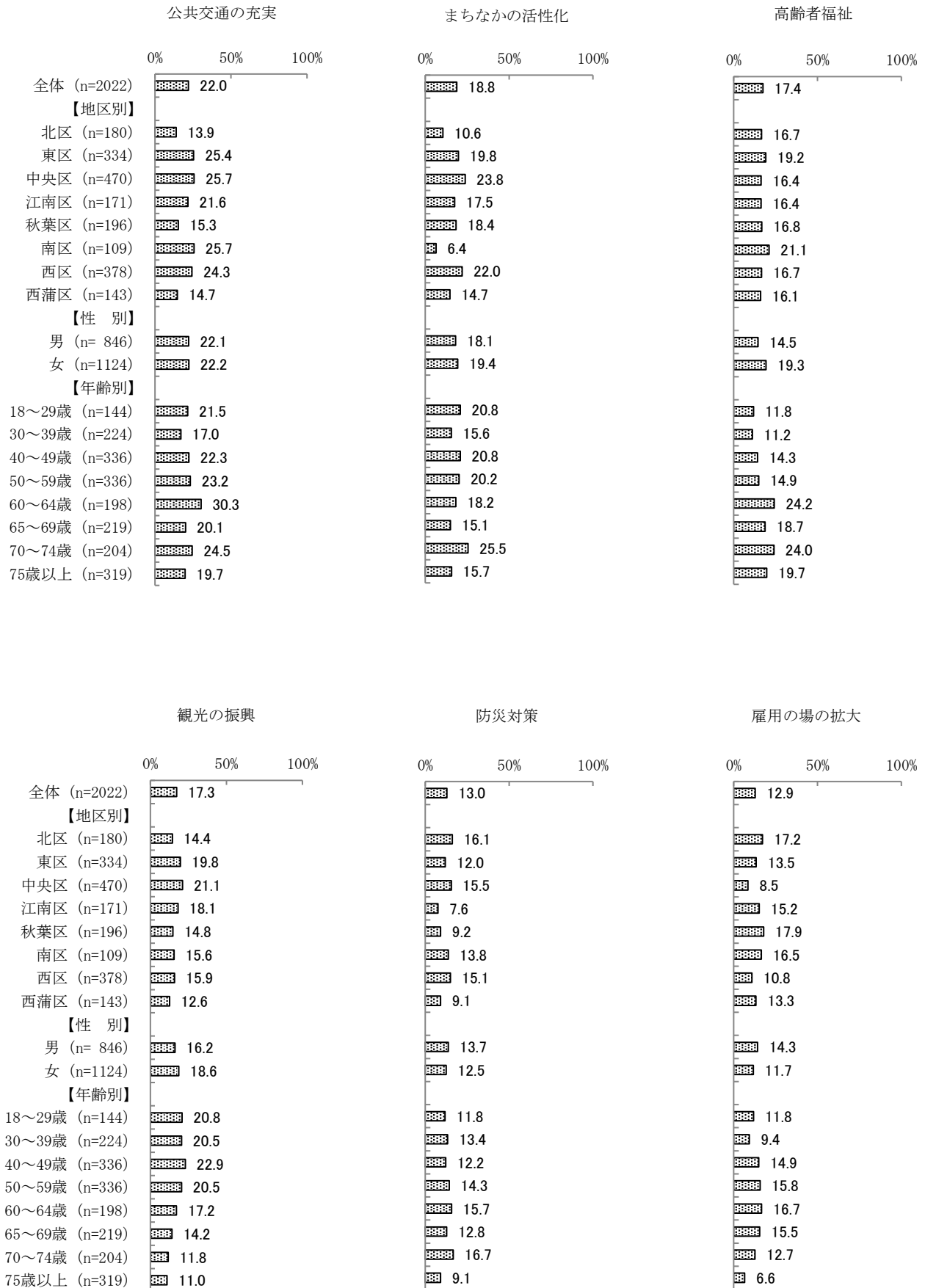


図 5-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

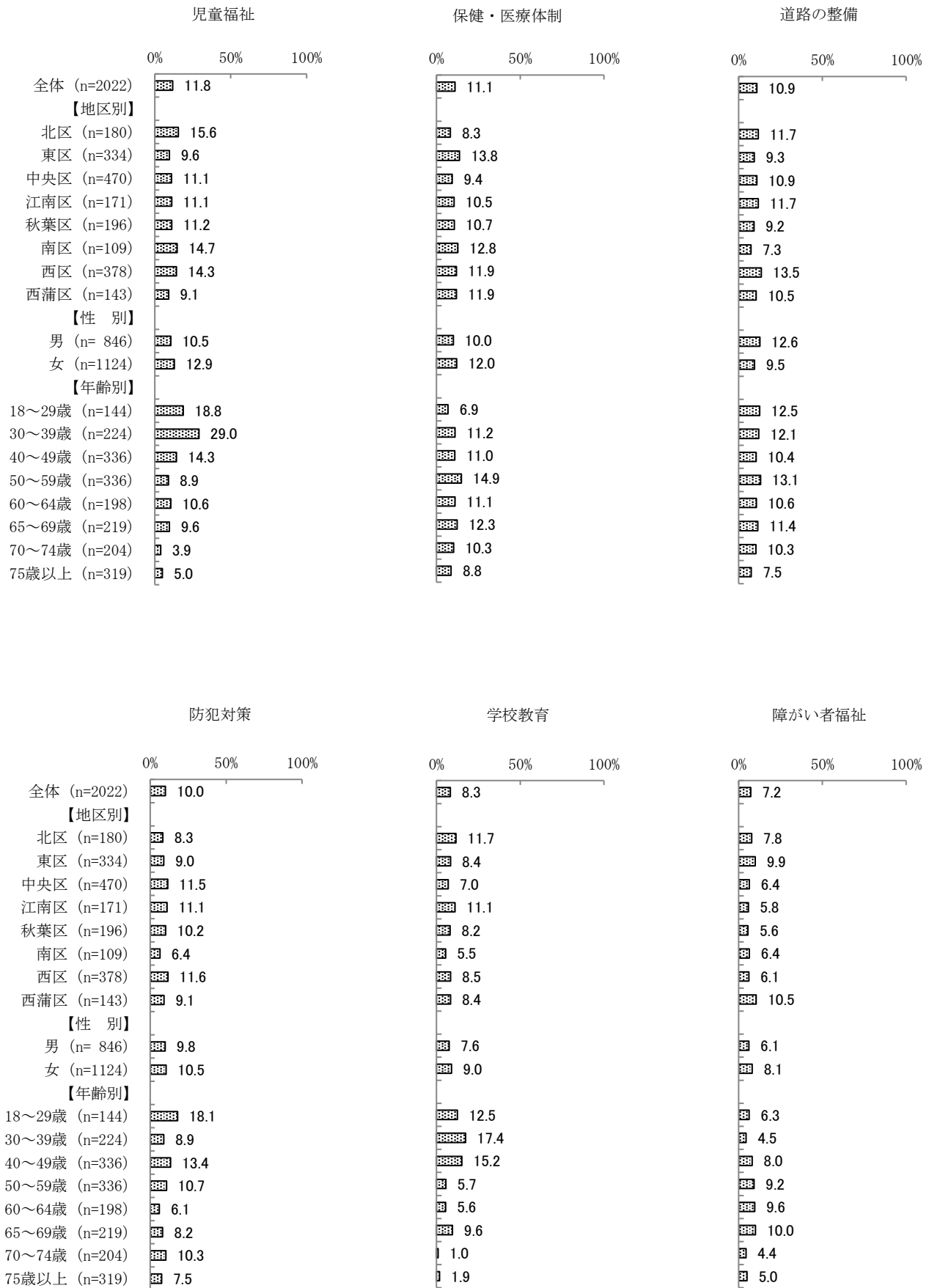


図 5-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

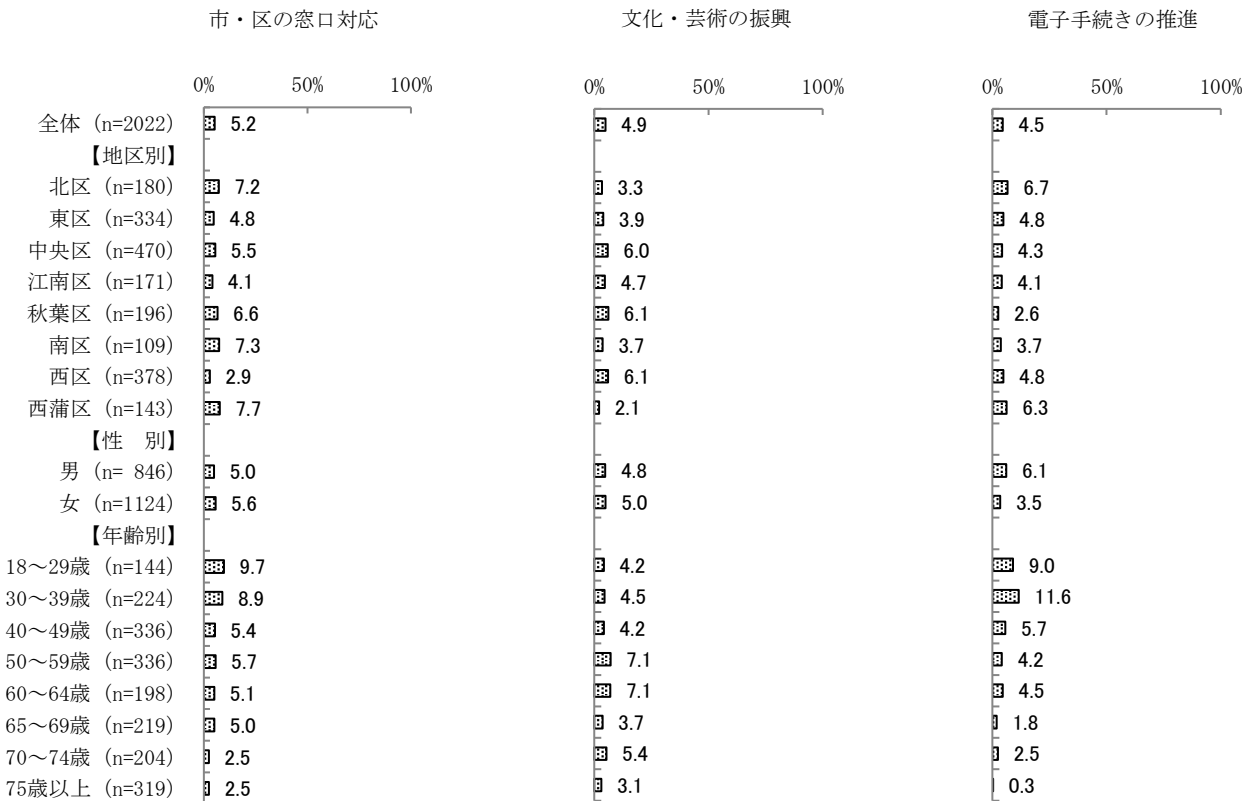
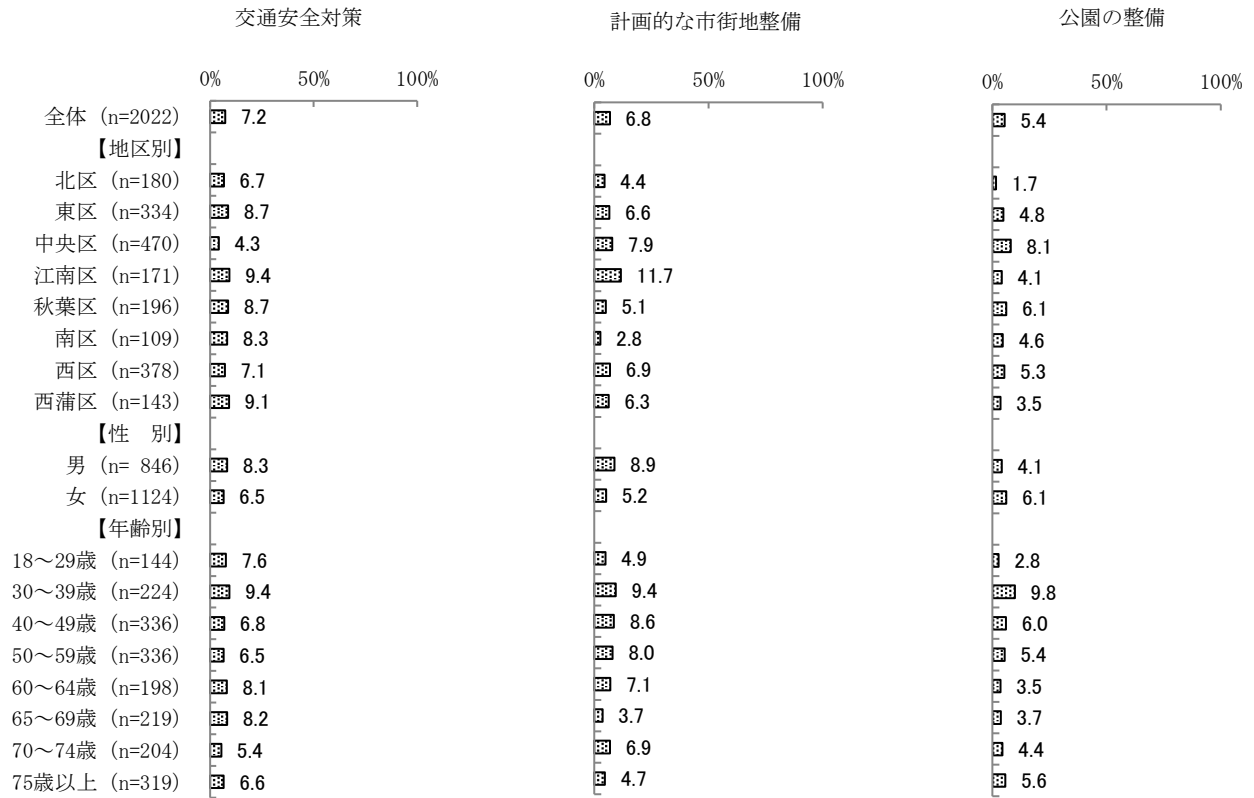


図 5-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

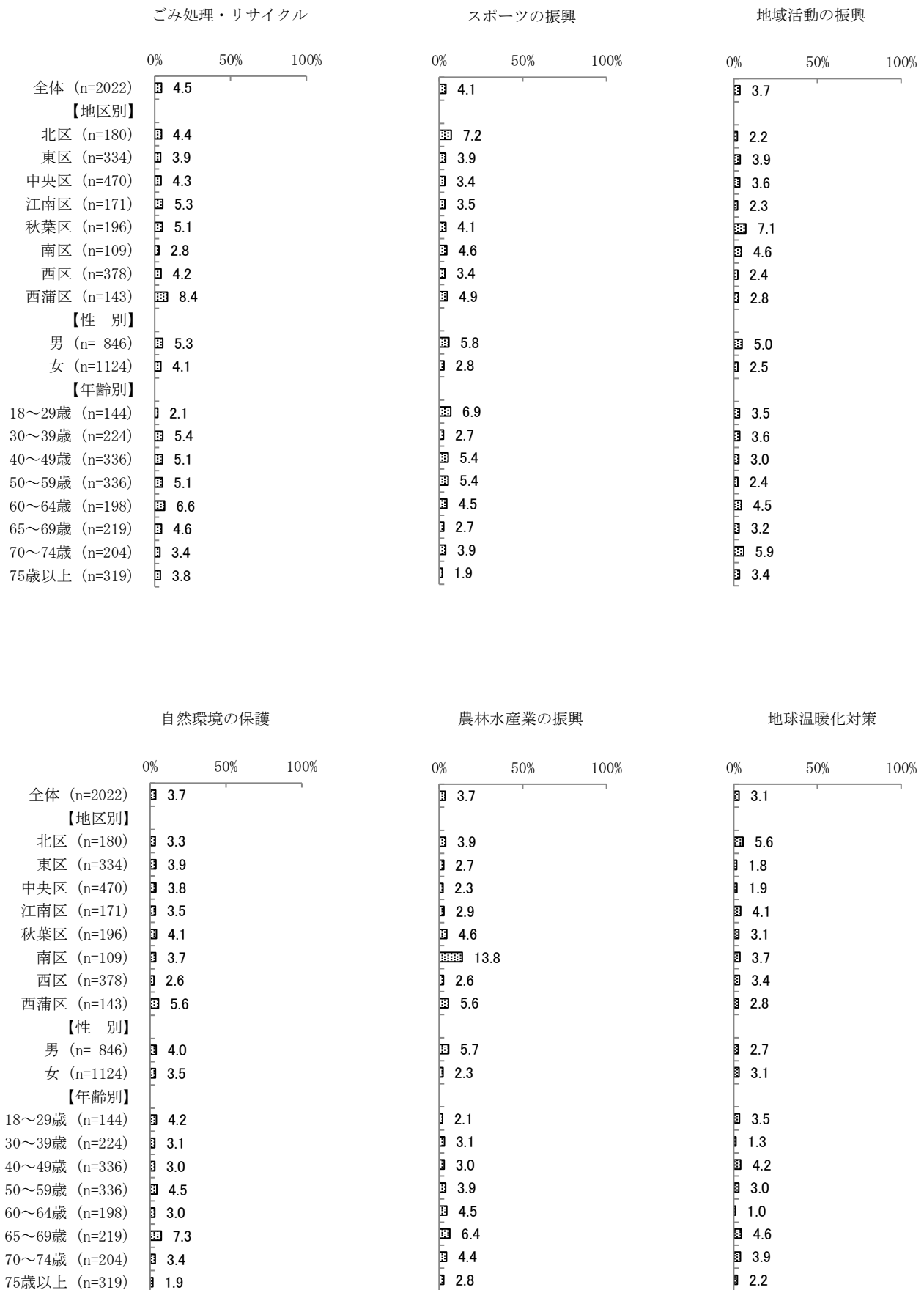


図 5-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

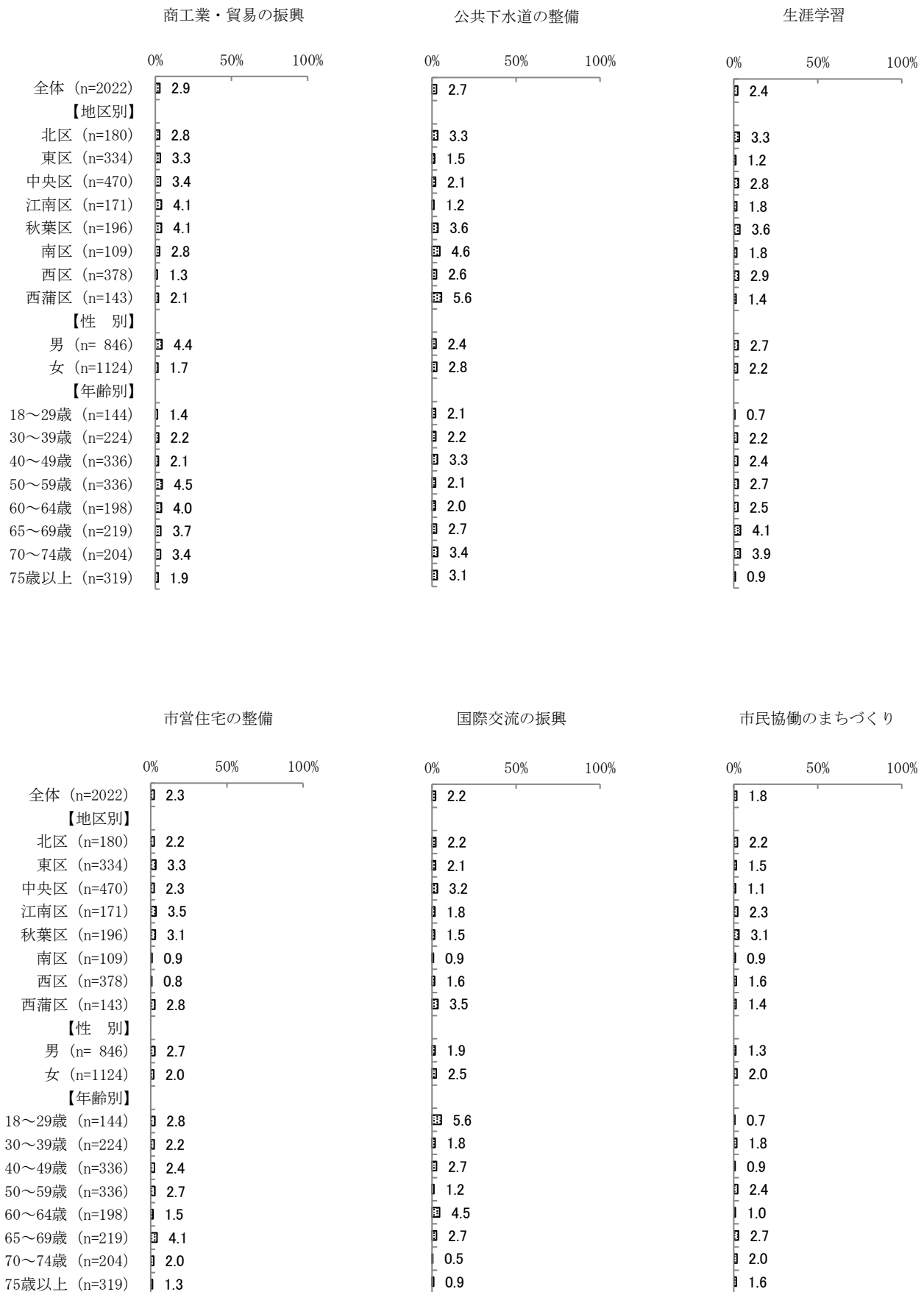
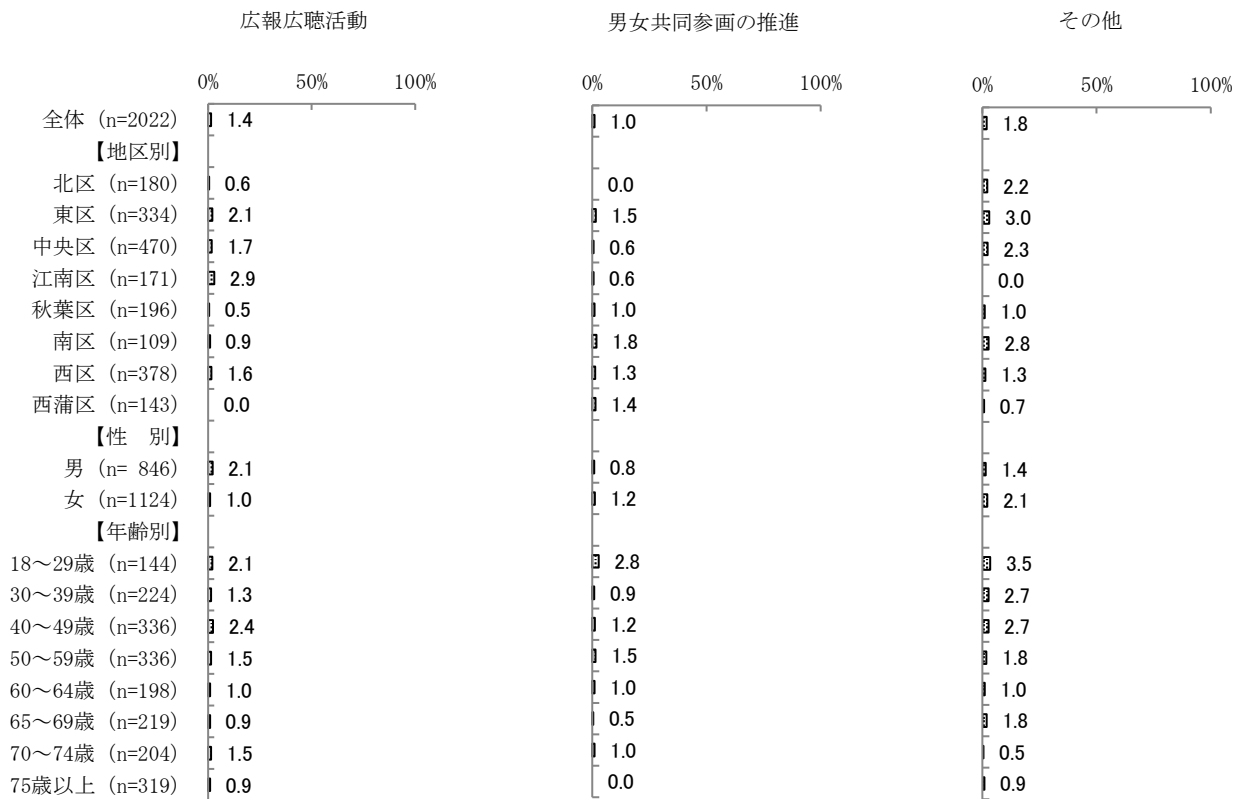
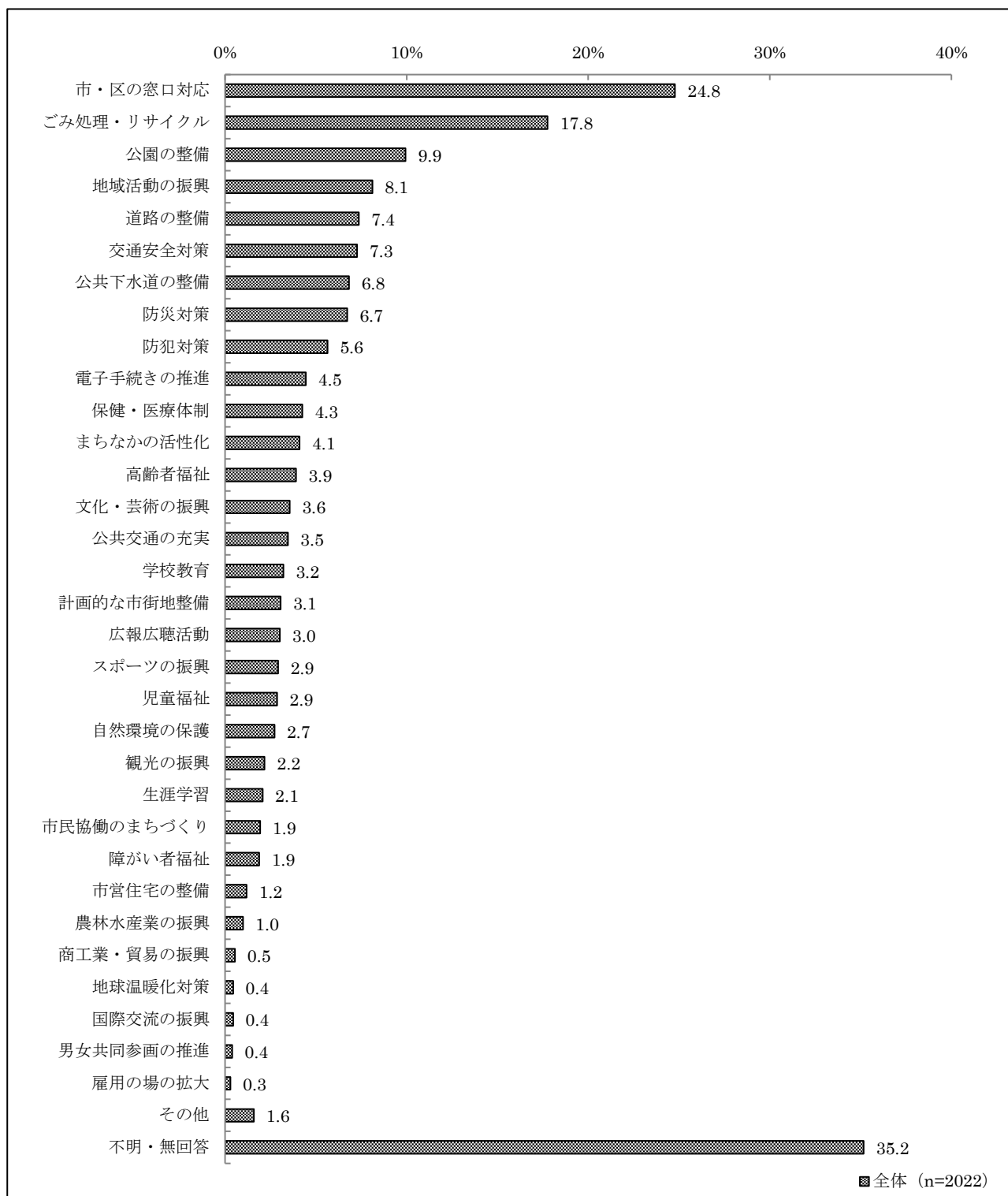


図 5-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



(3) 区として良くなっているもの

問2 1 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて
 ③「区として良くなっているもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に
 番号(1~33)をご記入ください。



— 2割強が「市・区の窓口対応」を評価 —

【全体結果】

区として良くなっているものは、「市・区の窓口対応」(24.8%)の割合が最も高い。以下「ごみ処理・リサイクル」(17.8%)が2割弱となった。次に「公園の整備」(9.9%)が続くが、以下は1割未満となった。

【属性別結果】(図5-3参照)

① 地区別

全体結果で割合が最も高かった「市・区の窓口対応」は、東区(31.4%)の割合が最も高く、3割を超え、南区と西蒲区以外の区で2割を超えている。「ごみ処理・リサイクル」は、西蒲区(30.1%)で3割を超え、他の区と比べて割合が高い。「公園の整備」は東区(15.6%)で割合が高い。

② 性別

性別での大きな差はみられない。

③ 年齢別

75歳以上では、「ごみ処理・リサイクル」(17.6%)の割合が最も高い項目となっているが、他のすべての年齢層で「市・区の窓口対応」と回答した割合が最も高い。

「道路の整備」「交通安全対策」は、若年層ほど割合が高く、18～29歳(いずれも11.8%)では、1割を超えた。

図 5-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

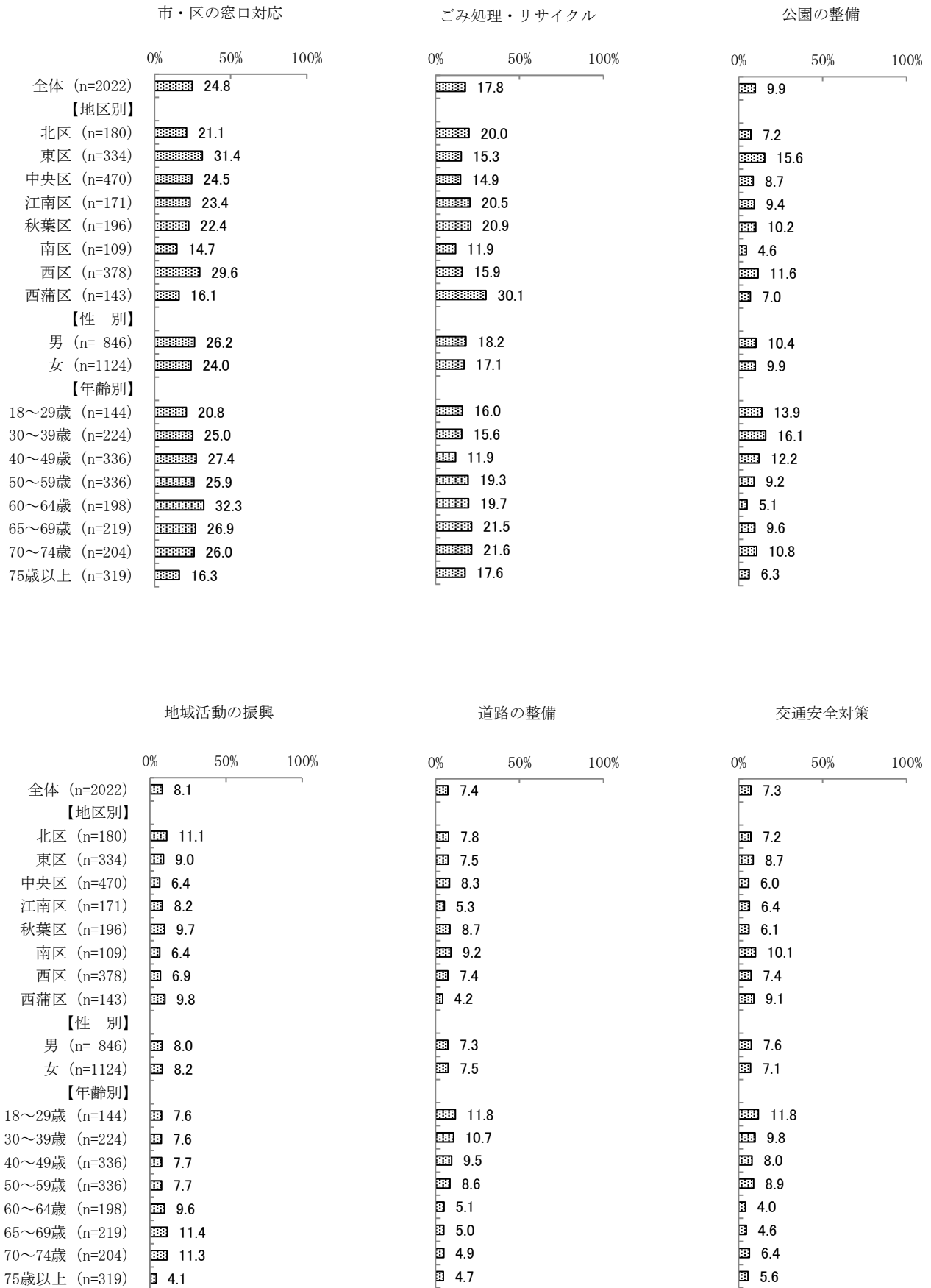


図 5-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

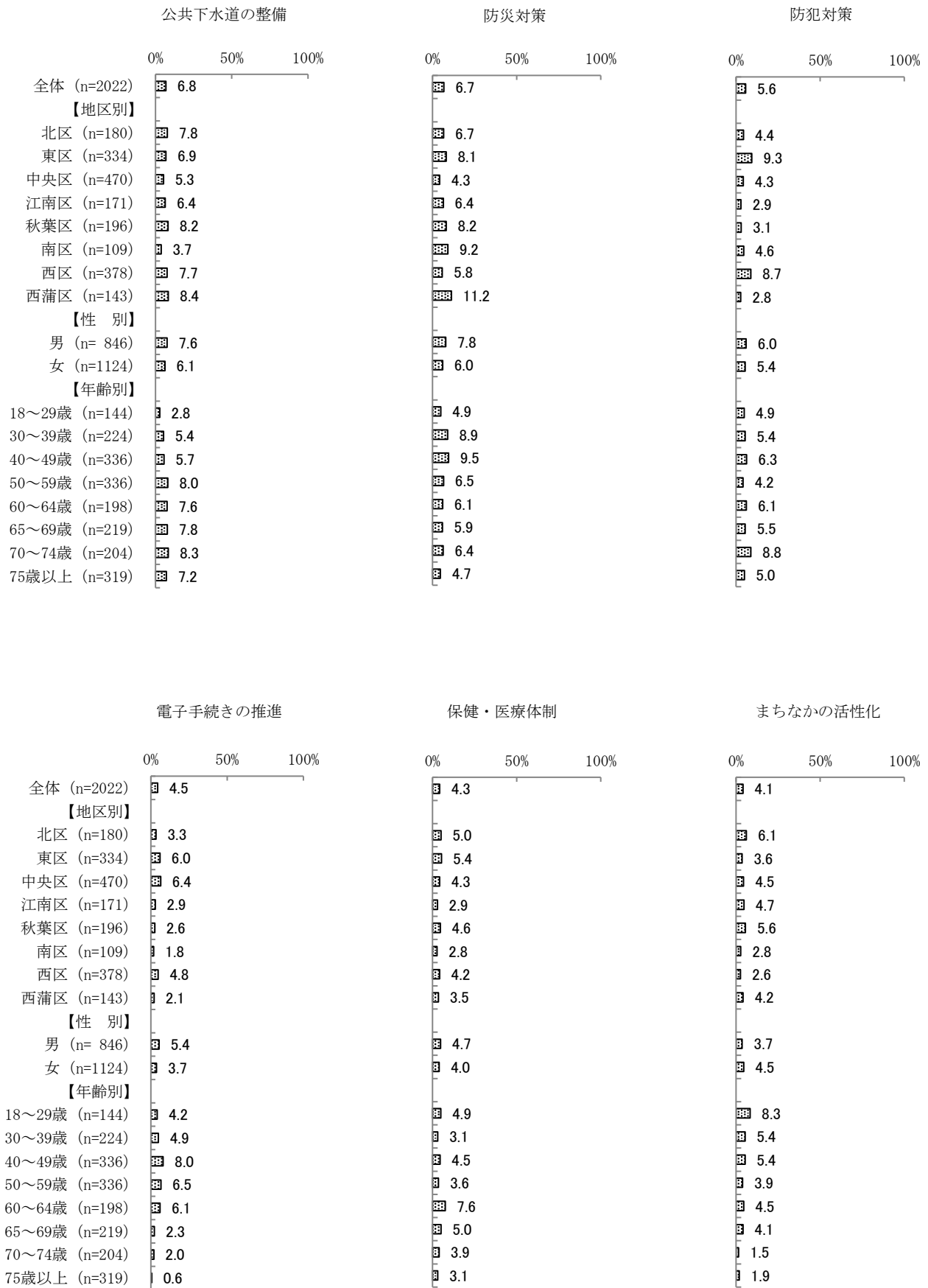


図 5-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

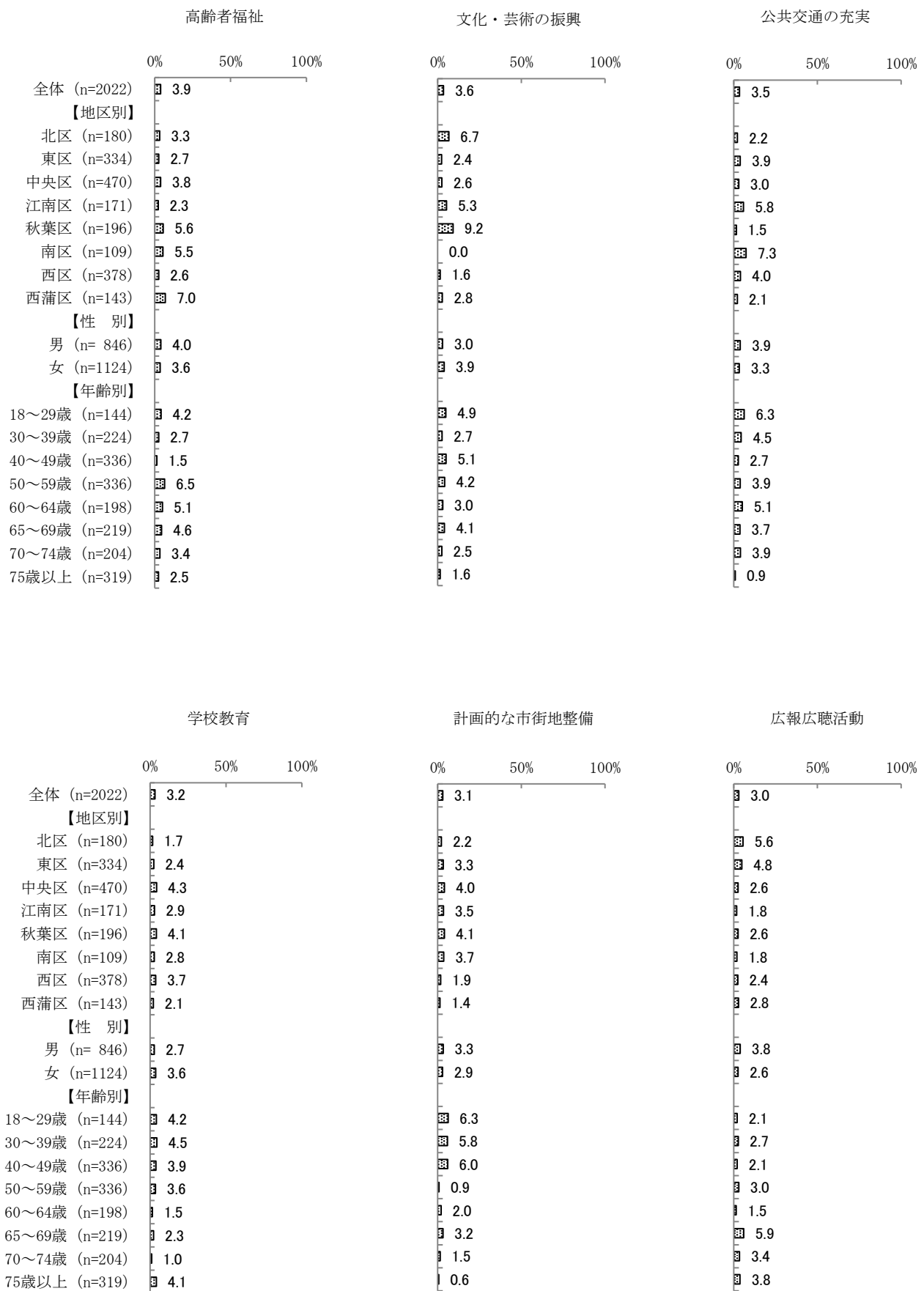


図 5-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

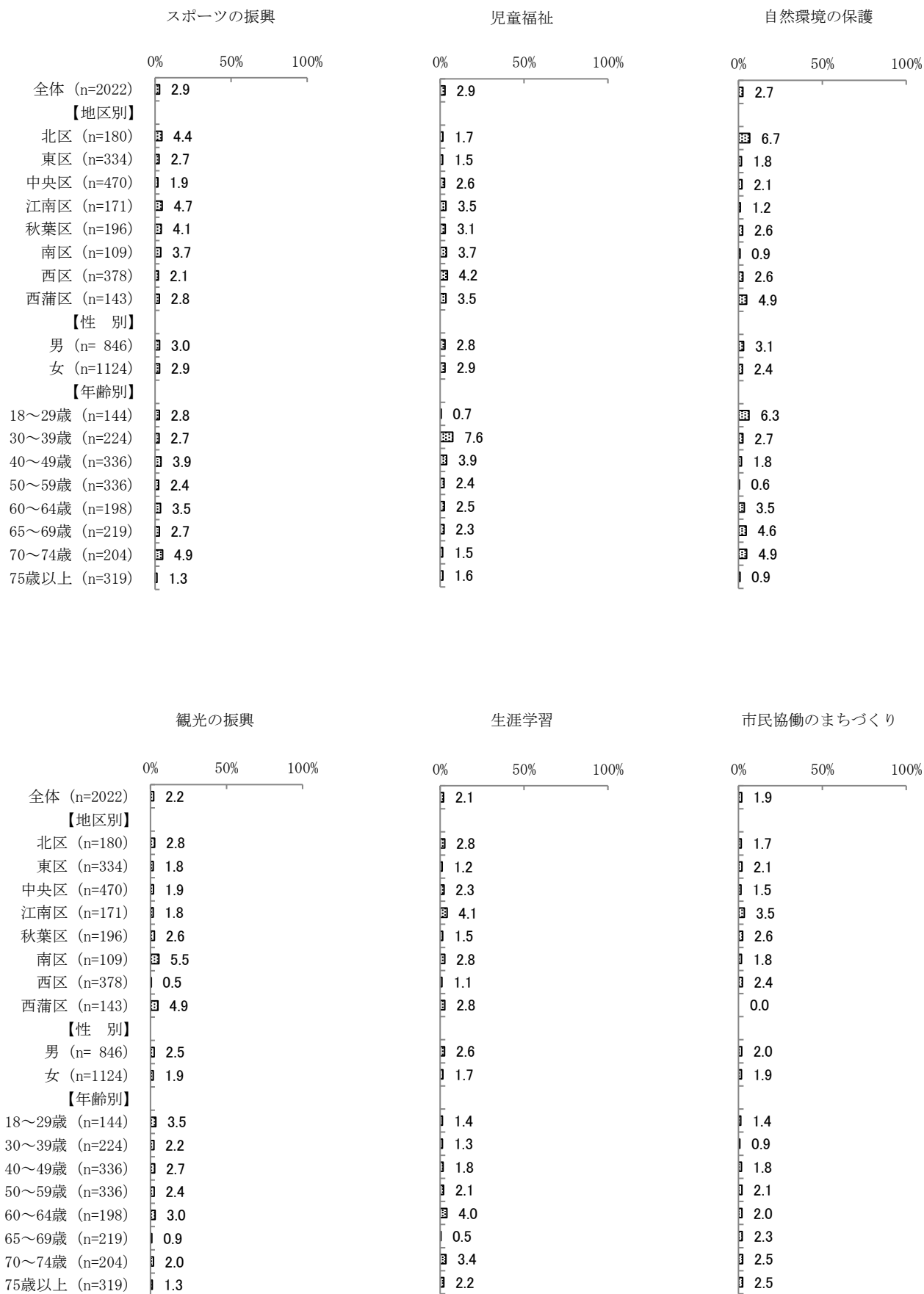


図 5-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

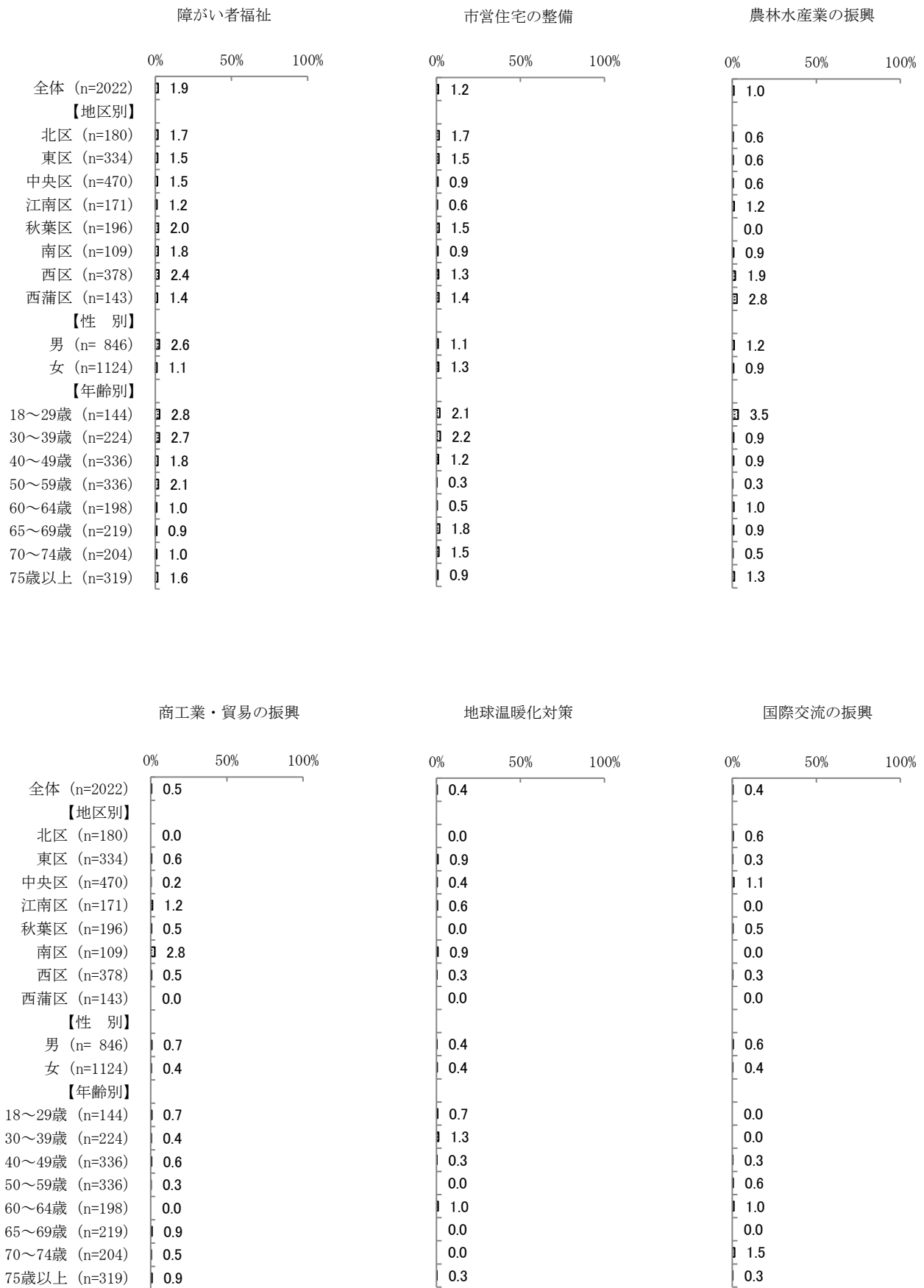
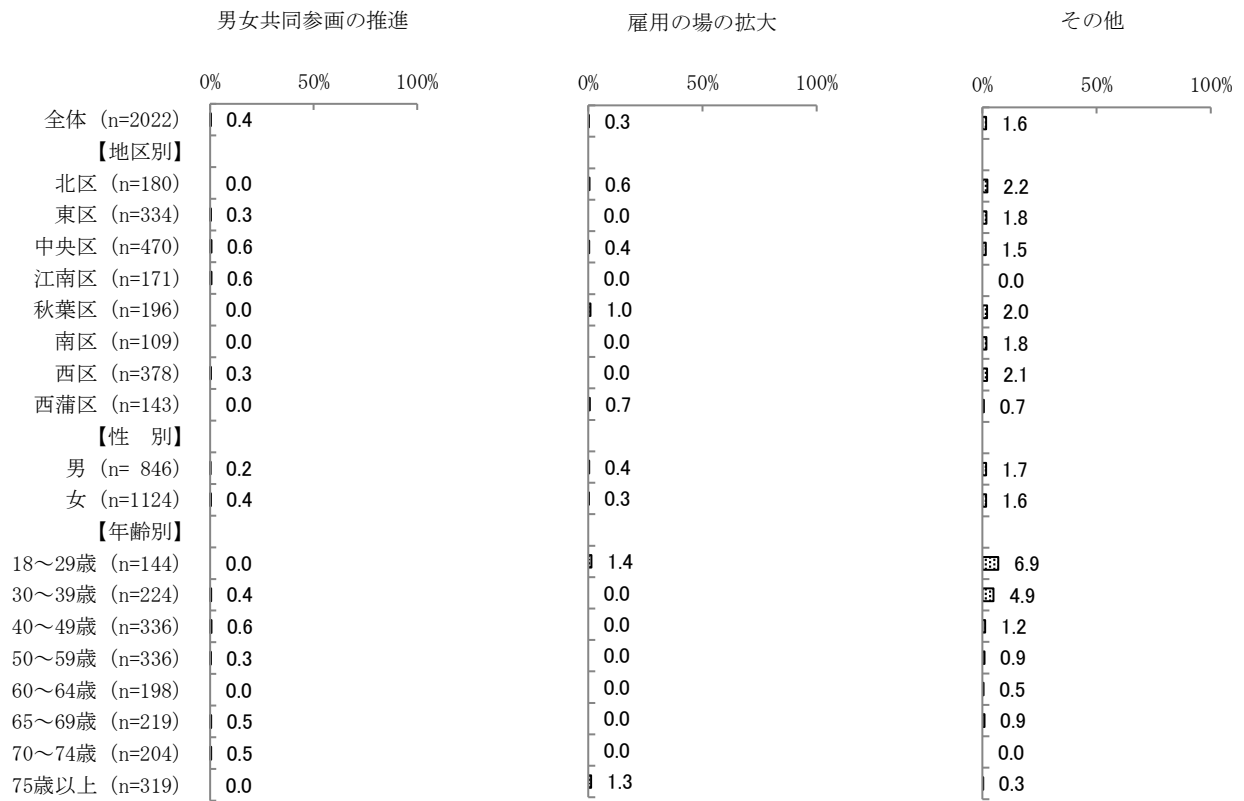
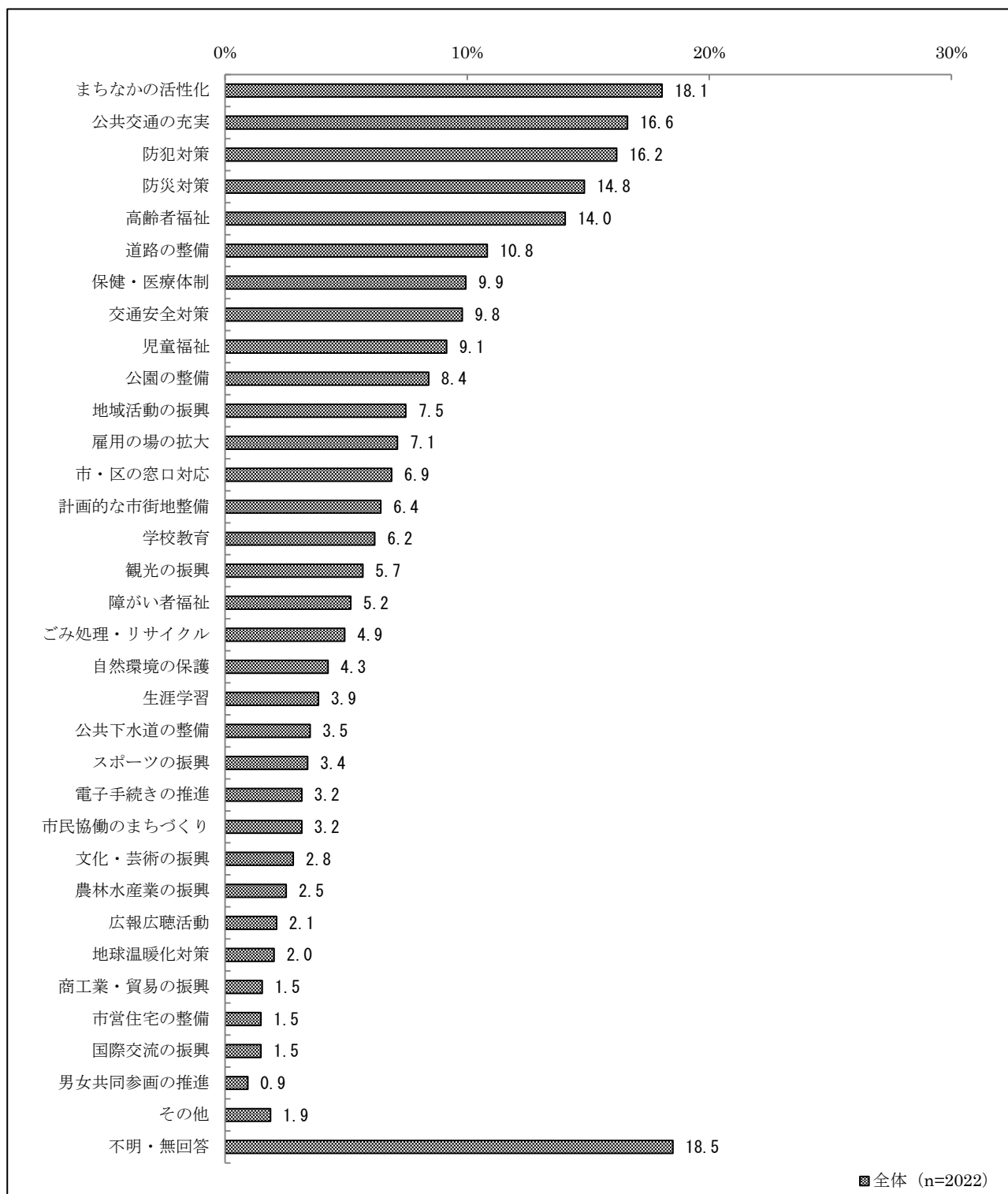


図 5-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



(4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの

問2 1 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて
 ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、
 下の回答欄に番号(1~33)をご記入ください。



— 「まちなかの活性化」が約2割でトップ —

【全体結果】

区として今後もっと力を入れてほしいものは、「まちなかの活性化」(18.1%)の割合が最も高い。以下、「公共交通の充実」(16.6%)、「防犯対策」(16.2%)、「防災対策」(14.8%)、「高齢者福祉」(14.0%)、「道路の整備」(10.8%)の順で続く。

【属性別結果】(図5-4参照)

① 地区別

全体結果で割合が最も高かった「まちなかの活性化」は、秋葉区(31.6%)では3割を超え、他の区と比べて割合が高く、割合が最も高い項目となっている。また、「まちなかの活性化」は中央区(24.9%)でも、割合が最も高い項目となっている。

東区と西区では「防犯対策」(各20.4%、21.2%)が、北区と江南区、南区では「公共交通の充実」(各16.7%、21.1%、27.5%)が、割合が最も高い項目となっている。

南区で「農林水産業の振興」(10.1%)、西蒲区で「市・区の窓口対応」(12.6%)が、他の区と比べて割合が高いことも特徴的であった。

② 性別

「公園の整備」は、男性(6.1%)と比べて女性(10.1%)で割合がやや高い。

③ 年齢別

18~29歳、60~64歳、70~74歳では、「まちなかの活性化」(各22.2%、23.7%、22.1%)の割合が最も高い。30~39歳は「児童福祉」(27.2%)が、40~49歳と50~59歳は「防犯対策」(各20.8%、20.5%)が、65~69歳は「まちなかの活性化」「防災対策」(各19.2%)が、75歳以上は「高齢者福祉」(14.7%)の割合が最も高い。

18~29歳は、「雇用の場の拡大」(11.8%)、「観光の振興」(16.0%)が、他の年齢層と比べて割合が高い。

図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

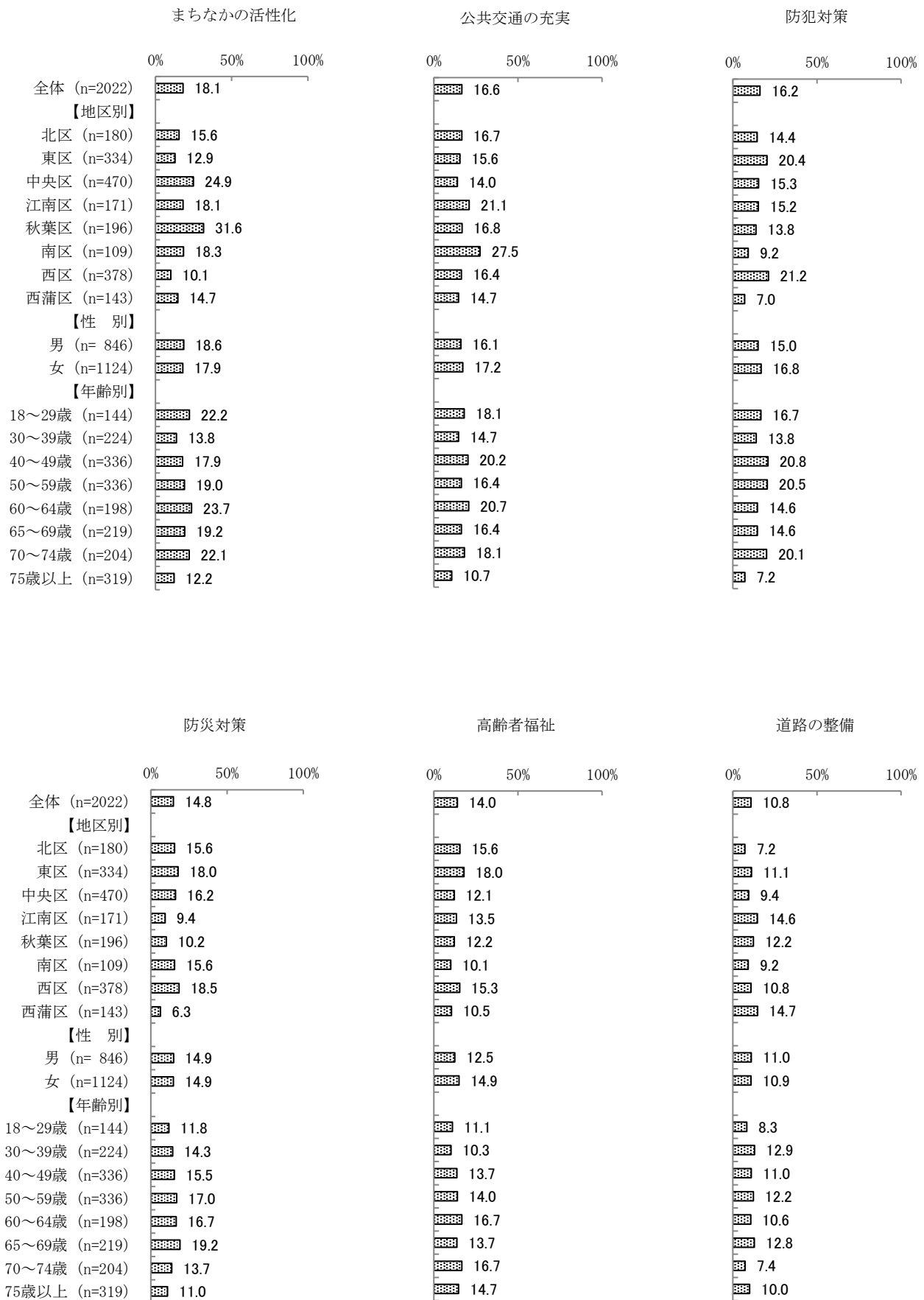


図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

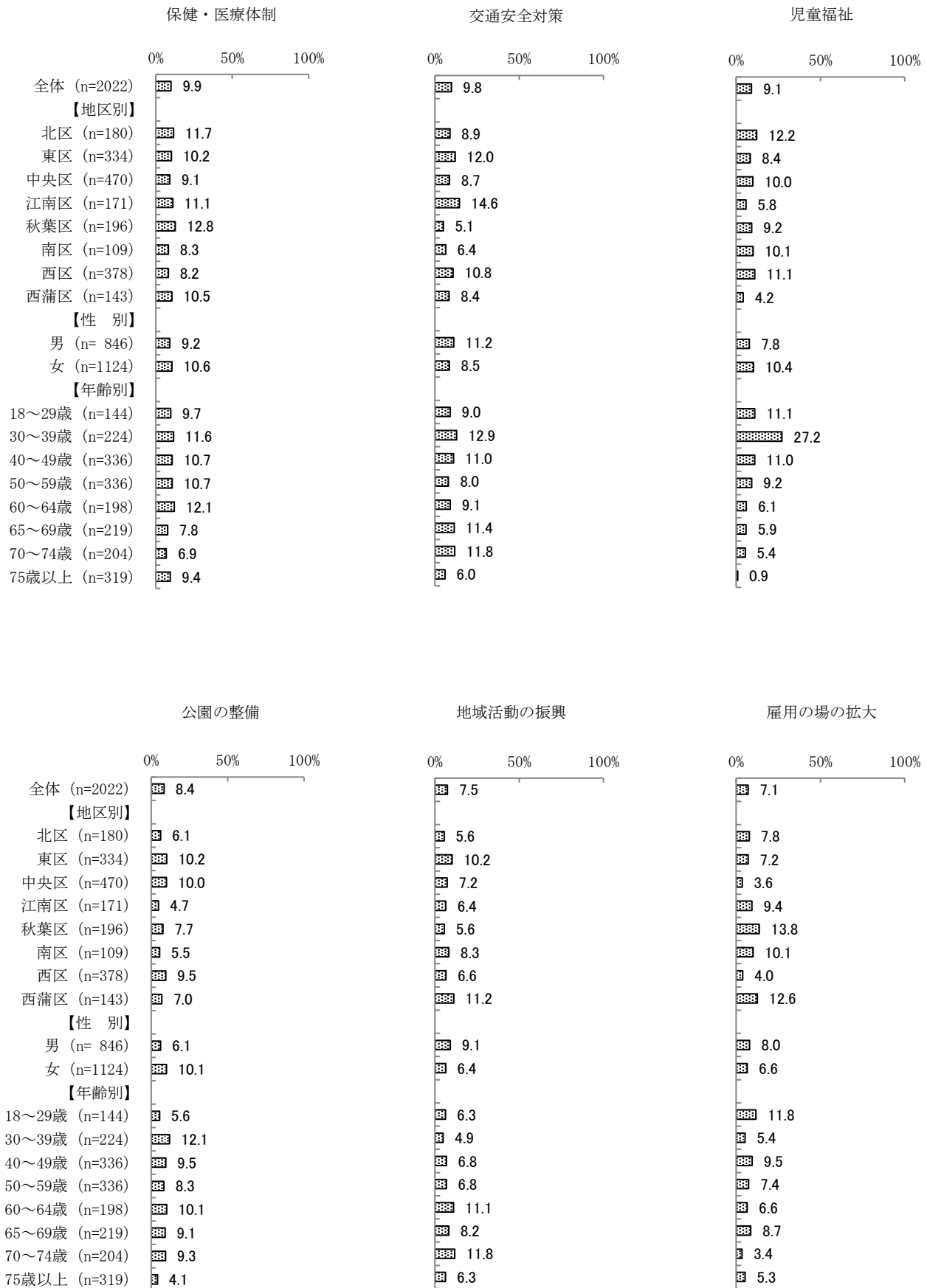


図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

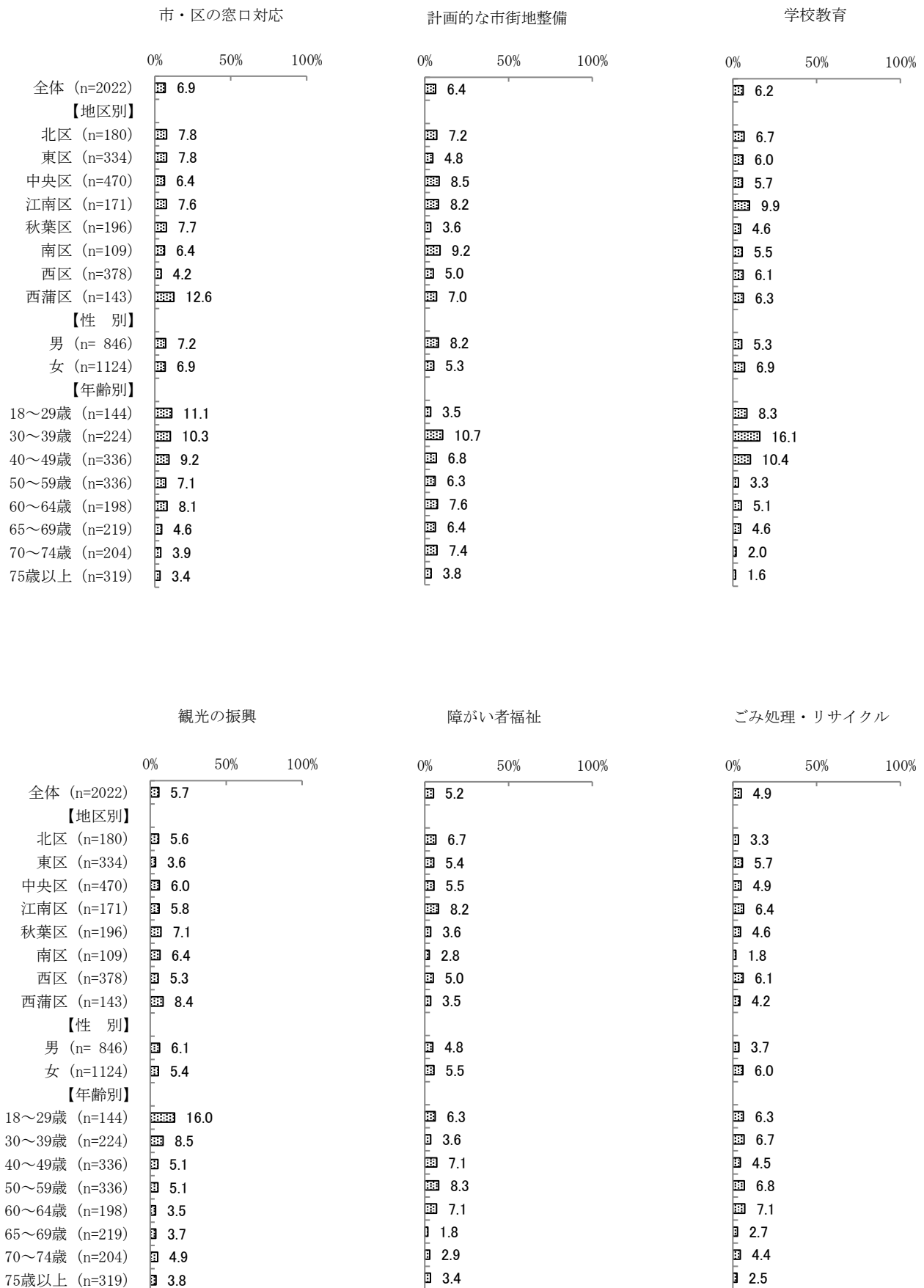


図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

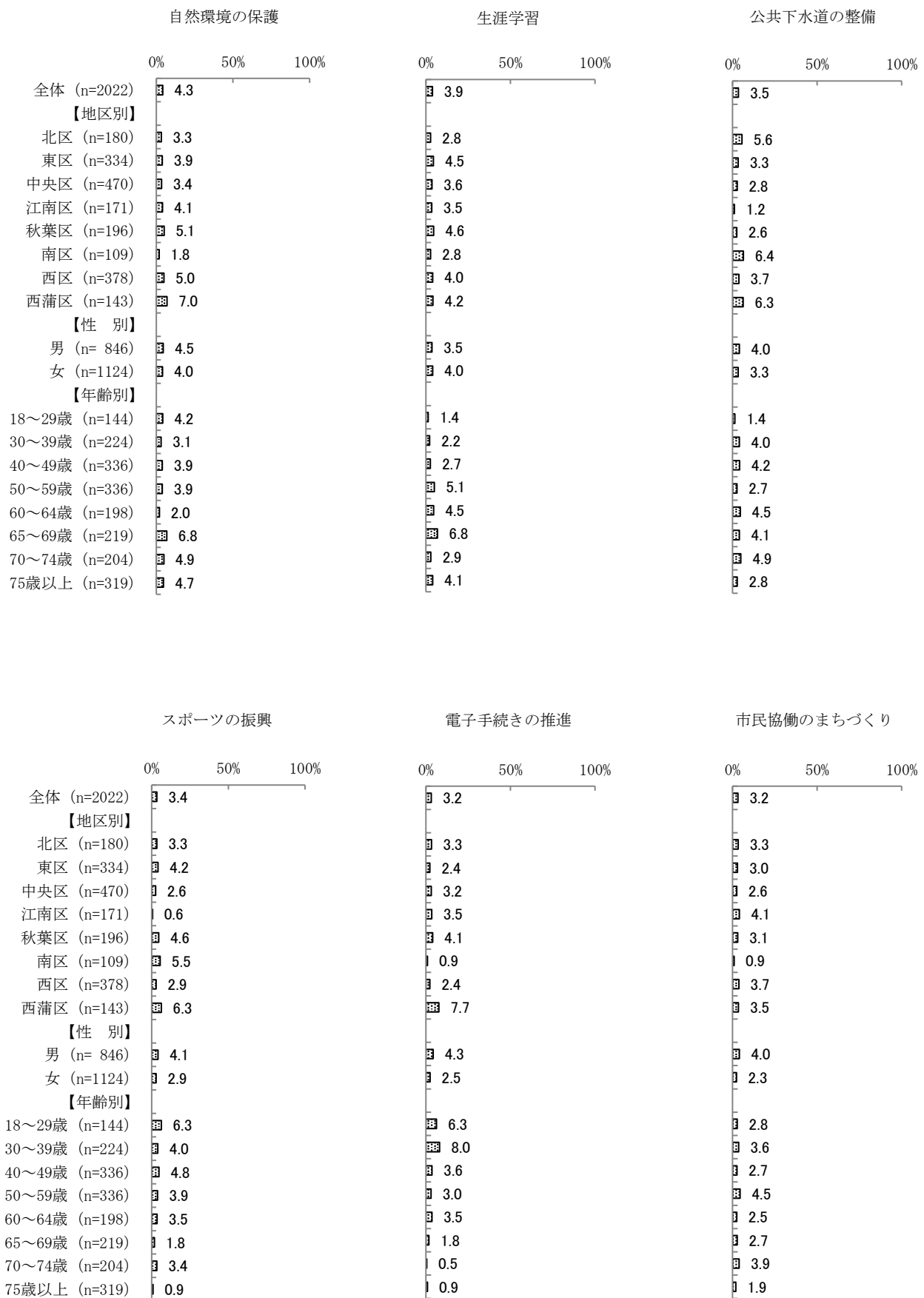


図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

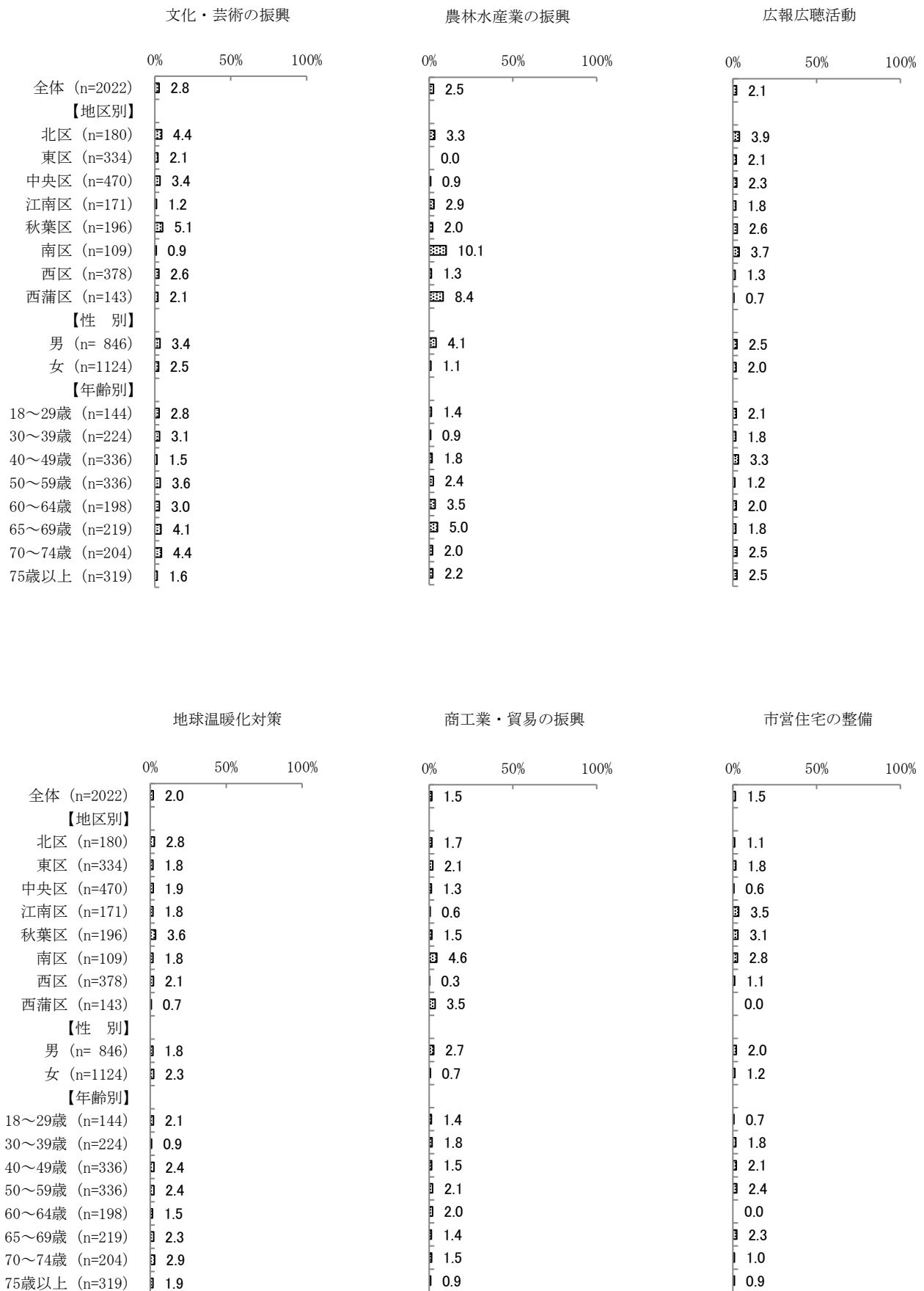
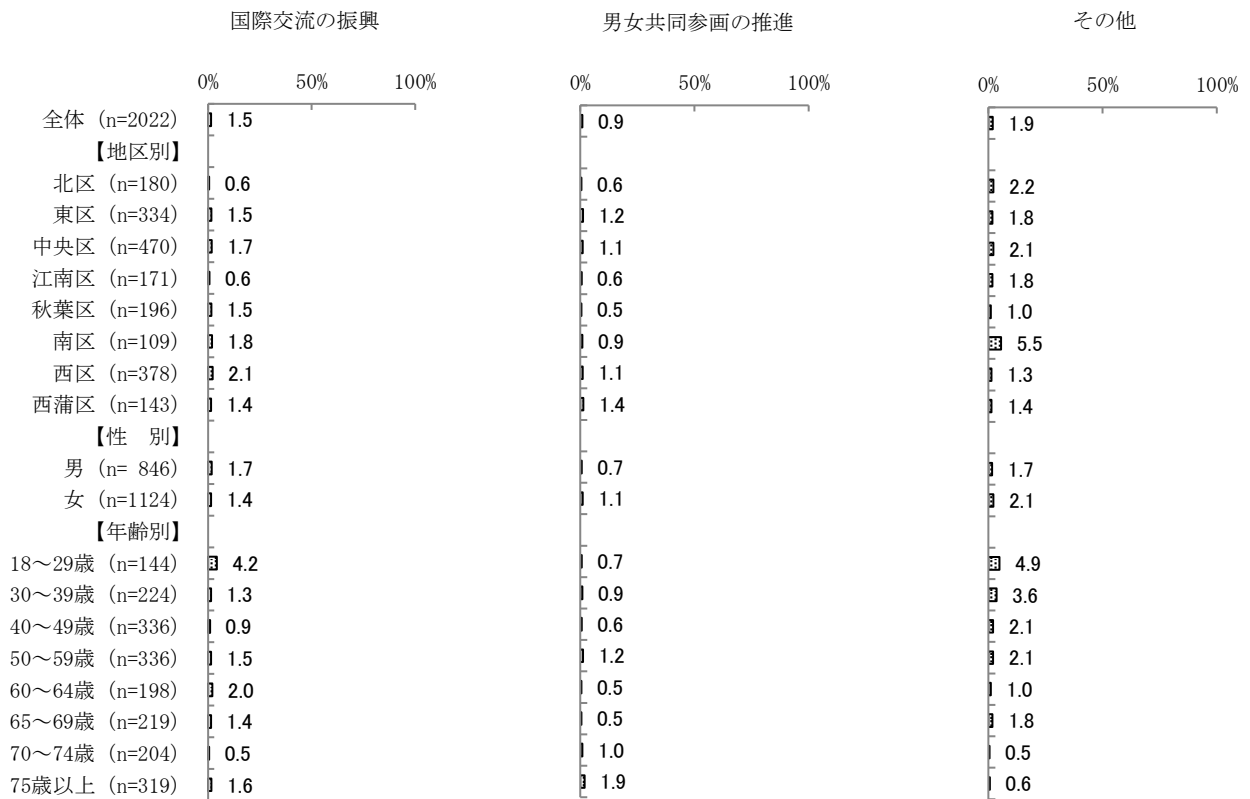


図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



6. 市の取り組みについて

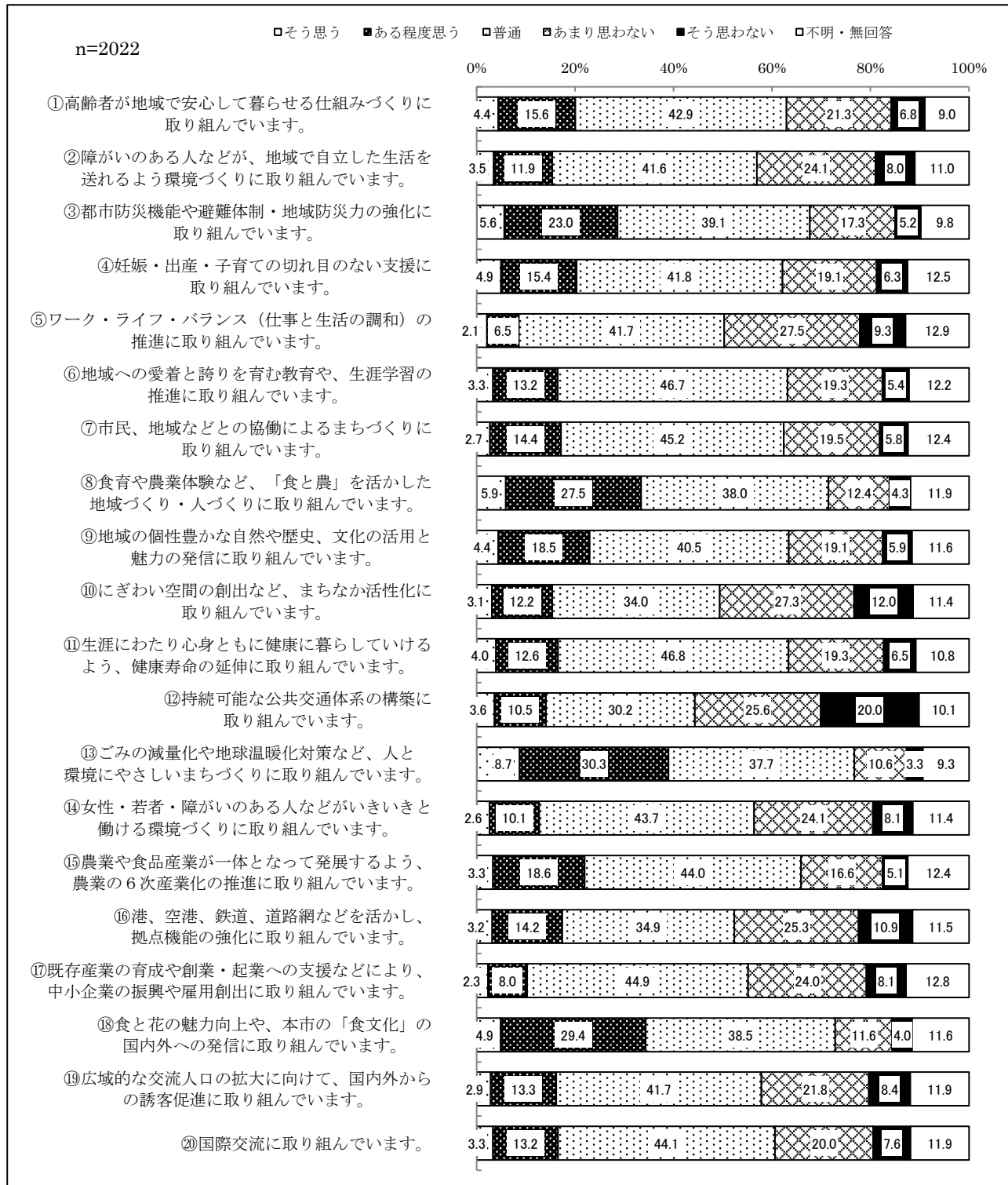
(1) 取り組みへの感想

問22 本市の総合計画である「にいがた未来ビジョン」に基づき進めている主な取り組みについて、あなたの感想をお聞かせください。

また、これらの取り組みについての満足度をお聞かせください。

それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで、○をつけてください。

【取り組みへの感想】



【全体結果】

市の取り組み状況への感想について、「そう思う」の割合は、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」(8.7%)で最も高い。以下、「そう思う」の割合は、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」(5.9%)、「③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。」(5.6%)の順に続く。

一方、「そう思わない」の割合は、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」(20.0%)が最も高い。以下、「⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。」(12.0%)、「⑯港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」(10.9%)、「⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。」(9.4%)、「⑲広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。」(8.4%)の順に続く。

感想について、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合、及び、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合の結果は次のとおりである。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」(39.0%)の割合が最も高くなっている。以下、「⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。」(34.3%)、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」(33.4%)、と続き、3割以上となっている。

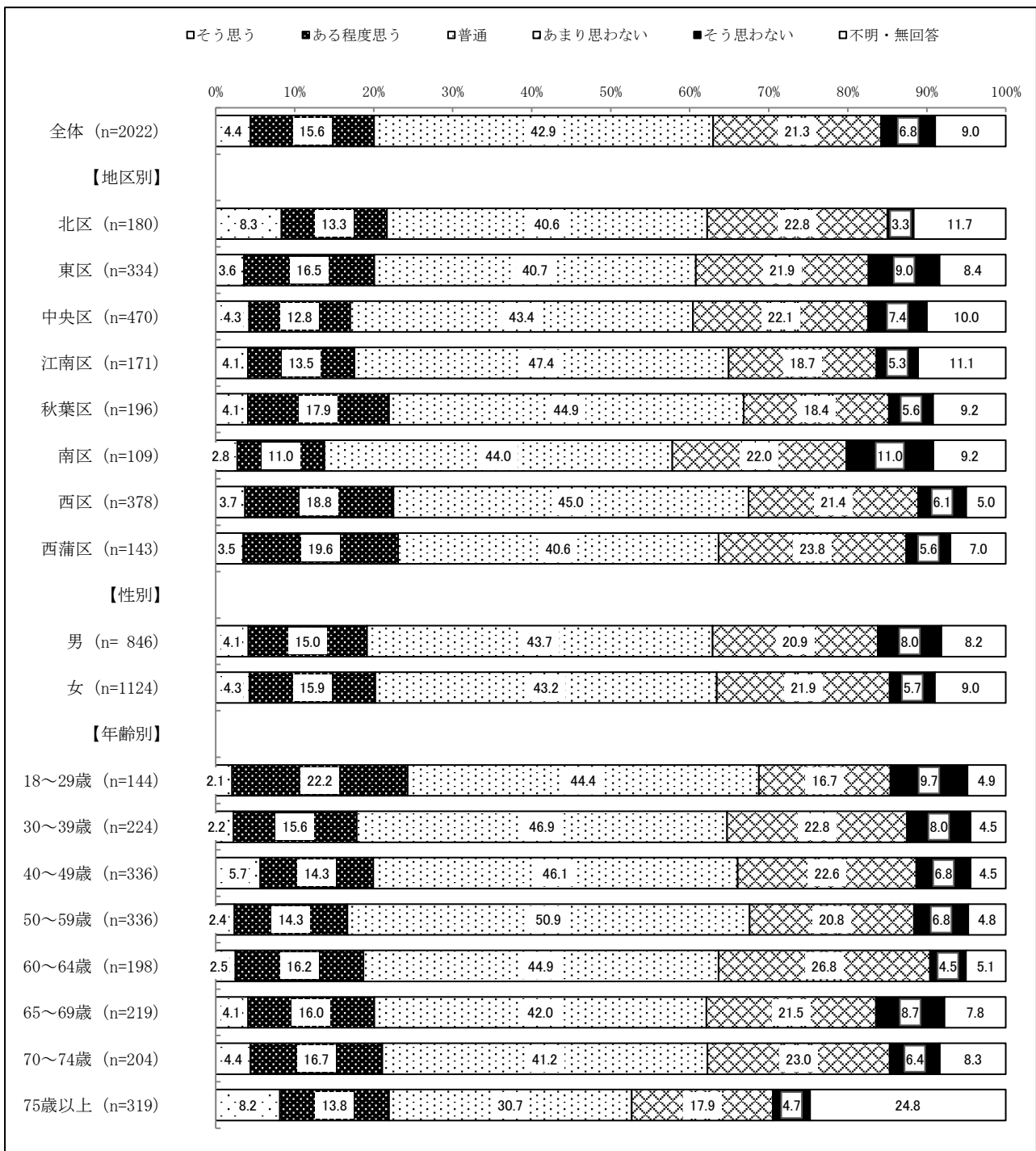
また、「③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。」(28.6%)、「⑨地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。」(22.9%)、「⑮農業や食品産業が一体となって発展するよう、農業の6次産業化の推進に取り組んでいます。」(22.0%)、「④妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいます。」(20.3%)、「①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。」(20.0%)が2割台で続いている。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」(45.5%)が最も高い。以下、「⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。」(39.3%)、「⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。」(36.8%)、「⑯港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」(36.2%)、「⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。」(32.2%)の順に続く。

【属性別結果】

次ページ以降に取り組みごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。

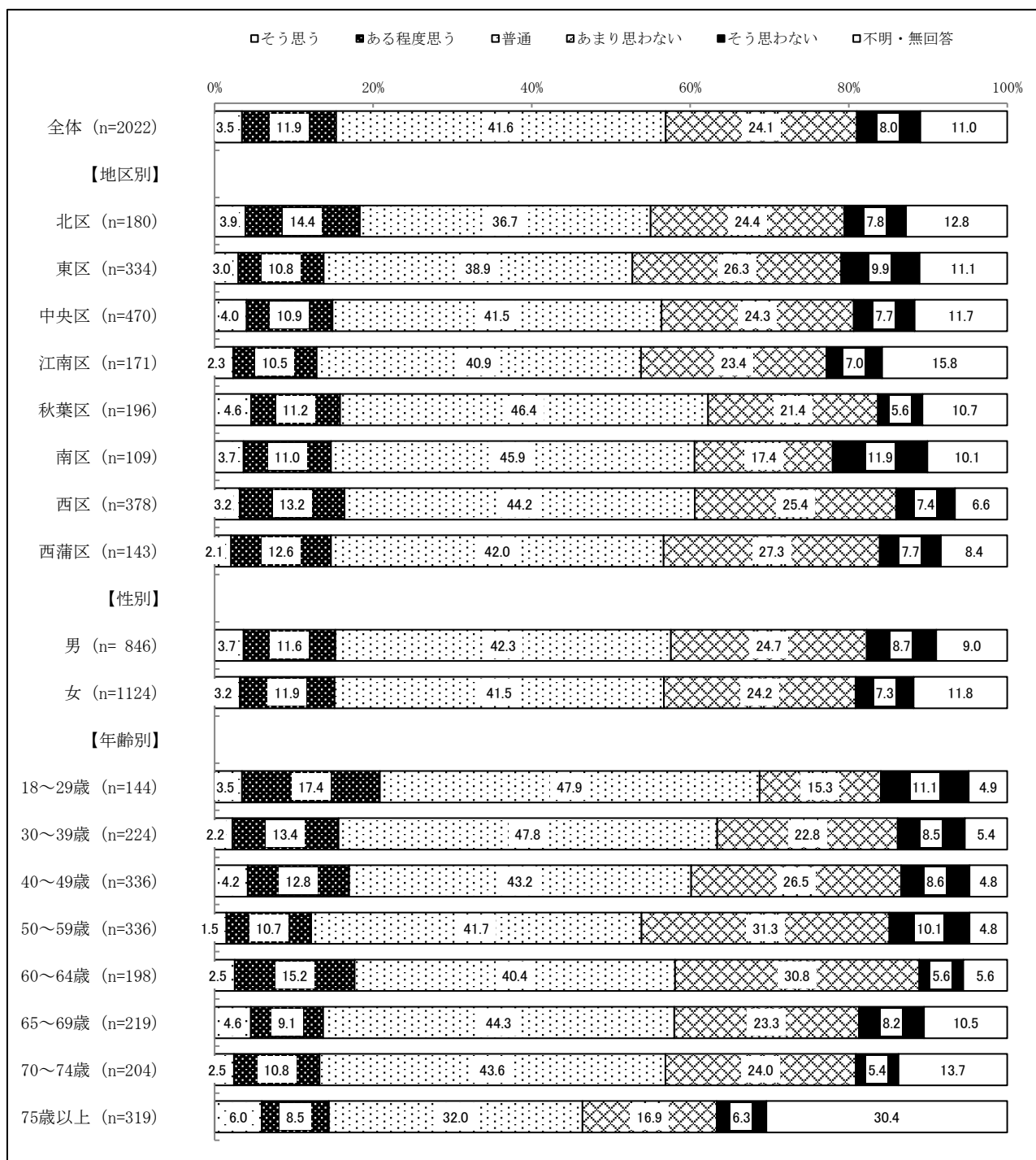


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（23.1%）で最も高い。性別による差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（24.3%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（33.0%）が最も高い。性別による差はほとんどない。年齢別では、60～64歳（31.3%）で最も高い。

②障がいのある人などが、地域で自立した生活を送れるよう環境づくりに取り組んでいます。

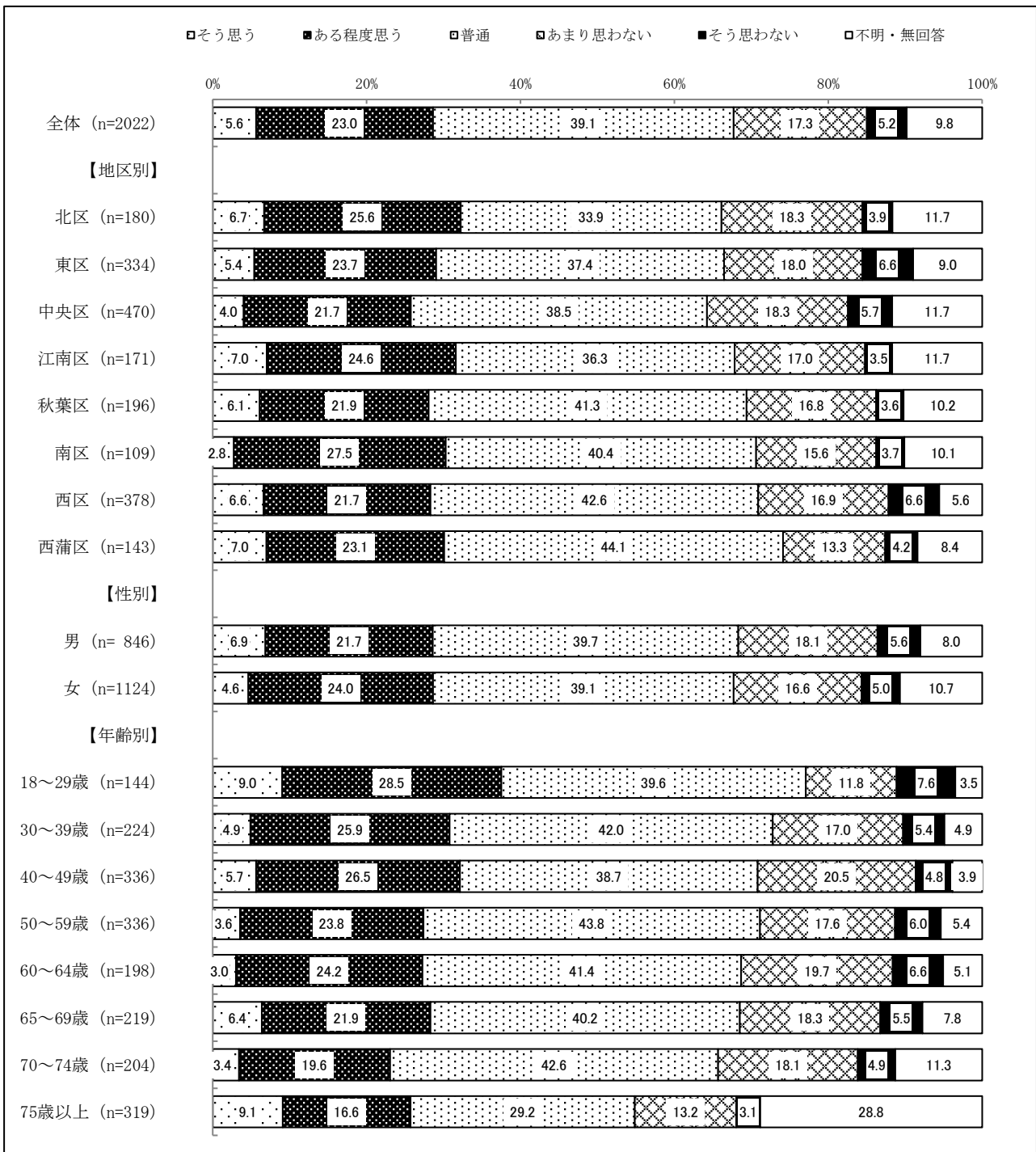


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、北区（18.3%）で最も高い。性別による差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（20.8%）で最も高い。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、東区（36.2%）が最も高い。性別による大きな差はない。年齢別では、50～59歳（41.4%）で最も高い。

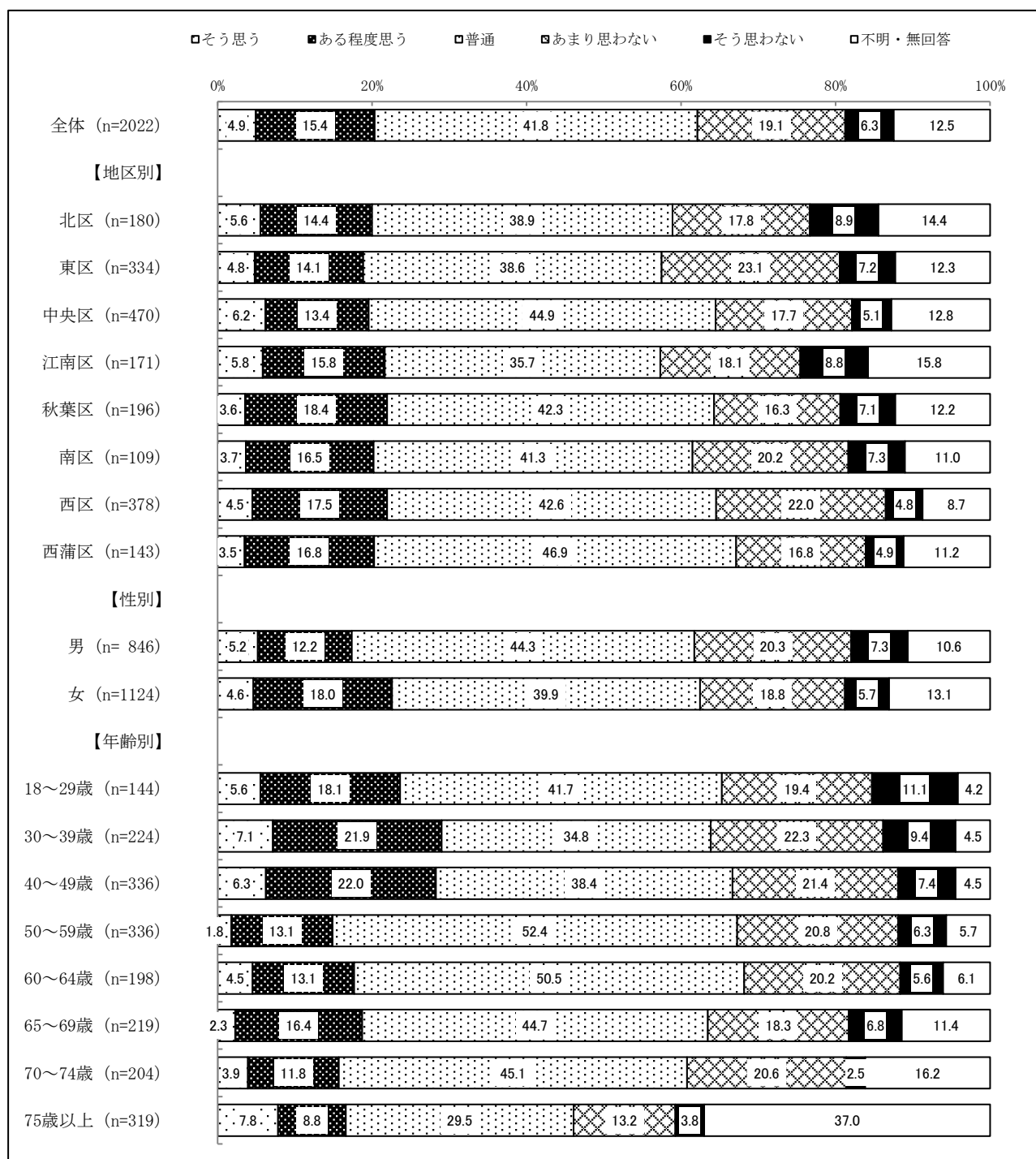
③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、北区（32.2%）で最も高い。性別による差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（37.5%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、東区（24.6%）で最も高い。性別による大きな差はない。年齢別では、60～64歳（26.3%）で最も高い。

④妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいます。

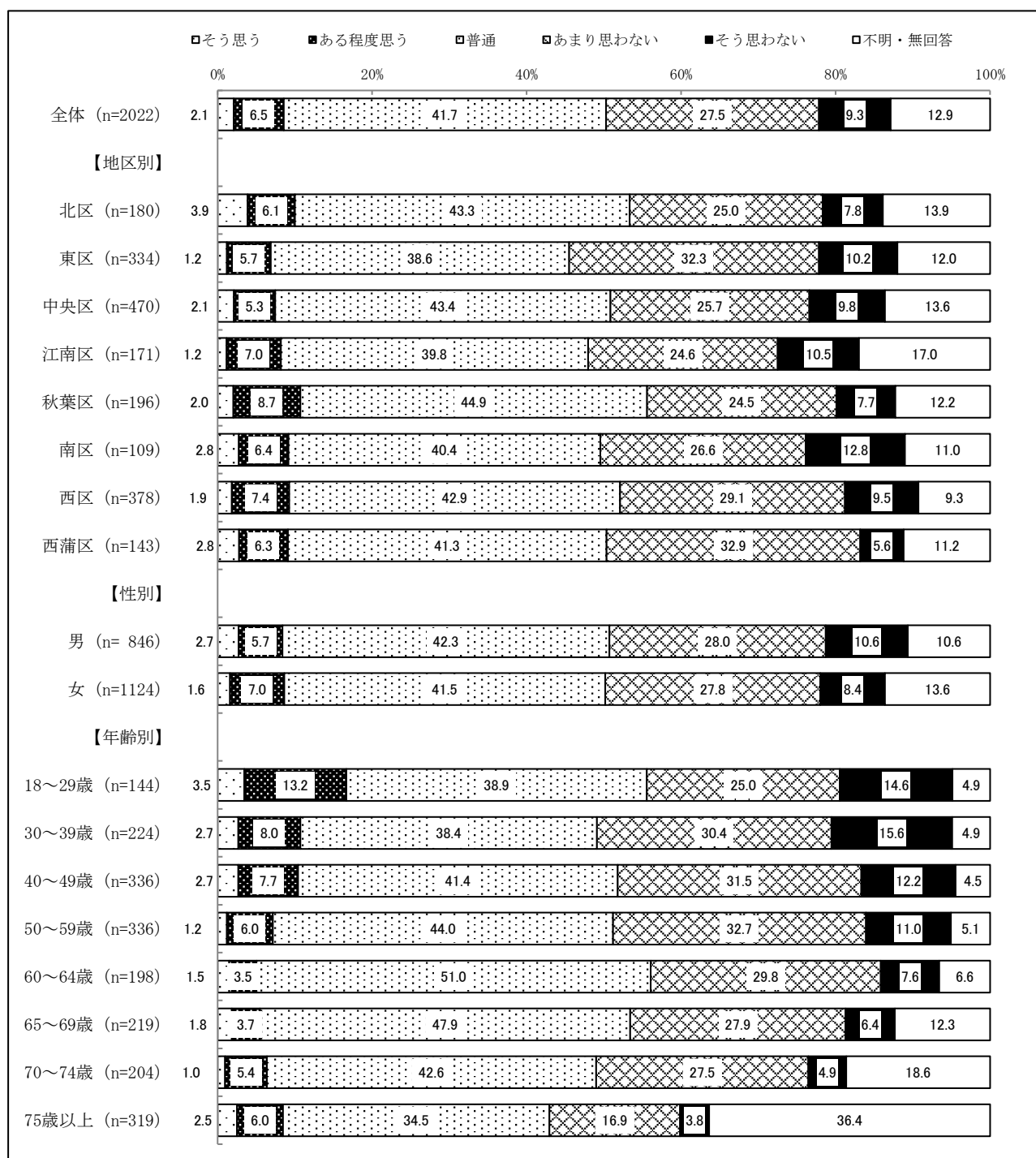


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西区（22.0%）で最も高い。性別では、男性（17.4%）より女性（22.6%）で高く、年齢別では、30～39歳（29.0%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、東区（30.2%）で最も高い。性別では、女性（24.5%）より男性（27.7%）でやや高く、年齢別では、30～39歳（31.7%）で最も高い。

⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。

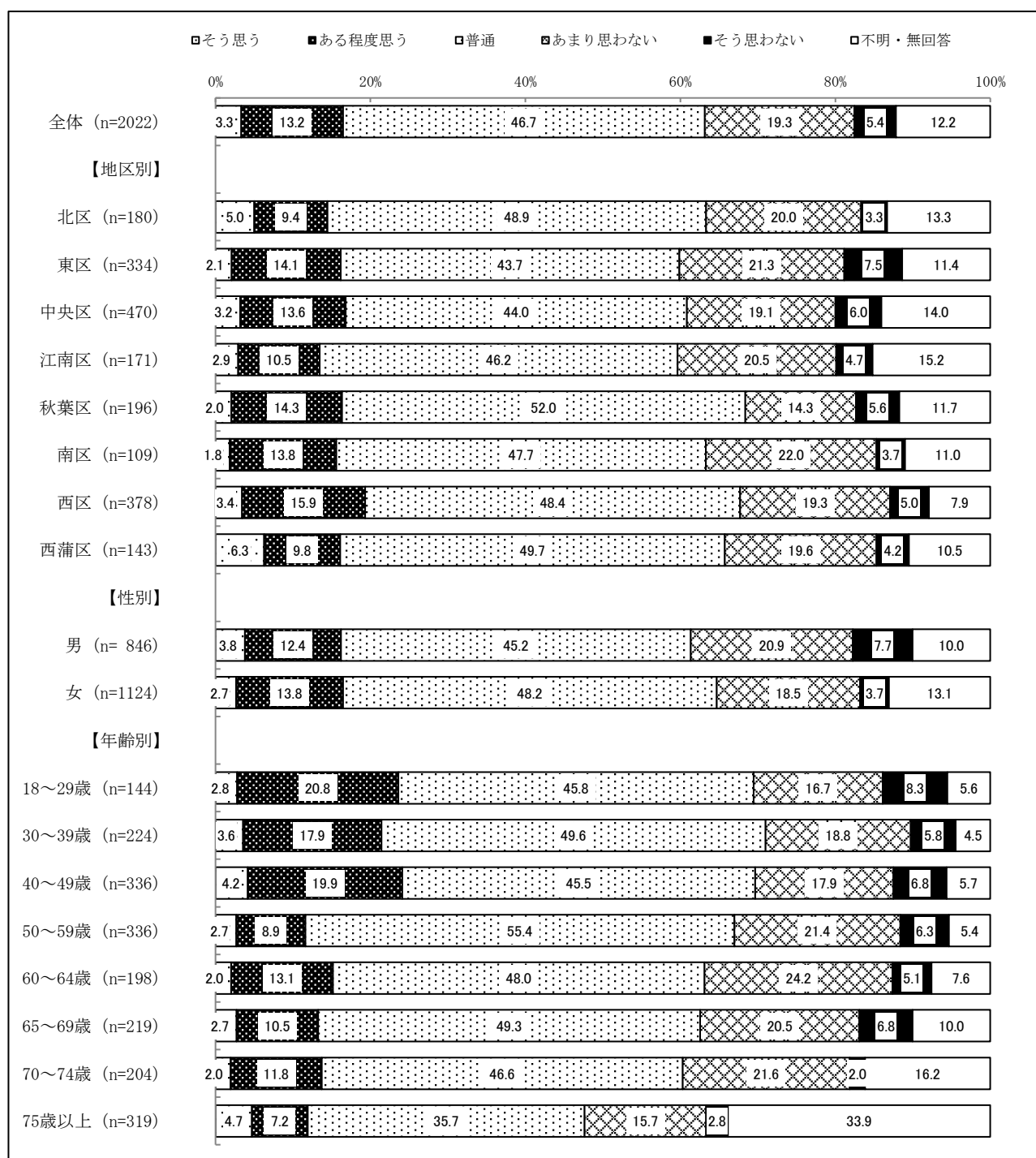


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回っており、差が大きい。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（10.7%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（16.7%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、東区（42.5%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、30～39歳（46.0%）で最も高い。

⑥地域への愛着と誇りを育む教育や、生涯学習の推進に取り組んでいます。

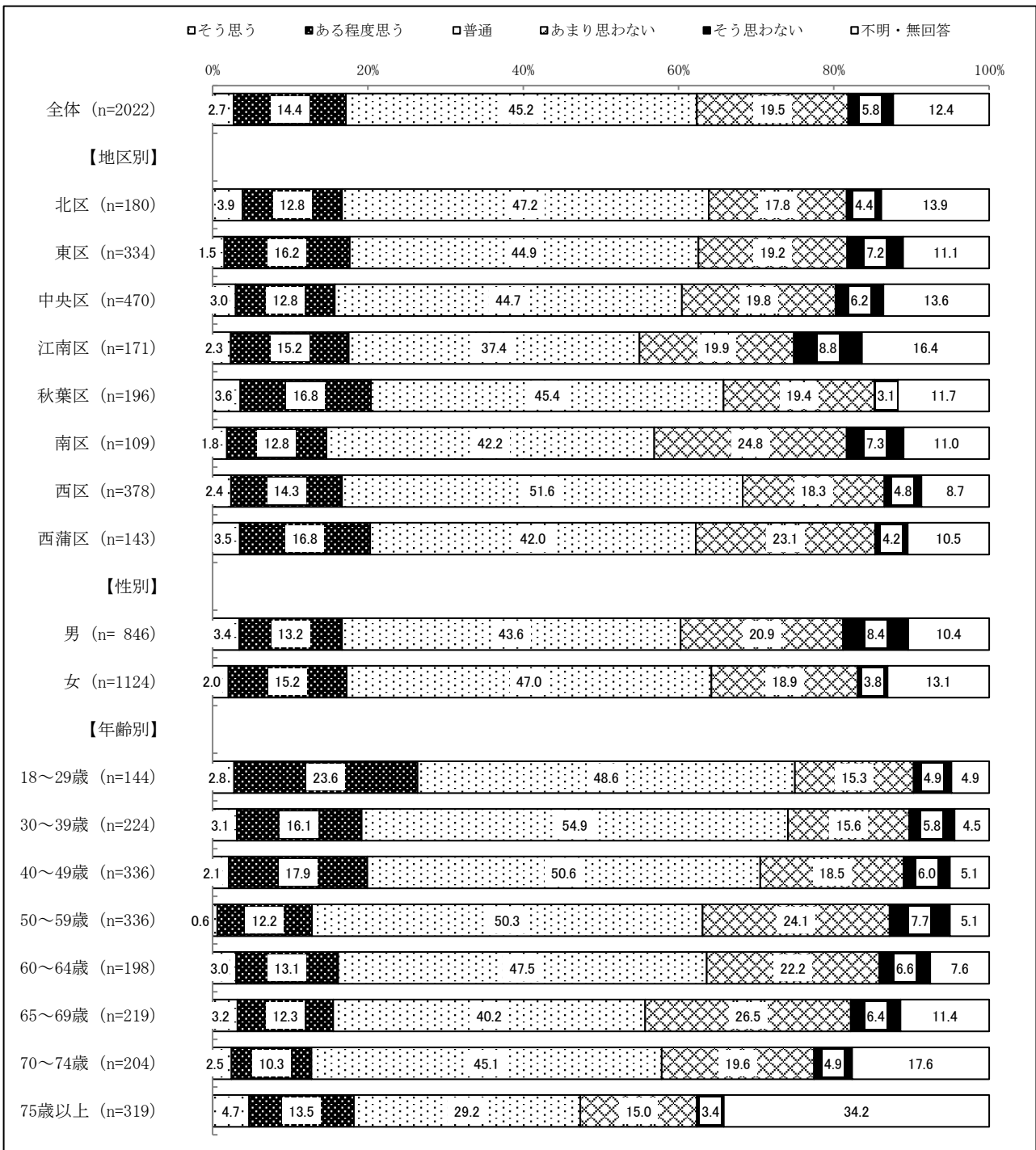


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西区（19.3%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、40～49歳（24.1%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、東区（28.7%）で最も高い。性別では、女性（22.2%）より男性（28.6%）で高く、年齢別では、60～64歳（29.3%）で最も高い。

⑦市民、地域などとの協働によるまちづくりに取り組んでいます。

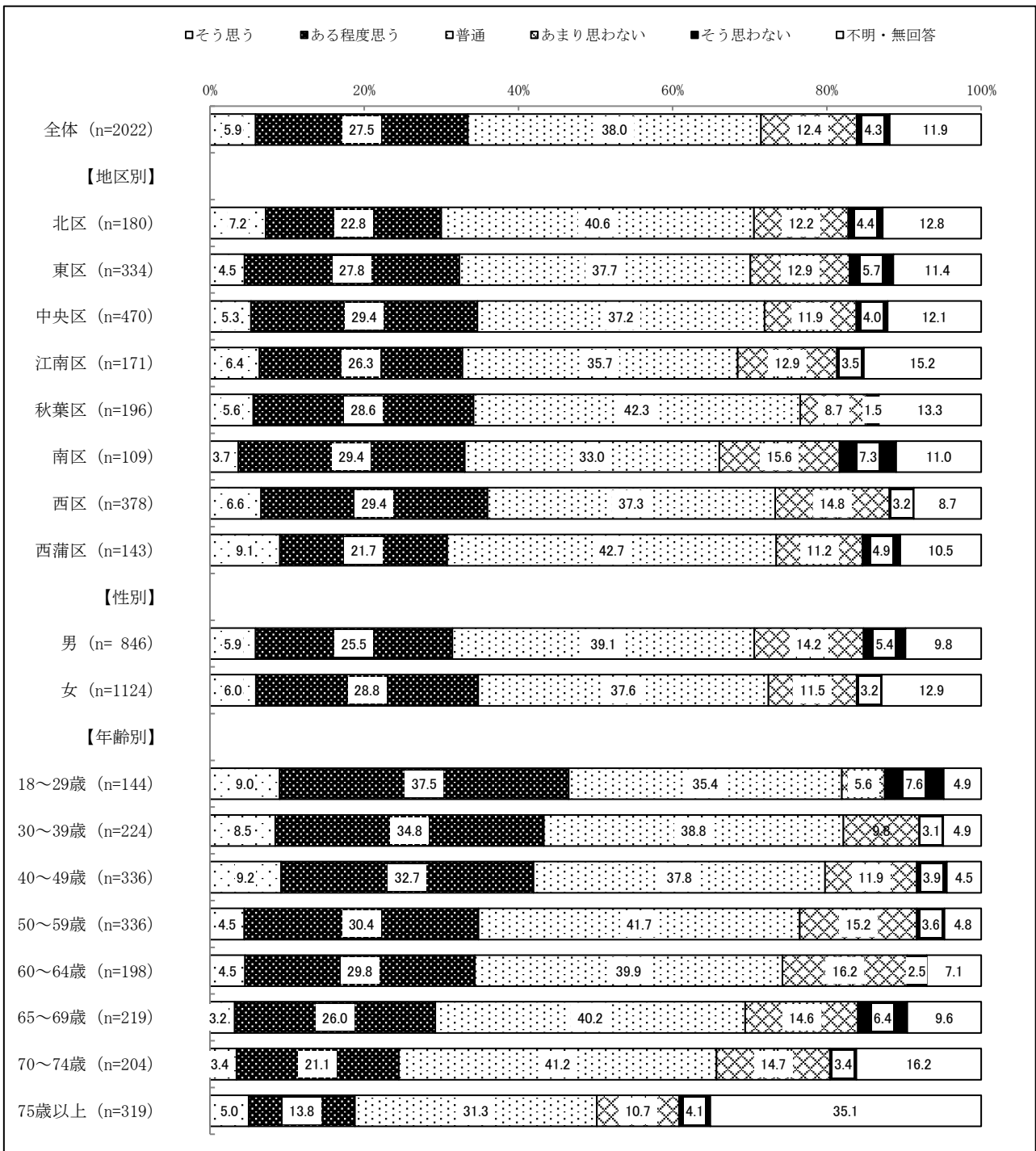


18～29歳を除く属性で、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（20.4%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（26.4%）で最も高い。

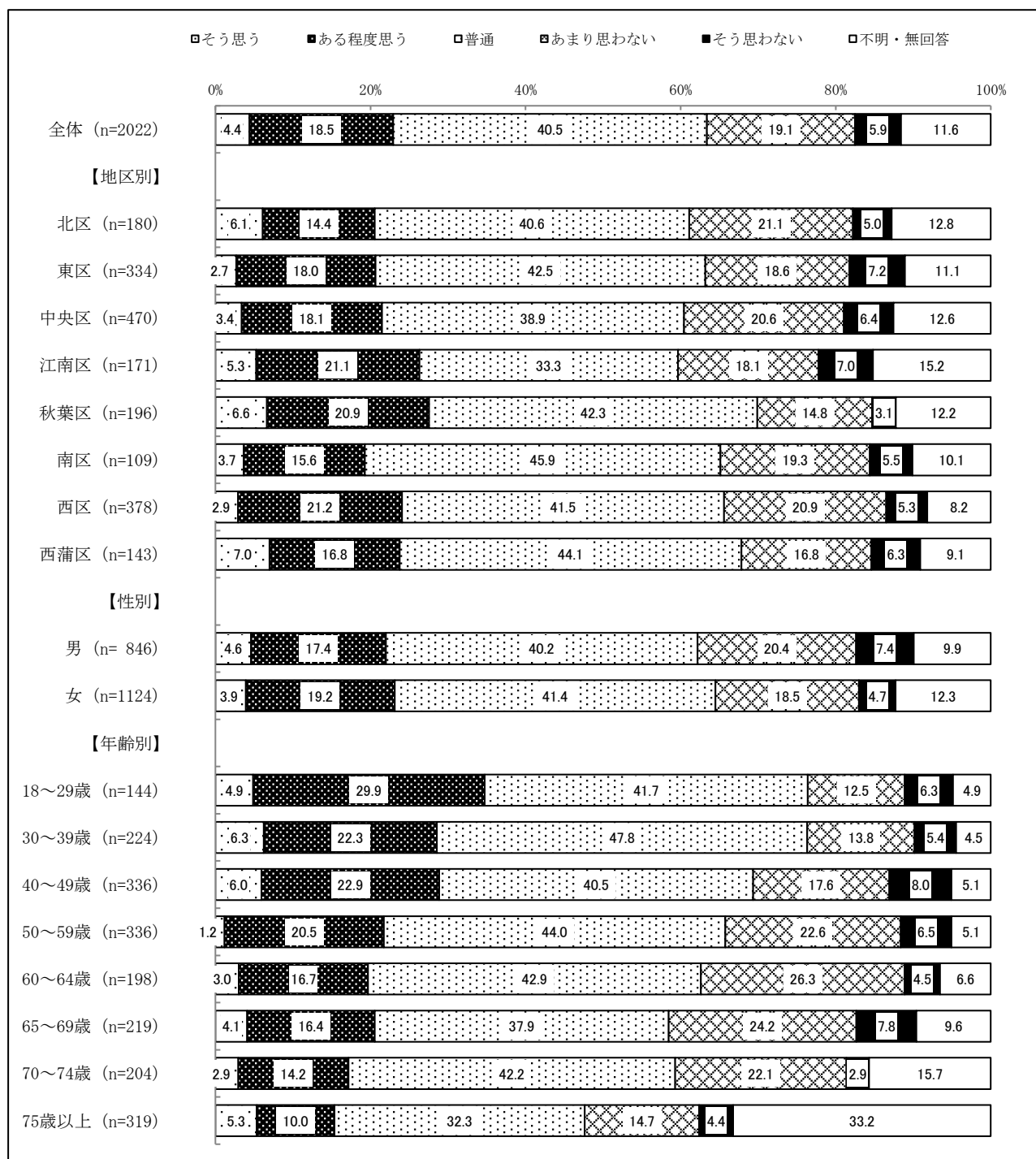
一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では南区（32.1%）で最も高い。性別では、女性（22.7%）より男性（29.3%）で高く、年齢別では、65～69歳（32.9%）で最も高い。

⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西区（36.0%）で最も高い。性別では、男性（31.4%）より女性（34.8%）でやや高く、年齢別では、18～29歳（46.5%）で最も高い。一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では南区（22.9%）で最も高い。性別では、女性（14.7%）より男性（19.6%）でやや高く、年齢別では、65～69歳（21.0%）で最も高い。

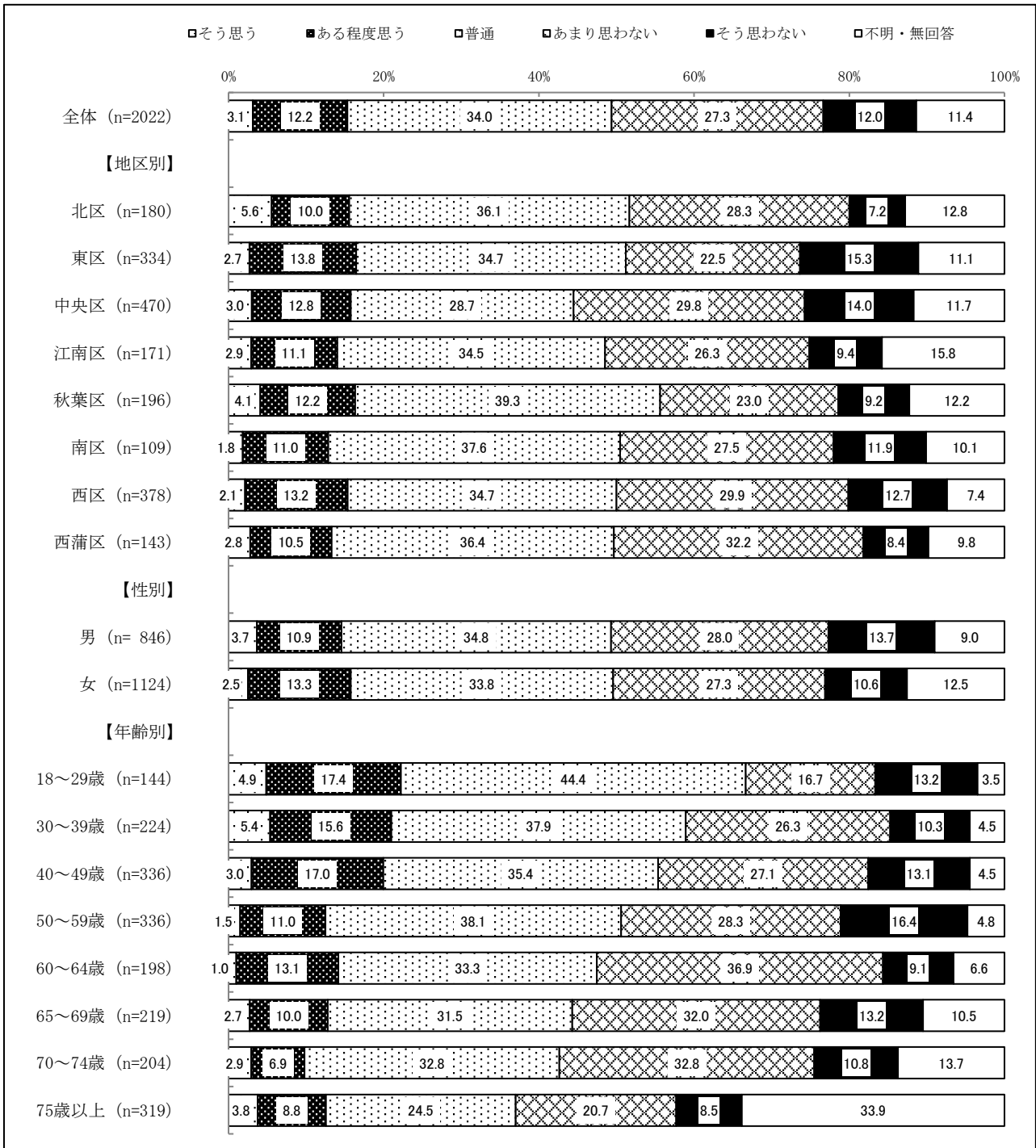
⑨地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（27.6%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（34.7%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では中央区（27.0%）で最も高い。性別では、女性（23.2%）より男性（27.9%）でやや高く、年齢別では、65～69歳（32.0%）で最も高い。

⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。

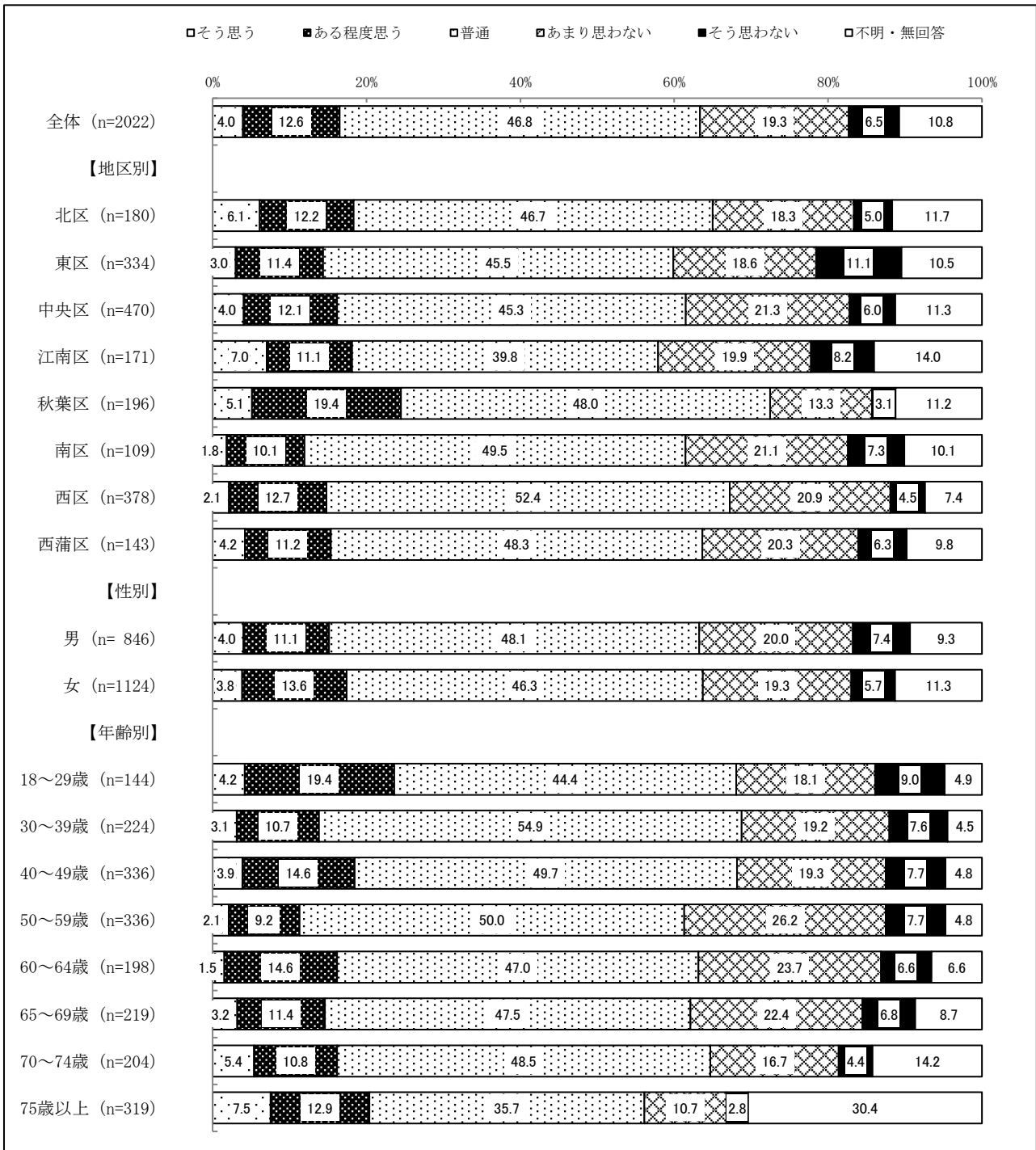


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回っており、差が大きい。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、東区（16.5%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（22.2%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、中央区（43.8%）で最も高い。性別では、女性（37.9%）より男性（41.7%）でやや高く、年齢別では、60～64歳（46.0%）で最も高い。

⑪生涯にわたり心身ともに健康に暮らしていけるよう、健康寿命の延伸に取り組んでいます。

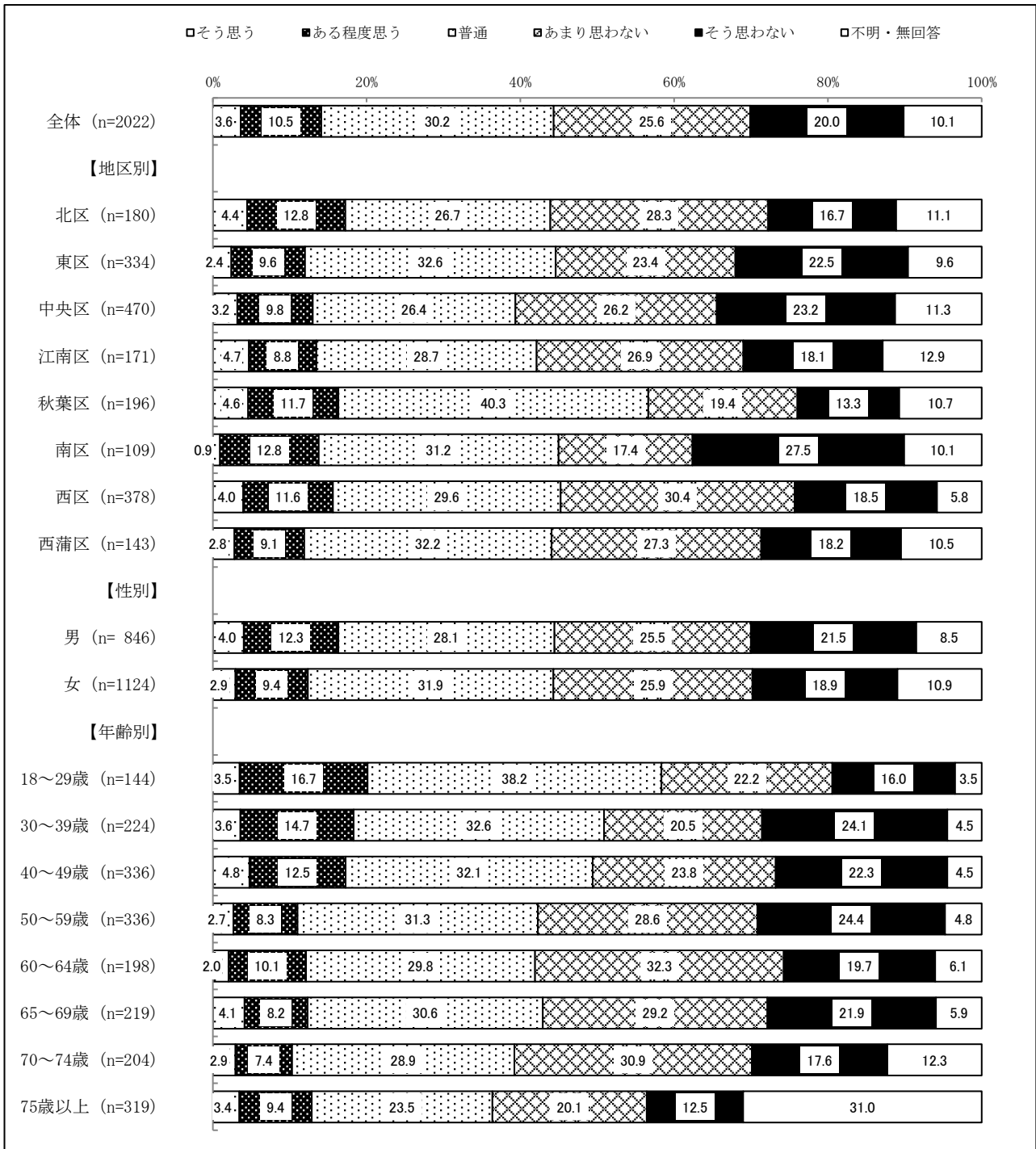


秋葉区、75歳以上を除く属性で、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（24.5%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（23.6%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では東区（29.6%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、50～59歳（33.9%）で最も高い。

⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。

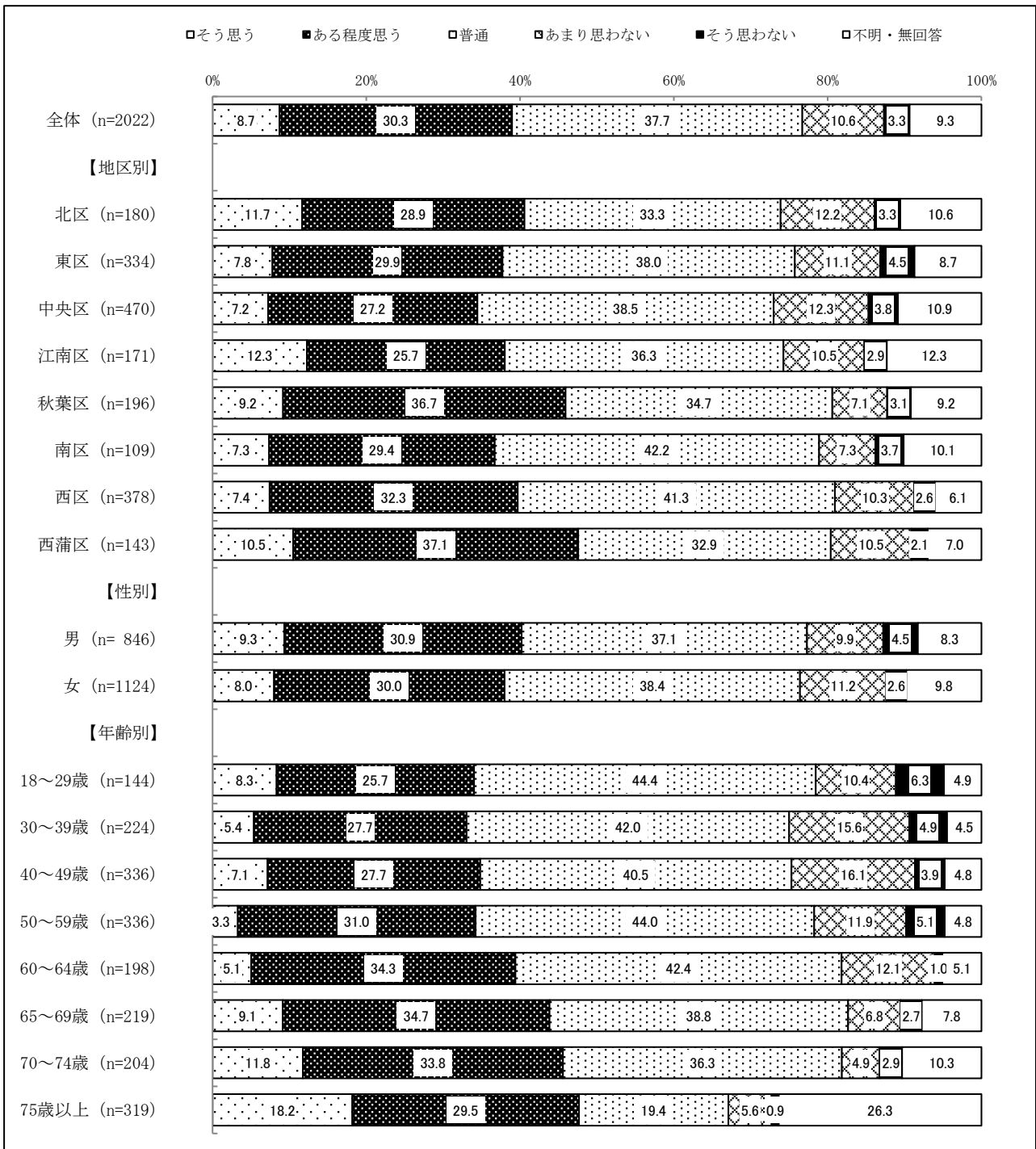


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回っており、差が大きい。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、北区（17.2%）で最も高い。性別では、女性（12.4%）より男性（16.3%）でやや高く、年齢別では、18～29歳（20.1%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、中央区（49.4%）で最も高い。性別での大きな差はない。年齢別では、50～59歳（53.0%）で最も高い。

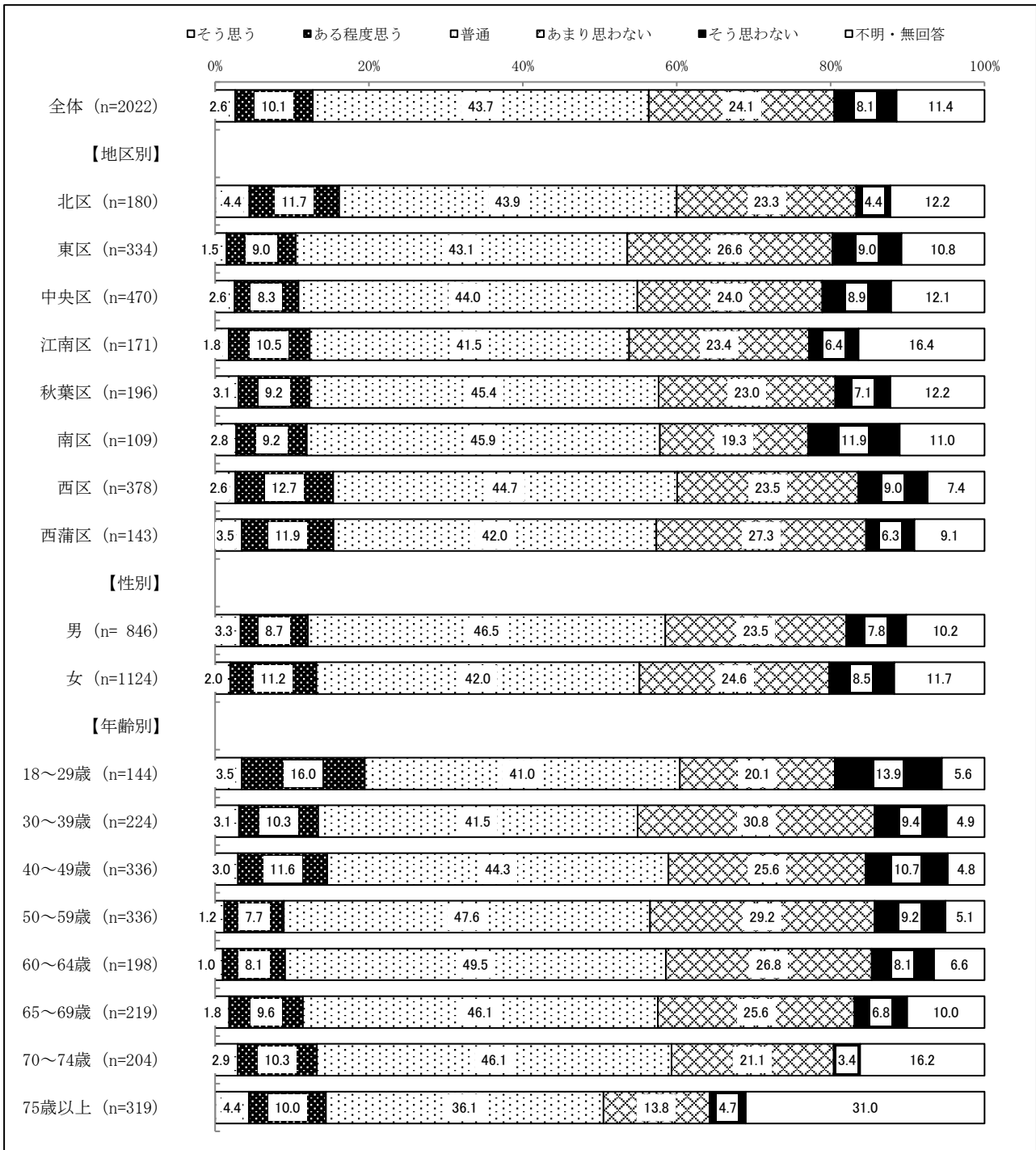
⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（47.6%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、75歳以上（47.6%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、中央区（16.2%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、30～39歳（20.5%）で最も高い。

⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。

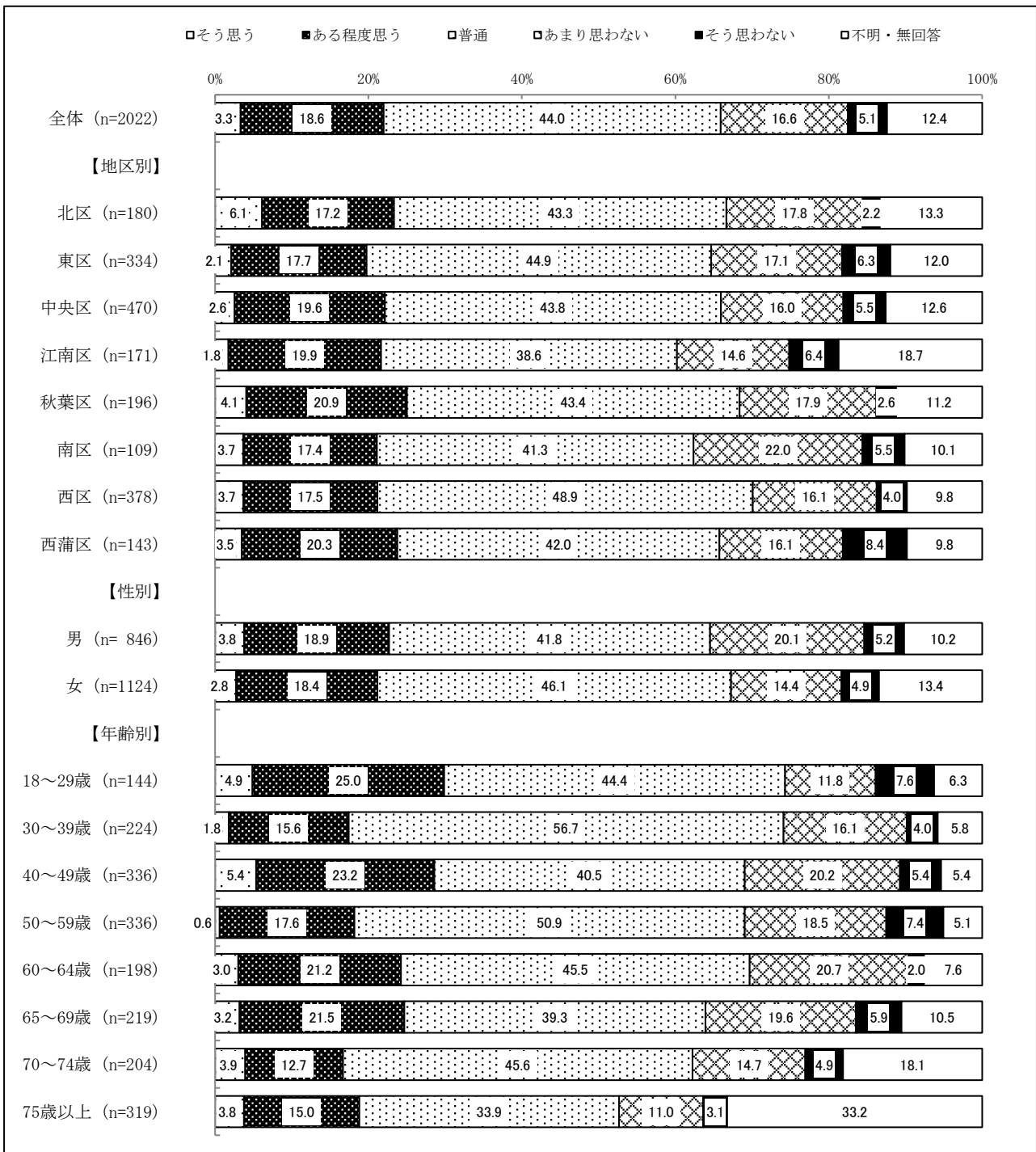


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、北区（16.1%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（19.4%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、東区（35.6%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、30～39歳（40.2%）で最も高い。

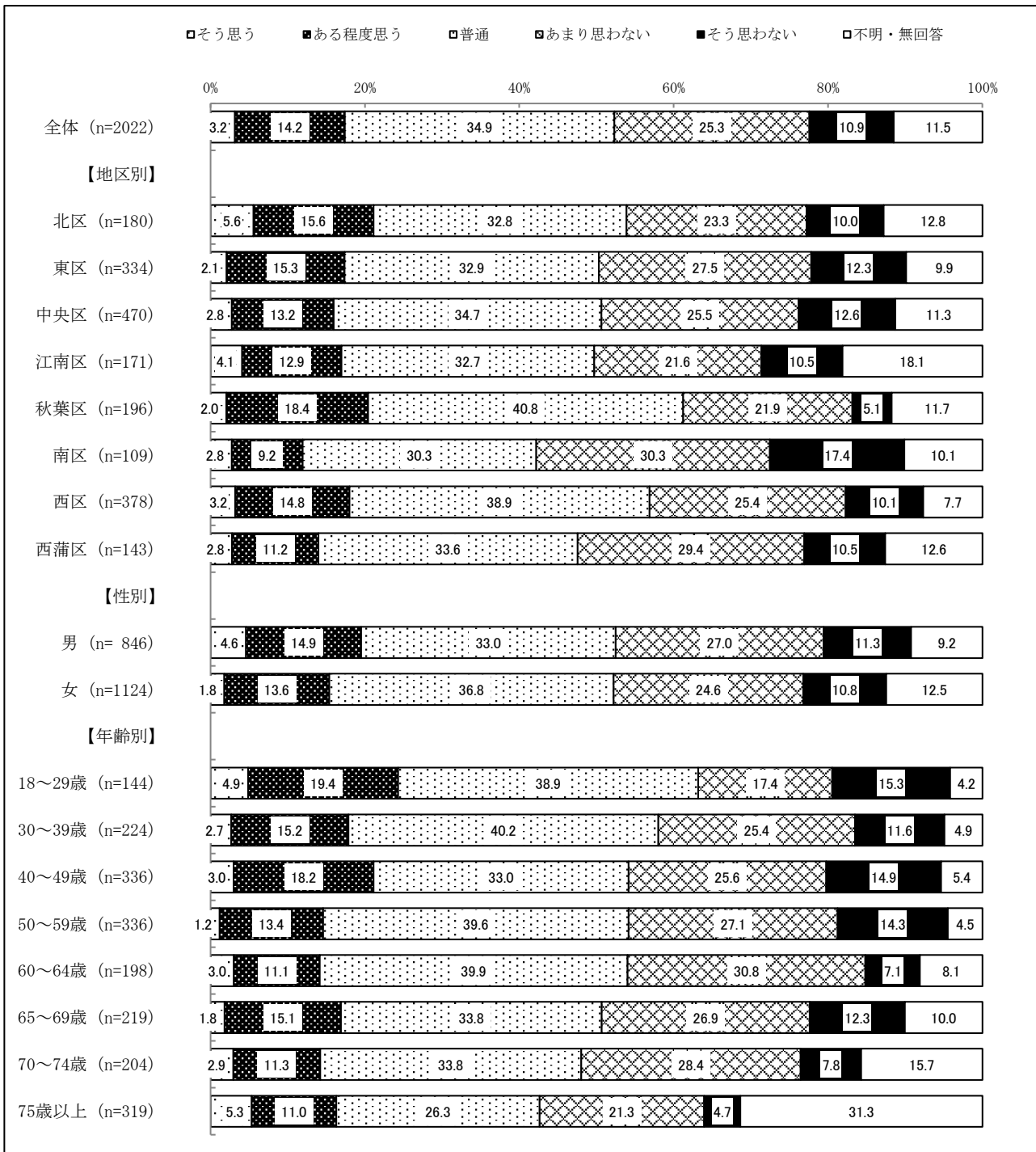
⑮農業や食品産業が一体となって発展するよう、農業の6次産業化の推進に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（25.0%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（29.9%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（27.5%）で最も高い。性別では、女性（19.3%）より男性（25.3%）で高く、年齢別では、50～59歳（25.9%）で最も高い。

⑩港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。

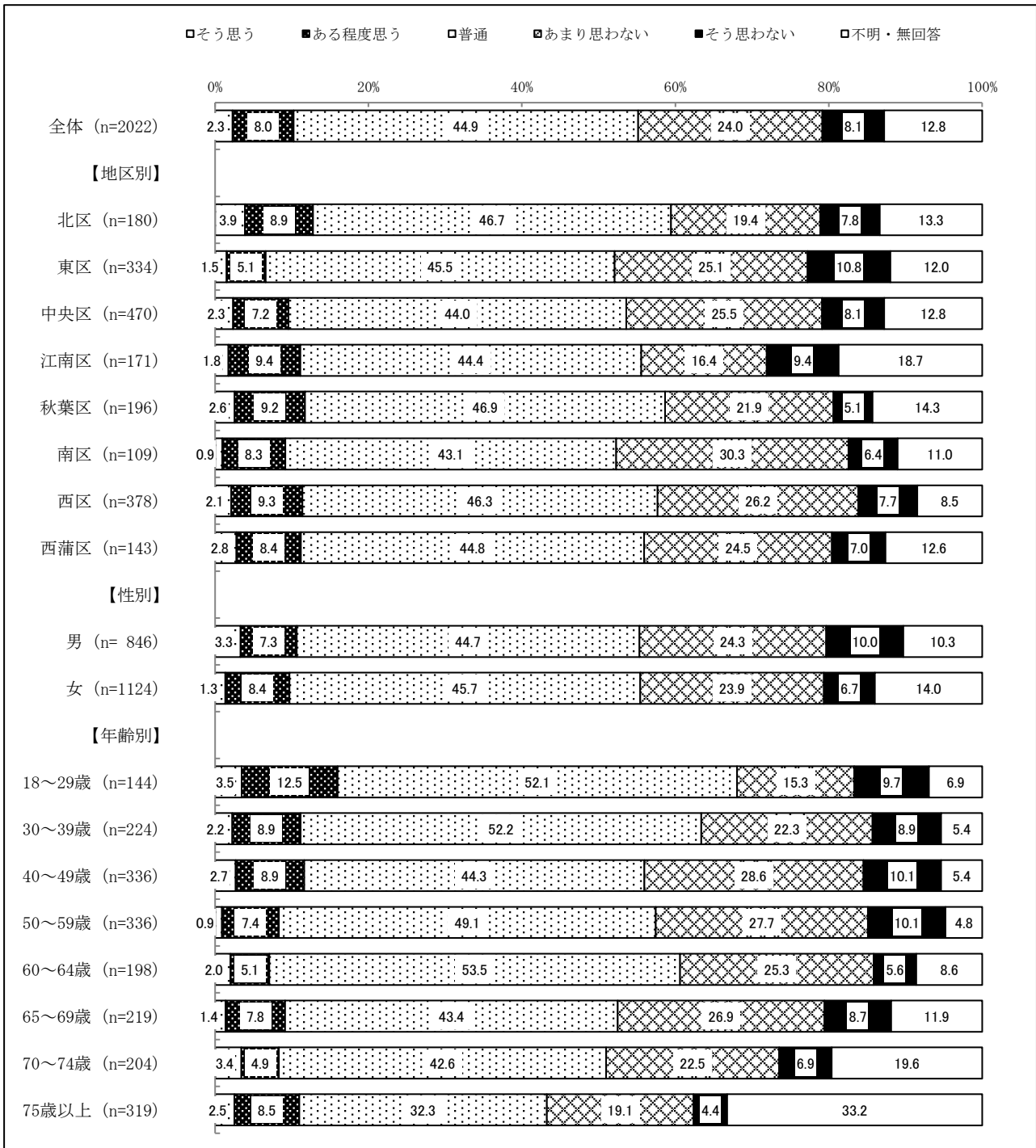


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回っており、差が大きい。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、北区（21.1%）で最も高い。性別では、女性（15.4%）より男性（19.5%）でやや高く、年齢別では、18～29歳（24.3%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（47.7%）で最も高い。性別では、女性（35.3%）より男性（38.3%）でやや高く、年齢別では、50～59歳（41.4%）で最も高い。

⑰既存産業の育成や創業・起業への支援などにより、中小企業の振興や雇用創出に取り組んでいます。

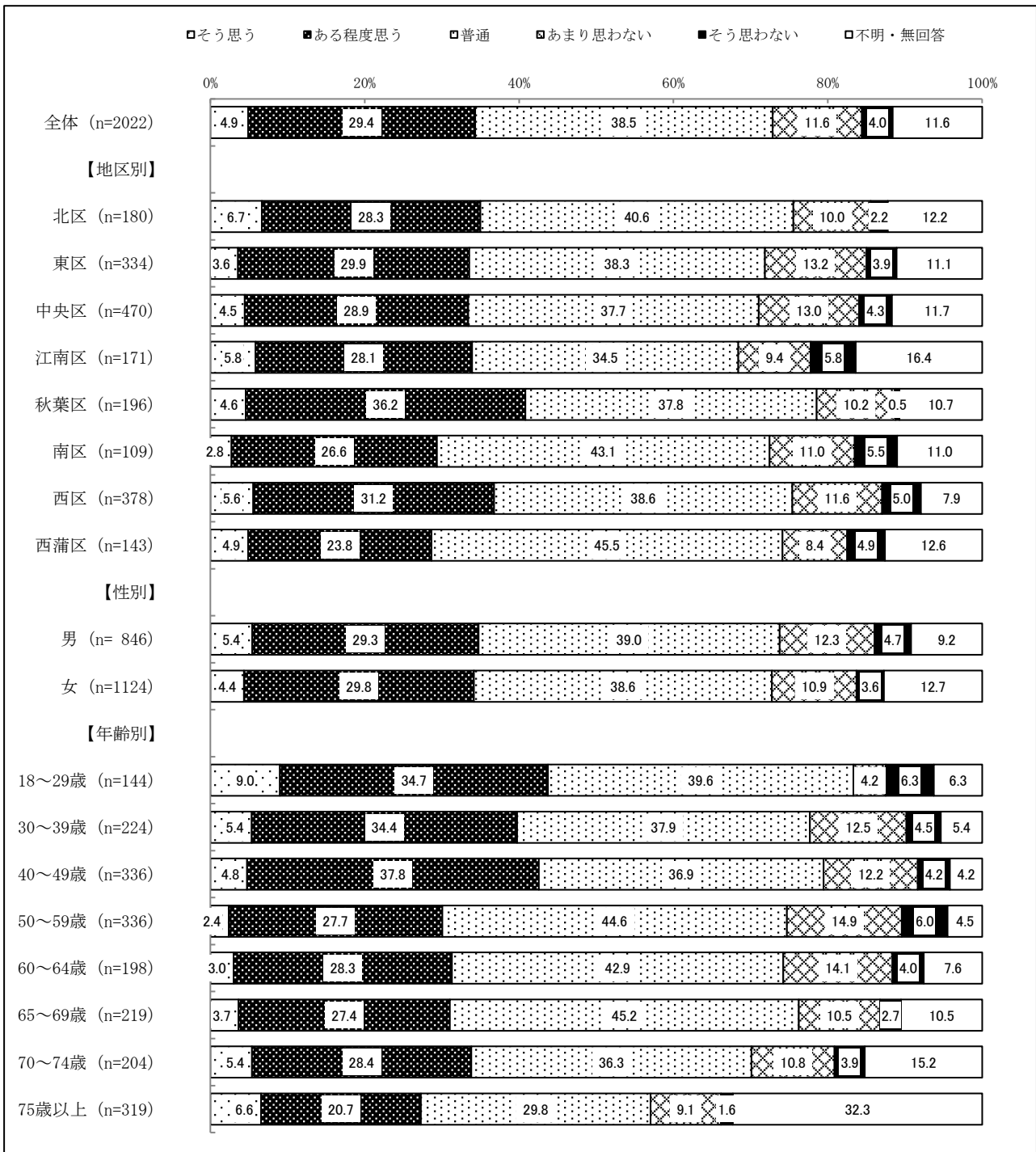


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回っており、差が大きい。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、北区（12.8%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（16.0%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（36.7%）で最も高い。性別では、女性（30.6%）より男性（34.4%）でやや高く、年齢別では、40～49歳（38.7%）で最も高い。

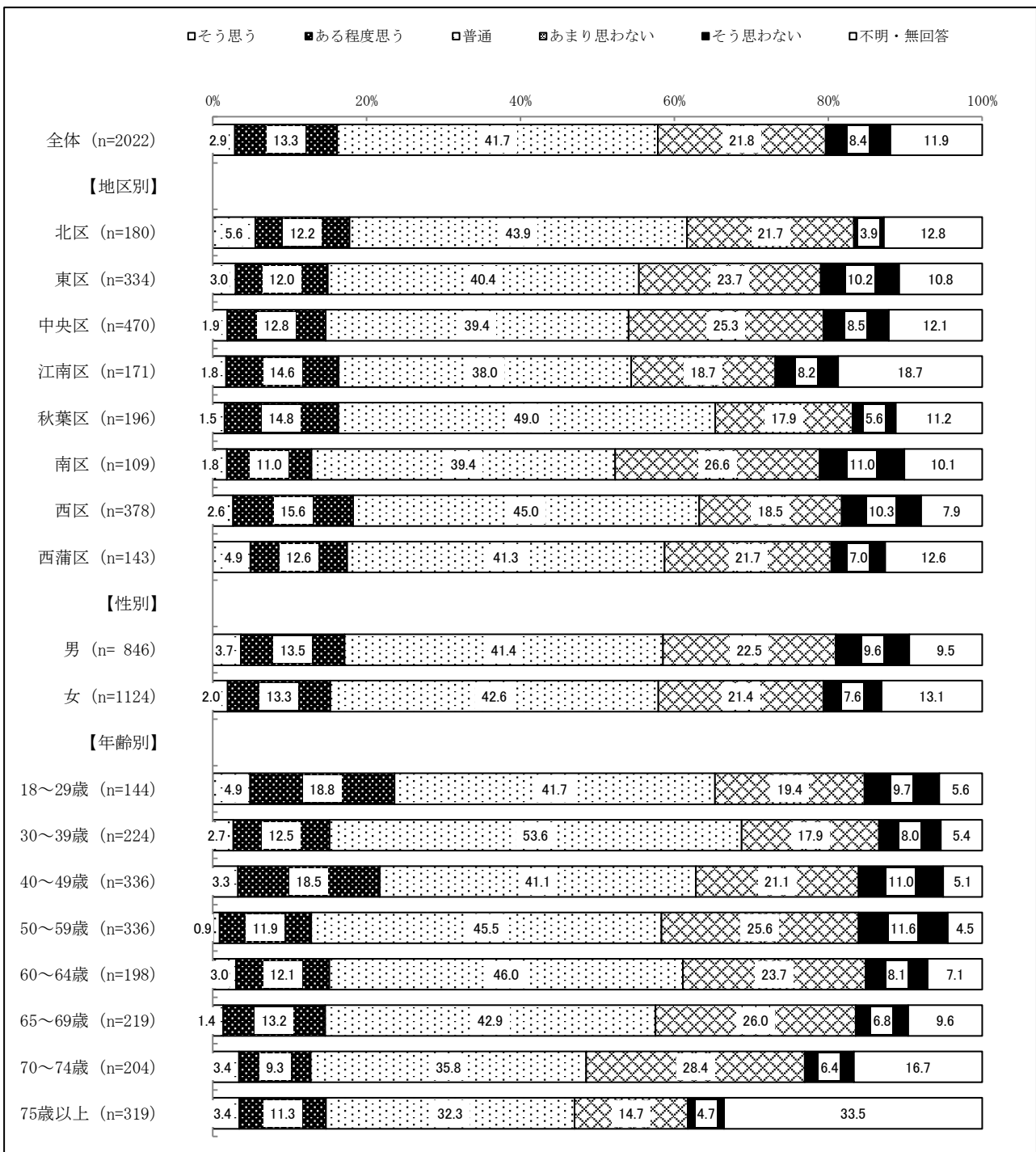
⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（40.8%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（43.8%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、中央区（17.2%）で最も高い。性別での大きな差はない。年齢別では、50～59歳（20.8%）で最も高い。

⑱広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。

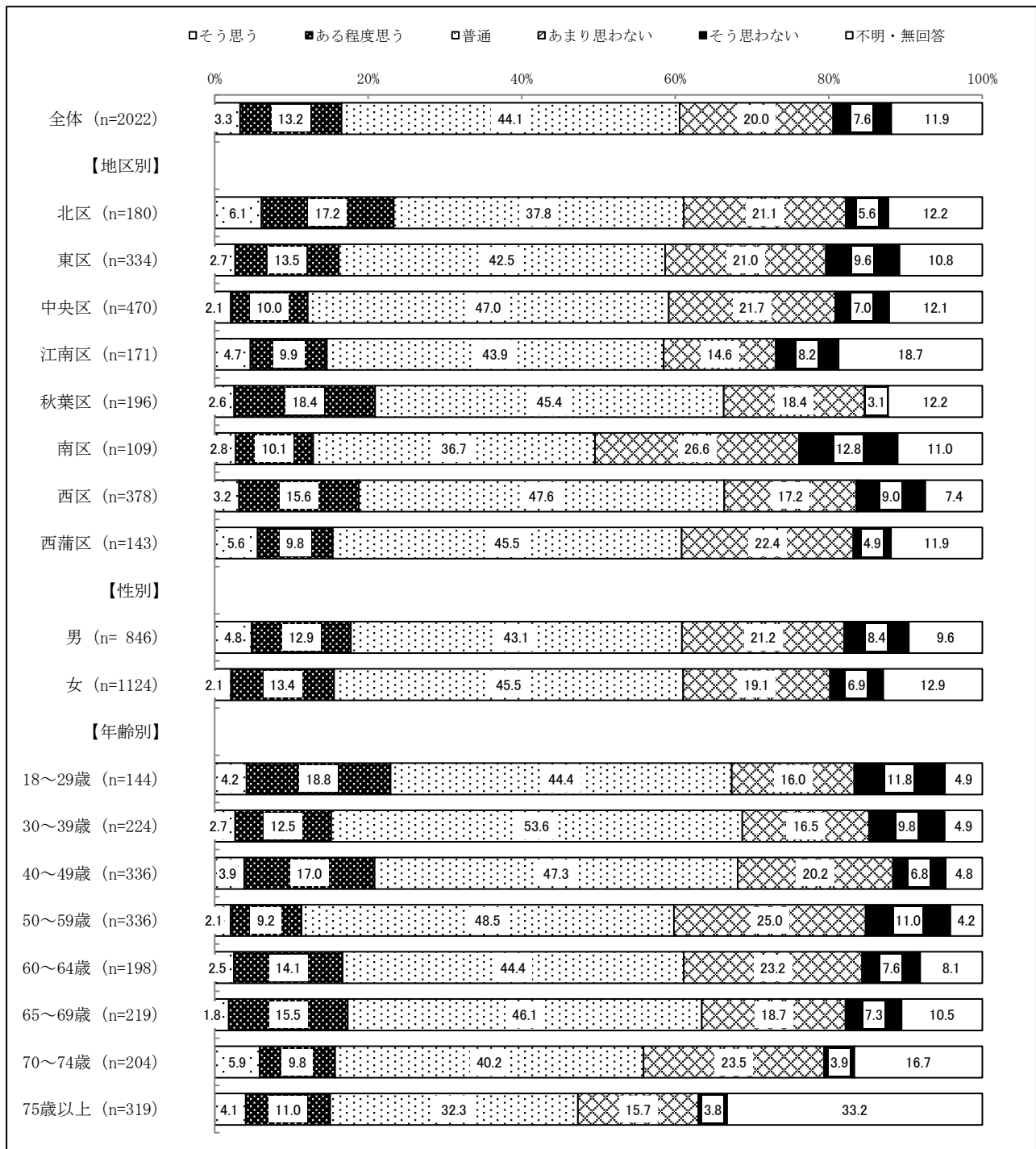


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西区（18.3%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18~29歳（23.6%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（37.6%）で最も高い。性別では、女性（29.0%）より男性（32.0%）でやや高く、年齢別では、50~59歳（37.2%）で最も高い。

⑳国際交流に取り組んでいます。



地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

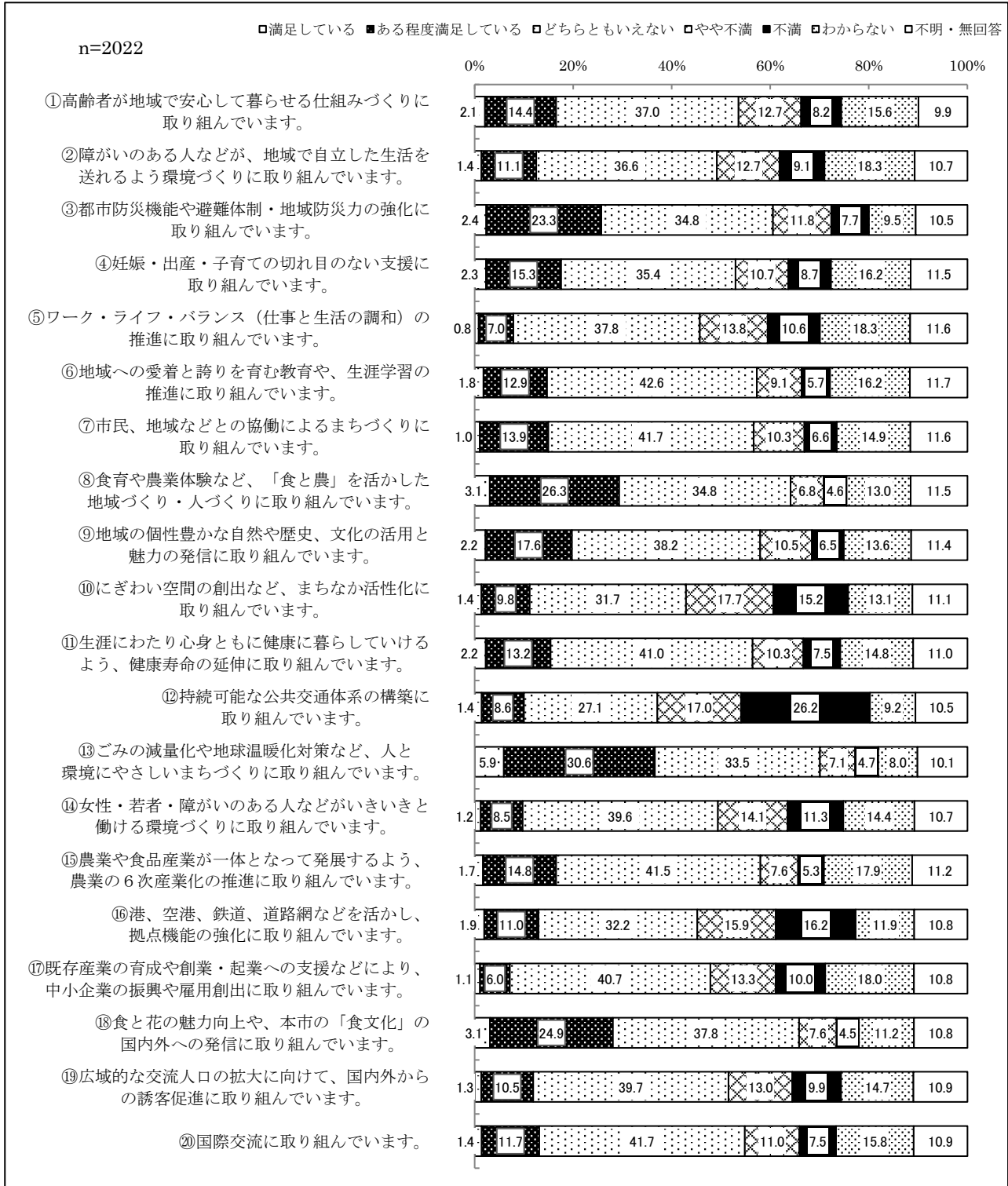
「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、北区（23.3%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（22.9%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（39.4%）で最も高い。性別では、女性（26.1%）より男性（29.6%）でやや高く、年齢別では、50～59歳（36.0%）で最も高い。

(2) 取り組みへの満足度

問22 本市の総合計画である「にいがた未来ビジョン」に基づき進めている主な取り組みについて、あなたの感想をお聞かせください。
 また、これらの取り組みについての満足度をお聞かせください。
 それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで、○をつけてください。

【取り組みへの満足度】



【全体結果】

市の取り組み状況への満足度について、「満足している」の割合は、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」が5.9%で最も高い。以下、「満足している」の割合は、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」「⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。」（いずれも3.1%）、「③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。」（2.4%）の順で高くなっている。

一方、「不満」の割合は、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」（26.2%）が最も高い。以下、「⑯港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」（16.2%）、「⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。」（15.2%）の順で高くなっている。

満足度について、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合、及び、「やや不満」と「不満」を合わせた割合の結果は次のとおりである。

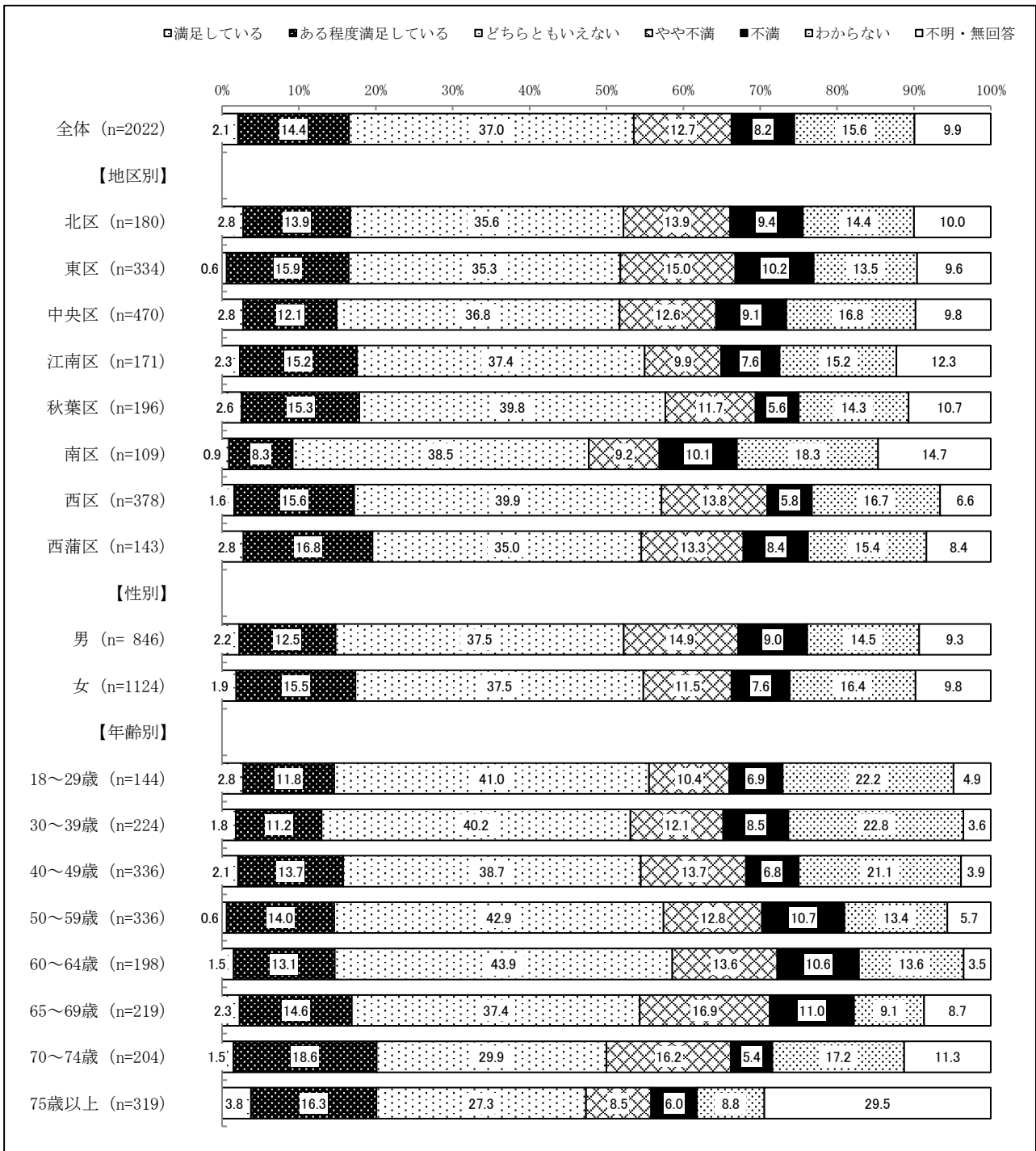
「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」（36.5%）の割合が最も高くなっている。以下、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」（29.3%）、「⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。」（28.0%）、「③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。」（25.7%）が2割台で続いている。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合についてみると、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」（43.1%）が最も高い。以下、「⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。」（32.9%）、「⑯港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」（32.1%）、「⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。」（25.5%）、「⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。」（24.4%）、「⑰既存産業の育成や創業・起業への支援などにより、中小企業の振興や雇用創出に取り組んでいます。」（23.3%）、「⑲広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。」（22.8%）、「②障がいのある人などが、地域で自立した生活を送れるよう環境づくりに取り組んでいます。」（21.9%）、「①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。」（20.9%）が2割台で続いている。

【属性別結果】

次ページ以降に取り組みごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。

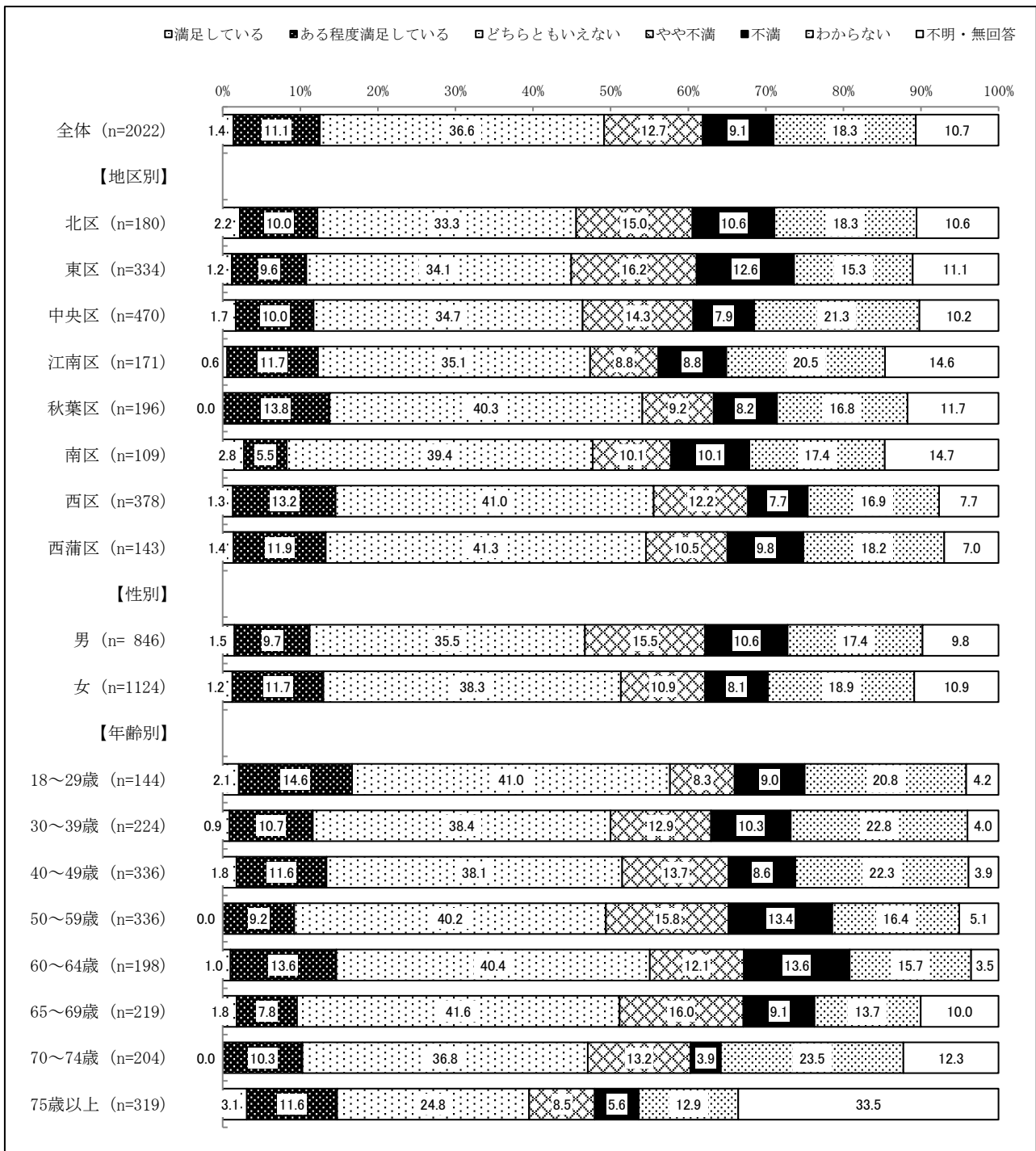


秋葉区と江南区、75歳以上を除く属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（19.6%）で最も高い。性別での大きな差はない。年齢別では70～74歳以上と75歳以上（いずれも20.1%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、東区（25.1%）で最も高い。性別では女性（19.0%）よりも、男性（23.9%）でやや高い。年齢別では、65～69歳（27.9%）で割合が高い。

②障がいのある人などが、地域で自立した生活を送れるよう環境づくりに取り組んでいます。

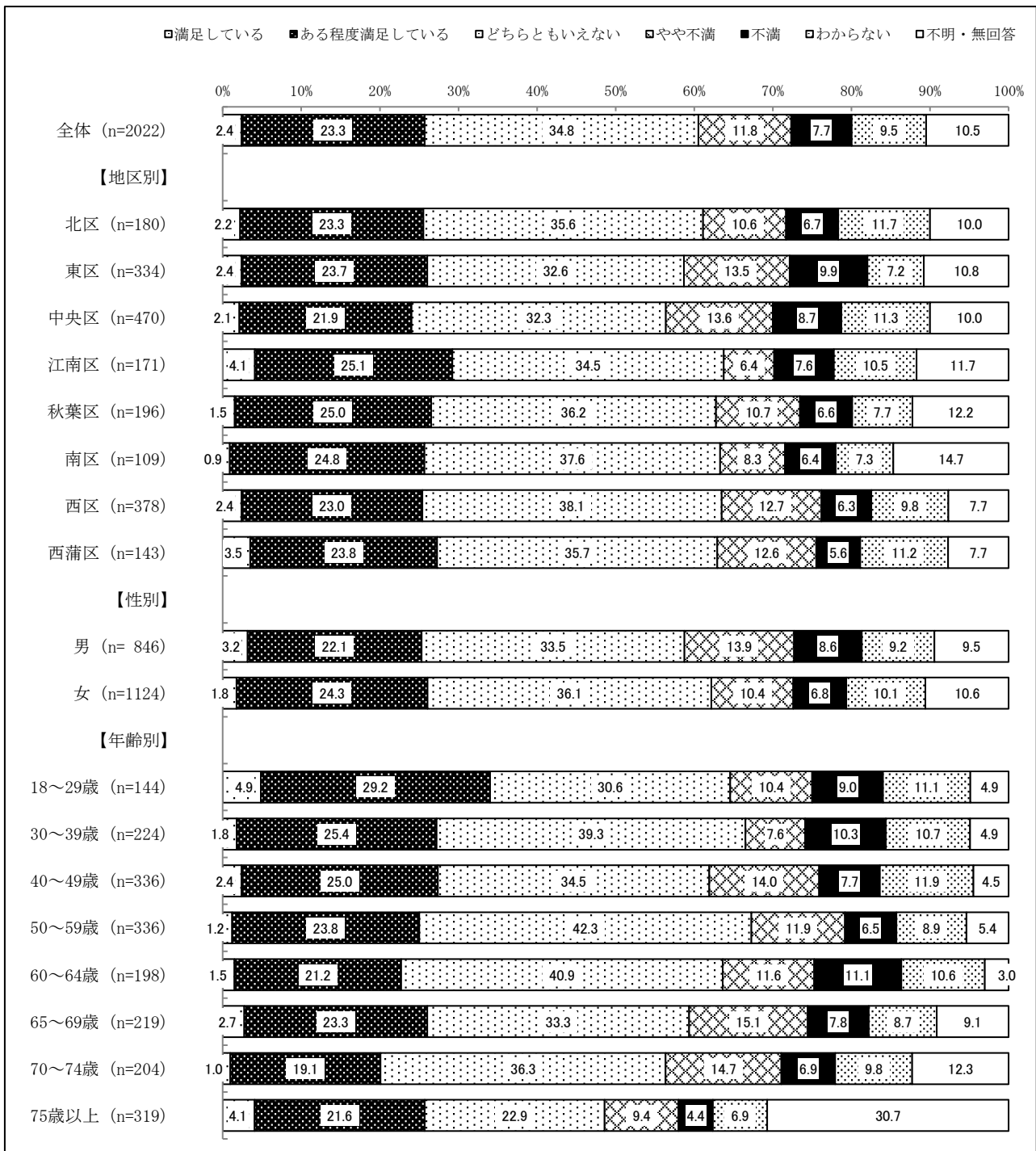


75歳以上を除く属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（14.6%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（16.7%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、東区（28.7%）で最も高い。性別では女性（19.0%）よりも、男性（26.1%）で高い。年齢別では、50～59歳（29.2%）で割合が高い。

③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。

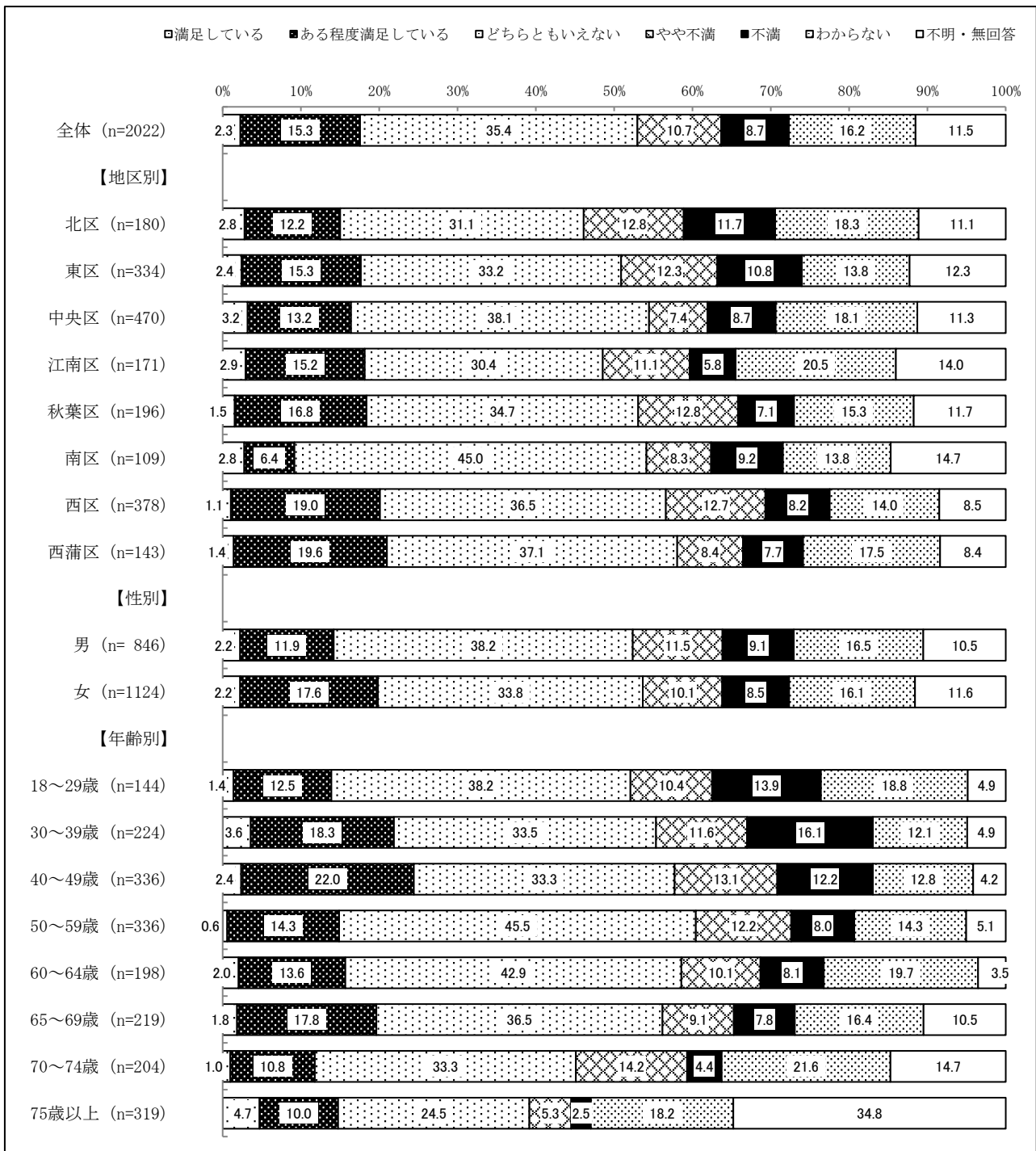


70～74歳を除く属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、江南区（29.2%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（34.0%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、東区（23.4%）で最も高い。性別では女性（17.2%）よりも、男性（22.6%）でやや高い。年齢別では、65～69歳（22.8%）で割合が高い。

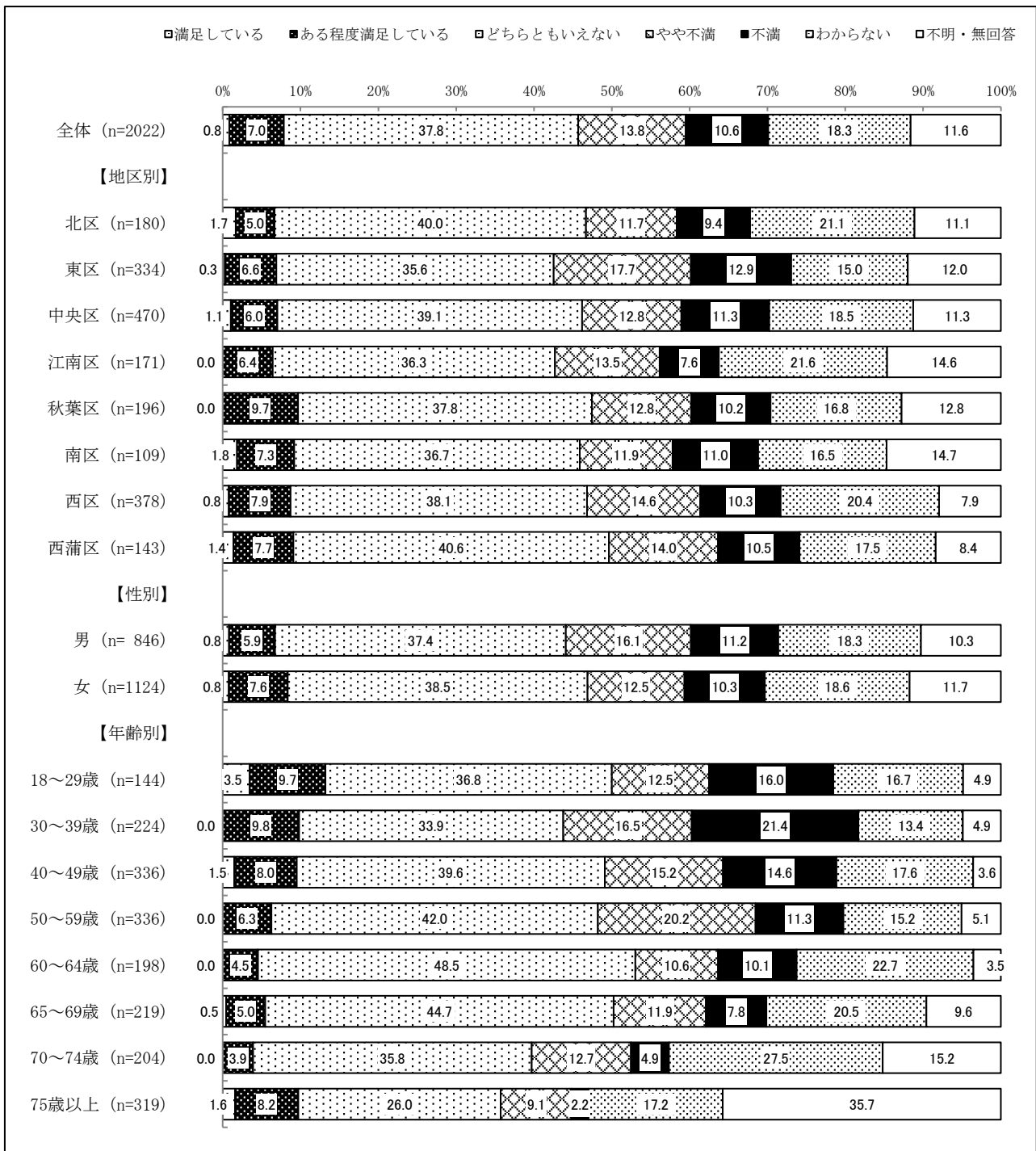
④妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（21.0%）で最も高い。性別では男性（14.2%）よりも、女性（19.8%）でやや高い。年齢別では40～49歳（24.4%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、北区（24.4%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、30～39歳（27.7%）で割合が高い。

⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。

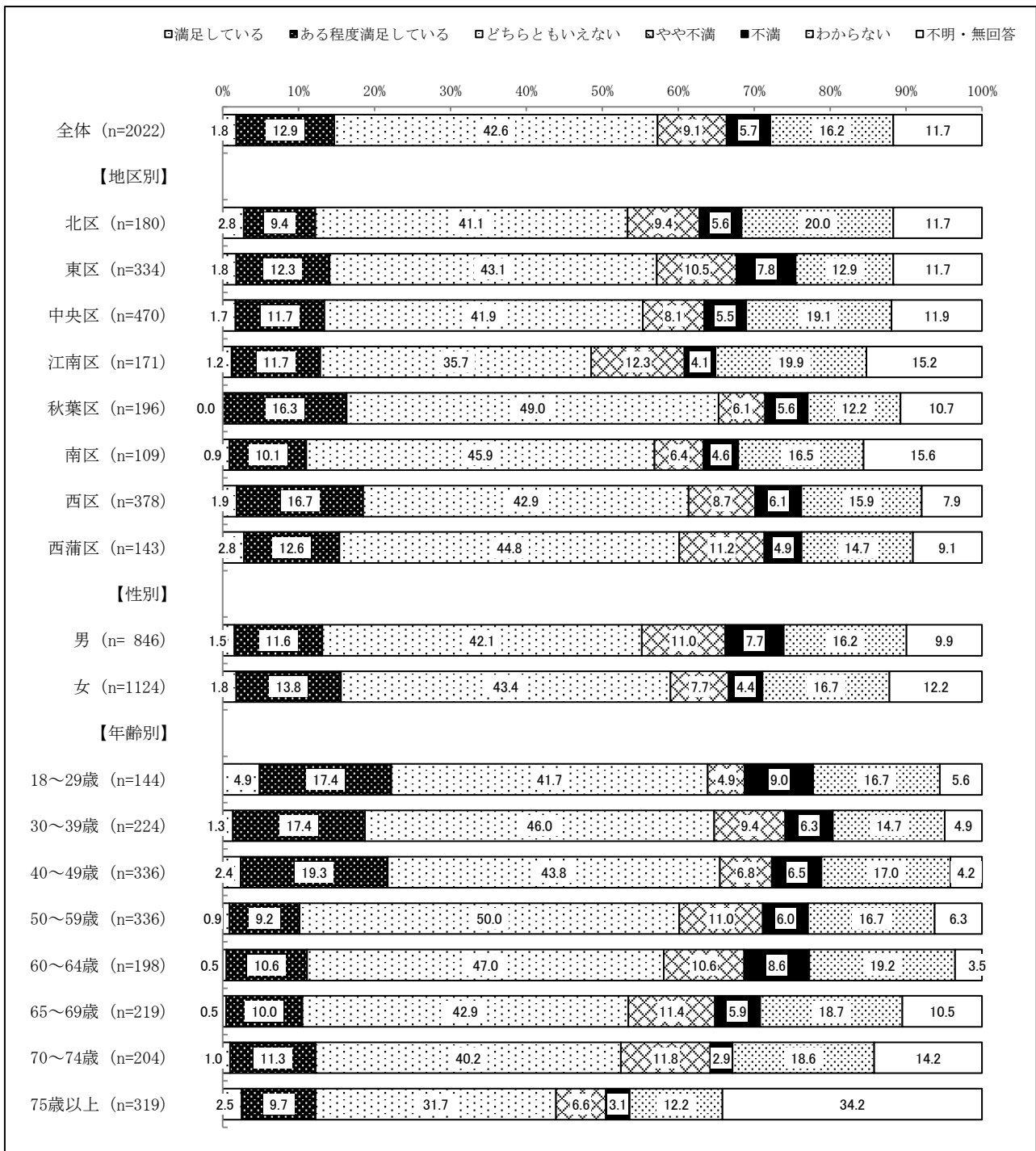


すべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（9.7%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（13.2%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、東区（30.5%）で最も高い。性別では女性（22.8%）よりも、男性（27.3%）でやや高い。年齢別では、30～39歳（37.9%）で割合が高い。

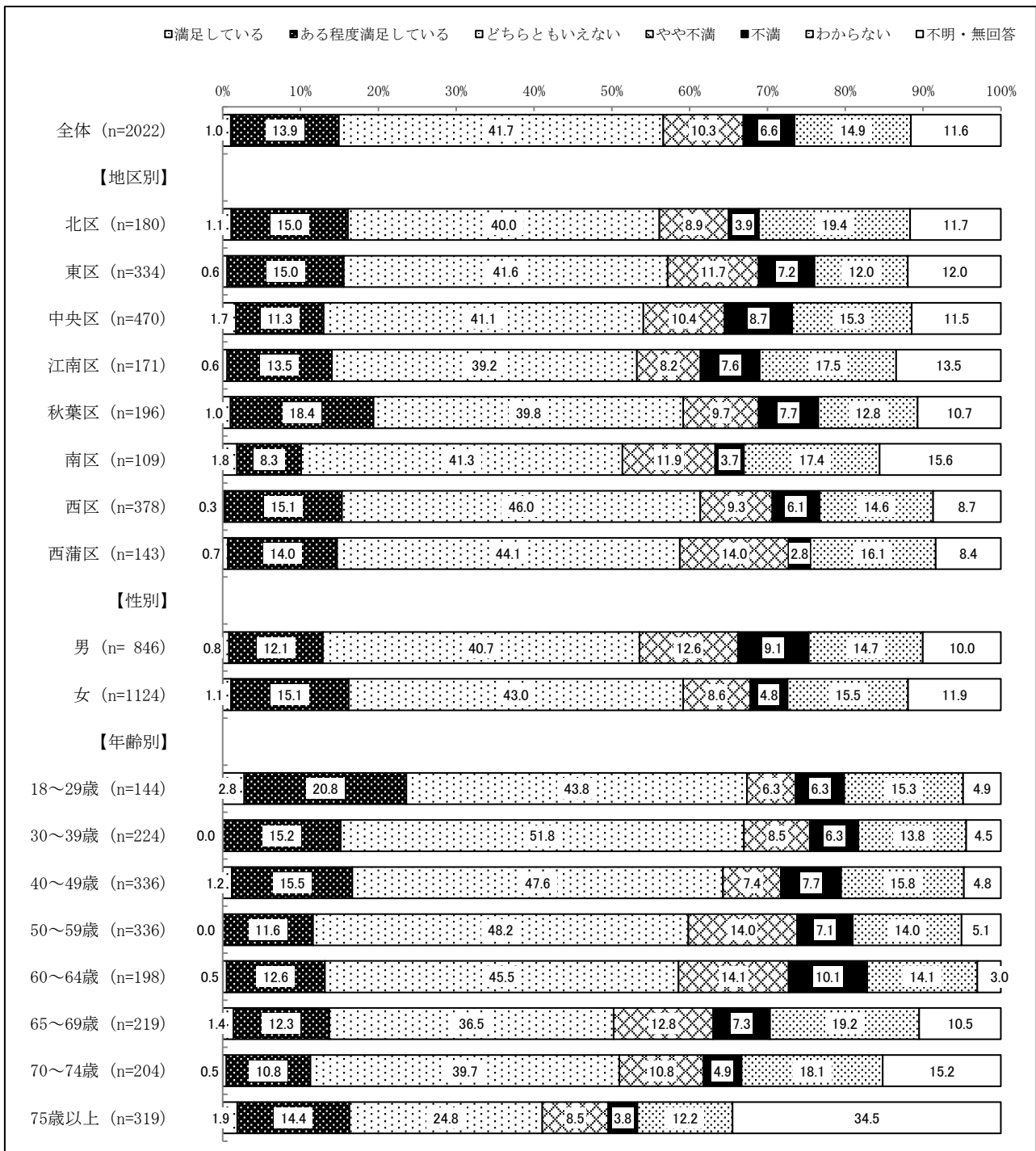
⑥地域への愛着と誇りを育む教育や、生涯学習の推進に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（18.5%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（22.2%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、東区（18.3%）で最も高い。性別では女性（12.1%）よりも、男性（18.7%）でやや高い。年齢別では、60～64歳（19.2%）で割合が高い。

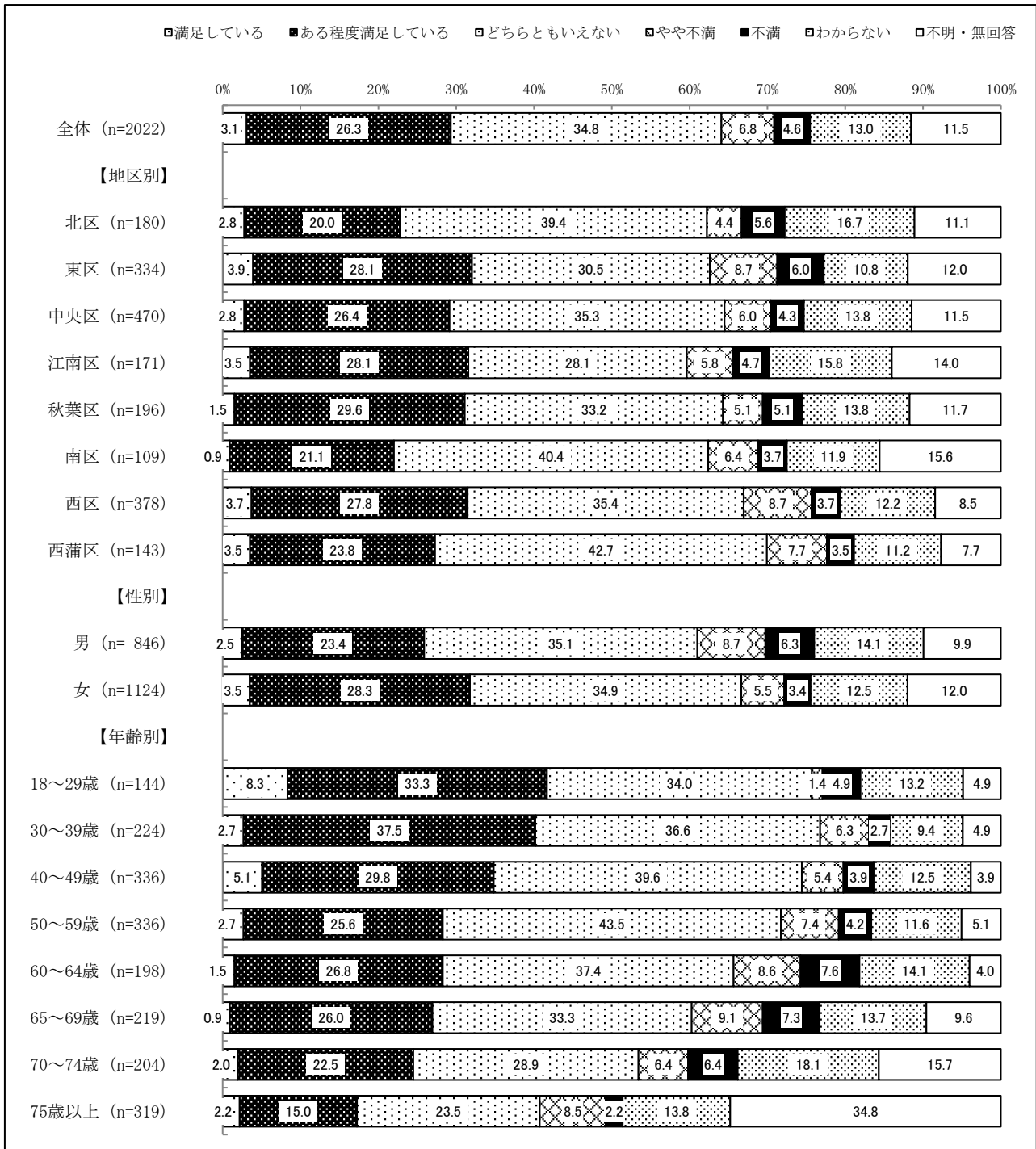
⑦市民、地域などとの協働によるまちづくりに取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（19.4%）で最も高い。性別では男性（12.9%）よりも、女性（16.2%）でやや高い。年齢別では18～29歳（23.6%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、中央区（19.1%）で最も高い。性別では女性（13.4%）よりも、男性（21.7%）で高い。年齢別では、60～64歳（24.2%）で割合が高い。

⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。

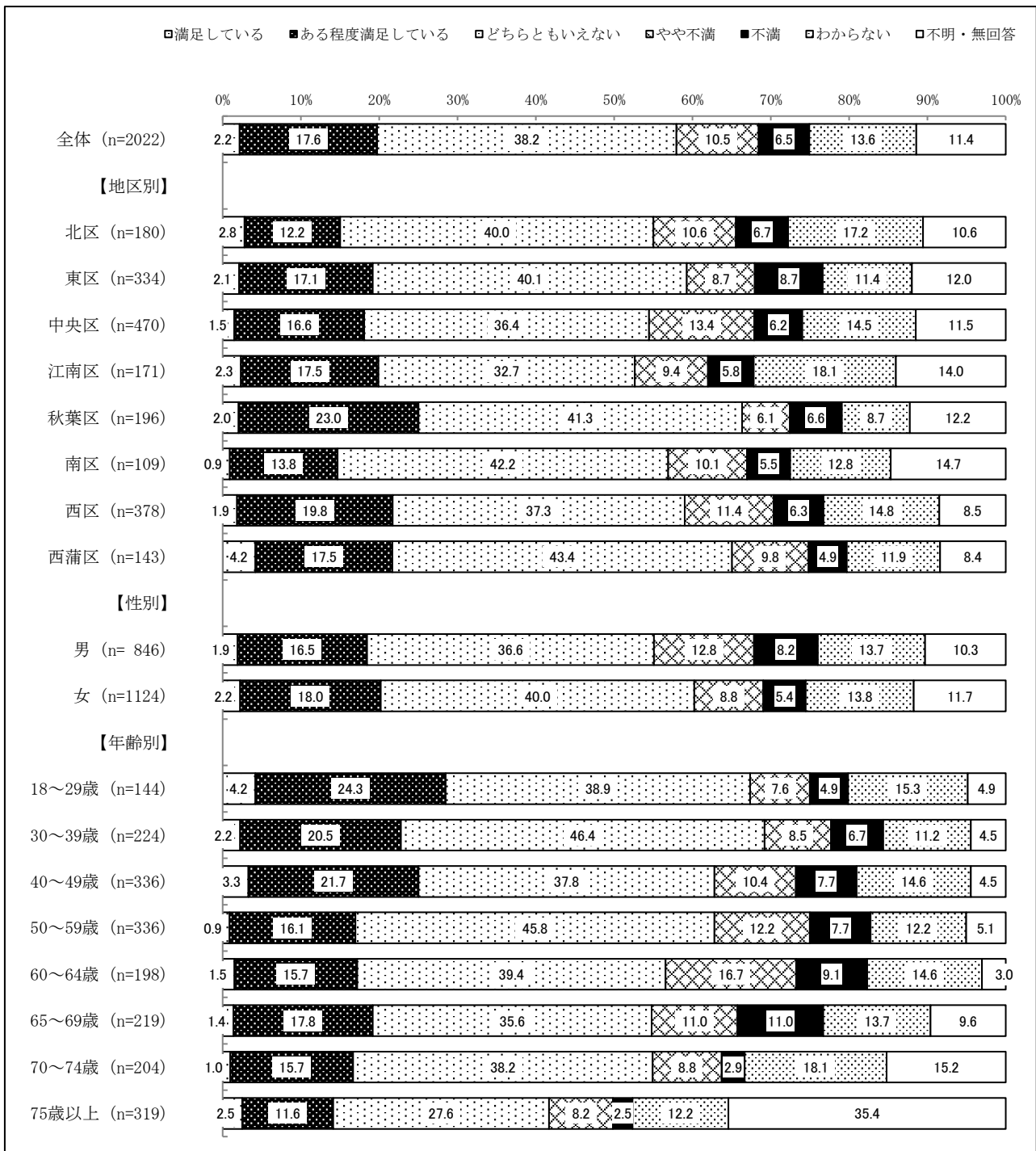


すべての属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、東区（32.0%）で最も高い。性別では男性（25.9%）よりも、女性（31.8%）で高い。年齢別では18～29歳（41.7%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、東区（14.7%）で最も高い。性別では女性（8.9%）よりも、男性（15.0%）で高い。年齢別では、65～69歳（16.4%）で割合が高い。

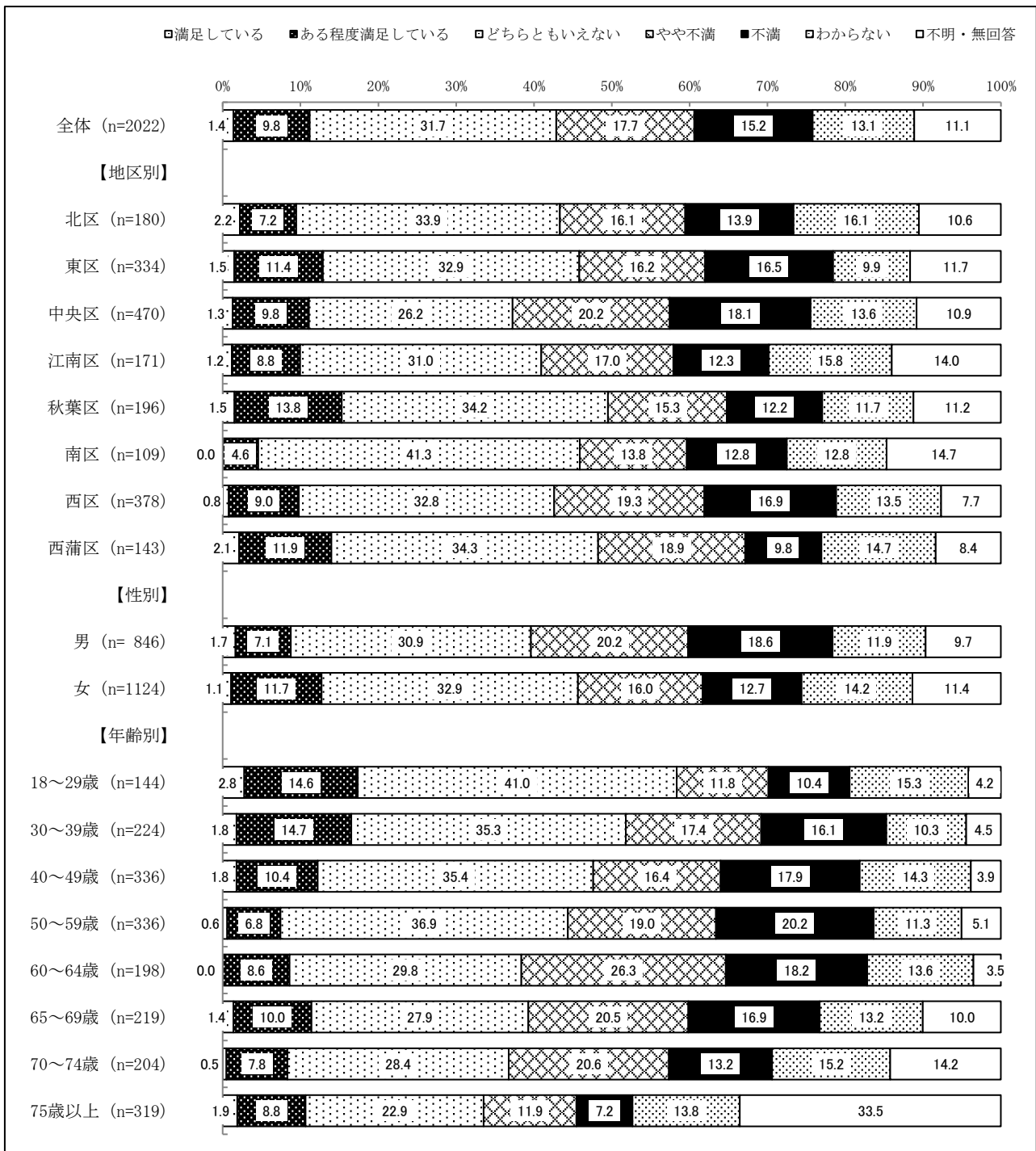
⑨地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（25.0%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（28.5%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、中央区（19.6%）で最も高い。性別では女性（14.2%）よりも、男性（20.9%）で高い。年齢別では、60～64歳（25.8%）で割合が高い。

⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。

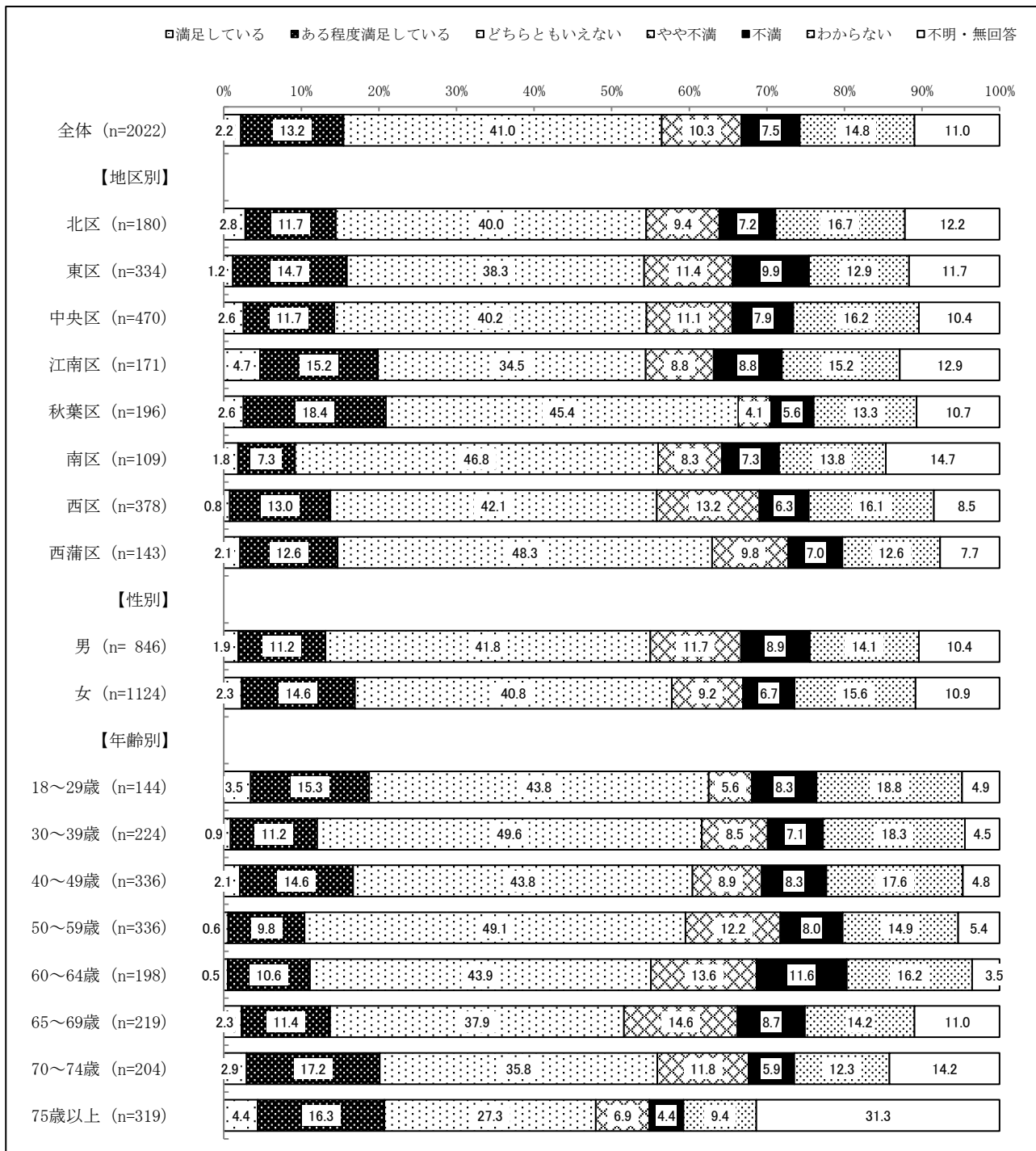


すべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（15.3%）で最も高い。性別では男性（8.7%）よりも、女性（12.7%）でやや高い。年齢別では18～29歳（17.4%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、中央区（38.3%）で最も高い。性別では女性（28.7%）よりも、男性（38.8%）で高い。年齢別では、60～64歳（44.4%）で割合が高い。

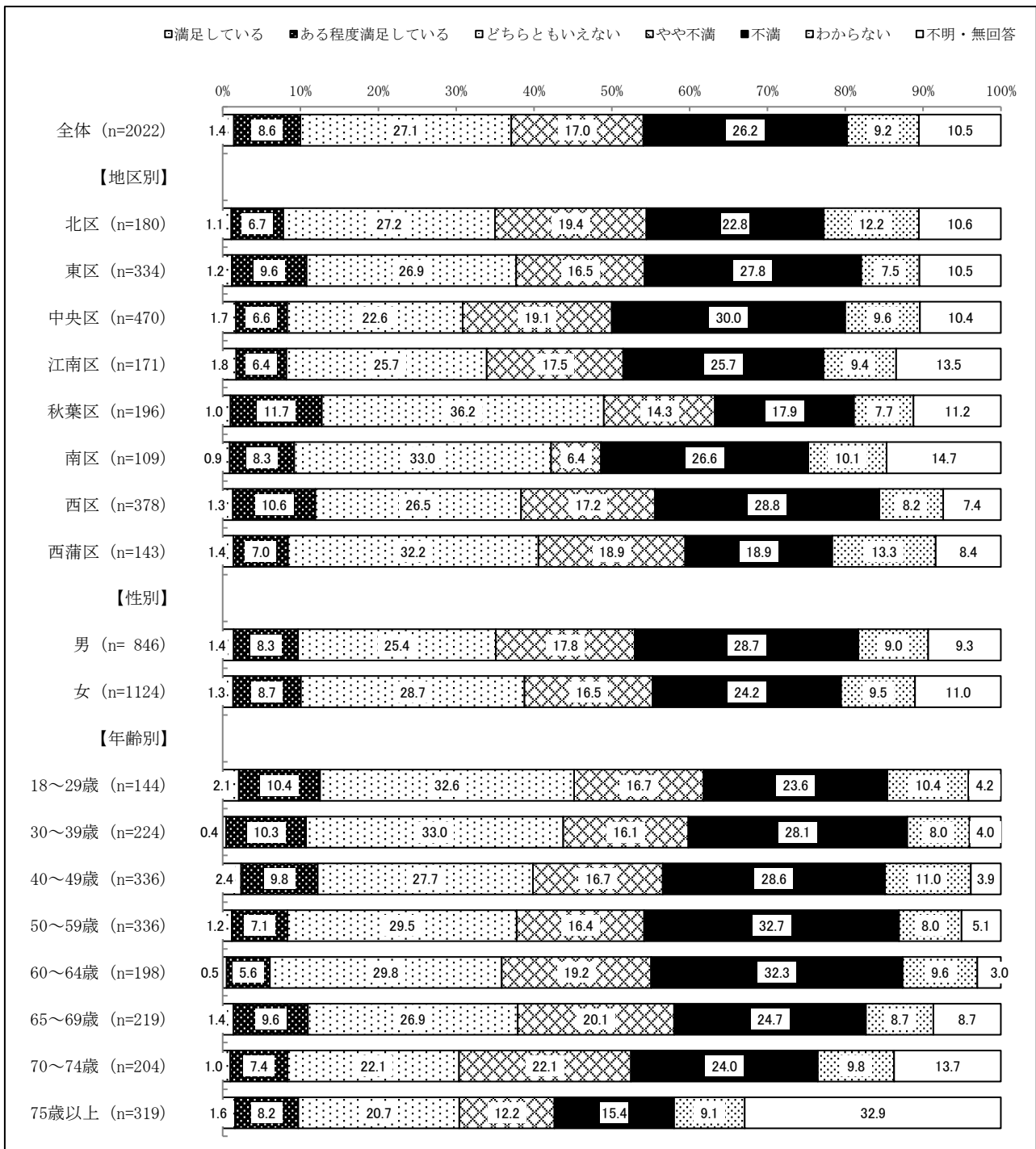
⑪生涯にわたり心身ともに健康に暮らしていけるよう、健康寿命の延伸に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（20.9%）で最も高い。性別では男性（13.1%）よりも、女性（16.9%）でやや高い。年齢別では75歳以上（20.7%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、東区（21.3%）で最も高い。性別では女性（15.8%）よりも、男性（20.6%）でやや高い。年齢別では、60～64歳（25.3%）で割合が高い。

⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。

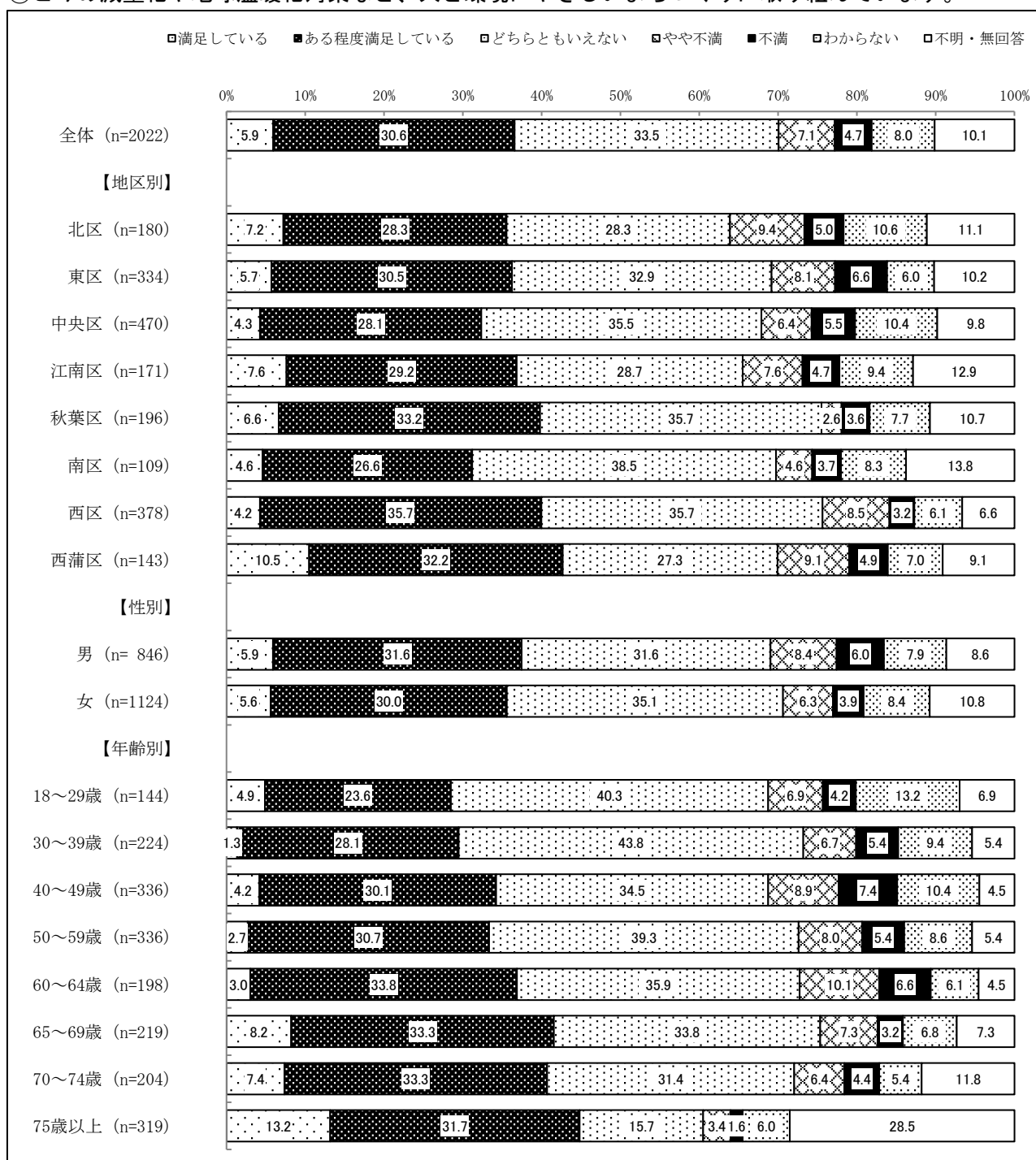


すべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回り、差が大きい。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（12.8%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（12.5%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、中央区（49.1%）で最も高い。性別では、女性（40.7%）よりも、男性（46.6%）で高い。年齢別では、60～64歳（51.5%）で割合が高い。

⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。

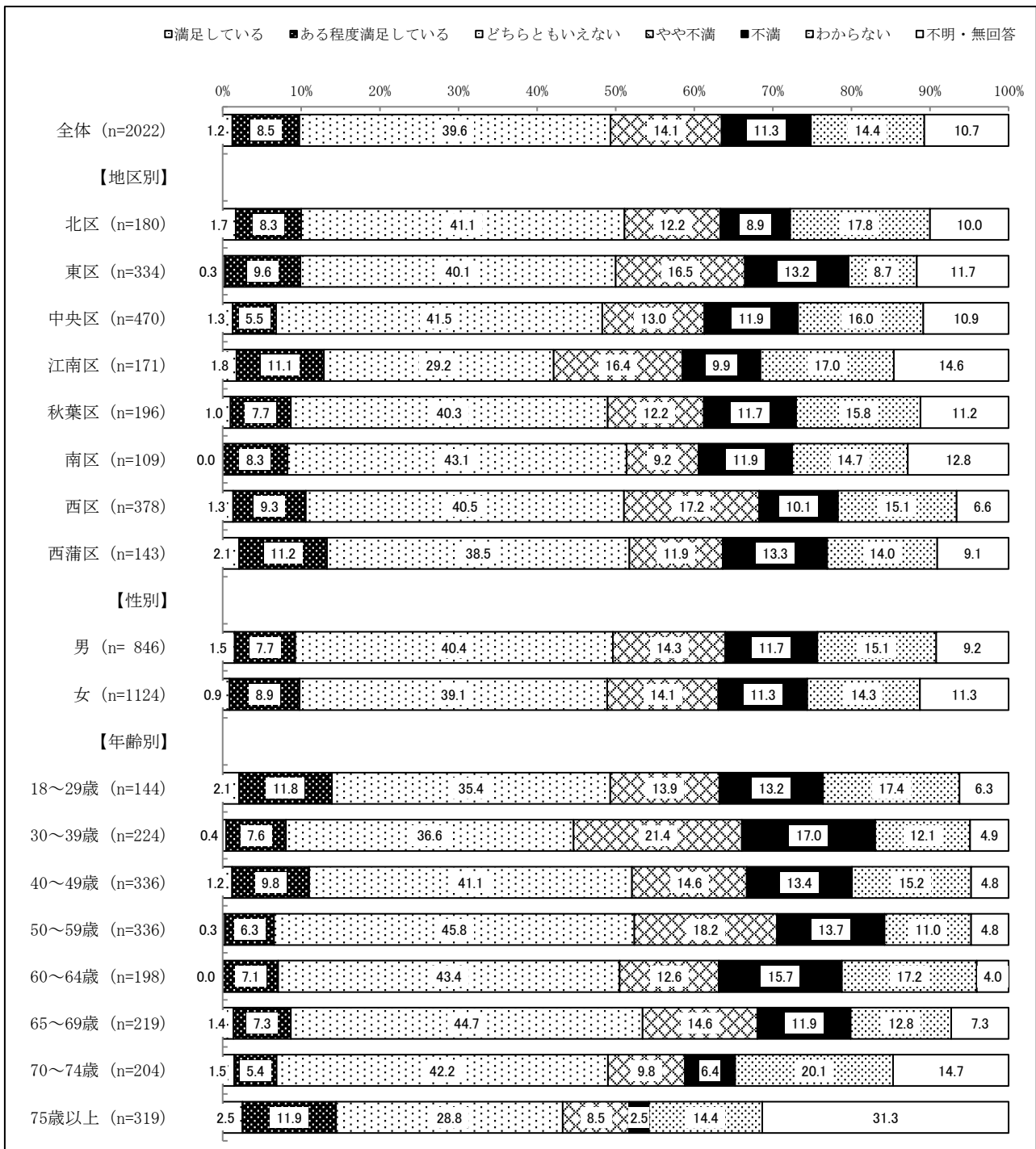


すべての属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合を上回り、差が大きい。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（42.7%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では75歳以上（44.8%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、東区（14.7%）で最も高い。性別では女性（10.2%）よりも、男性（14.4%）でやや高い。年齢別では、60～64歳（16.7%）で割合が高い。

⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。

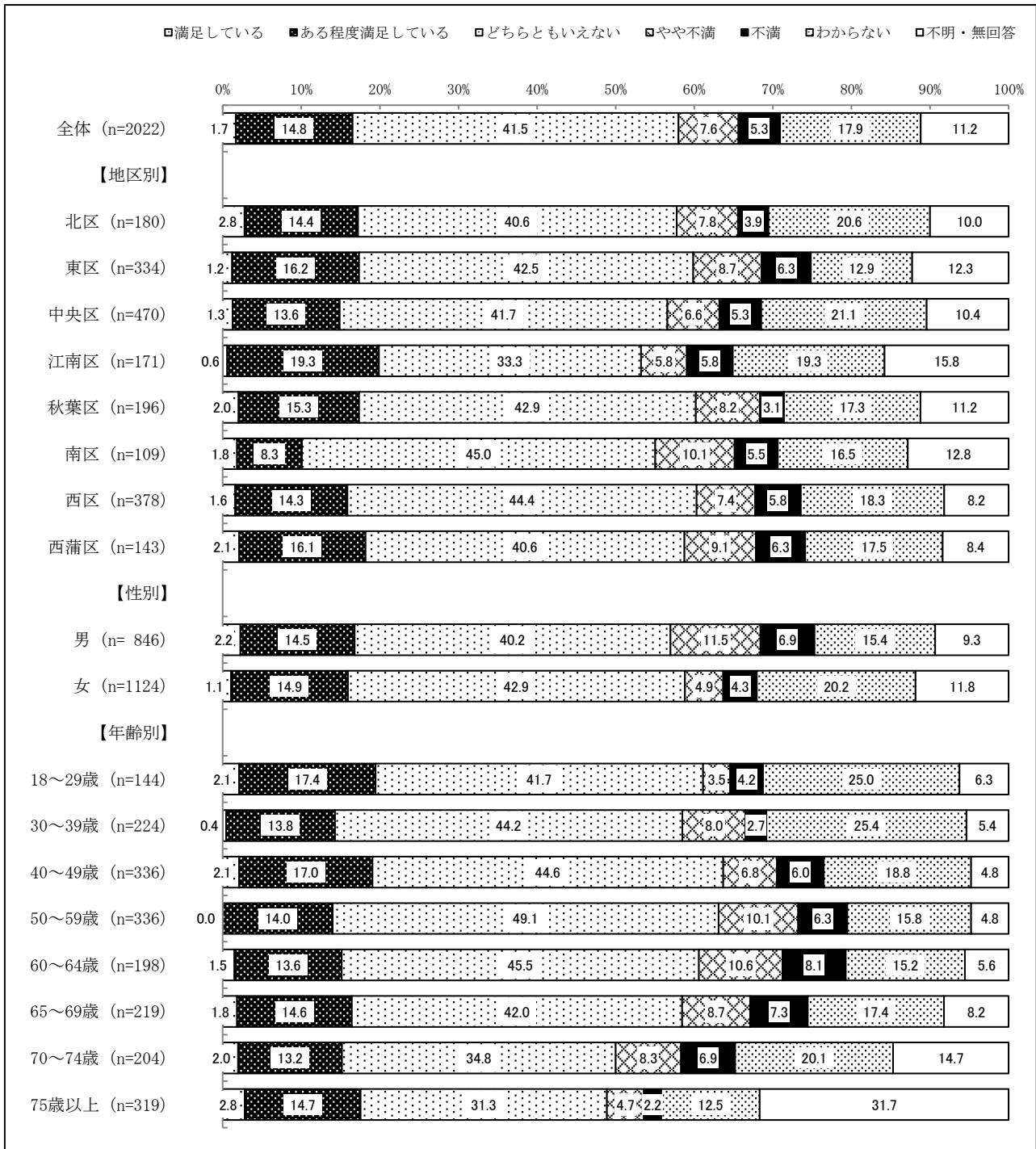


75歳以上を除く属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回り、差が大きい。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（13.3%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では75歳以上（14.4%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、東区（29.6%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、30～39歳（38.4%）で割合が高い。

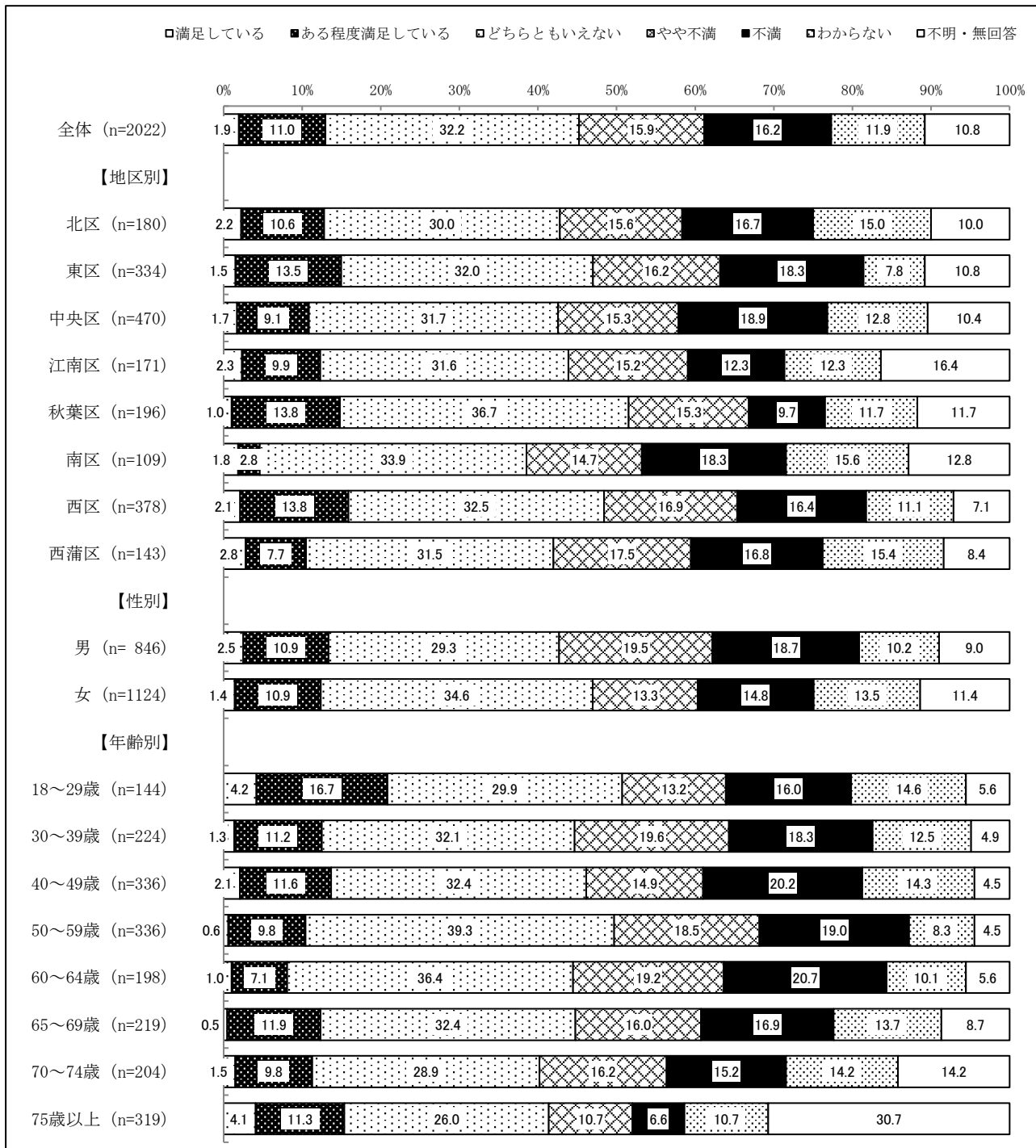
⑮農業や食品産業が一体となって発展するよう、農業の6次産業化の推進に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、江南区（19.9%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（19.4%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（15.6%）で最も高い。性別では女性（9.2%）よりも、男性（18.3%）で高い。年齢別では、60～64歳（18.7%）で割合が高い。

⑩港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。

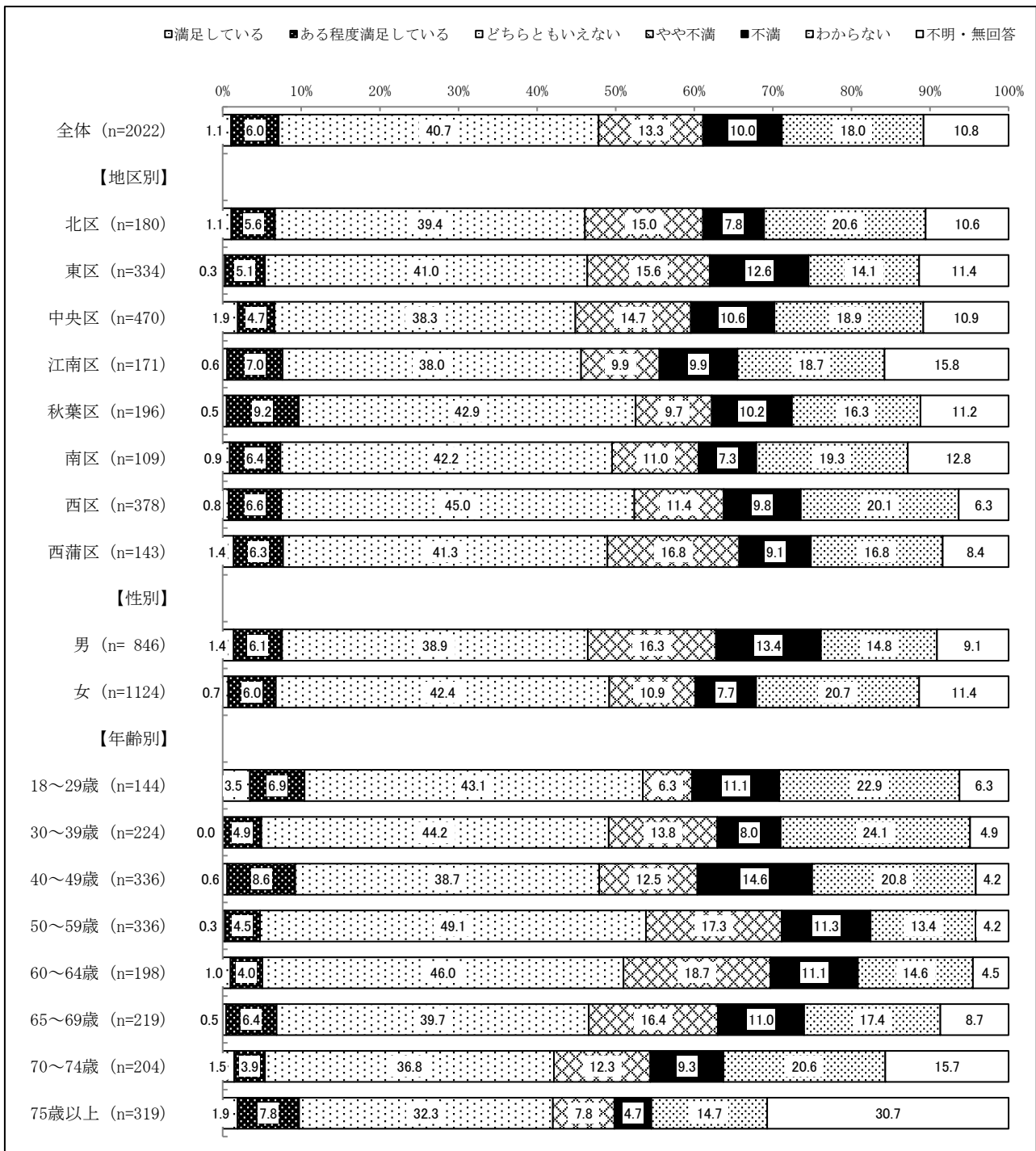


すべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（15.9%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（20.8%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、東区（34.4%）で最も高い。性別では女性（28.1%）よりも、男性（38.2%）で高い。年齢別では、60～64歳（39.9%）で割合が高い。

⑰既存産業の育成や創業・起業への支援などにより、中小企業の振興や雇用創出に取り組んでいます。

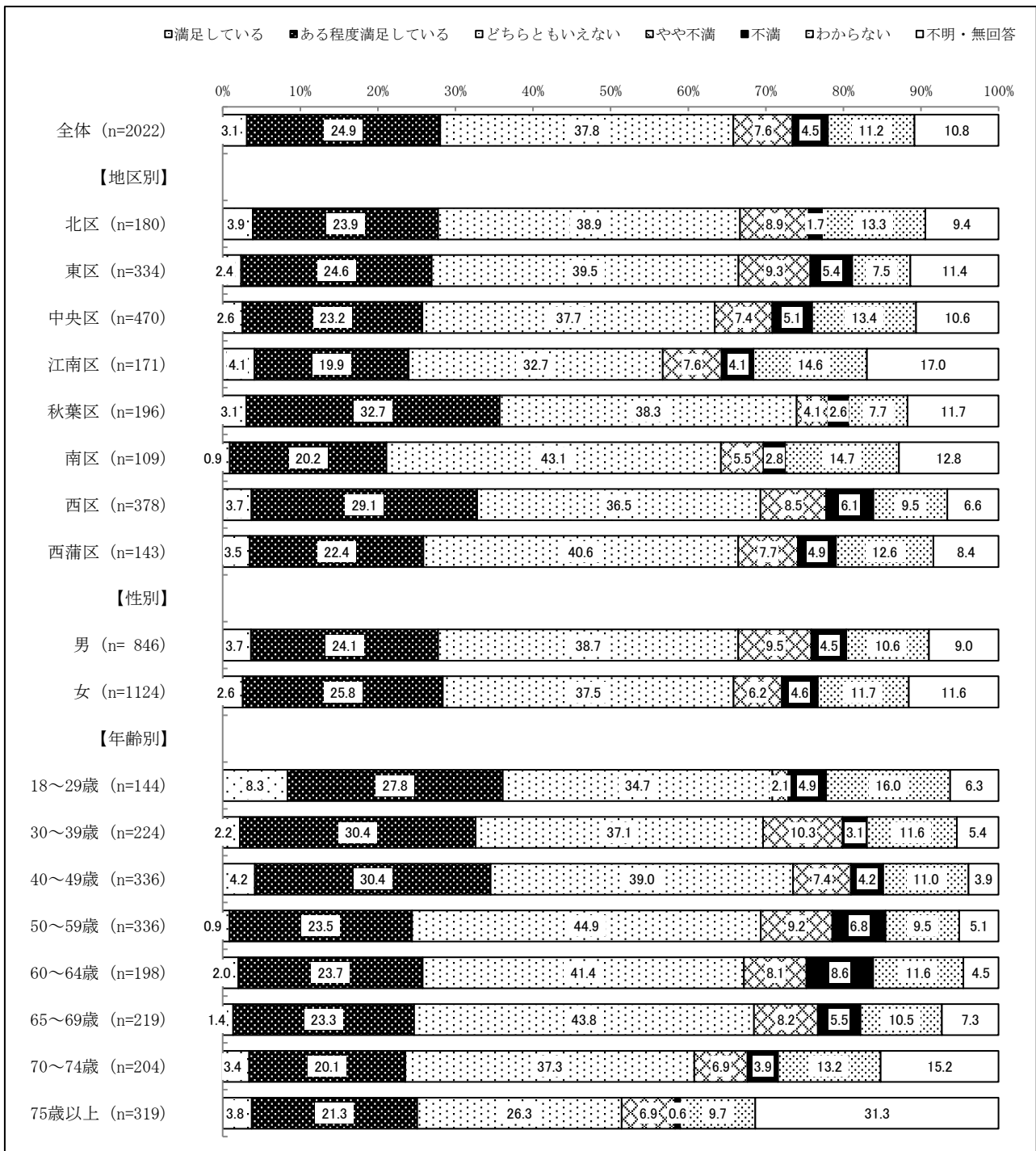


すべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（9.7%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（10.4%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、東区（28.1%）で最も高い。性別では女性（18.7%）よりも、男性（29.7%）で高い。年齢別では、60～64歳（29.8%）で割合が高い。

⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。

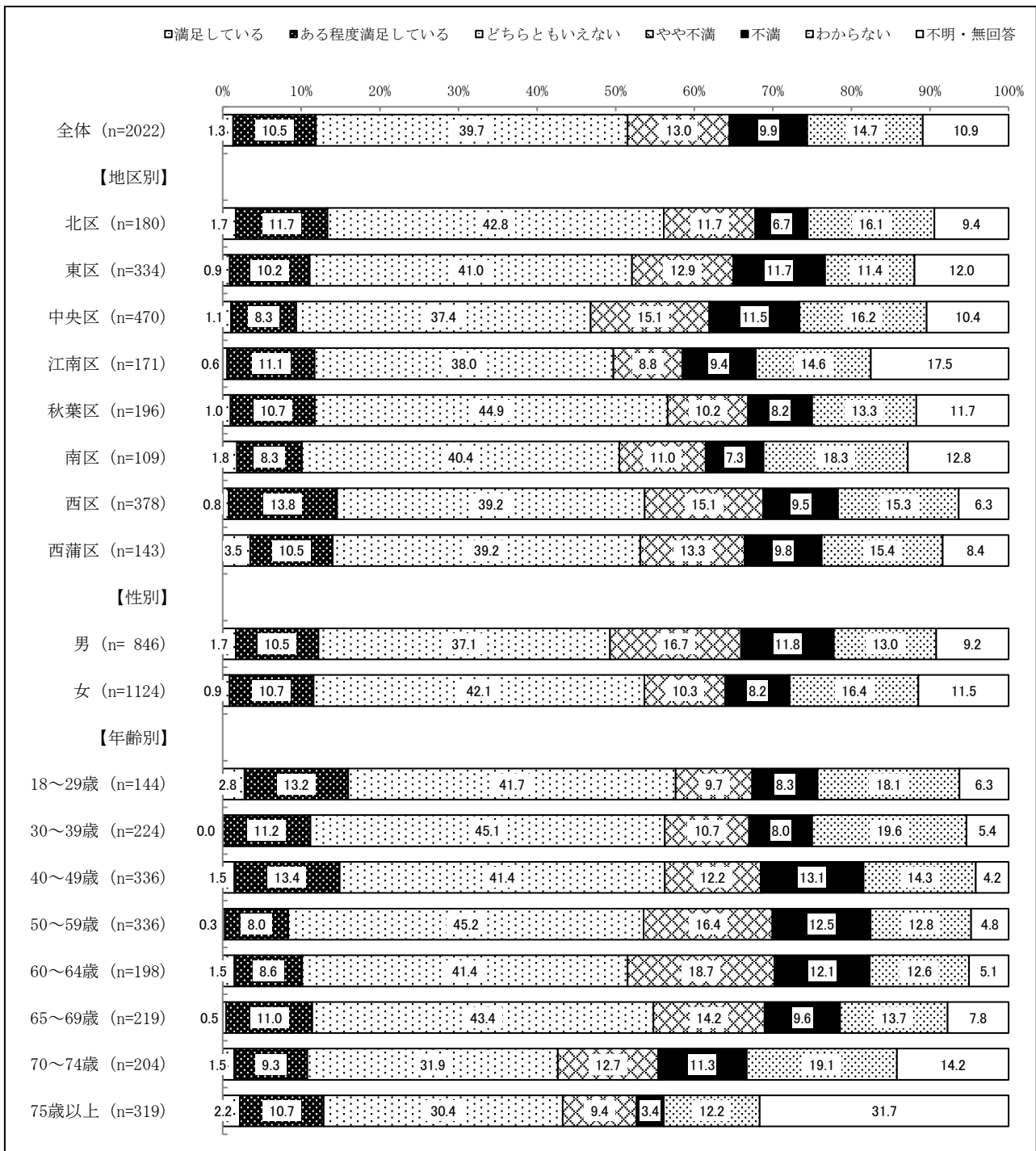


すべての属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合を上回っている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（35.7%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（36.1%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、東区（14.7%）で最も高い。性別では女性（10.9%）よりも、男性（13.9%）でやや高い。年齢別では、60～64歳（16.7%）で割合が高い。

⑱広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。

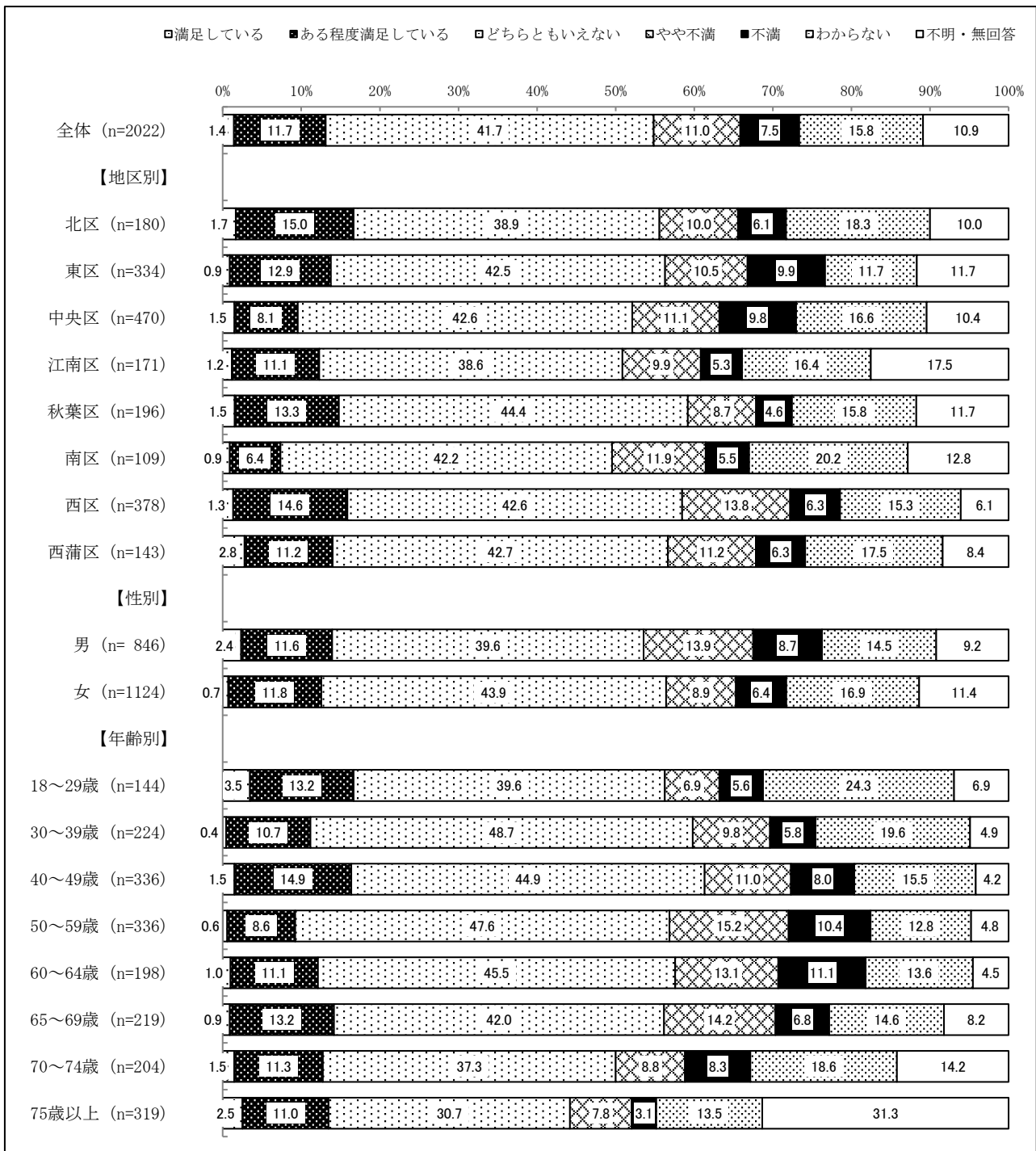


75歳以上を除く属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（14.6%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（16.0%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、中央区（26.6%）で最も高い。性別では女性（18.5%）よりも、男性（28.5%）で高い。年齢別では、60～64歳（30.8%）で割合が高い。

⑳国際交流に取り組んでいます。

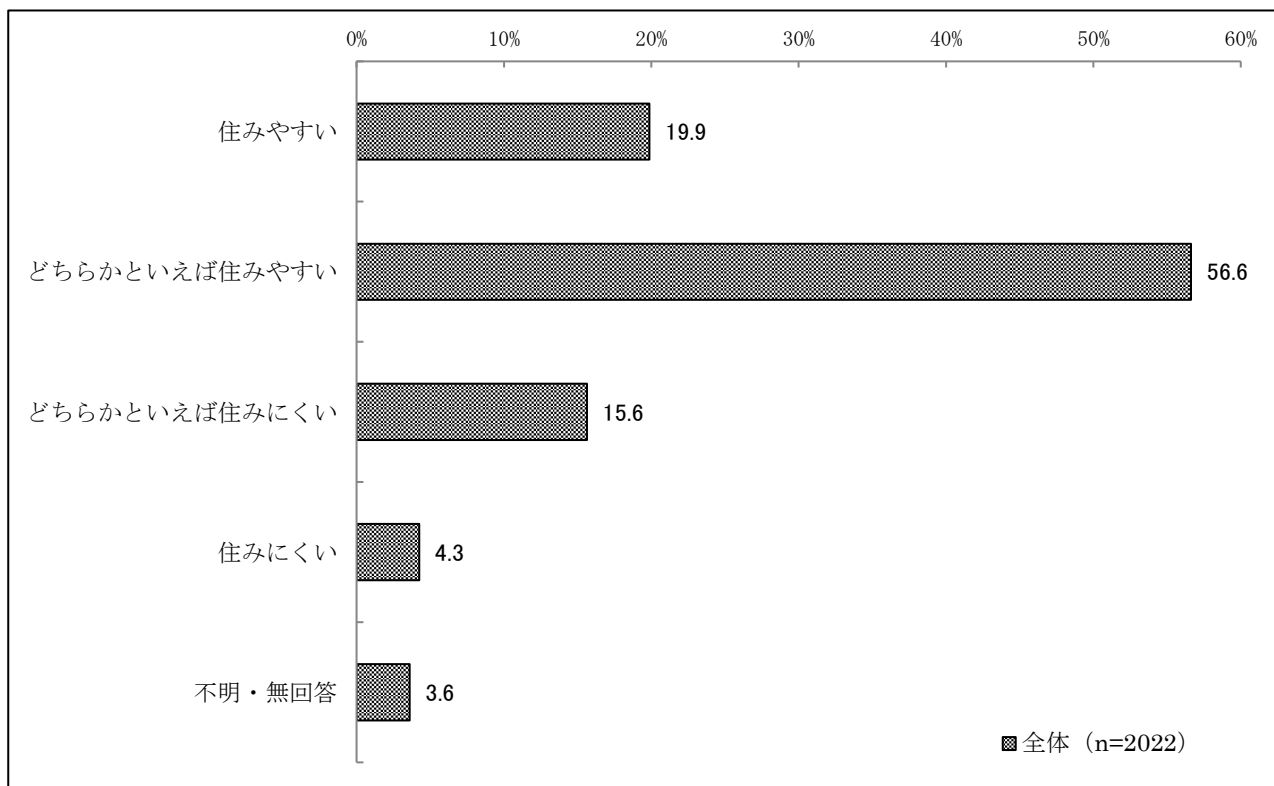


「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区（16.7%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（16.7%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、中央区（20.9%）で最も高い。性別では女性（15.3%）よりも、男性（22.7%）で高い。年齢別では、50～59歳（25.6%）で割合が高い。

(3) 新潟市の住みやすさ

問23 人口減少、少子・超高齢化の進行に対応し、市民の皆さまが暮らしやすく活力あるまちを実現する必要があります。そこで、新潟市での生活のしやすさについて、お伺いします。
あなたは「新潟市」が住みやすいまちだと思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選び、○をつけてください。



— 『住みやすい』が8割近く —

【全体結果】

「どちらかというに住みやすい」(56.6%)の割合が最も高く、5割を超えた。「住みやすい」(19.9%)を合わせた『住みやすい』(76.5%)は、8割近くとなった。

「どちらかといえば住みにくい」(15.6%)と、「住みにくい」(4.3%)を合わせた『住みにくい』(19.9%)は、約2割となった。

【属性別結果】（図 6-3 参照）

① 地区別

『住みやすい』の割合は、秋葉区（82.1%）で最も高く唯一 8 割を超えた。江南区（79.5%）、東区（79.0）、西区（78.8%）も高い。逆に南区（56.9%）で最も低く 5 割台に留まった。最も高い秋葉区とは 2 割以上の差がある。南区では、『住みにくい』（41.3%）が 4 割を超えた。『住みにくい』は、北区（21.1%）と西蒲区（26.6%）でも割合が高く、2 割を超えた。

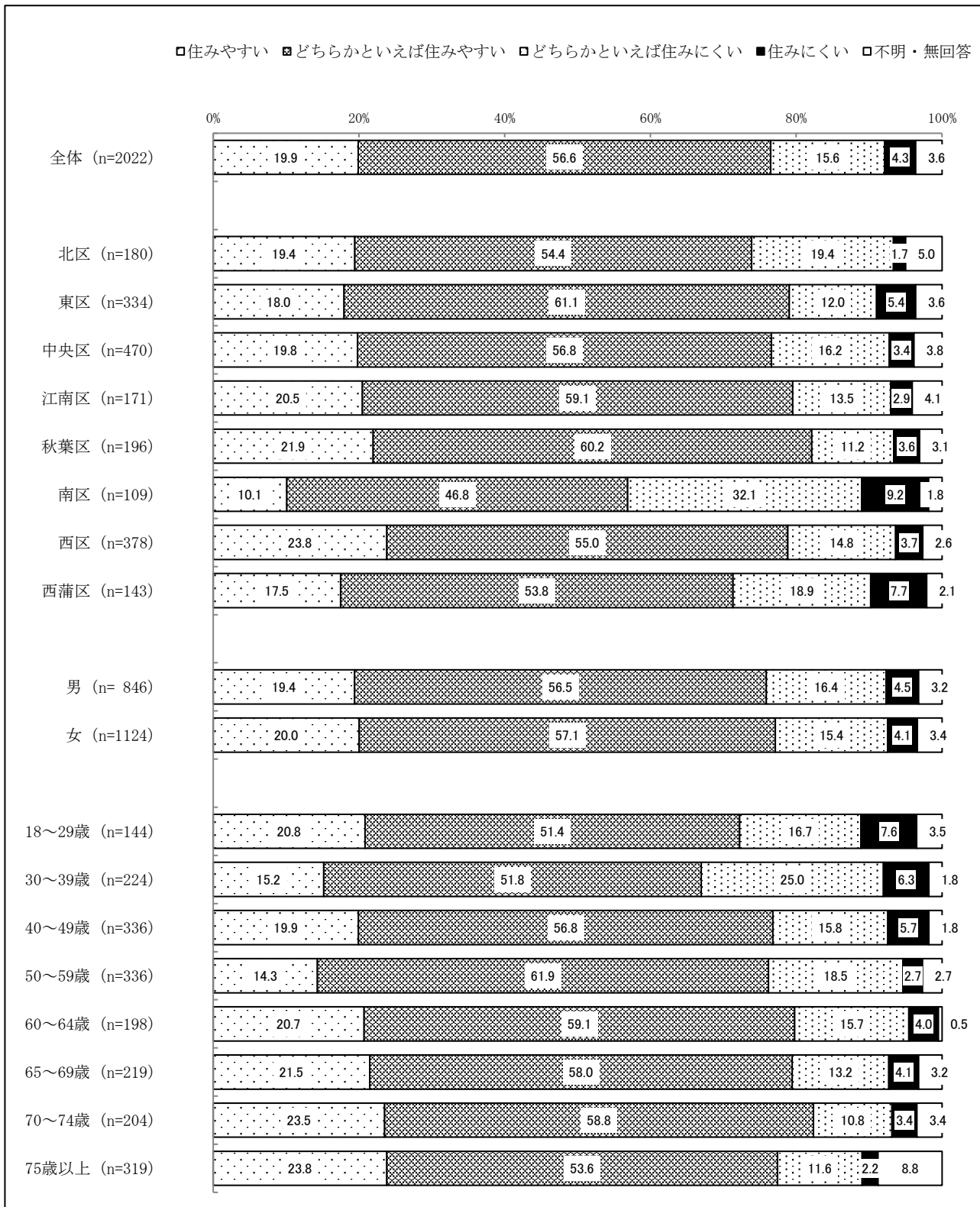
② 性別

性別での差はほとんどない。

③ 年齢別

『住みやすい』の割合は、70～74 歳（82.4%）で最も高く、唯一 8 割を超えた。最も低いのは、30～39 歳（67.0%）で 6 割台に留まった。30～39 歳では、『住みにくい』（31.3%）が 3 割を超えた。『住みにくい』は、18～29 歳（24.3%）、40～49 歳（21.4%）、50～59 歳（21.1%）でも割合がやや高く、2 割を超えた。

図 6-3 新潟市の住みやすさ（地区別/性別/年齢別）



Ⅲ 調査票様式

令和元年度 第46回市政世論調査

「新潟市政に関する世論調査」ご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃より市政に対してのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

新潟市では、市民の皆さまが日常生活の中で市政に対しどのようなお考えやご要望をお持ちになっているかを伺い、市政の参考としていくために「市政世論調査」を実施しております。

この調査は、新潟市内にお住まいの満18歳以上の方の中から無作為に4,000人の方をお選びし、実施するもので、このたびあなた様をお願いすることになりました。

お伺いした内容はプライバシーに配慮し、コンピューターで統計的に処理しますので、個人のお名前、ご住所などが公表されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、この調査票にご記入のうえ、返信用封筒にてご投函いただきますよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和元年7月12日

新潟市長 中原 八一

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、**あて名のご本人**がご記入ください。
(無記名式ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。)
2. 特にことわりのない限り、全ての質問にお答えください。
該当者にだけお答えいただく質問もあります。その場合は、案内が示してありますので、それに従ってお答えください。
3. 回答は、あてはまる項目の**番号に○**をつけてください。
「その他」を選んだ場合には具体的な内容をご記入ください。
4. 質問文の後に**(○は1つだけ)** **(○は3つまで)** などのことわり書きがあります。これはお答えいただく数を意味します。
5. この調査は、回答者を無作為で抽出しているため、あて名のご本人の様子がわかりません。万一、ご病気などでお答えいただけない場合は、回答の必要はございません。
6. 調査内容で不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。
新潟市 市民生活部 広聴相談課 電話025-226-2094 (直通)

ご記入がおわりましたら…



◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて**令和元年7月29日(月)**までにご投函ください。切手は不要です。また、お名前を記入する必要もありません。

【1 市政情報の入手方法についてお聞きします。】

問 1 あなたは、新潟市の市政や暮らし、イベントなどに関する市政情報を十分に得ていますか。

(○は1つだけ)

1. 十分に得ている	3. あまり得ていない
2. 得ている	4. まったく得ていない

「1」「2」「3」(十分に得ている、得ている、あまり得ていない)と答えた方は問2へ
「4」(まったく得ていない)と答えた方は問3へ

《問1で「1」「2」「3」(十分に得ている、得ている、あまり得ていない)と答えた方》

問 2 あなたは、新潟市が発信する市政情報を何から入手していますか。それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。

	1	2	3	4
	利聞よ 用いく すた見 るりた ・り ・	りりと ・・き 利聞ど 用いき すた見 る た	た見 こりた と・り は利・ な用聞 いしい	知 ら な い
① 市報にいがた	1	2	3	4
② 区役所だより	1	2	3	4
③ テレビ(市が提供する広報番組)	1	2	3	4
④ ラジオ(市が提供する広報番組)	1	2	3	4
⑤ テレビ・ラジオ(ニュース等)	1	2	3	4
⑥ 市のホームページ(パソコン)	1	2	3	4
⑦ 市のホームページ(スマートフォン)	1	2	3	4
⑧ 市のホームページ(携帯電話)	1	2	3	4
⑨ SNS(パソコン)	1	2	3	4
⑩ SNS(スマートフォン)	1	2	3	4
⑪ SNS(携帯電話)	1	2	3	4

(次のページへつづく)

	1 利聞よ 用いく すた見 るりた り ・	2 りりと ・・き 利聞ど 用いき すた見 る た	3 たた見 こりた と・り は利・ な用聞 いしい	4 知 ら な い
⑫ 説明会など地域での集会	1	2	3	4
⑬ コールセンター	1	2	3	4
⑭ 市役所・区役所・公共施設などに置いてあるチラシやパンフレット	1	2	3	4
⑮ 市政情報室	1	2	3	4
⑯ 自治会・コミュニティ協議会などの掲示板・回覧板・チラシ	1	2	3	4
⑰ 新聞	1	2	3	4
⑱ 情報誌など	1	2	3	4
⑲ その他 ()	1	2	/	/

《ここからはすべての方へ》

問 3 新潟市では、市の広報紙「市報にいがた」を新聞折り込みにより市内の各世帯に配布するとともに、新聞未購読世帯には、お申込みにより個別に配送しています。あなたはどの方法で「市報にいがた」を入手していますか。

(○は1つだけ)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 新聞折り込みにより届いている 2. 配送により届いている 3. その他の方法により入手している 4. ホームページ版「市報にいがた」を読んでいる 5. アプリ（マチイロ）や専用WEB（マイ広報紙）で読んでいる 6. 入手していない |
|---|

【3 食の安心・安全についてお聞きします。】

問9 あなたは、食の安全に関心がありますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 関心がある | 3. どちらかといえば関心がない |
| 2. どちらかといえば関心がある | 4. 関心がない |
| | 5. わからない |

「1」「2」(関心がある、どちらかといえば関心がある)と答えた方は問10へ

「3」「4」「5」(どちらかといえば関心がない、関心がない、わからない)と答えた方は問11へ

《問9で「1」「2」(関心がある、どちらかといえば関心がある)と答えた方》

問10 どのようなことに関心がありますか。

(○は3つまで)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 農薬や食品添加物 | 4. 飲食店等の衛生管理 |
| 2. 輸入食品 | 5. 遺伝子組み換え食品 |
| 3. 食中毒 | 6. 食品表示 |

《ここからはすべての方へ》

問11 あなたは、食の安全に関してどの程度知識を持っていると思いますか。

(○は1つだけ)

「食の安全に関する知識」とは、次のようなものに関する知識とお考えください。

【「食の安全に関する知識」の例】

◆食品表示の見方について(消費期限や賞味期限、保存料などの食品添加物、遺伝子組み換え食品、食物アレルギーなど)

◆食中毒の予防方法について

◆輸入食品について

◆健康食品について

その他、農薬使用の実態や鳥インフルエンザに関する知識など

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 持っていると思う | 4. ほとんど持っていないと思う |
| 2. ある程度持っていると思う | 5. わからない |
| 3. あまり持っていないと思う | |

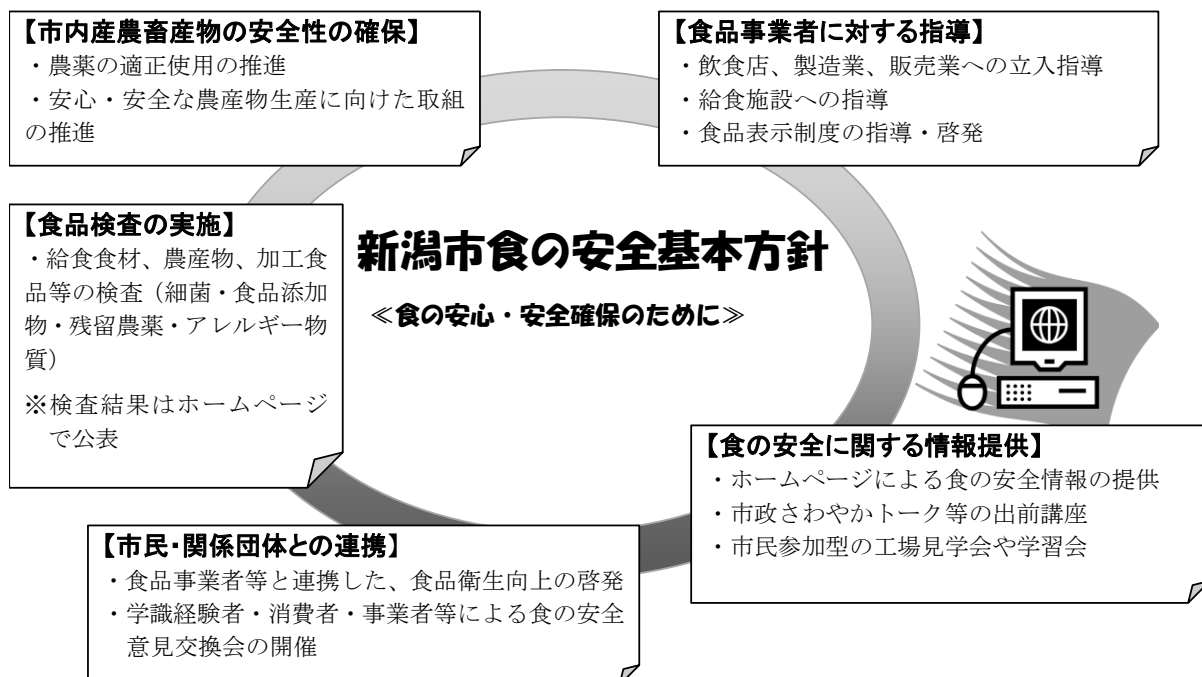
問 12 あなたは、安全な食生活を送るために、自ら食品選択等の判断をしていますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. いつも判断している | 4. 全く判断していない |
| 2. 判断している | 5. わからない |
| 3. あまり判断していない | |

問 13 新潟市では、「食の安全基本方針」に基づき、下記のような取組を重点的に行っていると
ころです。あなたは、新潟市における食の安心・安全の確保に対する取組が、
十分に行われていると感じていますか。一番近いものをお選びください。
(○は1つだけ)

- | |
|----------------------|
| 1. 十分に行われていると感じている |
| 2. ほぼ十分に行われていると感じている |
| 3. やや不十分だと感じている |
| 4. 不十分だと感じている |

《新潟市が重点的に行っている取組》



【4 あなたの「社会活動（※）」への関わりについてお聞きします。】

※「社会活動」とは、市民自らが個人や組織、団体を問わず、さまざまな分野での地域活動やボランティア活動、NPO活動などに参加し、地域のニーズや課題に取り組む活動を行います。

問 14 次の中で、あなたがこれまでに参加したことがある社会活動はありますか。

(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 学校支援や青少年育成に関わる活動
(セーフティスタッフ・学校支援ボランティア・ふれあいスクールボランティアなど) |
| 2. 地域行事に関わる活動 |
| 3. 防犯・防災・交通安全に関わる活動 |
| 4. 環境保護・環境美化に関わる活動 |
| 5. 障がい者・高齢者などの福祉に関わる活動 |
| 6. 健康づくりに関わる活動 |
| 7. 文化・芸術に関わる活動 |
| 8. 災害救援活動 |
| 9. 人権擁護に関わる活動 |
| 10. 国際交流に関わる活動 |
| 11. その他 () |
| 12. 特にない |

(「12」(特にない)と答えた方は問 15 へ

「1」から「11」と答えた方は問 16 へ)

《問 14 で「12」(特にない)と答えた方》

問 15 参加しなかった、できなかった理由は何ですか。

(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 時間が足りなかった |
| 2. 自分の力不足を感じていた |
| 3. 一緒に活動する仲間がいなかった |
| 4. 活動の趣旨に意見や考えが合わないと感じた |
| 5. 身体への負担が大きいと感じた |
| 6. 世話を必要とする家族(小さい子どもや高齢者など)がいた |
| 7. 活動に興味や関心がない |
| 8. 活動を必要だと感じていなかった |
| 9. 金銭的な余裕がなかった |
| 10. 身近に活動の場がなかった |
| 11. 活動するための情報が不足していた |
| 12. 身近に指導者がいなかった |
| 13. 知識や技能を生かしたいと思わなかった |
| 14. その他 () |
| 15. 特にない |

《ここからはすべての方へ》

問 16 あなたが今後、参加したい、または継続したい社会活動はありますか。
(〇はいくつでも)

1. 学校支援や青少年育成に関わる活動
(セーフティスタッフ・学校支援ボランティア・ふれあいスクールボランティアなど)
2. 地域行事に関わる活動
3. 防犯・防災・交通安全に関わる活動
4. 環境保護・環境美化に関わる活動
5. 障がい者・高齢者などの福祉に関わる活動
6. 健康づくりに関わる活動
7. 文化・芸術に関わる活動
8. 災害救援活動
9. 人権擁護に関わる活動
10. 国際交流に関わる活動
11. その他 ()
12. 特にない

問 17 あなたが、社会活動に参加したきっかけは何ですか。
(〇はいくつでも)

1. 講座等を通じて興味・関心を持ったから
2. 団体やグループ・サークル活動を通じて興味・関心を持ったから
3. 学生時代の経験を通じて興味・関心を持ったから
4. 知識や技能を生かしたいと思ったから
5. 身近な人の介護・支援に関わった経験を通じて興味・関心を持ったから
6. ポスターやチラシ、広報紙などを見て興味・関心を持ったから
7. テレビやラジオ、新聞などを見て興味・関心を持ったから
8. インターネット等を見て興味・関心を持ったから
9. 地域や団体からお願いされたから
10. 友達に誘われたから
11. その他 ()
12. 特にない



問 18 あなたが、社会活動に期待したいことは何ですか。

(〇はいくつでも)

1. 仲間づくり	6. 生きがいをもちたい
2. 学んだことを生かしたい	7. 仕事や職業に役立てたい
3. 誰かの役に立ちたい	8. 次世代を育てたい
4. 地域の役に立ちたい	9. その他 ()
5. 健康で暮らしたい	10. 特にない

問 19 あなたが社会活動に参加するうえで、大切だと思う条件は何ですか。

(〇はいくつでも)

1. 時間のゆとり	8. 活動場所
2. 自分の力量を高める学習機会	9. 活動するための情報
3. 一緒に活動する友人・仲間	10. 活動を支援する存在 (コーディネーターなど)
4. 健康・体力	11. 指導者・リーダーの存在
5. 家族の理解・協力	12. 勤め先の理解や協力
6. 保育・託児の場	13. その他 ()
7. 活動費用	14. 特にない

問 20 市は、市民一人ひとりが学習成果を生かす循環型生涯学習を推進しています。誰もが生涯を通じて学び育つことができ、学びの成果を生かした地域づくりを通じて、地域コミュニティの活性化を担う人材を育成したいと考えています。次代を担う人材を育てるために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(〇はいくつでも)

1. 公民館等の公共施設で知識や技能の活用に関する講座を充実させる
2. 同じ活動をしている友達・仲間づくりを支援する
3. 活動の機会や事例などの情報提供を充実させる
4. 知識や技能を生かした活躍の場を充実させる
5. 地域のリーダーを育成する
6. NPOやボランティア団体や地域活動への支援
7. 地域と学校の連携による子どもたちの学習の場を充実させる
8. その他 ()
9. 特にない

【5 市政全般と区政についてお聞きします。】

問 21 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

- ①「新潟市として良くなっているもの」
- ②「新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの」
- ③「区として良くなっているもの」
- ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」

を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に番号（1～33）をご記入ください。

1. 市・区の窓口対応	13. スポーツの振興	25. 交通安全対策
2. 電子手続きの推進	14. 文化・芸術の振興	26. 学校教育
3. 地域活動の振興	15. 農林水産業の振興	27. 生涯学習
4. 防災対策	16. 商工業・貿易の振興	28. 市営住宅の整備
5. 防犯対策	17. 雇用の場の拡大	29. 広報広聴活動
6. 児童福祉	18. 観光の振興	30. 国際交流の振興
7. 高齢者福祉	19. まちなかの活性化	31. 市民協働のまちづくり
8. 障がい者福祉	20. 公共交通の充実	32. 男女共同参画の推進
9. 保健・医療体制	21. 計画的な市街地整備	33. その他
10. ごみ処理・リサイクル	22. 公園の整備	<div style="font-size: 4em;">{</div>
11. 地球温暖化対策	23. 道路の整備	
12. 自然環境の保護	24. 公共下水道の整備	

回答欄 （1～33までの番号を記入してください）

① 新潟市として良くなっているもの			
② 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの			
③ 区として良くなっているもの			
④ 区として今後もっと力を入れてほしいもの			

【6 市の取り組みについてお聞きします。】

問 22 本市の総合計画である「にいがた未来ビジョン」に基づき進めている主な取り組みについて、あなたの感想をお聞かせください。

また、これらの取り組みについての満足度をお聞かせください。

それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで、○をつけてください。

(○は①～⑫の市の取り組みへの感想1～5と満足度A～Fにそれぞれ1つずつ)

	取り組みへの感想					取り組みへの満足度					
	1 そう思う	2 ある程度思う	3 普通	4 あまり思わない	5 そう思わない	A 満足している	B ある程度満足している	C どちらともいえない	D やや不満	E 不満	F わからない
① 高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
② 障がいのある人などが、地域で自立した生活を送れるよう環境づくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
③ 都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
④ 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑤ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑥ 地域への愛着と誇りを育む教育や、生涯学習の推進に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑦ 市民、地域などとの協働によるまちづくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑧ 食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑨ 地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑩ にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑪ 生涯にわたり心身ともに健康に暮らしていけるよう、健康寿命の延伸に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑫ 持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F

(次のページへつづく)

(○は①～⑳の市の取り組みへの感想1～5と満足度A～Fにそれぞれ1つずつ)

	取り組みへの感想					取り組みへの満足度					
	1 そう思う	2 ある程度思う	3 普通	4 あまり思わない	5 そう思わない	A 満足している	B ある程度満足している	C どちらともいえない	D やや不満	E 不満	F わからない
⑬ ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑭ 女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑮ 農業や食品産業が一体となって発展するよう、農業の6次産業化の推進に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑯ 港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑰ 既存産業の育成や創業・起業への支援などにより、中小企業の振興や雇用創出に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑱ 食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑲ 広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑳ 国際交流に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F

問 23 人口減少、少子・超高齢化の進行に対応し、市民の皆さまが暮らしやすく活力あるまちを実現する必要があります。そこで、新潟市での生活のしやすさについて、お伺いします。

あなたは「新潟市」が住みやすいまちだと思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選び、○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 3. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 4. 住みにくい |



令和元年度 第46回市政世論調査

発行 令和元年10月

調査主体 新潟市市民生活部広聴相談課
新潟市中央区学校町通一番町602番地1
電話 025-228-1000（代表）

調査実施 株式会社スピードリサーチ
新潟市東区小金町1丁目7-1
電話 025-270-3800